

史料館所蔵史料目録 第75集

信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書
(その1)

平成14年3月

史 料 館

史料館所蔵史料目録 第75集

信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書
(その1)



写真1 明治45年洪水時の山田家。右隅の白い建物が三階蔵。

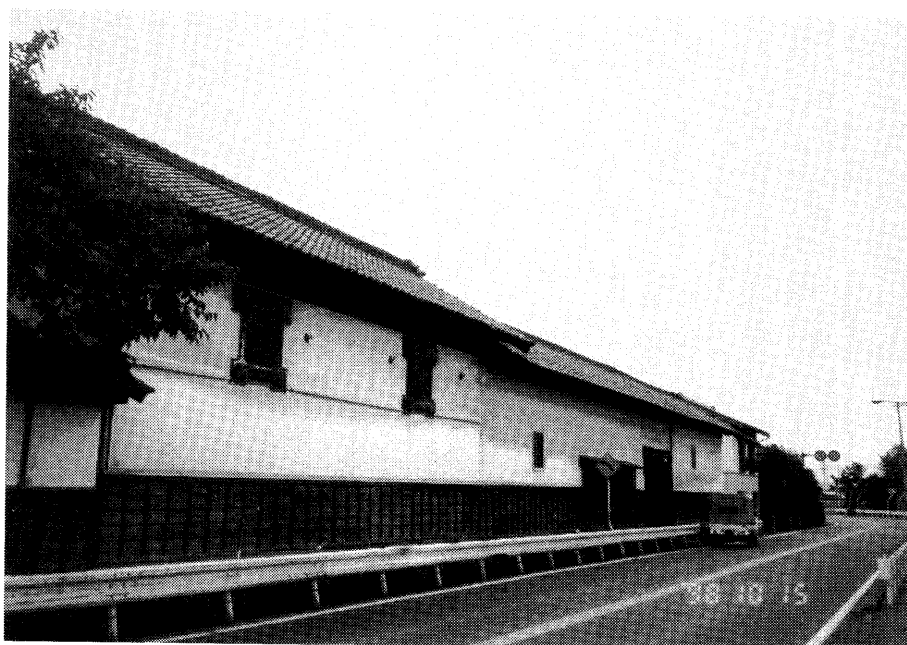


写真2 現在の山田家。手前2つの黒い窓は質蔵・文庫蔵のもの。

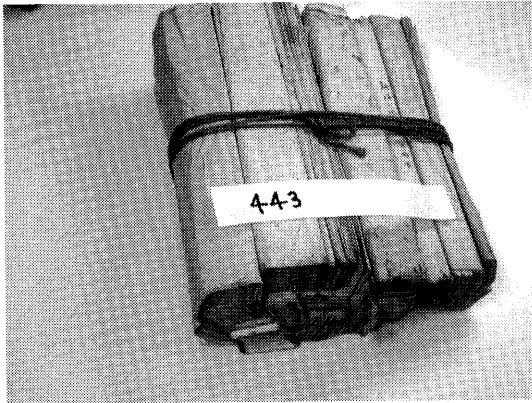


写真3 小作証券・小作証文の一括状況
(親番号443の分)



写真4 同左の展開状況



写真5 宝暦2年申小作入帳
(136-16、104頁)

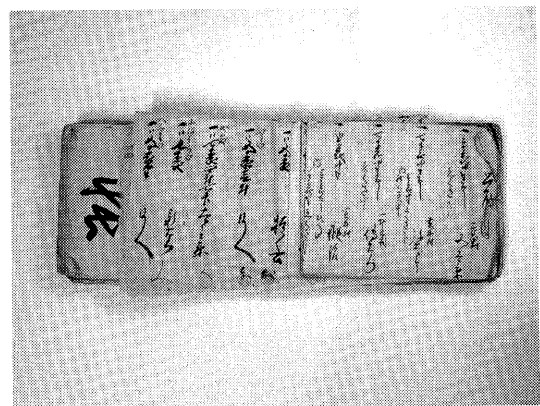


写真6 同左帳の裏側。書付等の綴が括り付けられている。



写真7 文政7年年貢諸夫銭・請求受取書など綴 (235-12-1、138頁)

凡 例

- 1 本目録は、『史料館所蔵史料目録』第75集として、「信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書（その1）」を収めた。同文書群の全体ではないが、これまでカード目録で仮公開していた分は全てこの中に入っている。文書群名については、同村の山田理右衛門家文書（マイクロフィルム紙焼本）を史料館で所蔵しているので、これと区別するために通名をあわせて表記した。
- 2 目録の編成にあたっては文書群の階層構造に留意し、ISAD（G）（国際標準：記録史料記述の一般原則）の考え方も参考にしつつ、大・中・小項目で編成する方式をとった。大項目はすべてISAD（G）にいうサブグループ（サブフォンドともいう）に相当し、中項目以下はシリーズまたはサブサブグループなどである。
- 3 袋・こより紐などによる一括史料は一括掲載し枝番号付与で物理的階層を示すことを原則としたが、その必要がないと判断し一括を崩して配列した場合もある。袋や包紙の表書を一括表題として採用した場合は「 」で表記した。小項目内は上記の一括を崩さない範囲で年代順に配列した。重出については表題の先頭に＊を付した。
- 4 史料の集合的記述は、グループ（文書群全体）とサブグループのレベルで解題を記した。
- 5 史料1点ごとの記述は、①表題・作成等（表題、作成→宛所、備考）、②年代（作成年月日）、③形態・数量、④整理番号、の順に記載した。

表題は、冊子型史料も書付型史料も原表題もしくは柱書を取り、それが無い場合には（ ）で仮表題を付与した。原表題や柱書だけで不十分な場合は、その後に（ ）で内容を摘記した。

形態は、冊子型史料の場合、半（半紙縦折判）、美（美濃紙縦折判）、横長半（半紙横折判）、横長美（美濃紙横折判）、横半半（半紙半裁横折判）、横美半（美濃紙半裁横折半）、などの略称によって原書の大概を示した。書付型史料の場合、縦紙、折紙、縦切紙、横切紙、縦継紙、横切継紙、小切紙、などと表記した。また絵図など大きいものは寸法をタテ×ヨコのようにミリ単位で表記した。
- 6 本目録では史料が保管されてきた秩序に応じて史料番号を付与したため、目録上で史料が番号順に並んでいない。そのため番号による検索には不便をきたすので、史料の引用に際しては番号のほか掲載頁もできるならば併記することをお願いしたい。
- 7 本目録は史料館第3史料室山崎圭が担当し、2000年度に鈴木直哉（当時、東洋大学大学院生）、2001年度に松本剣志郎（東洋大学学部生）がそれぞれデータ作成の補助にあたった。データ点検には藤原五三雄が協力した。

〔付記〕

本目録の作成に当たっては山田顕五氏はじめ山田家の皆様、中野市教育委員会、長野県立歴史館、その他御名前をすべて列挙することはできないが、多くの方々・諸機関のご協力をいただいた。特に山田正子氏（山田家長女、元長野県史編纂室）には山田家の歴史・史料にかかわって多くの御教示をいただいた。ここに記して謝意を表する。

総 目 次

口 絵

凡 例

総目次

本文細目次〔文書群の構造〕 1

山田庄左衛門家文書全体解題 5

文書群記号

文書群名

年 代

数 量

入手の経緯

山田家の歴史

文書群の構造と内容

文書群の形態と整理の方針

関連史料

参考文献

目録本文

家 15

地主 39

諸経営 145

堤防組合総代 163

村役人 179

近代の役職 191

掲載図表一覧

図		表	
図1：江戸および中野・長野周辺地図	6	表1：安永7年東江部村差出明細帳の内容	7
図2：山田家土蔵群図	13	表2：山田顕善履歴	9
図3：山田庄左衛門家系図	16	表3：山田庄左衛門家の所持高	40
図4：山田理右衛門家系図	18	表4：東江部村村役人表	180
図5：山田家本家分家分布図	19	表5：延宝年中より名主順覚	182
図6：帳簿変遷の概念図	42	表6：第43区・第44区の構成村	191
図7：千曲川曲流部および流域村々	164	表7：第19大区の構成	192

本文細目次〔文書群の構造〕

家	15
経営	22
家計	奉公人・雇傭
台所	江部合名会社
家政	30
相続	婚礼・養子縁組
法事・寺社	家普請
交際	鉄砲所持
日記・文化	順碩老不幸一件
衆議院選挙活動	
地主	39
所持地改	45
土地移動	47
小作証文・小作証券	50
江部村東組	江部村西組
(小作証文一括)	
押切・北岡・矢島・清水	江部
新井・七瀬	
吉田	中野町共同貯蓄講持村
吉田	
片塩ほか	天神堂其外
新保	
岩船	西條
新保田方	
江部・カ印	江部村地籍入作栗林・草間分
片塩	江部・ツ印
綿内	
平野	新保ほか
「慶応四辰年 <small>ろ</small> 小作証文入」	
「享和三年迄村々小作入」	(小作証文一括)
「酉 <small>ろ</small> 子迄小作証文 小作帳 岩舟村」	(小作証文一括)
地所賃借契約証書	
地主小作関係帳簿	103
年々聞合帳	惣小作帳
小作米金収入計算帳	
小作入帳	田畑小作入帳
小作粉・金請取帳	
小作勘定帳	小作年貢不納帳
旱損見分改帳	
小作取上請印帳	
手作	113
年貢諸役負担	113
他村割付状等写	諸村分年貢金納帳
年貢諸役金受取書等	
文化7年分綴	文化8年分綴
文化9年分綴	
文化7・8・9年分綴	文化9・10年分綴
文化10年分綴	

文化11年分綴	文化11・12年分綴	文化12年分綴	
文化13年分綴	文化12・13・14年分綴	文政元年分綴	
文政元・2年分綴	文政3・4年分綴	文政7年分綴	
文政8年分以降綴	村税等賦課令状		
相論・訴願			143
入庫米運送			144
諸経営			145
金融			148
金子差引帳	金銀出入帳	借金証文	質札所持
酒造			154
酒株	酒造改	精米	酒販売
その他			種類納税
水車			157
貸家			159
北信商社			159
証券投資・銀行業			160
彰真社	横浜正金銀行	横浜生糸合名会社	
長野農工銀行	六十三銀行	信濃銀行	
台湾興業合資会社			
石油販売			161
鉾山			161
堤防組合総代			163
慶応以前			167
慶応期堤防工事			168
組合村々水難高取調	村々評議	対岸村々と江戸訴訟	
人足・諸入用	絵図		
千曲川瀬直し			172
出願	会計所御用	人足・諸入用	
村役人			179
領主関係			185
年貢諸役			185
夫食拝借			186
貯穀			186
土地			188

村入用	189	
相論	189	
普請	190	
その他	190	
近代の役職	191	
幕末維新期の陣屋・県御用	194	
第22区戸長	194	
送籍状		
第43区区長	194	
地券改	印鑑届	送籍状（就任以前分、就任以後分）
第19大区副区長	198	
布達、届・回章留	地租改正	徴兵検査
町村合併	治安取締	大区議員・区総代（民費節減）
大区会所経費	医者養成	郡役所へ引継
その他		
勸業集談会	203	
下高井郡全部組合会	203	
平野村村会議員	204	
江部村耕地図	204	

信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書 全体解説

文書群記号 32H

文書群名 信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書

年 代 内容年代 延宝2（1674）年～昭和17（1942）年

成立年代 元禄6（1693）年～昭和17（1942）年

数 量 今回目録掲載分3,507点（枝番号をも1点と数える目録上でのレコード数）

この他に史料館所蔵分の未整理のものとして、大ダンボール箱1、小ダンボール箱2、りんご箱1、大こおり1、がある。現地の山田家所蔵分については下記「入手の経緯」を参照。

入手の経緯

この文書は、1957（昭和32）年に文部省史料館が、原蔵者である山田顕五氏（長野県中野市江部在住）より直接譲り受けたものである。譲渡にいたるまでの経緯を山田家でのお話にもとづいて簡単にまとめておく。第2次大戦前、同家の古文書は敷地内の「三階蔵」と呼ばれる蔵（口絵写真1および図2を参照）に一括保管されていたが、戦争中にこの蔵を売却したため、その際に文書を質蔵、文庫蔵、二間蔵、穀蔵に移して、別々に保管することとなった。その後、1957年より少し以前にお茶の水女子大学の学生が同家の文書を卒業論文に利用したことをきっかけに、当時の史料館員の所三男氏が同家を訪れて1957年に文書の譲渡を受けた。ただし、この時譲渡されたのは同文書の全てではなく一部、すなわち穀蔵収納分に限定されている。質蔵、文庫蔵、二間蔵には今日でも総計で1万点をこえる多量の文書が残されており、史料館ではこの分についても別途調査を進めてきた（詳しくは『史料館報』70・72・74・76号を参照）。この穀蔵での文書保管の状態はあまりよくなかったようで、蔵の2階の梁から縄を2本下げてその間に通した板の上に文書を並べるなどしていたとのことである。

以上のように山田庄左衛門家文書は現在、東京と中野市の2か所に分かれて保管されているが、本目録では、同文書のうち史料館所蔵分を「史料館分」、山田顕五氏所蔵分を「現地分」と呼んで区別することにしたい。

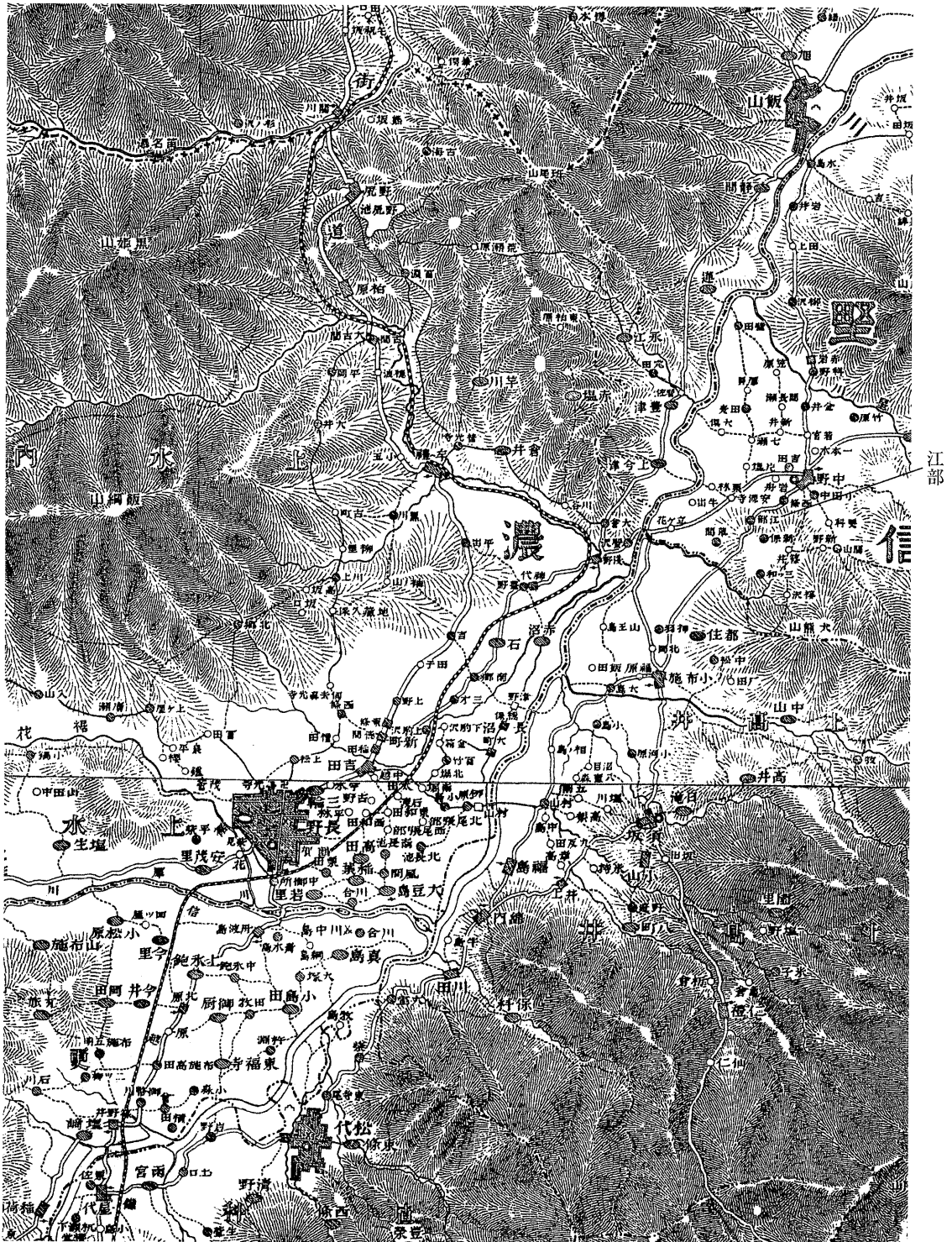
山田家の歴史

（1）東江部村の概要

山田家の歴史について述べる前に、まず同家が存在した東江部村について説明しておきたい。信濃国高井郡東江部村は中野扇状地の末端から千曲川沖積地にかけて開け、延徳田圃（えんとくたんば、近世では圓徳の字が当てられることも多い）の北縁に位置する。延徳田圃は延徳年間（1489－92）に開発されたといわれる低地帯で、千曲川の氾濫原である。中世には東江部・西江部あわせて江部郷と称されたが、慶長検地以前に村切りが行われて分離した。山田家はこの地を開発するために近世初頭に土着したとみられる。

東江部村の領知関係は、はじめ松代藩領（森忠政、松平忠輝）、慶長8（1603）年から飯山藩領、元和2（1616）年から幕府領、同5年から福島正則領、寛永元（1624）年から幕府領、天和2（1681）年

図1 江部および中野・長野周辺地図



出典：明治20（1887）年参謀本部陸軍部測量局輯成「高田」「長野」
 （『幕末・明治日本国勢地図初版輯成20万分の1図集』柏書房、1983年）

から坂木藩領、元禄15（1702）年から幕府領、正徳元（1711）年から飯山藩領、享保2（1717）年から幕末まで幕府領であった。周辺地域全体は、初期の変動を経たのち18世紀以降は主なところで幕府領・松代藩領・飯山藩領などの村々によって構成された。この時期東江部村が属した幕府領は概ね中野役所（代官所）の支配を受けた（中野役所の代官変遷については『中野市誌歴史編（前編）』531頁の表を参照。これをもとに年代比定を行った文書もある）。明治以降は、明治元（1868）年2月から信濃旧幕領を接収した尾張藩取締所、同年8月から伊那県中野局、明治3（1870）年9月から中野県、明治4（1871）年6月から長野県の支配に属している。その後の東江部村は明治7年に西江部村と一時合併した後再び分村し（江部村）、明治22（1889）年に平野村、昭和29（1954）年に中野市に編入され

表1 安永7（1778）年5月 東江部村差出明細帳の内容

・村高	603石3斗4升5合	反別57町9畝13歩	
		(→604石6斗5升6合、57町2反6畝19歩)	
内訳	田方39町6反3畝14歩	此高418石8斗4升5合	
	内 8石4斗9升1合	前々堰代道敷引	此反別8反8畝2歩
	24石 3升1合	前々無地高引	是ハ無反別
	12町 7畝29歩	前々畑ニ成	此高141石4斗1升8合
	3町3反1畝25歩	戊ノ畑成	此高 36石5斗 2合
	3町7反8畝 4歩	年々芝畑起返	此高 44石6斗5升5合
	残 19町5反6畝24歩	本田	此高163石7斗2升8合
	畑方17町8反 25歩	本畑	此高156石5斗2升4合
	屋敷 2町3反3畝 4歩		此高 27石9斗7升6合
・家数	55軒	(→ 61軒)	
・人数	227人	(→284人)	
・馬	5疋	(→ 3疋)	
・	(御林・山林・野原・秣場はなし)		
・小物成	永2貫881文6分	夫金	
・小物成	永3貫640文	家並金	
・小物成	永 697文	納藁代	
・永	38文	水車運上	
・永	72文	酒造役永上納	
・夜間瀬村へ山御年貢小物成	米3斗6升		
	(35ヶ村入会、年々薪木取)		
・	(他村より取り立てる小物成はなし)		
・村内夜間瀬川長	600間		
・村内篠井川	長250間程		
・橋6ヶ所	内2ヶ所御入用御普請・4ヶ所自普請	(→御普請所8ヶ所)	
・耕作之外男ハ縄筵、女ハ太木綿稼ぎ			
・田畑居屋敷不残水損場			
・小作値段上中下平均	田1反につき米4斗～5斗		
	畑1反につき米1斗5升～2斗		
・	(古城跡・米津出場はなし)		

典拠：山田理右衛門家文書33

註：(→)で補記したデータは天保9（1838）年「信濃国高井郡東江部村
銘細書差出帳」（東江部区共有文書）による

て今日に至っている。

村高は「慶長打立帳」で387石余、「正保書上」で499石余、「元禄郷帳」で603石、「天保郷帳」で610石余となっており17世紀に著しい伸長が見られる。安永7（1778）年の村明細帳（表1）を例に村内の様子を見てみると、村高603石・反別57町に対して田方418石・反別39町となっており田高が全体の69%を占めており田勝ちと言えるが、田高のうち合計32石5斗が永引高、合計222石5斗が畑扱いとなっている（あわせて田高の61%に相当）。このことは同表に「田畑居屋敷不残水損場」とあることからわかるように、耕地の不安定性を物語っていると言えよう。

産業としては近世後期以降、菜種・木綿の栽培が盛んになっており、表1にも「女ハ太木綿稼」と記されている。一方、明治期以降大きく展開した養蚕・製糸業がこの地に普及・定着するのは幕末開港以後のことのである。

（2）山田家の活動

活動の詳細については活動内容ごとに後述することとし、ここでは簡単な概要を記しておきたい。

かつてこの地を支配していた上杉景勝は慶長3（1598）年に中間・小者にいたる全家臣団をともなって会津へ移封するが、山田家はその後元和年間に東江部村に土着したと言われている。家の由緒として武田遺臣の伝承を持つが定かではない。近世初期の状況を語る史料は多くないが、持高は延宝検地で24石、17世紀中は庄屋も別の家が勤めるなど、当初は村内の有力者の一人であっても最有力者ではなかった。

しかし享保期には村内持高で164石、全所持地で8か村423石にまで成長し、酒造業や年貢米換金・金貸などでも利益を上げていき、村外での土地集積も拡大している。その後、明治4（1871）年に875石、さらに大正13（1924）年には145町歩と長野県最大の地主に発展していく。この間、東江部村名主は分家の理右衛門・文六など一族が独占するところとなり、庄左衛門家は名主をほとんど勤めず、幕末に郡中取締役・掛屋（中野役所の公金取扱）などを勤めた。また弘化4（1847）年の善光寺地震以降洪水被害がいつそう深刻化し、地域をあげてこの問題に取り組むようになると、堤防組合惣代を勤め対岸村々との交渉や江戸への出願などに奔走し、明治4（1871）年には千曲川瀬直し工事が完成するに至っている。一方、明治3（1870）年12月に発生した中野騒動では、旧郡中取締役・北信商社社員として屋敷を焼き討ちされている。

明治期には、戸籍区制下で第22区戸長、第43区区長兼第44区区長を勤め、大区小区制下では第19大区副区長として地租改正などの事業を進めた。その後も下高井郡郡書記、下高井郡選出県議員はじめ多くの公職を歴任するが、明治23（1890）年には貴族院議員（多額納税議員）に選出され、明治31（1898）年3月には分家の理兵衛が自由党から衆議院議員に当選し、同年9月には荘左衛門が憲政党から同じく衆議院議員に当選している。経営面では、明治10（1877）年代以降これまでのような資金貸付と土地取得のための投資を抑えて、より収益のあがる証券投資を積極的に行い、自らも明治23（1890）年に第六十三国立銀行、明治38（1905）年に信濃銀行の頭取となっている。

参考までに明治初年に当主を勤めた山田顕善の履歴を表2に掲げておいた。また上記のほかに文化・文政期の山田松斎など文化面での活動も顕著であるが、今回は直接これに関係する史料を収録し

表2 山田顕善履歴（第11代当主左衛門）

年	西暦	月日	履 歴
文政4	1821	8.1	出生、幼名四郎三郎
弘化元	1844	2	水内郡牟礼村高野式左衛門へ養子、謙介と改名（24才） 同所において水内郡新町大内勘左衛門長女さいと結婚
弘化4	1847	3	同家にて震災、家蔵皆潰
嘉永元	1848		同家離縁、山田へ復籍
嘉永2	1849		妻子改めて大内より山田へ引取
		12	出府、 仏光寺御門跡貸附所 出稼中、山田図書と称す
安政元	1854		浅草黒船町河岸において震災にあい家蔵焼失、三好町へ家作新築
安政6	1859	8	妻子一同帰国、兄縫之介入替出府につき同人宅に仮住居
万延元	1860		本家より分地、江部村分高10石8斗余頂戴、山田理兵衛と改名
文久2	1862	6	兄縫之介江戸にて死去
		8	分家建築落成につき新宅へと居す（本家より300両、その他は自費）
文久4	1864	正	父死去
		4	本家より村方 名主役 引受
		5	18か村助郷惣代 として出府、間山村小林与左衛門と同道、8月帰村
元治2	1865	3	中山鶯室江戸にて大病につき出府の処、母病氣急変につき帰宅
		4.10	母死去
		⑤	中山鶯室死後取片付のため出府、坂本幸右衛門と同道、8月帰国
		10	江戸貸付金取片付のため出府、小川五郎太夫と同道、12月帰国
慶応2	1866	2	堤防一件29か村惣代 として出府、丸山要左衛門と同道、4月帰国
明治2	1869	2	本家兄死去
		11	名主退役、文六へ引き渡す
		12	伊那県御用郡中身元ノ者惣代 として伊那郡飯島本県へ出頭、篠田市左衛門と同道、贖二分金引換方法につき商社設立の儀申し付けられる
明治3	1870	8	右商社事件につき嫌疑をかけられ、民部省より関係者が召し出され、惣代として出府、小林九之丞と同道、12月帰国
		12.19	夜田中野陣屋付村々人民暴動のため家宅悉皆焼亡、当分庚申堂に仮寓
明治4	1871		俵忠蔵 横浜商法 にて損失
		11	弟小川五郎太夫死去
明治5	1872	3	妻病にかかる
		6	忠蔵商法一件中野町喜兵衛・弥五左衛門より出訴を受け親子長野県へ出張中、本家健蔵事庄左衛門急死
		9	親戚一同協議の上顕善夫婦本家へ復籍、 11代相続荘左衛門と改名 、別家は忠蔵事理兵衛と改め家名を譲る
明治6	1873	2	第43区区长 拝命
		6.19	妻病死
明治7	1874	2	長野県庁新築につき郡中惣代として 建営事務重立取扱方 拝命
		3	第44区区长兼務 拝命
		7	第19大区区长 拝命（準15等官・月給9円）、第15中学区取締兼務
		11	為替方小野組瓦解につき当分 出納課附属 申し付けらる、しばらく勤務の上区長兼務難渋につき御免願
明治11	1878	4.20	県庁願済の上間山小林九之丞同道出京、横浜より松三郎引戻、5月29日同伴帰国
明治12	1879	1.20	郡画改正により副区長廃止、大区会所事務下高井郡郡長大井泰殿へ引き渡す
		1.21	下高井郡郡書記 拝命（14等官・月給12円）、病氣猶予を願い2月5日より中野町郡役所に勤務、2月8日・3月4日に辞表差出、3月15日御聞届
		12	岩船・吉田・片塩・江部西組・新保で小作事件あり、旧通に落着

典拠：「山田顕善履歴」（山田顕五氏所蔵、3-1-5）

註：没年は明治18（1885）年

ていないので重要とは考えるが説明を省略した（参考文献を参照）。

文書群の構造と内容

以上より山田家が多様な活動をしてきたことがうかがえる。これをもとに山田家の組織構造とその変遷を確定し文書群の階層構造を見出す必要があるが、今回の整理の範囲内という限定つきで、山田家の組織・活動歴に対応して以下のサブグループを設定した。

家	(→詳細は15頁)
地主	(→ 39頁)
諸経営	(→145頁)
堤防組合惣代	(→163頁)
村役人	(→179頁)
近代の役職	(→191頁)

今回収録した文書は経営関係の文書が7割強を占めているが、これは特に偏ったという訳ではなくこの文書群の全般的傾向にある程度応じたものと考えられる。「地主」関係文書と「諸経営」関係文書についてはこれを区分すべきかどうか迷うところであり、また「諸経営」という形で酒造業・金貸業などを一括して1つのサブグループのように扱うことにも問題がないわけではない。山田家の場合、地主経営を基盤としつつ酒造業・金貸業などを行い、近代に入っては地主資本を証券・銀行業などへ多角的に投資しているので諸部門の有機的な一体性は重要だと考えるが、これらを一括して「地主経営」などすると巨大なサブグループができてしまうし、また各部門ごと別々にサブグループを立てようとすると酒造部門、金貸部門、というようには十分確立していないものも多くあるので、やや便宜的ではあるが「地主」関係と「諸経営」関係の2つに大別することとした。

また近世の山田家の経営組織については、明確に組織化されたものを持ってはいなかったと考えられる（たとえば、内方と酒造方、呉服店などが分化し、内方が全体を統括していた信濃国埴科郡松代伊勢町八田家などとは異なる）。それゆえ「家」と「地主」・「諸経営」を区別するのも、厳密に言うならば困難さを伴う。たとえば生活上の出費と経営上の支出が十分区別されずに記録されたり、個々の奉公人の雇傭も家内部での仕事をするためのものか地主手作や酒造のためのものか判別できない。ここでは、明確に組織化こそされていないが、家は単なる生活の場としてだけでなく、地主経営も含めた諸経営を統括する場でもあったと考え、経営全般に関わるような史料はここに編成した。明治期以降の台所や、大正期以降の江部合名会社はこの機能の延長線上にあるのではないかと考える。

「堤防組合惣代」には、延徳耕地組合ほかが深刻な洪水被害をもたらしていた千曲川の治水に幕末維新期に取り組んだ際に、山田家が惣代としてこれに関係したときの史料を取めた。

「村役人」には、山田家が村役人を勤めた際の史料を取めたが、東江部村の名主を勤めたのはごく短期間であったため、残された史料は量的にも多くないし、質的にも一般的な村役人家文書中に含まれる文書類を十分には揃えていない。

「近代の役職」には、明治期以降（ごくわずかだが幕末維新期のものを含む）山田家が第22区戸長、第43区区長・第44区区長、第19大区副区長を勤めた際の史料を中心に、勸業集談会・下高井郡全部組

合会・平野村村会議員関係の史料をも収めた。

文書群の形態と整理の方針

本文書群は1957（昭和32）年に史料館に受け入れられたあと仮整理が行われ、多くの文書に史料番号ラベルが貼付された。今回の整理にあたっては、ラベル貼替の手間と史料への負担を軽減するために、番号が付いているものはそれを活かすことにした。地主小作関係帳簿など、1冊ずつ独立番号を与えた方がよいと思われる文書に枝番号がついている場合があるが、そのような場合もあえて番号を付けかえず、そのままとした。それゆえ従来公開してきたカード目録の番号と今回の史料番号とは基本的に齟齬しない。

他方、袋・こより紐などによる一括史料はまとめて掲載し、枝番号を付与することで物理的階層を示すことを原則とした。帳簿類の丁間に挟み込まれた書付類も同様に枝番号を付与して掲載し、備考にその状況を注記した。ただし史料館封筒に数点まとめて入れてあったものやビニール紐で縛ってあったものなど、受入前後の作業であることが明白なものについては、一括を崩して配列した場合もある。この場合でも仮整理時に与えられた通番号には従ったので、その結果これらの枝番号付文書は親番号や一連の枝番号から離れてリスト上で孤立して存在する形になっている。

なお史料の整理や目録編成にあたっては、史料群の有する階層構造を追求することに努めた。このような方法については史料館での研究蓄積があるが、ここでは紹介しきれないので安藤正人『記録史料学と現代』〔安藤98〕とその引用文献を参照していただきたい。

関連史料

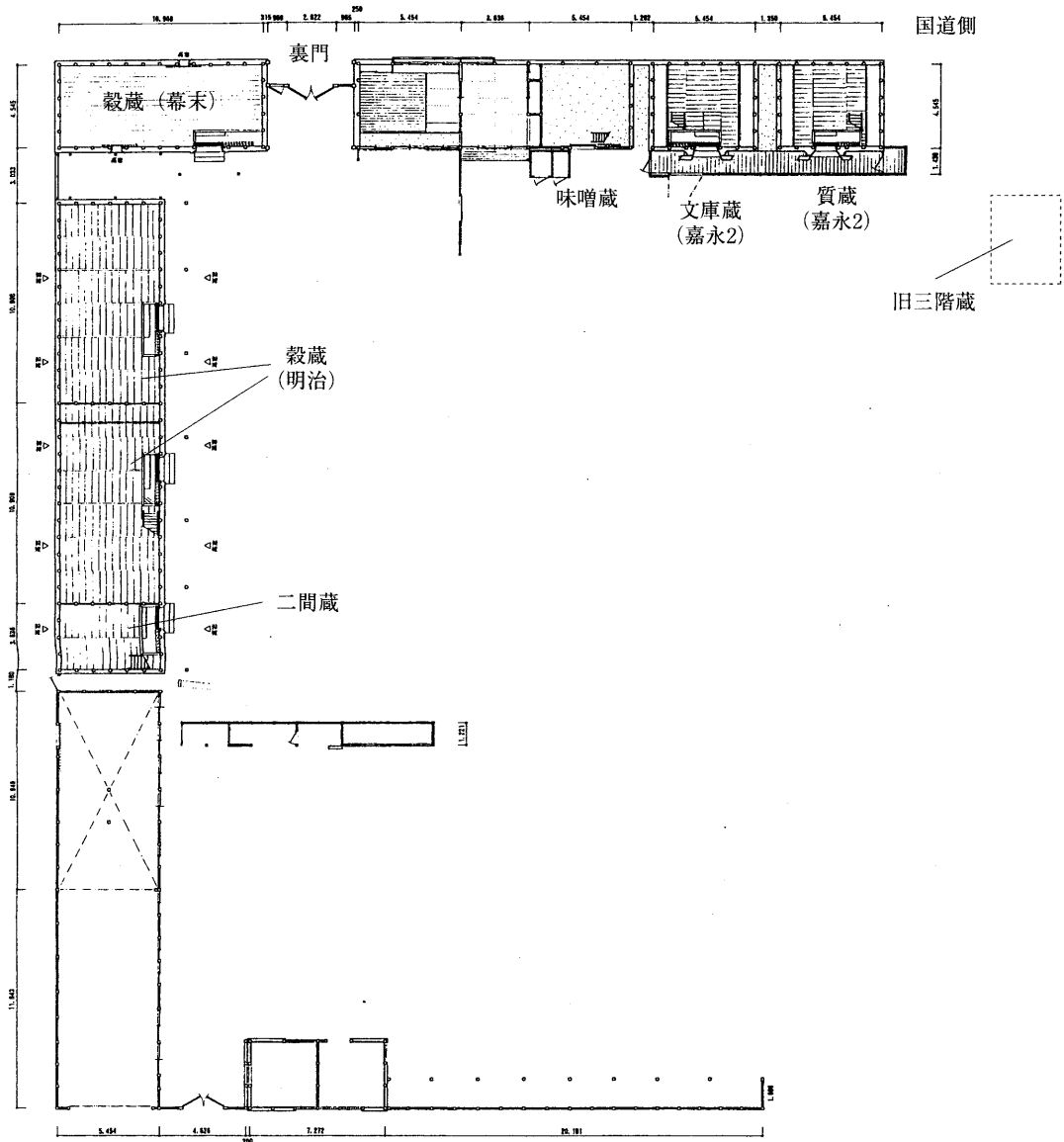
山田家文書の現地分については「入手の経緯」の項で述べたとおりである。また個別具体的な関連史料についてはサブグループの解題で記すが、ここでは全体に関わるものとして『中野市古文書目録』を紹介しておく。同目録は『中野市誌・歴史編（前・後編）』（中野市、1981年）刊行準備のために市内の個人所蔵古文書・区有文書などを調査して作成されたもので、所蔵者ごとの目録（手書きと活字の両方を含む）を数件分コピーして明治期の旧村を単位として製本されている。たとえば東江部村関係の諸文書は『中野市古文書目録 平野村』の巻に収められており、このように本目録によって中野市内各地区における古文書の所在状況について概要をつかむことが可能である。現在、この目録は中野市立図書館において公開されている。

参考文献

- ・安藤正人『記録史料学と現代—アーカイブズの科学をめざして—』吉川弘文館、1998年
- ・岩戸貞彦「維新时期における大河川治水工事—信州水内郡千曲川の瀬直し工事を中心に—」『信濃』26巻5号、1974年
- ・古川貞雄「近世地主の形成—信州高井郡東江部村山田家の研究—」『信濃』17巻2・3・7・8号、1965年
- ・同「山田松斎論序章」『高井』2号、1966年
- ・同「成立期質地地主制の構造—18世紀前半期信州高井郡山田家の研究—」『信濃』24巻10・11・12号、25巻2号、1972・1973年

- ・ 山田正子「近世後期質地地主制の進展と農村構造の変質—信州高井郡東江部村における地主小作関係、および年季奉公人放出の問題—」『信濃』34巻5号、1982年
- ・ 横山憲長「土地集積利回りと地租改正—長野県高井郡東江部村山田家の場合—」『三田学会雑誌』73巻3号、1980年
- ・ 同「松方デフレ期における地主の投資行動—長野県下高井郡山田家の場合—」『土地制度史学』87号、1980年
- ・ 同「旧長野県における壬申地券調・地租改正と地主経営—高井郡東江部村山田荘左衛門家の影響—」『長野県近代史研究』10号、1981年
- ・ 中野市誌編纂委員会『中野市誌・歴史編（前・後編）』中野市、1981年
- ・ 湯本軍一・古川貞雄・横山憲長・山田正子『山田家のあらまし』中野市教育委員会、1998年
- ・ 山田正子編著『信濃文人の旅—山田松斎宝善堂紀行・参宮紀行—』龍鳳書房、2001年
- ・ 長野県立歴史館『文人墨客がつどう—19世紀北信濃の文芸ネットワーク—』同館図録、2001年
- ・ 『長野県の地名・日本歴史地名大系』平凡社、1979年
- ・ 『角川日本地名大辞典・長野県』角川書店、1990年

図2 山田家土蔵群図



出典：信濃建築史研究室作成「山田家住宅・土蔵群平面図」
 註：書き込みは山田家での聞取による。母屋は明治3年に焼失

家

年代 成立年代 元禄16（1703）年～昭和13（1938）年

数量 362点

歴史

図3の山田庄左衛門家系図をもとに家の歴史を見てみると、先ず同家が近世前期以来多くの分家を出してきたことがわかる。主なところでも17世紀に理右衛門家（図4）、文右衛門家、茂右衛門家、18世紀に文六家、庄兵衛家、19世紀に鶴屋、亀屋（理兵衛家）が分かれており、その分布を現在の地図上に表記して図5を作成しておいた。これら一族の関係は現在でも保たれているが（積善会の運営など）、かつてはより一層緊密なもので、本家の相続人決定の際には諸分家も集めた親族会議が開催されることもあった。なかでも名主を長く勤めた理右衛門家は分家中最有力なものの一つで、安永2（1773）年には幼少の子供を残して死去した庄左衛門の印形管理をめぐって一族を二分した相論を引き起こすが、江戸の奉行所において、印鑑は妻ゑん・親類・村役人立会の上で封印して名主理右衛門に預け、諸勘定についても幼少の丑之助（後の松斎）が成人するまでは同様の立会で管理すること、を命じられて決着した。

庄左衛門家自体の家の機能としては、生活に関わる面のほかに経営全体に関わる面があると考えられる。その点で明治30（1897）年代以降、山田家には台所という組織が形成されることに注目される。台所は正式にはおそらく「山田本宅台所帳場方」と言うようで、史料には「山田台所帳場」、「山田台所」、「山田帳場」、「山田本宅帳場」などとも表記されている。以下の史料は明治40（1907）年「塩味噌醤油使用初日及終日記載帳」（302、28頁）の表紙裏書であるが、その機能の一端を伝えている。

【史料1】

注意

一、左ノ現品ノ帳簿ハ御茶間ニ有リ、台所帳簿方ハ総テ御茶間ヘ御相談ヲ遂ケタル上、物品使用スルトキハ別ニ醤油樽及ヒ味噌桶大中小ノ區別并器具何年製ノ物品一個毎ニ該帳簿ニ記載、各々物品使用始メタル月日初日ヲ記載シ、物品各々使用日数幾日間ニ物品使用終リタルヲ了知スル為メ、台所帳簿方ハ物品各々便費ノ際其趣キヲ御茶間ヘ申上帳簿ヲ借受帳簿ノ整理ヲナシタル上御茶間ヘ該帳簿ノ返戻ヲナスヘキコトヲ要ス、塩ノ使用モ台所帳簿方ハ右ノ注意ヲ履行ス

このように台所の帳簿方が「御茶間」（当主とその妻など本家の主要構成員のことと思われる）の監督下で、帳簿に記録しながら、自家消費分の米や味噌仕込みに使う穀物、奉公人飯米、酒造米などの出入を管理していた様子がうかがえる。

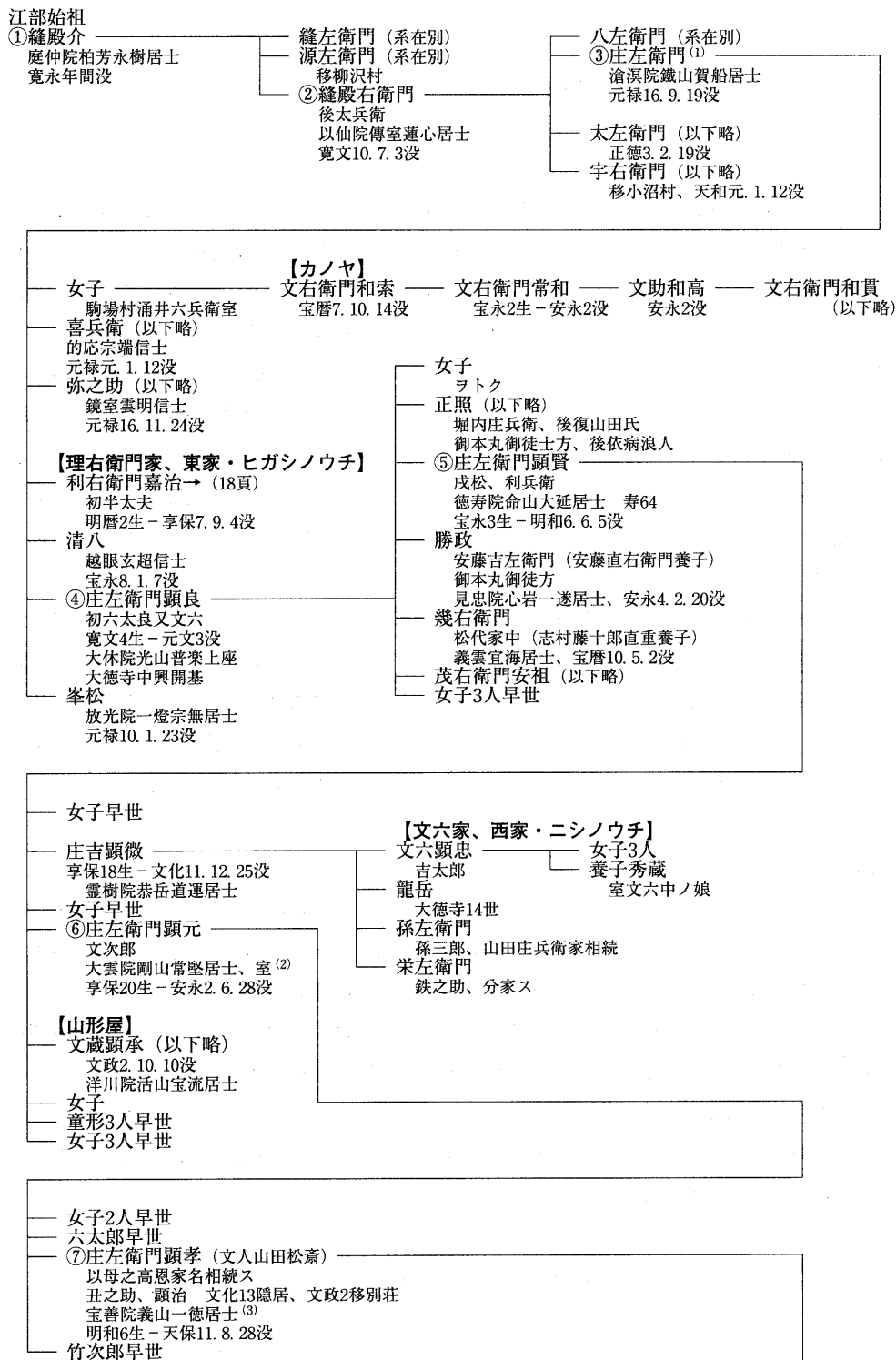
構造と内容

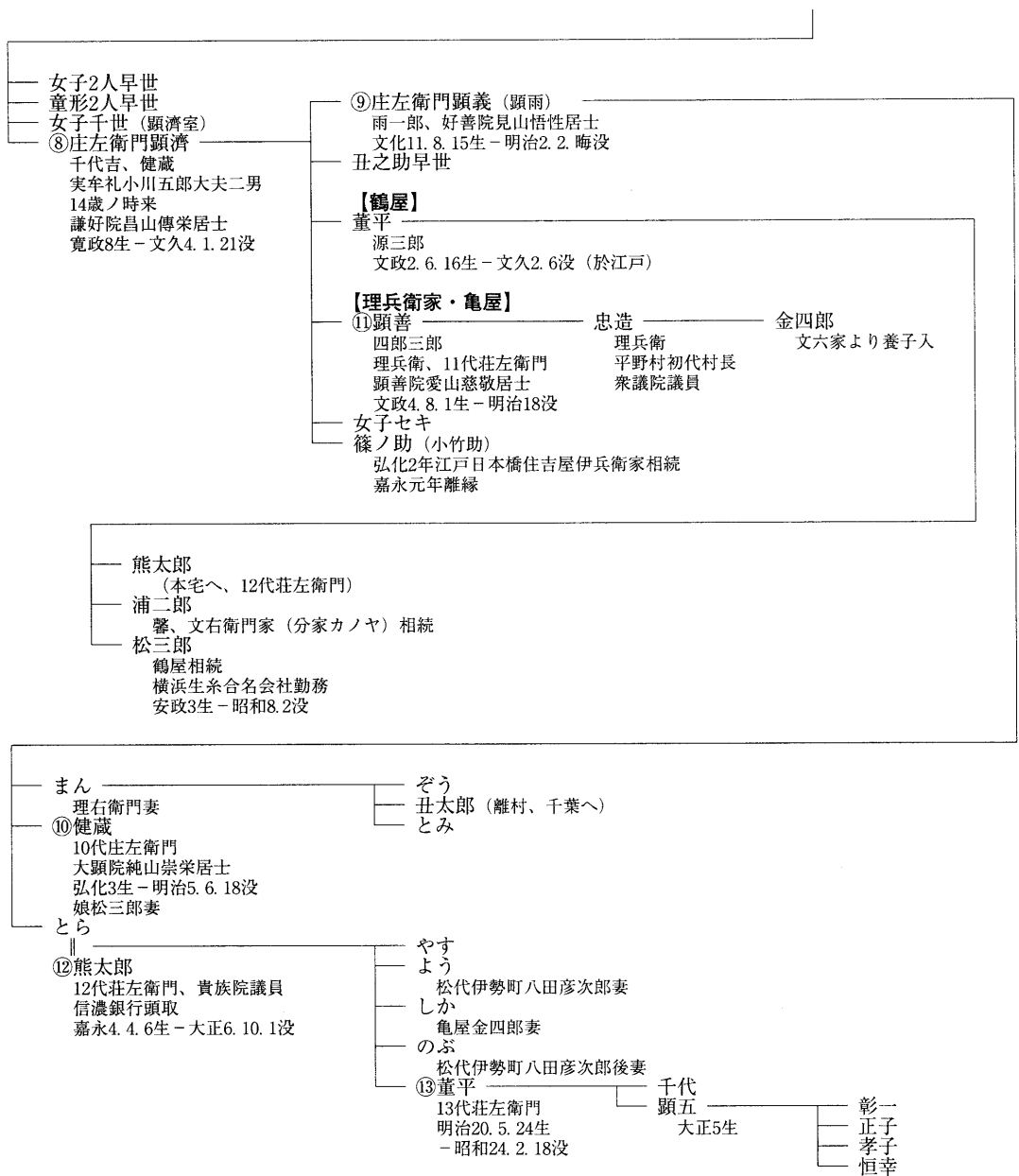
以上の理解にもとづいて、ここでは（1）経営と（2）家政の二つのシリーズを編成した。

（1）経営

ここでは、サブシリーズとして「家計」、「奉公人・雇傭」、「台所」、「江部合名会社」を編成した。

図3 山田庄左衛門家系図





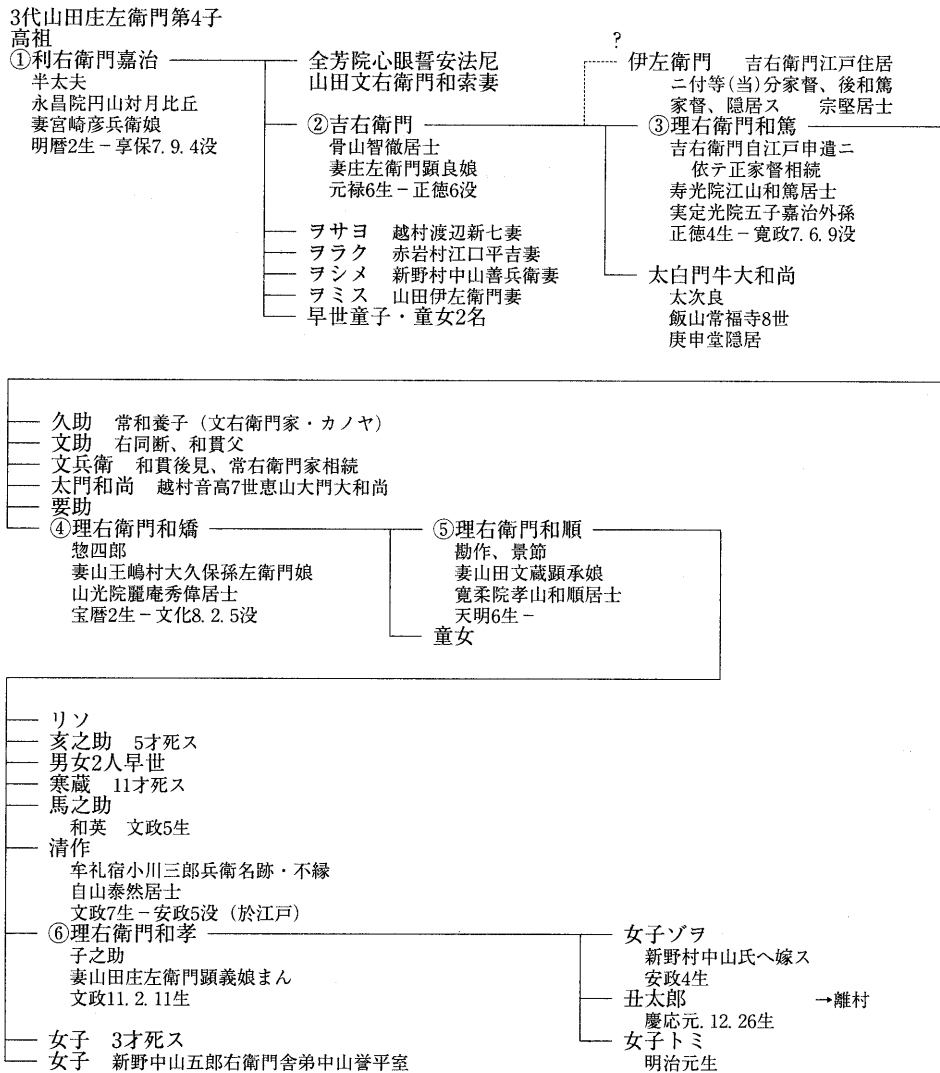
典拠：「信濃山田氏系譜」（山田顯五氏所蔵）

「年回弔表」（山田顯五氏所蔵、2-1-20）、明治以降の一部は山田正子氏の御教示によるデータ

註

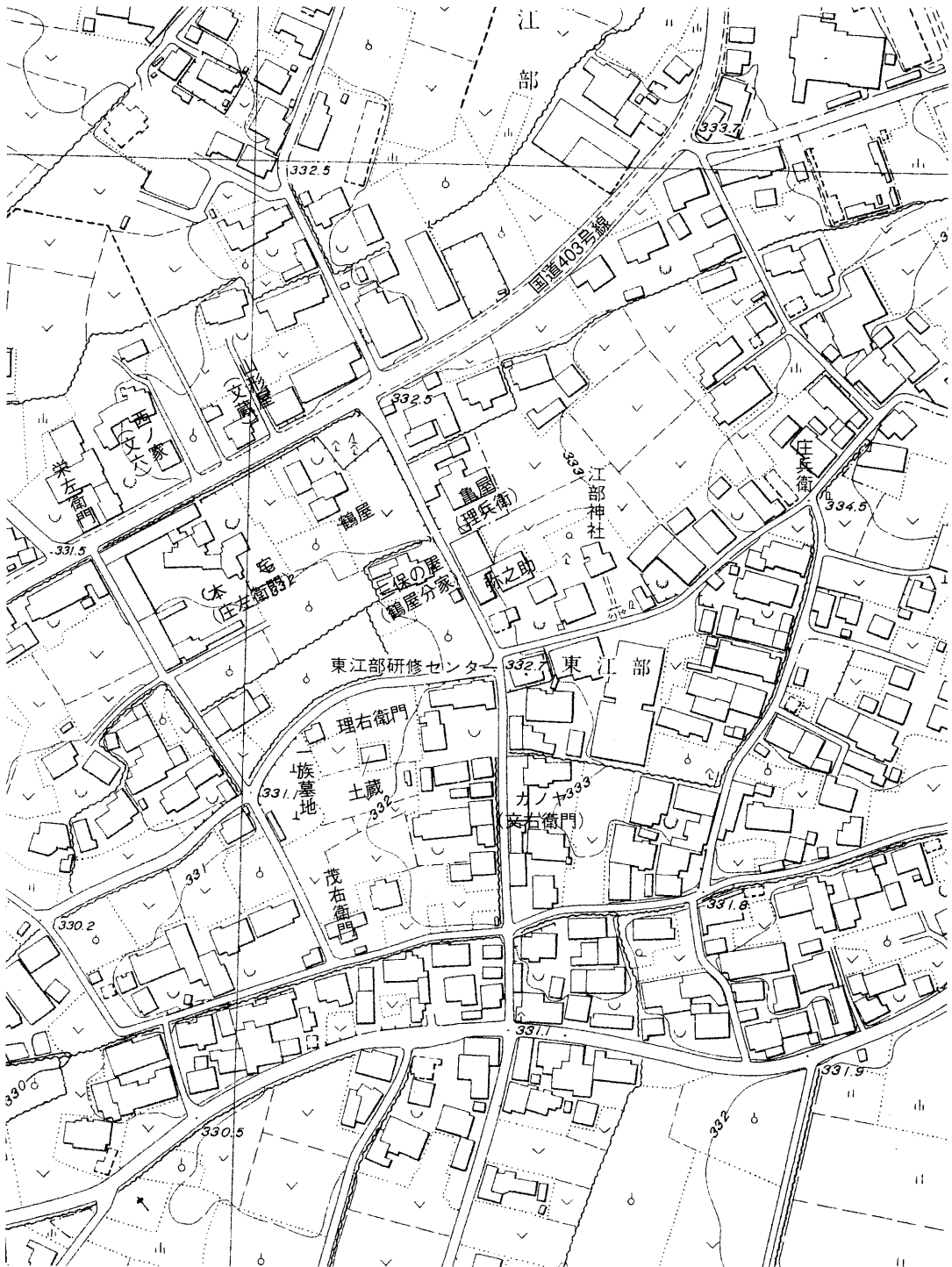
- 「寛文延宝之頃西江部村帳面ニ東江部村ヨリ入作沖（迎カ）伊之介高十五石余ト在、考幼名カト」、「故家ヲ太左衛門譲、別ニ一家ヲナサレタリ、以仙院夫婦ヲ孝養ス」
- 「領悟院一山指大姉顯元君室、顯孝松齊母、飯山上町中野甚左衛門娘」
- 「後名静宇太古号松齊文化丙子隠居称太一又改縫殿助文政二巴丑移別莊」
「初室長沼村吉村伴七娘無子早死後配中山氏新野村中山五郎右衛門娘四十才ニ而死松齊此春四十九齡也」

図4 山田理右衛門家系図



典拠：「信濃山田氏系譜」(山田顯五氏所蔵)

図5 山田家本家分家分布図



出典：「中野市基本図」（中野市提供）

註：書き込みは山田正子氏からの聞取による

「家計」には狭義の家計（生活上の消費など）にかかわるものと、経営全般に関わるものとを収めた。主なものとして元禄享保期の万売買帳、文政期から明治初年の諸入用日記、明治30（1897）年代後半以降の当座附込帳、などがある。万売買帳は破損が著しいが、木綿・繰綿、粳・糠・大小麦・小豆など穀物類、煙草などの販売と、種・大豆・布（六川市）の購入など、様々なものの売買が記録されている。諸入用日記は日常生活的な支出の記録であるが、わずかながら杜氏など職人手間賃や酒造鑑札書替運上金など経営関係の支出も含んでいる。当座附込帳はあらゆる種類の金銭出入を書きとめたもので、生活出費から税金の支払、元利金の受取、粳の売渡などまで様々な収支が日順で記録されている。

「奉公人・雇傭」には、主に近世の奉公人請状・夫食併手間帳（明治初年）・夫食日傭修繕附込帳（明治21年以降）を収めた。後2帳はほぼ同じ性格のもので、穀物・炭・塩などの使用記録と職人手間賃の記載が主となっているが、これらは家内部での私的な消費記録に限定されず、亀屋・質屋・酒蔵などへ出す米や商社その他への米貸出の記載などが多数含まれている。奉公人や職人も家内部の手伝だけではなく、経営全体にかかわっての雇傭であったと考えられる。

「台所」には、明治30（1897）年代以降の山田本宅台所が管理していた帳簿類を収めた。台所の性格については上述の通りだが、ここでも飯米・味噌・醤油といった家内部の消費記録だけでなく、酒蔵・亀屋・山形屋へ渡す米、諸方への貸出米などが扱われている。また史料点数は少ないが、明治45（1912）年には田方地類変換調なども行っていた（大正期に入ると山田本宅養蚕部・農業部などが史料上に現れるが、同じ本宅内部にあって関係の深いものと考えここに配置した）。

「江部合名会社」の史料は2点だけで、この関係の史料はもっぱら現地分の中に多量に残っている。

(2) 家政

ここには、家の私的・内部的な活動によって作成・蓄積された史料を編成した。サブシリーズとしては「相続」、「婚礼・養子縁組」、「法事・寺社」、「家普請」、「交際」、「鉄砲所持」、「日記・文化」、「順碩老不幸一件」、「衆議院選挙活動」の9つを設定したが、必要なものについて簡単に説明をしておきたい。

「相続」には、庄左衛門印形の管理をめぐって本家と分家理右衛門家の間で争われた相論の史料（上述）を収めた。

「婚礼・養子縁組」には、山田家の娘たちの婚礼準備にかかわる諸史料のほかに、8代庄左衛門顕濟の4男小竹助（篠ノ助）が弘化2（1845）年12月に江戸日本橋新右衛門町の呉服太物商住吉屋に婿養子となって名跡を継ぎ、その後嘉永元（1848）年8月に離縁するまでの諸記録を収めた。小竹助は東江部村の近隣出身であるという信濃屋嘉兵衛（牛込改代町家持）や関斎宮（仏光寺門跡家来）の仲介を経て住吉屋を養子相続し（神谷）伊兵衛を名乗るが、住吉屋が想定した以上に経営難だったことなどの諸事情により離縁を申し出、その際に持参金200両・融通金100両ほかの扱いをめぐって訴訟に及んでいる。

「法事・寺社」は、氏神、大徳寺、法事からなっているが氏神（現在の江部神社）・大徳寺（片塩村在、高井郡飯田村玄照寺末曹洞宗延命山）はいずれも寄進関係であり、特に檀那寺である大徳寺へ

の寄進については現地分の中にも数多くの関係史料が残されている。法事の項には享和2（1802）年の滄溟院（3代庄左衛門）百年忌法事関係の史料がある。その中には「百年忌ニ付金銭取替証文焼棄并年貢未進以勘弁免除」と大書された紙（180-4、34頁）もあるが、どの範囲でこれが実施されたかなど詳細は今後の検討課題であろう。

「日記・文化」には、宝暦9（1759）年の「道中日記帳」、明治3（1870）年の「松代騒動之記」などがある。前者は、文次郎（6代当主）、庄吉（文次郎兄）、理右衛門・茂右衛門（分家）、和尚の5名が伊勢、紀伊半島、高野山、近畿、宮津などを旅した際の道中記である（行程と出費の記載がほとんど）。後者は明治3年11月の松代騒動に参加した近隣の山ノ内や南大熊・小沼（松代藩領）の2000人が戻りがけに山田家に酒食を要求した際のものである。

「順碩老不幸一件」は史料がまとまっているので一項目とした。順碩老というのは山田茂右衛門安祖（4代庄左衛門顕良の五男）の子で医師を業としていた人と考えられる。この史料は文政9（1826）年2月に死去した際に親類一同が立ち会って、有錢・香典・家財道具売払金・葬式代・年貢諸役金などの差引勘定を行った際のもものが中心である。なお、嘉永3（1850）年の東江部村宗門改帳（理右衛門家文書1）には72才の医師順碩（持高1石3斗9升1合）が妻きいとともに記載されており、相続がなされたようである。

「衆議院選挙活動」は、「長野県二区選挙人名簿」という表書のある袋入史料である。そのうちの一点に山田庄左衛門ら連名の島津忠貞への投票依頼状があるので、これらの史料はおそらく島津を応援した際のものかと思われる。

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

家

経営

家 計

未万売買帳 品物受取書など後に括付、破損大	元禄16未正月朔	横長美・1冊	104-1
西万売 [] 受取書・書状など後に括付、破損大	宝永2年酉正月吉日	横長美・1冊	104-2
万売買覚帳 東江部村山田勝濃助 破損大、綴紐切	宝永5年戊子正月良辰	横長美・1冊	104-3
万売買覚帳 高井郡山形屋 破損大、開披不能	享保6丑歳～同12未7月改	横長美・1冊	104-4
万いろいろ覚帳（板・釘・米数等書上） 久八	享保17年子ノ2月	横長半・1冊	105
愛鷺堂日記（諸買物覚）	天明8戊申年春王正月甲子	横長美・1冊	174-2
亥諸用覚帳 高井郡東江部村山田莊左衛門 綴紐切、ふけ痛	寛政3年正月吉日	横長美・1冊	111
巳諸入用日記	文政4年正月吉日	横長美・1冊	108-3
午諸入用日記	文政5年正月吉日	横長美・1冊	108-1
巳諸入用日記	明治2年正月吉日	横美半・1冊	181-1
午諸入用日記	明治3年正月吉日	横美半・1冊	181-2
金銭出入帳	明治3年午12月20日	横美半・1冊	182-4
（髪結兼吉分金銭勘定書付） 182-4の丁間挟込		切紙・1通	182-4-1
未諸入用日記	明治4年正月吉日	横美半・1冊	181-3
中野県暴動見舞遣覚 山田庄左衛門	明治4辛未年正月	横美半・1冊	225-1
申諸入用日記	明治5年正月吉日	横美半・1冊	181-4
癸酉諸入費日記	明治6年1月吉日	横美半・1冊	181-5
甲戌諸入費日記	明治7年1月吉日	横美半・1冊	181-6
乙亥諸入費日誌	明治8年1月吉日	横美半・1冊	181-7
（万取支覚帳、証書印紙出入・米値段ほか） 江部邨山田会計所	明治5～明治21年	横美列・1冊	388
中邨要之助東京用（本・薬ほか代金書上） 388-1～23は丁間挟込		横切紙・1通	388-1
（炭三十拾円分約束の書付）		小切紙・1通	388-2
モロシアゲマスル（金2円20銭受取） アサヒヤホンタナ（東京神田区）		切紙・1通	388-3
（卯・寅年下米・地米書上）		切紙・1通	388-4
（辰2月～巳1月分利金書上）		切紙・1通	388-5
（辰年米値段書上） 永峯清蔵→東江部村山田庄左衛門	1月28日	切紙・1通	388-6

様			
記（塩代金書上）		切紙・1通	388-7
（巳2月～午1月分利金書上）		切紙・1通	388-8
記（釘代金受取） 紀伊国屋倉吉（新材木町・紀倉）→ 高津伊八郎様	7月22日	切紙・1通	388-9
（午2月～未1月分利金書上）		切紙・1通	388-10
（午2月～未1月白米値段書上）		切紙・1通	388-11
高沢注文（報知新聞・足袋・釘抜など雑貨品注文書）	申11月25日	切紙・1通	388-12
明治十六年度酒造米（下米・地米高書上）		切紙・1通	388-13
十九年戌冬仕入米分（地古米・木嶋米高書上）	（明治19）	切紙・1通	388-14
（大豆・小麦・炭など代金書上）		切紙・1通	388-15
廿年白米小売相場	（明治20）	切紙・1通	388-16
廿一年子白米小売相場	（明治21）	切紙・1通	388-17
明治廿二年白米小売相場	（明治22）	切紙・1通	388-18
明治廿三年白米相場	（明治23）	切紙・1通	388-19
（白米相場書付）		切紙・1通	388-20
（玄米・白米相場尋書） 本宅→山形屋様	11月6日	切紙・1通	388-21
（白米相場書付）		切紙・1通	388-22
（明治26年白米相場書付）	（明治26）	切紙・1通	388-23
明治廿七年白米直段調	（明治27）	切紙・1通	388-24
（飲食代受取帳） 柳長→山田様	明治23年1月18日改	横美半・1冊	400
金銭〔 〕判取帳（山田宛諸職人・商人代金受取帳） 下高井郡平野邸山田莊左衛門 表紙文字かすれ	明治28年末5月～明治 35年4月	横美列・1冊	191
当座附込帳（諸買物代のほか諸税金等も含む、以下同）	従明治37甲辰年11月至 明治39丙午年1月	半・赤罫紙・1冊	207-1
当座附込帳	従明治39丙午年2月至 明治40丁未年5月	半・赤罫紙・1冊	207-2
当座附込帳	従明治40丁未年5月至 明治41戊申年8月31日	半・赤罫紙・1冊	207-3
附込当座帳	従明治41年戊申9月至 明治43戊辰年4月30日	半・赤罫紙・1冊	207-4
（諸代金書上） 207-4に挟込		切紙・1通	207-4-1
附込当座帳	従明治43年甲戌5月至 明治45年3月	半・赤罫紙・1冊	207-5
当座附込帳	従明治45年4月至大正2 年12月末日	半・青罫紙・1冊	207-6
廃道敷代領取証 大字吉田惣代、同道路掛→山田莊左 衛門殿 207-6-1～7は丁間挟込	明治45 7月5日	切紙・1通	207-6-1
高木福治差引（金銭勘定書）		切紙・1通	207-6-2

利息入帳通知書 株式会社小布施銀行→山田莊左衛門殿、外	大正2年12月29日	切紙・1通	207-6-3
(利息払込請求通知書) 株式会社長野実業銀行中野町支店→山田莊左衛門殿	大正2年12月10日	切紙・1通	207-6-4
(金子勘定書付)		切紙・1通	207-6-5
(第1～4期の期限書上)		切紙・1通	207-6-6
(諸買物代書上)		切紙・1通	207-6-7
当座附込帳	従大正3甲寅年1月至大正4乙卯年4月30日	半・青罫紙・1冊	207-7
当座附込帳	従大正4乙卯年5月至大正5丙辰年7月	半・青罫紙・1冊	207-8
大正四年一月十三日と作徳へ内渡之分 207-8-1～3は丁間挟込		切紙・1通	207-8-1
記(20円受取) 山崎啓作→山田様	大正4年9月19日	切紙・1通	207-8-2
(金銭勘定書付)		切紙・1通	207-8-3
当座附込帳	従大正5丙申年8月至大正6丁巳年7月	半・青罫紙・1冊	207-9
当座附込帳	従大正6丁巳年8月～大正7年8月31日	半・青罫紙・1冊	207-10
請求書(蘭代・蒸殺費ほか) 山田本宅→山形屋殿 207-10-1・2は丁間挟込		切紙・1通	207-10-1
(入出金差引勘定書付)		切紙・1通	207-10-2
鯉売目録六駄分割付覚(代金受取) ひみゑ山や甚右衛門→信州江部村山田半太夫殿	卯11月9日	堅継紙・1通	455-11
覚(鍛冶屋代金書上) 村清助→村庄左衛門様	卯12月	切継紙・1通	413-8
年中油酒薪木覚帳		横長半・1冊	115
(金子勘定書)		折紙・1通	452-1-2
材木之覚(杓野村材木代金1分300文のうち700文受取残金渡願)		堅紙・1通	452-1-3
(諸白代、新酒代書上) →庄兵衛様		切紙・1通	452-1-13

奉公人・雇傭

相渡シ申証文之事(初12俵売却、春渡し) 芋川村預り主組頭加兵衛、同村又兵衛→文六殿	宝永元年申極月27日	堅紙・1通	455-10
年々男女奉公人改帳 高井郡東江部村山田理兵衛 表紙破損	(享保年間)	横長半・1冊	126
(奉公人請状一括) (包紙紙背)「小作仕ニ付相定連判一札之事」(下書)	元文6	包紙一括・15通	452-1-1
御請状之事(草間村甚助、1年季、金1両2分) 草間村人主太左衛門、庄右衛門、甚助→庄左衛門殿	元文6年酉2月2日	堅紙・1通	452-1-1-01
御請状之事(富村三右衛門、1年季、金1両2分) 富村人主半右衛門、同所請人七兵衛、三右衛門	元文6年酉2月2日	堅紙・1通	452-1-1-02

御請状之事（堅田村竹八、1年季、金1両2分） 田村人主弟長八、請人いとこ文六→庄左衛門殿	堅	元文6年酉2月2日	縦紙・1通	452-1-1-03
女請状之事（草間村ゑん、1年季、金1分600文） 草間村女人主親武右衛門、同所請人遠助→庄左衛門殿		元文6年酉2月2日	縦紙・1通	452-1-1-04
御請状之事（再奉公、金2分銭700文） 親宇兵衛、惣兵衛→庄左衛門殿 端裏書「はし」	羽場村人主	元文6年酉2月2日	縦紙・1通	452-1-1-05
御請状之事（今蔵、再奉公、金1両2分） 奉公人兄茂右衛門、奉公人今蔵→庄左衛門殿	西江部村	元文6年酉2月2日	縦紙・1通	452-1-1-06
御請状之事（草間村半左衛門、1年季、金1両2分） 草間村奉公人半左衛門、同所請人三右衛門→庄左衛門殿		元文6年酉2月2日	縦紙・1通	452-1-1-07
御請状之事（安源寺村しげ、1年季、金2分） 源寺村人主宇之助、請人佐右衛門→庄左衛門殿	新安	元文6年酉2月2日	縦紙・1通	452-1-1-08
女請状之事（片塩村かん、1年季、金1分600文） 片塩村人主新五右衛門、同所請人義左衛門→庄左衛門殿		元文6年酉2月2日	縦紙・1通	452-1-1-09
御請状之事（草間村与助、1年季、金1両2分） 草間村人主奥松、同所請人織右衛門、同所奉公人与助→庄左衛門殿	草	元文6年酉2月2日	縦紙・1通	452-1-1-10
女請状之事（大又村なつ、1年季、金1分銭600文） 大又村女人主甚助、同請人岡右衛門		元文6年酉2月	縦紙・1通	452-1-1-11
女請状之事（若宮村さん、1年季、金1分600文） 若宮村人主親文右衛門、請人権介→庄左衛門殿		元文6年酉ノ2月	縦紙・1通	452-1-1-12
女請状之事（押切村とま、1年季、金2分350文） 押切村人主兄平八、請人女伯父半左衛門、同半左衛門 俣市左衛門→庄左衛門殿		元文6年酉ノ2月2日	縦紙・1通	452-1-1-13
覚（あぶらけ等数量書上） 「戌年」（奉公人請状一括）（包紙紙背）「御請状之事」 （芋川村そめ、一年季、金3分銭400文）明和2酉年2月2日、 差出・芋川村人主次郎兵衛、請人権右衛門	反古紙一枚とも	明和3	切紙・1通 包紙一括・21通	452-1-1-14 452-2
御請状之事（芋川村くめ、1年季、金3分2朱） 川村人主惣右衛門、請人政右衛門→文次郎殿	芋	明和3戌2月2日	縦紙・1通	452-2-1
御請状之事（赤塩村とよ、1年季、金3分2朱） 塩村人主惣左衛門、請人八兵衛→文次郎殿	赤	明和3戌2月2日	縦紙・1通	452-2-2
御請状之事（赤塩村太助、1年季、金1両2分2朱） 赤塩村人主又六、請人与助、奉公人太助→文次郎殿		明和3戌2月2日	縦紙・1通	452-2-3
御請状之事（芋川村久蔵、1年季、金1両2分2朱） 芋川村人主惣右衛門、請人政右衛門、奉公人久蔵→文次郎殿		明和3戌2月2日	縦紙・1通	452-2-4
御請状之事（草間村つね、1年季、金3分2朱） 間村人主平七、請人久七→文次郎殿	草	明和3戌2月2日	縦紙・1通	452-2-5
御請状之事（神代村しも、1年季、金3分2朱） 代村人主平七、請人大蔵→文次郎殿	神	明和3戌2月2日	縦紙・1通	452-2-6
御請状之事（神代村さき、1年季、金3分2朱） 代村人主甚五兵衛、請人庄七→文次郎殿	神	明和3戌2月2日	縦紙・1通	452-2-7
御請状之事（赤塩村仲右衛門、1年季、金1両2分2朱） 赤塩村人主次郎右衛門、請人角右衛門、奉公人仲右衛門→文次郎殿		明和3戌2月2日	縦紙・1通	452-2-8

御請状之事（赤塩村乙八、1年季、金1両2分2朱） 赤塩村人主小左衛門、請人太七、奉公人乙八→文次郎殿	明和3戊2月2日	縦紙・1通	452-2-9
御請状之事（柏原村七兵衛、1年季、金1両2分2朱） 柏原村人主傳兵衛、請人源右衛門、奉公人七兵衛→文次郎殿	明和3戊2月2日	縦紙・1通	452-2-10
御請状之事（大倉村弥七、1年季、金1両2分2朱） 大倉村人主源六、請人六右衛門、奉公人弥七→文次郎殿	明和3戊2月2日	縦紙・1通	452-2-11
御請状之事（芋川村さん、1年季、金3分2朱） 芋 川村人主佐七、草間村請人惣兵衛→文次郎殿	明和3戊年2月2日	縦紙・1通	452-2-12
御請状之事（赤塩村五右衛門、1年季、金1両3分300文） 赤塩村人主三之助、請人市太夫、奉公人五右衛門→文次郎殿	明和3戊2月2日	縦紙・1通	452-2-13
御請状之事（西江部村よし、1年季、金1両錢300文） 西江部村人主善右衛門、請人惣四郎→文次郎殿	明和3年戊2月2日	縦紙・1通	452-2-14
御請状之事（赤塩村はつ、1年季、金3分2朱） 赤 塩村人主重兵衛、請人市太夫→文次郎殿	明和3戊2月2日	縦紙・1通	452-2-15
御請状之事（芋川村さよ、1年季、金3分2朱） 芋 川村人主浅右衛門、請人藤右衛門→文次郎殿	明和3年戊2月2日	縦紙・1通	452-2-16
御請状之事（東江部村りよ、1年季、金1両） 東江 部村人主團藏、請人治右衛門→文次郎殿	明和3年戊2月	縦紙・1通	452-2-17
御請状之事（赤塩村与五兵衛、1年季、金2両1分300文） 赤塩村人主又市、請人又六、奉公人与五兵衛→文次郎殿	明和3年戊2月2日	縦紙・1通	452-2-18
御請状之事（赤塩村又七、2年季、金3両） 赤塩村 人主与四郎、請人平六、奉公人又七→文次郎殿	明和3年戊2月2日	縦紙・1通	452-2-19
御請状之事（芋川村さわ、1年季、金3分2朱） 芋 川村人主又助、同村請人仙右衛門→文次郎殿	明和3年戊2月2日	縦紙・1通	452-2-20
御請状之事（片塩村宇右衛門、1年季、金1両2分2朱） 片塩村人主四郎右衛門後家、請人傳次郎、奉公人宇右衛門→文次郎殿	明和3年戊2月2日	縦紙・1通	452-2-21
壬子諸職覚（職人出勤覚） 山田庄左衛門顯孝	寛政4年正月吉日	横長美・1冊	113
巳夫食併手間帳	明治2年正月吉日	横美半・1冊	183-1
午夫食併手間帳	明治3年正月吉日	横美半・1冊	183-2
未夫喰併手間帳	明治4年正月吉日	横美半・1冊	183-3
申夫食并手間帳	明治5年正月吉日	横美半・1冊	183-4
（初送先書上） 183-4-1～5は丁間挟込		切紙・1通	183-4-1
（蔵ごと初俵数書上）		切紙・1通	183-4-2
（諸穀類俵数書上）	未12月30日改	切紙・1通	183-4-3
（田上村彦逸分手間代書付）		切紙・1通	183-4-4
記（田上村彦造分手間代書付）		切紙・1通	183-4-5
癸酉夫食并手間帳	明治6年1月吉日	横美半・1冊	183-5
甲戌夫食并手間帳	明治7年1月吉日	横美半・1冊	183-6

記（諸瓦代書上） 栗林瓦屋八右衛門→東江部村山田庄左衛門様	戌12月	切継紙・1通	183-6-1
乙亥夫食并日雇帳	明治8年1月吉日	横美半・1冊	183-7
夫食日傭修繕附込帳	自明治21年2月至同22年1月	横美半・1冊	387-1
夫食日傭修繕附込帳	自明治22年丑2月至同23年寅1月	横美半・1冊	387-2
夫食日傭修繕附込帳	自明治23年寅2月至同24年卯1月	横美半・1冊	387-3
夫食日傭修繕附込帳	自明治24年卯2月至同25年辰1月	横美半・1冊	387-4
夫食日傭修繕附込帳	自明治25年辰2月至同26年巳1月	横美半・1冊	387-5
夫食日傭修繕附込帳	自明治26年巳2月至同27年午1月	横美半・1冊	387-6
雇人別万覚帳（賃金・貸物覚ほか） 山田理右衛門	明治26年ヨリ（～32年）	横半・1冊	228
（舂・洪紙・蚕種紙代など勘定書付） 228-1～3は丁間挟込	4月12日	切紙・1通	228-1
（清作分賃金・諸代金差引勘定書付）	明治29年	切紙・1通	228-2
亥九月十六日水車普請懸り（諸費用書上）		切継紙・1通	228-3
夫食日傭修繕附込帳	自明治27年午2月至同28年末1月	横美半・1冊	387-7
夫食日傭修繕附込帳	自明治28年末2月至同29年申1月	横美半・1冊	387-8
夫食日傭修繕附込帳	自明治29年2月至同30年1月	横美半・1冊	387-9
夫食日傭修繕附込帳	自明治30年酉2月至同31年戌1月	横美半・1冊	387-10
夫食日傭修繕附込帳	自明治31年戌3月	横美半・1冊	387-11
（付落額書上） 387-11に挟込		切紙・1通	387-11-1
夫食日傭修繕附込帳	自明治32年亥4月	横美半・1冊	387-12
（4月～7月出米総額書上） 387-12に挟込、下敷1枚共		切紙・1通	387-12-1
（書状、伊右衛門引取につき） 押切村 6、永井重左衛門→江部山田庄左衛門様	2月13日	横切継紙・1通	452-1-18

台 所

諸品売物帳（粉・粉・糎など） 山田台所	明治31年3月～明治34年	横美半・1冊	193
味噌醬油漬物醸造仕込法 台所手控	明治31年3月日	横美半・1冊	301
手控帳（白米・炭など消費記録） 山田台所	明治32年亥7月ヨリ明治36年卯11月マテ	横美半・1冊	194-1
（正米有高書付） 194-1に挟込		切紙・1通	194-1-1

酒造米渡帳（米渡人桂助） 山田本宅	自明治32年11月	横美半・1冊	197-2
白米渡帳（山形屋宛） 山田本宅	明治33年11月	横美半・1冊	198
玄米搗揚帳 山田台所	従明治34年辛丑2月～明治39年	横美半・1冊	203
売物帳 山田台所	明治34年辛丑第2月（～大正元年）	横美半・1冊	312
炭蔵入覚 平野邨山田本宅→倭邨田上歌五郎殿、間山小林永太郎殿	明治34年9月16日～明治38年	横美半・1冊	196
雑品受払帳 山田帳場	従明治35年2月	横美半・1冊	231
酒造用米搗揚帳 山田台所 綴紐切	明治35年11月～明治36年	横美半・1冊	204
手控帳（白米・炭など消費記録） 山田台所	明治36年卯12月ヨリ明治39年午12月8日マテ	横美半・1冊	194-2
豊野行上粉渡控帳 下高井郡平野村山田帳場 親友ヲ招く文などの文章あり	明治37年辰1月	横美半・1冊	199
酒造米搗揚帳 山田本宅台所	明治37甲辰歳～明治40年	横美半・1冊	195
酒造米渡帳 山田台所	明治37甲辰歳～明治39年	横美半・1冊	197-1
越後玄米搗揚帳（亀屋酒造分） 山田本宅台所	明治39年1月	横美半・1冊	202
（山形屋酒造店受取分米数書上） →本宅山田寿作様202に挟込	明治40年1月10日	切紙・1通	202-1
酒蔵白米渡帳 山田台所	明治40年1月	横美半・1冊	197-3
越後玄米記載・搗揚ケ白米記載・白米酒蔵へ引渡記載帳（かめや用）	明治40年1月	横美半・1冊	200
玄米預り搗揚白米渡シ帳 山田台所	明治40年2月始メ（～大正5）	横美半・1冊	397
（味噌仕込控） 397-1～3は丁間挟込	明治44年3月	切紙・1通	397-1
（搗屋帳・手控帳・搗上帳分玄米・白米高など書上）		切紙・1通	397-2
記（糲粉摺立玄米受取） 下高井郡平野村江部山田桂助→山田本宅様		切紙・1通	397-3
塩味噌醤油使用初日及終日記載帳 山田台所	明治40年3月始メ（～大正5年）	横美半・1冊	302
味噌醤油塩糲加減仕込現料記載帳 山田台所帳場	明治40年3月（～大正2年）	横美半・1冊	303
手控帳（穀物出入） 山田台所	明治43年1月（～大正2年）	横美半・1冊	313
白米出入決算帳 山田台所帳場	明治45年子1月	横美半折・1冊	305
延徳村大字新保田方地類変換調 山田帳場 336は史料館封筒一括	明治45年	横美半・1冊	336-1
（新保分土腐・地目変換場所書上）		仮綴・1通	336-2
江部田方地類変換調 山田帳場	明治45年3月	横美半・1冊	336-3
保存登記写（吉田分田・宅地、地租改正調用）		切紙・1通	336-4

荒地免租年期付与願（写） 右地主惣代大塚兼吉（市川茂吉、浦野吉太郎）	大正3年8月	青罫紙・1通	336-5
土地分割届（下木島馬曲川端分山田所持地）		青罫紙・1通	336-6
（県道敷地払下分ほか地積・地価書上） 1通は鉛筆書、1通は筆書		2通	336-7
（本田原野差引整理を受けた20名分地所書上）	（明治）45年3月	1通	336-8
四十五年整動分	（明治45）	仮綴・1通	336-9
（紙帯、「原野本田差引地所整動分」） 他に無記載の紙帯1点	（明治）45年3月	1点	336-10
（山田・小林・竹内分畑田成地書上）		横美半・1冊	336-11
白米出入決算簿 山田台所帳場	従大正2年12月	横美半・1冊	398
味噌醤油仕込原料食塩味噌桶大小醤油樽大小数量記載帳 山田台所帳場	大正3年3月日（～大正5年）	横美半・1冊	304
毎日白米出算帳 山田台所帳場	大正5年3月27日	横美半・1冊	399
養蚕諸費台帳 山田本宅養蚕部帳簿主任小林剛	大正5年5月	横美半・1冊	395
毎日給桑分量・蚕児籠数覚 山田本宅養蚕部帳簿主任小林剛	大正5年5月	横美半・1冊	396
製絲場人糞控 山田本宅	大正5年度	横美半・1冊	229
農事其他日雇帳 山田本宅	大正5年度	横美半折・1冊	308
（小林かね分出勤日数書上） 308に挟込		小切紙・1通	308-1
差引控帳 下高井郡平野村江部山田桂助→江部山田本宅様	大正6年1月吉日	横美半・1冊	230
式間蔵・水舎・角蔵現在品調	大正6年3月16日	横美半折・1冊	307
日雇賃書出覚 山田台所帳場	大正6年12月	横美半・1冊	394
（自宅日雇賃書上） 394-1・2は丁間挟込		小切紙・1通	394-1
（柳田日料賃男男女別基準額書上）		小切紙・1通	394-2
馬豚厩舎日誌 山田農業部	大正6年	横美半折・1冊	309
玄米受渡通帳 山田本宅	大正7午年11月	横美半折・1冊	306
蔵方出入帳 山田宗家 広告などの裏紙にペン書きのメモ2点挟込	昭和13年7月	横美半・1冊	393
木寫玄米請取控 山田台所		横美半・1冊	201

江部合名会社

会社小作金米収入帳 江部合名会社	昭和11丙子年～昭和14年	横美半・1冊	192
小作米収納依託書 依託者長野県信用組合聯合会 192に挟込	昭和11年11月	罫紙・1通	192-1

家政

相 続

印形出入一件（庄左衛門印形をめぐる後家と名主理右衛門の相論記録）	安永4年8月～同5年7月	美・1冊	98
江戸宿市谷田町三丁目上州屋半四郎泊り雑用名細請取書（庄吉宛上州屋雑用代受取覚書綴、御泊り覚帳共）	安永4年末12月～同5年申7月	綴・1綴	99
覚（雑用代勘定書） 99に挟込	（安永5）申2月29日	切紙・1通	99-1
差上申一札之事（印形出入の裁許請書、控） 臼井吉之丞御代官所信州高井郡東江部村丑之助母ゑん、丑之助叔父庄吉、丑之助大叔父名主利右衛門、丑之助叔父又藏、親類惣代茂右衛門、名跡組頭文左衛門→御奉行所	安永5申年7月6日	縦継紙・1通	455-2
年々諸勘定引渡帳（親類による家計管理報告） 理右衛門、茂右衛門、庄吉、文藏、組頭文左衛門→丑之助殿	天明4甲辰年3月吉日（安永2～天明4）	横長美大・1冊	109
印形出入雑用覚帳（中野宿芝屋分、江戸市谷田町三丁目上州屋分、同神田河井新石町壱丁目甲府屋分）		横長美・1冊	100

婚礼・養子縁組

おいよ仕度覚帳 （衣類・日用品類書上） 177-5に挟込	天保12年丑正月吉日	横美半・1冊	177-5
おしか仕度覚帳	天保15年辰正月吉日	横美半・1冊	177-4
於萬嫁入諸色覚 （おかめ仕度帳）	安政2年卯2月吉日	横美半・1冊	177-1
（結納・引越・婿入の日程書付） 177-2-1～4は丁間挟込		横美半・1冊	177-2
（簪・煙管など江戸注文品書上）		切紙・1通	177-2-1
（紅梅織振袖注文書）		切紙・1通	177-2-2
紅梅染色本（包紙入の見本生地）		切紙・1通	177-2-3
おかめ引越諸書附入 中味なし		1点	177-2-4
○小竹助一件 （江戸日本橋新右衛門町住吉屋との養子縁組・離縁相論一件書類）		袋・1袋	177-3
乍恐以書付御訴訟奉申上候（婿養子離縁につき持参金・融通金返却願、相手方呉服太物渡世新右衛門町家持伊兵衛後家さたほか） 高木清左衛門御代官所信州高井郡東江部村百姓庄左衛門・同人父泰助、右兩人煩ニ付代右庄左衛門同居弟訴訟人董平→御奉行所様 端裏書「持参金融通金懸合不行届酉年出訴可致積ニ而認メ置候願書下案、同八月対談行届出願致不申候事」	嘉永2酉年6月	史料館封筒入	277
		縦継紙・1通	277-1
出府中ノ日記 山田董平	嘉永2年酉閏4月	横美半折・1冊	277-2
土産其外遣し候覚 277-2-1～3は丁間挟込		折紙・1通	277-2-1
（宿泊覚書）		折紙・1通	277-2-2

西九月四日帰国董平土産（近隣・親族宛土産品書上）	西9月	折紙・1通	277-2-3
店卸帳写（住吉屋分）	弘化3年2月7日メ切	横長半・1冊	277-3
乍恐書付を以奉願上候（養子持参金・融通金滞出入） 表紙書込「西年出訴可致積ニ而認メ見候願書下書 董平文語」		半・1冊	277-4
倅小竹助事当時伊兵衛縁談一條始末書 信州高井郡東江部村庄左衛門 表紙書込「此書取申二月中嶋嘉右衛門様江入御内覧候写」	弘化5申年2月	半・1冊	277-5
（住吉屋一件日記、含関係文書写）	（弘化3年5月～同年12月23日）	半・1冊	277-6
（小竹助離縁・持参金等差戻をめぐり訴訟一件）	弘化2年～嘉永2年	紙紐一括・	277-7
（書状、信濃大地震・水害につき帰府途中の伊兵衛身上心配） 山田隠居、直筆→住吉屋御隠居殿、伊兵衛殿 包紙共、2・3も同封	（弘化4）4月16日	横切継紙・1通	277-7-1-1
口演（只々案事候ハ伊兵衛之義） 庄左衛門、董平→住吉屋伊兵衛様、御隠居様、御店衆中	4月16日昼九ツ頃	切紙・1通	277-7-1-2
（書状、伊兵衛身上心配） 山田庄左衛門→神谷御隠居様、同伊兵衛様	4月22日	切継紙・1通	277-7-1-3
（信濃屋宛返書控、伊兵衛離縁の件で董平差遣す旨）	10月朔日	切継紙・1通	277-7-2
覚（小竹助持参金200両受取） 小竹助事伊兵衛母さた、親類惣代塩田揚庵、同市川又兵衛→信州東江部村庄左衛門殿御名代関齊宮殿、同信濃屋嘉兵衛殿 端裏書「此本紙へ西年改継添取極申候事、但本紙ハ江戸ニアリ」	弘化3午年2月	横切紙・1通	277-7-3
対談証文之事（持参金・融通金返済につき来月対談する旨） 住吉屋はま母さた、嘉七→泰助殿、舜治殿 端裏書「本紙ハ西八月離縁治定持参金済方行届候ニ付住吉屋へ戻遣し候」		横切紙・1通	277-7-4
舌代（金百両証文の書式指示） 越後屋利助→山田董平様 277-7-5-1・2はこより一括	8月9日	切継紙・1通	277-7-5-1
口上（足痛につき御取引欠席願） 越後屋利助→篠田舜治様	8月21日	切継紙・1通	277-7-5-2
覚（庄左衛門よりの類焼見舞金受取） 住吉屋伊兵衛、同人母さた→関斎宮様、信濃屋嘉兵衛様 親類惣代塩田揚庵・市川又兵衛の奥書	午2月11日	横切紙・1通	277-7-6
（代呂物有金など勘定書、住吉屋の収支計算か）		折紙・1通	277-7-7
「中通り江遣し候一札并沽券譲状之下案入、并離縁状下書入」		包紙入・6通	277-7-8
覚（小袖・帯など衣類書上）		切継紙・1通	277-7-8-1
（伊兵衛引取一札下案、沽券譲返状下案）	嘉永元申年12月27日	切継紙・1通	277-7-8-2
覚（小竹助実印受取） 篠田舜治→嘉七殿	申12月27日	切紙・1通	277-7-8-3
（離縁状之事、下書） 伊兵衛元名小竹助→はまとの		切紙・1通	277-7-8-4
（融通金など返済方、伊兵衛内借金の返済方につき一札、下書） 貼紙3枚		切紙・1通	277-7-8-5
（伊兵衛名前の家屋敷沽券状書替につき一札、下書） 貼紙1枚		切紙・1通	277-7-8-6
相手方名当（さた・塩田揚庵・又兵衛の肩書）		切紙・1通	277-7-9

差上申一札之事（借財処分取扱方につき）願人さた、代利助、家主治助、支配人嘉七→名主弥左衛門殿、同三平殿 端裏書「新右衛門町も兩名主へ預り置候書付写、本紙ハ三平殿預り、是ハ三平殿手跡也」、貼紙6ヶ所		堅紙・1通（2枚）	277-7-10
入置申対談之事（仕入金不手廻りならば融通するが家内不和合の際はその限りでない旨）庄左衛門代倅董平、改代町嘉平代権次郎→おさたとの 端裏書「融通金子一札与此書付引替可申約定之下案、本紙者石塚へ預ヶ置申候事」	弘化3午年12月	堅継紙・1通	277-7-11
入置申一札之事（小竹介養子入につき約定の金子来春渡すべき旨）牛込改代町家持飯里嘉兵衛、当人小竹介→養母おさた殿、御親類衆中	弘化2巳年12月23日	堅紙・1通	277-7-12
乍恐書付を以奉申上候（示談不行届の際の訴状差出方につき願）信州高井郡東江部村百姓庄左衛門煩二付代同人倅董平、差添人栄十郎→高木一 端裏書「御支配へ差届控」	弘化3午年10月15日	堅継紙・1通	277-7-13
乍恐以返答書奉申上候（さだの出抜訴訟に対し、伊兵衛身分引取・無難相続の御利解願）牛込改代町家持嘉兵衛煩二付代返答人権次郎→御奉行所様	弘化3午年10月23日	堅継紙・1通	277-7-14
乍恐書付を以奉申上候（さだとの訴訟の件で御掛り鍋島内匠頭へ始末申し出る旨）当御支配所信州一村百姓庄左衛門代倅董平→高木清左衛門様御役所 端裏書「御支配へ御届控」	午11月5日	堅継紙・1通	277-7-15
乍恐以返答書奉申上候（嘉兵衛の返答書下書案）端裏書「最初可差出積ニ而相認メ返答書下案」		堅継紙・1通	277-7-16
乍恐書付を以奉申上候（持参金返済の件熟談につき江戸より帰村の届）高井郡東江部村百姓代庄左衛門煩二付代弟董平、組頭差添伊兵衛→高木清左衛門様中野御役所 端裏書「帰村届下案」	嘉永2酉年9月6日	堅紙・1通	277-7-17
乍恐以書附御訴訟奉申上候（離縁約定異変不実出入）高木清左衛門様御代官所信州高井郡東江部村百姓代庄左衛門煩二付代訴訟人・倅董平、差添・村役人代栄十郎→御奉行所様 中野役所宛添翰願の奥書あり、端裏書「当方より出訴可致積、国許ニ而認メ置候訴状下案」	弘化3午年10月	堅継紙・1通	277-7-18
口演（持参金片付方急速取計願、交渉は関斎宮に依頼）庄左衛門→おさた様、御親類中様 端裏書「住吉屋へ懸合手紙写」	（午）7月晦日	堅継紙・1通	277-7-19
頼入申一札之事（親類一同が世話を引き受け年賦返済する旨）住吉屋伊兵衛親類吉野屋半右衛門代藤八、同辻三郎兵衛倅新三郎、同三河屋作治郎代徳兵衛、同塩田揚庵、同市川又兵衛、同備前屋喜兵衛、伊兵衛後家さた、同人娘住吉屋はま・幼年二付当分店預り人小兵衛、支配人清助、嘉七、家守治助→伊豆蔵吉右衛門殿、大黒屋三郎兵衛殿、大黒屋吉右衛門殿、外取引御一統衆中	弘化2巳年12月	半・1冊	277-7-20
乍恐以書附奉申上候（揚庵ら親類と示談し、伊兵衛の無難相続が叶うよう利解願）高木清左衛門御代官所信州高井郡東江部村百姓庄左衛門煩二付代倅董平→御奉行所様 端裏書「町御奉行所へ可差出積ニ而認メ候下案」	（午10月）	堅継紙・1通	277-7-21
乍恐書付を以奉申上候（江戸の董平より出訴の件で中野役所宛届）	午10月19日	堅継紙・1通	277-7-22
一札之事（拙者猶子として小竹助を人別送りし、住吉屋を相続させる旨承知）仏光寺御門跡家来関斎宮→右庄左衛門殿、名主理右衛門殿	弘化3午年2月	堅紙・1通	277-7-23
乍恐書付を以奉願上候（持参金返済懸合のため出府届、	嘉永2年酉閏4月	堅紙・1通	277-7-24

控) 当御支配所高井郡東江部村百姓代庄左衛門煩ニ付代弟董平、差添組頭伊兵衛→高木清左衛門様中の御役所			
対談証文之事 (離縁取極、金談は来月名代にて行う旨 庄左衛門父泰介、証人篠田舜二→住吉屋おさた殿、店支配人嘉七殿 端裏貼紙「申八月七日双方為取替山田氏を被差出候書付」、証人印墨消	嘉永元申年8月17日	縦継紙・1通	277-7-25
乍恐以書付奉願上候 (伊兵衛を戻し相続させるよう嘉兵衛に仰付願) 新右衛門家持先代伊兵衛死後家・願人さた、五人組・牛込改代町家持・相手嘉兵衛 (ママ) →御奉行所様 表紙書込「午年新右衛門町訴状写」	弘化3午年9月	半・1冊	277-7-26
乍恐以書付奉願上候 (熟談内済届) 当御支配所信州高井郡東江部村百姓代庄左衛門煩ニ付代弟董平、差添組頭伊兵衛→高木清左衛門様御役所 端裏書「江戸役所江帰村届書控」	嘉永2酉年8月23日	縦紙・1通	277-7-27
乍恐書附奉願上候 (伊兵衛を戻し相続させるよう嘉兵衛に仰付願) 新右衛門町家持先代伊兵衛死後家・願人さた、五人組・牛込改代町家持・相手嘉兵衛 (ママ) →御奉行所様 端裏書「出訴前改代町へ懸合来候訴状写、理兵衛様 小竹助を」、全面墨消	弘化3午年9月	縦継紙・1通	277-7-28
一札之事 (離縁につき有代呂物・借財など不残受取) 住吉屋はま母さた代兼店支配人清助、同嘉七→小竹助殿、おとふとの後見小四郎殿	嘉永元申年12月27日	縦紙・1通	277-7-29
取極申対談証文之事 (帰縁の際の伊兵衛持参金額) 信州中野在東江部村百姓庄左衛門伴董平、牛込改代町家持嘉兵衛煩ニ付代権次郎→おさた殿 200両を来春渡す旨の午極月廿日付継書あり、端裏書「酉八月全離縁治定ニ付引戻候、印墨消	弘化3午年12月15日	縦継紙・1通	277-7-30
覚 (商仕入金百両借用証文) 新右衛門町家持伊兵衛店支配人下七より庄左衛門宛奥書あり、端裏書「此本紙ハ酉年改継書証文致申候、但本紙ハ江戸ニ置」	弘化3午年12月23日	縦継紙・1通	277-7-31
(小竹助持参金など返済方取極一札、写) 表紙書込「戌十一月本紙ハ江戸へ遣置候」	嘉永2年8月	半・1冊	277-7-32
(上記一札箇条書の一部抜書) 277-7-32に挟込		小切紙・1通	277-7-32-1

法事・寺社

○氏神			
氏神諏訪宮修復並上屋造立覚帳 東江部村山田亀齡頭元人足貨覚書・棟札下書・御遷化入用目録などを綴じて後に括付	明和8辛卯5月11日	横長美・1冊	63
御宮拝殿修復并屋根寄進帳 施主山田庄左衛門頭孝	寛政2年戌9月吉日	横長美・1冊	401
御宮屋根普請覚	文化4年卯3月吉日	横長美・1冊	70
○大徳寺			
延命山大徳寺客殿造立普請覚帳 東江部邑山田庄左衛門頭元 (時齡三十七) 覚などを綴じて後に括付	明和8辛卯年7月25日	横長美・1冊	64
大徳寺客殿諸木寄附銘細帳 山田庄左衛門頭元	明和8年卯9月 6	横長美・1冊	65
大工木挽扶持米請取帳 大徳寺→東江部村山田庄左衛門殿	明和8年卯9月	横美半・1冊	402
ふち米之事 (大工ほか職人々数、扶持米高など勘定書) 402に挟込		切継紙・1通	402-1

大徳寺客殿造 [] (必要部材等書上) 表紙下半分欠	明和8年卯	横長美・1冊	66
大徳寺客殿普請入用惣メ代付寄覚帳 山田莊左衛門顕元年三十八	明和9年辰11月16日改	横長美・1冊	68
延命山大徳寺客殿建立寄進帳 (御寺江遣シ候控帳) 東江部村施主山田莊左衛門 (顕元) → 片塩村延命山大徳寺様	明和9年壬辰11月16日	横長美・1冊	67-1
大徳寺客殿建立御寄進帳 片塩村延命山大徳寺十二世現住鍊石→山田莊左衛門殿	明和9年壬辰11月16日	横長美・1冊	67-2
延命山大徳寺客殿建立寄進帳 (下書) 施主東江部村山田莊左衛門	明和9年辰11月日	帳崩 (横長美) 仮1冊	67-3
大徳寺大間内陳天井財 (材) 木手間並諸入用大略、附申秋水車普請記 (下帳)	天明7丁未冬初	横長美・1冊	69
大徳寺江寄附地片塩村ヨリ地券書上ノ控 ○法事		美・1冊	327
寿仙死去色々覚	天明8年戊申3月6日卯時	横長美・1冊	176
門牛禪師遷化件 (葬礼記録)	天明8年戊申8月16日	横長美・1冊	71
(袋、表書「滄溟院様百年御忌書物入」) 180は史料館封筒一括 (元はこの袋に入ってたと思われる)	(享和2)	袋・1袋	180-1
百年忌法事覚		横長美・1冊	180-2
(借用書付などの年月日・人名書出帳)		横長美・1冊	180-3
(百年忌につき諸借金免除書)		縦継紙・1通	180-4
(吉田村分諸品書上、蕎麦・粉など)		折紙・1通	180-5
おぼへ (人名書上、23人)		折紙・1通	180-6

家普請

家普請作料并材木調帳 東江部村山田顕良	享保9年10月10日	横長美・1冊	175
文庫造営	寛政10年戊午10月5日	横長美・1冊	174-1
文庫造営 山田以文録	寛政10年戊午11月	横長美・1冊	173
切石代前請取証文之事 安田村石屋才助、七瀬村請人七兵衛、深沢村請人弥右衛門→東江部村庄左衛門殿	弘化2年巳12月	縦紙・1通	276

交 際

(暑中見舞状) (長野市岩石町) 丸山源吾→山田莊左衛門様、執事御中	明治42年8月9日	横切紙・1通	462
(山田文吉書状)		封筒入・2通	461
(年賀状) (東京都日本橋区濱町三十一番地、鈴木) 文吉→御主人様	明治43年1月元旦	切紙・1通	461-1
(添状、奥村病気につき通知) 文吉拝→御主人様		切紙・1通	461-2

(書状、御救頼上) 丸山藤右衛門→山田理兵衛様人々御中	正月20日	縦紙・1通	452-1-14
(退役願書添書) 中山実之介→山田庄左衛門様	1月21日	切紙・1通	458
(書状、御詔の壺(カ)差送、金子借用願) 坂田村長野安右衛門→東江部村ニ而山田理兵衛様参人々御中切封	2月27日	横切継紙・1通	452-1-19
(書状、金子2分借用願) 西江部村五郎右衛門→東江部村理兵衛様人々御中	3月晦日	横切紙・1通	452-1-20
口上(昨日の礼、拙者持参すべき所人に預け御蔵まで差越) 勘右衛門→利兵衛様	4月21日	切紙・1通	452-1-16
(包紙、上書「川谷村五右衛門佐源次差引証文」)		縦紙・1通	452-1-21

鉄砲所持

奉差上鉄砲預り証文之事(用心鉄砲1挺) 高井郡東江部村持主庄左衛門、名主理右衛門、組頭文左衛門、同庄吉、百姓代文右衛門→志村新左衛門様御役所	宝暦11年巳3月	縦紙・1通	427
乍恐以書付御届奉申上候(威鉄砲改) 高井郡東江部村名主文六、組頭利七、伊右衛門、百姓代文右衛門→河尻甚五郎様御役所	寛政5年丑4月	縦紙・1通	428
威鉄砲証文(庄左衛門分1挺) 信州高井郡東江部村	寛政5年11月	美・1冊	426-3
威鉄砲証文控(庄左衛門分2挺) 信州高井郡東江部村裏表紙書「右之通御案文ニ而相認村方共都合五帳差上申候」	寛政5年11月	美・1冊	426-4
乍恐以書付奉願上候(威鉄砲仰付願、控) 高井郡東江部村願人庄左衛門、文六、孫三郎、文右衛門→河尻甚五郎様御役所 名主文六奥書	寛政5丑11月	縦紙・1通	429
威鉄砲拝借証文(庄左衛門・文六・孫左衛門・文右衛門分)	寛政12年3月	美・1冊	426-5
差上申一札之事(威鉄砲拝借) 東江部村持主庄左衛門、持主名主文六、持主孫左衛門、同文右衛門、与頭伊兵衛、組頭市右衛門→上野四郎三郎様中野御役所 奥書「右者御代り之節御取上ニ可被成被仰付御訴訟申上候、御聞濟之時差上候請書、月付ハ御好ニ付違申候」	享和4年子正月	美・1冊	426-2
(支配替による鉄砲召上令に対し継続拝借願、下書) 高井郡東江部村持主庄左衛門、ほか9名→上野四郎三郎様中野御役所 袖の一部切取	文化元年子9月	縦紙・1通	430-1
乍恐以書付奉願上候(支配替による鉄砲召上令に対し継続拝借願、控) 高井郡東江部村願人百姓代庄左衛門、ほか17名→上野四郎三郎様中野御役所	文化元年子9月	縦紙・1通	430-2
差上申一札之事(威鉄砲拝借) 東江部村持主庄左衛門、同文六、同孫左衛門、同文右衛門、与頭伊兵衛、同理右衛門→恩田新八郎様中之条御役所	文化3寅年5月	縦紙・1通	426-1
鉄砲之儀ニ付御廻状写(用心・隠鉄砲は厳禁、獵師・威筒は勝手次第) 中野御役所	丑8月14日	折紙・1通	431

日記・文化

道中日記帳(西国巡礼) 信州高井郡東江部村山田氏	宝暦9年卯正月5日	横美列・1冊	172
--------------------------	-----------	--------	-----

松代騒動之記 山田庄左衛門	明治3庚午年11月	半・朱野紙・1冊	222
長野新報 需新社	明治6年癸酉7月	刊・1冊	362
台湾案内（都新聞第三千百七十八号附録） 都新聞社	明治28年8月6日	刊・1冊	325
（信濃国絵図）		670×1280・1鋪	286

順碩老不幸一件

（袋、表書「順碩老不幸一件」） 179は史料館封筒一括 （元はこの袋に入っていたと思われる）		袋・1袋	179-1
龍寿院順碩居士不幸一件差引勘定覚帳	文政9年戌2月	横長美・1冊	179-2
文政九年戌御年貢金請取通（順碩分） 名主文右衛門	（文政9）	切紙・1通	179-3
文政十亥年御年貢金請取通（順碩分） 名主文右衛門	（文政10）	切紙・1通	179-4
文政十一子年御年貢金請取通（順碩分） 名主文右衛門	（文政11）	切紙・1通	179-5
諸道具売払帳	文政9年戌2月	横長美・1冊	179-6
悔請覚帳	文政9年戌2月4日	横長美・1冊	179-7
諸道具改直入帳	文政9年丙戌2月	横長美・1冊	179-8
（金銭勘定書、道具売立関係カ、小川柳兵衛分）		切紙・1通	179-8-1
179-8-1・2は丁間挟込		切紙・1通	179-8-2
（金銭勘定書、道具売立関係カ、上御仏前分）			
東江部村順碩跡入上受取帳 片塩村大徳寺納所→東江部 村庄左衛門殿御手代中	文政10亥年より（～天保7）	横美半・1冊	179-9
（順碩所持地書上）		切継紙・1通	179-10
永小作証文之事（屋敷場として永小作） 東江部村小 作人庄治郎、受人常蔵→順碩殿	文政8年酉2月	縦紙・1通	179-11-1
永小作為取替書付之事（写） 東江部村屋敷主順碩、同 村立会文六→庄治郎殿	文政8年酉2月	縦紙・1通	179-11-2
覚（わらじ・切昆布など代金受取） 天龍屋喜重→新兵 衛様 179-12-2以下は179-12-1に巻込	（文政9） 戌2月5日	切紙・1通	179-12-1
覚（豆腐代受取） 長太→順碩老		縦切折紙・1通	179-12-2
覚（蠟燭・水油など代金受取） 当所栄左衛門→順碩 様	2月17日	折紙・1通	179-12-3
覚（古酒・新上酒代金受取） 山形屋□□→山田御親 類衆中様	2月17日	切継紙・1通	179-12-4
（順碩分畑方初代差上書） 文六→庄左衛門様 179-13-2 以下は179-13-1に巻込	寅極月	切紙・1通	179-13-1
順碩分取替（上納・夫銭など勘定書）		切紙・1通	179-13-2
覚（順碩外屋敷初代差引勘定書） 文六→庄左衛門 様	亥8月朔日	切紙・1通	179-13-3
覚（順碩外屋敷初代差上書） 文六→庄左衛門様	子12月26日	切紙・1通	179-13-4
覚（順碩分初代差上書） 文六→庄左衛門様	未12月30日	切紙・1通	179-13-5

覚（順碩畑初代差上書） 文六→庄左衛門様	丑12月28日	切継紙・1通	179-13-6
（順碩分畑初代勘定書、日延願も）	亥年	切紙・1通	179-13-7
（跡式につき存意書） □□→庄左衛門殿 包紙共		堅切紙・1通（2枚）	179-14
不幸諸入用覚帳	文政9年戌2月4日	横長半・1冊	179-15

衆議院選挙活動

「長野県二区選挙人名簿」		袋入・5冊3通4枚	359
（上高井・下高井・下水内三郡分村別得票数調書）		1冊	359-1
（延徳村ほか19村投票数書上）		赤罫紙・1通	359-2
長野県第二撰挙区衆議院議員選挙人名簿		1冊	359-3
第二区下水内郡・上高井郡・下高井郡衆議院議員候補者 勢力比較表		1冊	359-4
（木島村分有権者投票確認書）		1冊	359-5
（穀物類数量書上）		1通	359-6
（村別人名書上、投票者一覧カ）		1冊	359-7
（衆院選で島津忠貞への投票依頼状） 遠藤万作、市村 善輔、牧茂助、樋田正助、牧新七、山田庄左衛門	（明治）23年6月	1通	359-8
（点数書上・人名書上・名刺・自棄者点数書、など一括）		4枚	359-9

地主

年代 成立年代 元禄6（1693）年～昭和17（1942）年

数量 2315点

歴史

山田家の地主としての活動に関しては、近世については古川貞雄氏、近代については横山憲長氏の研究が積み重ねられている（11、12頁の参考文献を参照）。ここではこれらの仕事に立脚しながら概要を確認しておく。

山田家が東江部村に土着したのは元和期のことと推定されるが、近世初期の具体的なことはほとんどわからない。延宝2（1674）年検地では山田庄左衛門家24石余、山田縫左衛門家37石余、山田太左衛門家8石余、山田太兵衛家17石余、と一族間で分割して土地を所持していた様子がうかがえ、いわゆる小農自立過程に適応して初期大経営からの解体が進行していたのではないかと考えられている。しかし、その後山田家（本家）は享保14（1729）年に村内持高164石、同17年に179石と急速に持高を伸ばし、享保14年の全所持高は自村を含め8か村にわたって423石にも及んでいる。この間の事情について古川氏が以下のことを論証している〔古川72〕。すなわち元禄中期に大きな画期があって、それ以前においては低生産力の規定を受けて土地が剰余価値を生み出さないため、貢租負担の過重に耐えきれない百姓が所持地を放出し、低額による永代売・永年季質という形で山田家に集積されていた。それに対して、その後元禄後半期以降の生産力発展をうけて貢租負担が実質的な意味で軽減されると田畑の価値上昇が生じ、土地をめぐる契約においても有年季質・質流証文・抵当田畑の反別表示・年貢諸役の山田家側負担が一般化し、山田家の地主としての性格もいわゆる名田地主から質地地主へ転化した。この時点から山田家の投資としての土地集積活動が展開し、享保10（1725）年代に東江部村内での集積がおおむね頭打ちになると他村においてさらなる集積を遂げていく。

その後の所持地拡大については表3に文化13（1816）年と明治4（1871）年の事例を示した。享保14年と文化13年の間で居村内の所持高についてはほとんど変化が見られないが、他村での土地集積がかなり進んでいる。その傾向は明治4年と比較するとさらに顕著で、篠井・新野・綿内・吉・安田などこれまでよりも対象範囲を広げた新たな土地集積が行われたことが明らかである。権堂村（善光寺町の一部）・中野町（中野役所所在地）・湯田中村（温泉場）のように、わずかとはいえ屋敷経営や金貸・酒販売の拠点に所持地を有したことも重要な意味を持つだろう。そして地租改正によって旧飯山藩領の貢租負担が軽減されると、今度は篠井村・新野村の所持地を手放して木島地方で積極的な土地購入を行うなどの機敏さを見せ、明治11（1878）年段階で100町歩を越す地主に成長を遂げている。しかし、明治10年代以降は土地経営より利回りのよい証券投資など土地以外への資本投下が行われたため、土地集積の勢いは衰えている。大正13（1924）年の記録で所持地面積は田103町歩・畑42町歩・計145町歩である（以上、地租改正以降について〔横山80〕）。地主経営によって蓄積した資本の投下先については次の「諸経営」の項で説明することにしたい。

このように集積した所持地を山田家がどのように経営していたかについて、地主手作規模が18世紀半ばで田の場合3～5町歩（高にして30～60石）、畑の場合2町歩以上（高にして20石以上）という推定がなされており、同時に小作契約の状況次第で増減する流動的な性格を持つことも指摘されている〔古川72〕。残りの小作地については、他村所持地管理のための現地手代とも言うべき「田地世話人」の存在が知られているが、おそらく全小作地一律に存在したのではなく小作地管理の方式は村によって異なったのではないと思われる。享保6（1721）年には片塩村村役人の要求をうけて山田家が同村の「差配」人を罷免し、年貢諸役の直接負担に切り替えた例がある（下記（7）を参照）。

構造と内容

以上のような山田家の地主としての活動に対応させて、ここでは「所持地改」、「土地移動」、「小作証文・小作証券」、「地主小作関係帳簿」、「手作」、「年貢諸

役負担」、「相論・訴願」、「入庫米運送」のシリーズを編成した。以下にその概要を示す。

（1）所持地改

ここには山田家が諸村にわたって所持している小作地の反別・持高改などに関わって作成された史料や絵図を収めた。

（2）土地移動

ここには土地の売買、質入・質取・流地など土地移動に関する史料を収めた。

（3）小作証文・小作証券

表3 山田庄左衛門家の所持高

単位：石

村 名	文化13（1816）年	明治4（1871）年
東江部村	158.528	180.696
西江部村	84.949	64.586
片塩村	60.875	62.478
安源寺村	34.316	2.994
吉田村	77.560	16.741
岩船村	70.222	60.0423
更科村	35.307	—
西間村	9.127	18.908
新保村	150.	184.171
北大熊村		0.158
押切村	71.038	64.137
同所出作分		5.443
清水村	0.794	0.794
篠井村		29.167
新野村		35.5316（山高共）
新井村		1.450
権堂村		1.346
綿内村		44.873
中野町		2.1923
吉村		39.805
中村		2.380
安田村		56.4879
間山村		山20,610歩
湯田中村		0.173
小沼村		0.030
杳野村		温泉寺分粉0.140
佐野村		0.893
北岡村		8.058
752.716（11か村）		寄 875.63424（26か村）
		取米252.8934
		外善光寺木屋平八屋敷・上田
		海野町梶甚屋敷

典拠：文化13年分＝「文化十三子年村々所持高書出帳」（18、45頁）、
明治4年分＝「万差引調帳」（386、148頁）

小作証文・小作証券は明治17（1884）年前後のものを中心に大量に残されている（1000通余）。これらは村ごとに包紙で一括され、さらに口絵写真3のように麻紐で全体を縛られていた（写真は史料番号443のもの600通余）。ここでは保管秩序をなるべく崩さないようにして配列した。所持地が広域化する中で同時期に大量の小作証券が作成されたため、明治期のものはほとんど全てが刷物となっている。一方、文久3（1863）年2月の綿内村分小作証文130通はいずれも手書きである。

また山田莊左衛門宛の証文以外に山田理兵衛、山田松三郎など分家宛のものが含まれており、理兵衛宛証文はかなりの数に及ぶ。これら分家宛の証文がなぜ本家に残されるのかは、分家における地主経営のあり方とともに今後検討すべき課題である。

（4）地主小作関係帳簿

ここでは地主小作関係帳簿の簡単な紹介をしておく。これらの中で一番核になるのは「小作入帳」（小作帳と記される場合もあるが、以下では原則として小作入帳で統一）であろう。小作入帳は概ね毎年1月か2月に作成されるが、この段階ではまず全ての小作地について村ごとに契約小作料・小作人名・小作地名などを書き上げる（例、「一、六俵 権兵衛 五左衛門屋敷」）。このことは年度始めに地主小作間で小作契約を確認するという意味を持ったものと思われる。点数は少ないが、その前提として個別の村ごとに「田畑小作入改帳」を作成している事例があり、そのうち享保20（1735）年の「片塩村持地田畑小作入改帳」（138、108頁）の場合、全体に上記と同じく契約小作料・小作人名・小作地名などが書き上げられ、ほとんどの場合小作人名の下に捺印がされている。その同じ内容が同年の小作入帳（136、104頁）の「片塩村小作入」の項に書き写されているので、小作入帳は各村で作成した田畑小作入改帳を所持地全体についてまとめ直したものと言えよう。この田畑小作入改帳には小作請合の文言が付いている場合もある（以下は享保20年「片塩村持地田畑小作入改帳」の冒頭部分。証文の後に一つ書が続く）。

【史料2】

小作方定控ニ相定申候請合証文之事

一、拙者共段々は迄貴殿御持地田畑小作ニ請込作申候得共、初子之儀赤こなれと申初子小作方ニ相納候ニ付、此度拙者共方江被仰達御尤ニ存候、年々只今迄御廻初等ニ者真初ニ而西国并弥六初上納ニ仕候間、当秋十月中初子念入西国初・弥六初ニ而左之小作日之通急度相納進上可申候、何ヶ年茂拙者共小作相作申内ハ右之通年々十月中真初ニ而左之小作初之通相斗可申候、為後日請込小作前書仍而如件

享保貳拾年卯之正月日

正月廿九日定

一、初三表（印）

次郎右衛門（印）

加兵衛分畑也、右者真初年貢相定申候（印）

このように春先に地主小作間で小作契約の確認を行い、それに従って秋には小作料の納入が行われる。当初はこの納入記録も小作入帳に記載されており、図6のように元禄6年（初出）以降小作入帳の末尾に「年貢初請取覚」という形で日順で受取小作初額が書き上げられている（概ね10月以降の日付）。

図6 小作入帳の変遷と関連帳簿の派生（仮）

元禄6（1693）～

小作入帳 (小作入帳)
(本文末の記事) ・ (小作) 年貢粉請取覚 ・ 買粉覚 (飯山・公儀粉ほか) ・ 木綿売覚 ・ 大豆買覚ほか
(後括付) ・ 諸村よりの年貢受取書など綴

宝永5（1708）～「小作入帳」
史料の性格は同じ

↓

享保14（1729）～

小作入帳
(後括付) ・ 諸村よりの年貢受取書など綴

+

小作粉・金請取帳
(後括付) ・ 小作入覚 ・ 年貢・小作金差引勘定書、など綴

↓

文政3（1820）～

小作入帳

+

小作粉・金請取帳

+

年貢・諸役金受取書綴

この部分の記載を古川貞雄氏は領主上納分と理解し、同帳の前半が地主取分で、小作人は地主山田家に対して地主分と領主分を当初は分けて納入したと説明している〔古川72〕。しかし再検討の必要があるのではないかと考える。その後、享保14年以降に小作粉・金請取帳が現れると、小作入帳末尾の「年貢粉請取覚」記載はこれに機能を譲り渡して消失する。また、地主への小作年貢納入に際して差配人（世話人、田地支配人などとも呼ばれる）が小作勘定帳を作成し、山田家に納入状況を報告している村もある。なお、山田家では帳簿の後ろに係する書付類を綴って結び付けることがしばしば行われている（図6の点線囲で表示した部分）。本目録ではこれらを記録し検討することができなかったが、宝暦2年分小作入帳（136-16、104頁、口絵写真6）についてこの分の細目録をとってあるので一応の参考にしていただきたい。

その他の帳簿についてはそれぞれ数点しか残されていないので体系的な性格は十分明らかにならないが、簡単に紹介しておく。「年々聞合帳」は寛政5（1793）年から文政元（1818）年までのもの1冊で、飯山・松代などの米相場や、諸村の小作料減免・小作初買継額（金10両あたりの俵数）などを記している。「惣小作帳」は丑年分（年不明）1冊だけで、各村ごとに契約小作料・実際の取引量・代金額などを書き上げたもの。「小作米金収入計算帳」は明治中期から大正期にかけて4冊が残され、村ごとに小作料の初納額・金納額・合計金額が書き上げられている（大正9年分は日順記載の個人毎小作料受取記録であって性格が異なる）。「小作年貢不納帳等」には小作年貢不納帳・同証文とそれに関係する書上などを収めた。小作年貢不納帳は、不納額が書面通りであること、期限までに皆済しそれが守られない場合にはどのように取り立てられてもかまわないこと、を記した前書（覚）の後に金額・人名が列記され、それぞれに捺印する、という様式をとっている。「早損見分改帳」は文化末年から天保初年の岩舟村分5冊が残され、各帳は個人毎に「一、拾俵 弥十郎 五俵半 上 四俵半 中」といった様式で記載されている。天保3（1832）年の場合、上は2割5分引、中は3割5分引、下は4割5分引であり（155-4、113頁）、早損年に各人の契約小作料に対する減免率を決定する際の帳簿として用いられている。「小作取上請印帳」は寛政3（1791）年2月付吉田村分1冊が残されており、「当亥春々御手作被成付私共作来候田畑御取上被成不残差上申候」云々の文言の後に地種・契約小作料・人名が書き上げられ、小作料と人名の部分にそれぞれ捺印が施されている。この前後に吉田村小作人たちと山田家の間にごのようなやりとりがあったかは今のところ不明である。

(5) 手作

ここには元文・宝暦・明和の木綿拾帳4冊と天明・寛政の農業記録（諸作日記）を収めた。前者は奉公人らを用いた綿実収穫量を個人ごとに記したものであり、後者の記述内容はバラエティーに富んでいるが諸作物の収穫量・作業過程・所要人数等を書き上げたもので、稲のほかに胡麻・小麦・大豆・大根・木綿・芋から縄までさまざまなものが書き上げられている。

(6) 年貢諸役負担

この項には山田家の年貢諸役負担に関わって作成・授受された史料を収めた。「他村割付状等写」は新保村の割付状・皆済目録の写である。これが山田家にある理由は判然としないが、新保村所持地分の年貢額が適当かどうかを確認するために写したものと見なしてここに位置づけた。「諸村分年貢金納帳」は、宝永期から天保期にいたるまでほぼ連年分が揃っている。その性格は日順にどの村へ年貢諸役をいくら支払ったかを書き上げたもので、帳簿の後ろには各村名主の受取書綴が括り付けられている。「年貢諸役金受取書等」には、次の文化7（1810）年以降のように年次別に綴られていない状態の年貢諸役金受取書等を収めた。ただし、「質地分御年貢小手形入」という袋入の年貢諸役金受取書等（主に嘉永期前後のもので地域的なまとまりはない）もここに含めた。

「文化7年分綴」以下は、ほぼ1年ごとに綴じられている年貢諸役金受取書である（口絵写真7は文政7年のもの）。前述した通り山田家の所持地は文化13年時点で11か村にわたっており、各村の名主から年貢金・諸役金・村入用などの請求書や受取書が山田庄左衛門宛に届けられている。中野幕領では年貢金納制が採用されており、初納から3納までその都度請求書・受取書が作られている。なお、文政7

(1824) 年までの綴りは1点ずつ細目録を作成したが、「文政8年以降分綴」については、紙数の関係から綴りの一括表題を付与するにとどめざるを得なかった。内容の傾向は以前と大きな変化は見られない。

「村税等賦課令状」は地価割・反別割の村税請求書で、明治31（1898）・32年の諸村分が残されている。

(7) 相論・訴願

ここには借金返済・小作年貢滞納・質地請戻などに関する相論・訴願の史料を収めたが、なかでも宝暦年間の「片塩村一件」の史料がまとまっている。簡単に内容を紹介すると、享保6（1721）年以来36年間にわたって片塩村分山田家小作地の「田地差配」を担当してきた権右衛門・久左衛門が人足不足（山田家の代役分）などで村方に迷惑をかけるので、彼らを取り放すよう宝暦6（1756）年3月に片塩村名主が求めたのを端緒に相論となり、結局山田家の「御自身御用御役勤」ということで一時決着した。しかし、翌年も片塩村との間では上納取替金・小作年貢・奉公人給金返却分の滞納をめぐって相論が続き、山田家側も小作証文の様式上の不備を代官に責められ譲歩を余儀なくされている。

(8) 入庫米運送

ここには大正11（1922）年から13年までの「入庫米運送控」帳を収めた。これらの帳簿は、木島平農倉（販売組合）の倉庫に収められた山田家の小作米を運び出させる際に運送人に持参させ、農倉側で米の数量をこれへ記入して渡すという用いられ方をしていた。

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
地主			
所持地改			
卯御検地反別改覚 東江部村庄左衛門	享保9年辰ノ正月日	美・1冊	7
岩舟村預り地反別覚 東江部村庄左衛門 7に括付	享保9年辰正月日	横長美・1冊	7-1
安源寺村分越石田畑名寄高改帳 安源寺村名主藤右衛門 →東江部村庄左衛門殿、理兵衛殿	享保16年亥2月	横長美・1冊	12
(書状、名寄帳・皆済状の送付) 丸山藤右衛門→山田 理兵衛様 12に挟込	(享保16年) 3月12日	切継紙・1通	12-1
安源寺村田畑改帳	享保21年辰正月27日	横長美・1冊	13
押切村分地持高名寄帳 東江部村	明和8年改書出し	横長美・1冊	16-1
田畑名寄反別帳 信州高井郡東江部村山田丑之助	安永6年丁酉12月日	横長美・1冊	17
「田畑名寄帳壹冊」(袋) 押切村永井重右衛門→東江部 村山田丑之助様 16-2-1～3は袋入	(安永9年) 子正月12日	袋・1袋	16-2
押切村分田畑名寄帳 押切村名主永井重右衛門→東江 部村庄左衛門殿	安永8亥12月	半・1冊	16-2-1
(1筆ごと小作人・俵数・入手年など書上) 16-2-1に 挟込		堅紙・1通	16-2-1-1
(書状、名寄帳2筆書落分書付差上) 押切村高沢治 五右衛門→東江部村山田庄左衛門様	(天明3年カ) 卯12月日	切継紙・1通	16-2-2
(2筆分地積・分米・名請人名書上)		切継紙・1通	16-2-3
文化十三子年村々所持高書出帳 山田庄左衛門文済	文化13	横長美・1冊	18
(庄左衛門分ほか地字別高書上) 18の丁間に挟込		切紙・1通	18-1
文政十三寅年西江部村小作書抜帳 東江部村地主庄左衛 門 表紙書込「九月十日西江部村江相渡申候控」	文政13年	横長美・1冊	158
新野村分持地名寄帳	天保11年子11月吉日	横長美・1冊	162
(持地名寄書、小作料・賃金ほか) 162-1・2は丁間挟 込	(安政6)	切継紙・1通	162-1
当巳春嘉右衛門受戻地所書抜		切継紙・1通	162-2
田畑高改帳(庄左衛門所持地改) 押切村名主永井重右 衛門→東江部村庄左衛門殿	天保12丑年7月	横長美・1冊	19
「慶応三卯年ヨリ持地見分絵図面入」 袋裏書「上内山、 帳面紙類杯こも可致事」	(慶応3～明治)	袋入	334
「小作地差引端紙入、桑畑調トモ」	明治6年	小袋入・11通、2綴、 2冊	334-1
(地面絵図)		1鋪	334-2
(地面絵図、江部西組分字一本橋合併分)	明治13年庚申改	1鋪	334-3
(地面絵図) 第44区の徴兵御用出頭入費取調書の用紙 を利用		1鋪	334-4

(地面絵図、西江部分西ノ前畑、手作地を小作地にするため改)		1鋪	334-5
(篠井村平沢平作の小沼村山分代金書上)		切紙・1通	334-6
(地面絵図、篠井寿平小作分)	明治7年4月27日	1鋪	334-7
(地面絵図、字上町勘七屋敷) 「文久三亥三月八日改」の書込	明治4未7月19日改	1鋪	334-8
(北大熊山凡縄張)	明治5壬申9月改	横長美・1冊	334-9
「入明畑新規小作人調」		紙帯一括・6通	334-10
(地面絵図、津久より買入地)	明治13年1月	1鋪	334-11
(地面絵図、押羽村分) 理右衛門改 1筆毎書上2通を疊込	明治13年7月8日	1鋪	334-12
(地面絵図)		1鋪	334-13
(地面絵図、新保村分)		1鋪	334-14
(地面絵図)		1鋪	334-15
「布軒分・定五郎分・喜曾七分・貞助分綿内地絵図面入」	明治2年3月～明治4年	5鋪	334-16
(地面絵図、惣左衛門頼・市郎右衛門頼分)		1鋪	334-17
(地面絵図、おいせ分・文六分)		1鋪	334-18
(杉山地面絵図、明治9年須坂田中新助ヨリ買入分)		1鋪	334-19
(地面絵図)		1鋪	334-20
(地面絵図帳、野坂田村分)		横美半・1冊	334-21
(地面絵図帳、理兵衛見分の分)	明治10年丑9月19日見分	横美半・1冊	334-22
(新保村分田畑・石高・小作人・小作料等書上)		折紙・1通	334-23
(地面絵図帳) 地面絵図、小作料書上など4通挟込		横長半・1冊	334-24
(耕地地番図)	明治38年2月2日	412×550・1鋪	334-25
桑畑改見分帳、并押切川欠其外諸々トモ 山田本宅	明治7年第4月	横美半・1冊	334-26
新野邑持地縄張帳 地主山田庄左衛門	明治3庚午年5月改	横長美・1冊	166
地方調(所持地書上など) 地主山田庄左衛門	明治3庚午年ヨリ	横美半・1冊	315
(山田庄左衛門持高内訳通知書) 新保村名主喜市→東江部村山田庄左衛門様 315-1・2は丁間挟込	(明治5) 壬申正月17日	切継紙・1通	315-1
(明治6年地券調につき改正免増・高調・持高改綴)		綴り・1綴	315-2
御水帳之写(佐野村分) 江部村山田庄左衛門	明治5年申6月	半・1冊	167
北岡村地券御改書上帳之写 地主山田庄左衛門	明治6癸酉1月	半・1冊	348
岩舟村地券御改書上帳之写 地主山田庄左衛門	明治6癸酉2月	半・1冊	349
高井郡新野村耕地字限切図之写(明治6年地券御改二付書上之分) 東江部村山田庄左衛門控	(明治6)	綴・14鋪	355
西江部村地券御改書上帳之写 地主山田庄左衛門	明治7年甲戌1月	半・1冊	350

田方修正地価帳 下高井郡平野村大字江部 裏表紙「横東居」	明治22年9月	半（朱罫紙）・1冊	314
所有土地評価台帳 山田莊左衛門	大正5年5月1日現在	半（青罫紙）・1冊	317
平野村中野町及平岡村所有土地調 表紙書「西江部ハ別冊」	大正5年調	半（青罫紙）・1冊	316
（土地台帳謄本綴） 中野税務署 316に挟込、ピン一括	昭和6年6月12日	綴り・1綴（4通）	316-1
（新保地籍字西條境畑田成計画書） 設計山田本宅地	（大正8）	綴・（4枚）	358
下高井郡江部村及西條村所有地名寄帳 関谷孝之助		美切・1冊	318
目録（下高井郡諸村土地賃賃価格書上）		半（青罫紙）・2冊	319
（地主手取分勘定書上）		横切継紙・1通	457

土地移動

「享保年中洪田中屋敷並貸証文不用」 包紙裏書「松城御用金」	（享保年間）	包紙一括・13通	453
「此三本之手形田中武右衛門屋敷手形 永代已正月廿日」		包紙一括・2通	453-1
御役儀証文之事（其元家作につき足役3年免除・賄半役） 湯田中村肝煎与五右衛門、組頭伊左衛門、同文六、長百姓六右衛門、同与曾右衛門→東江部村利兵衛殿、小太郎殿	享保10年已正月	縦紙・1通	453-1-1
売流シ申切証文之事（屋敷高7斗9升余代金10両2分） 湯田中村屋敷売主武右衛門、合地三右衛門、同長左衛門、五人組吉三郎、同次郎左衛門、同小右衛門、同半助、肝煎与五右衛門、組頭伊左衛門、同文六、長百姓六右衛門、同与曾右衛門、沓野村口入三右衛門→東江部村利兵衛殿、小太郎殿	享保10年已正月	縦継紙・1通	453-1-2
（享保10年松代藩先納金受取証文を松代へ持参のため預証文） 湯田中村名主長次郎、組頭太右衛門、長百姓六右衛門→江部村庄左衛門殿 写とも	延享5年辰之6月21日	縦継紙・2通	453-2-1
（書状、金10両御手形松代持参につき本証文お渡し願） 湯田中村長次郎→江部村庄左衛門様 453-2-1に疊込	6月21日	横切紙・1通	453-2-2
相渡申屋敷間口惣間合之覚 湯田中村家屋敷売主源七、沓野村口入三右衛門、同村請人五郎右衛門、田中村長百姓六右衛門、同与曾右衛門、同与五右衛門、立合伊左衛門、立合彦八、立合孫助、庄屋七左衛門、組頭喜兵衛→東江部村利兵衛殿 端裏下「田中屋敷ノ間合」	享保8年卯ノ2月	縦紙・1通	453-3
しち流シ申切証文之事（田中林代金3両） 安代村山主与曾右衛門、同所請人新八、田中村庄や七左衛門、口入三右衛門→江部村利兵衛殿	享保8年卯12月28日	縦紙・1通	453-4
進上申手形之事（家屋敷相調えにつき） 東江部村里兵衛、沓野立合三右衛門→田中村役人衆中 端裏下「田中村江此通ニ此方ノ手形致渡し申扣、とめ書ひかへ」	卯2月	縦紙・1通	453-5
相渡し申家間合之事 湯田中村売主源七、請人五郎右衛門、沓野村立合三右衛門→東江部村利兵衛殿	享保8年卯ノ2月	縦紙・1通	453-6

覚（田中湯之平の木山間数来春立合渡すこと） 安代村山主与曾右衛門→江部村利兵衛殿	享保8年卯12月28日	縦紙・1通	453-7
小作定控ニ請申証文之事（田数24枚年貢初8俵） 湯田中村小作主源之丞、請人半之介、同七左衛門、同六右衛門、肝煎与五右衛門→江部村利兵衛殿	享保11年午ノ3月	縦紙・1通	453-8
売渡し申□□之事（家買） 安代村売主吉三郎、沓野村請人三右衛門→利兵衛殿	享保8年卯之3月20日	縦紙・1通	453-9
覚（武右衛門年貢未進につき家屋敷売渡し証文） 湯田中村屋敷売主武右衛門、合地三右衛門、同長左衛門、五人組吉三郎、同次郎左衛門、同小右衛門、同半助、肝煎与五右衛門、組頭伊左衛門、同文六、長百姓六右衛門、同与曾右衛門、沓野村口入三右衛門→東江部村利兵衛殿、小太郎殿	享保10年巳正月	縦継紙・1通	453-10
流シ地田畑証文之事 地主佐右衛門、藤右衛門、治右衛門、小右衛門、平右衛門 端裏書「下書、其節御返し可被下候」	元文元年辰12月	縦紙・1通	452-1-11
（質地証文下書、前欠） 地主、名主、与頭、請人→理兵衛様 「しち地小作手形之事」（雛型）1通を挟込	元文4年未3月	縦紙・2通	452-1-23-5
吉田村分田畑永代質相渡候控 東江部村地主庄左衛門 134-1～8は丁間挟込	文政3年辰極月（～弘化3）	横長美・1冊	134
（菱屋分吉田村高辻書上）		切紙・1通	134-1
（田畑の質代金・小作料書上） 134-2-1～6は包紙一括、包紙上書「吉田村地方」		切紙・1通	134-2-1
質地絵図面添証文之事 吉田村質置東吉、親類弥惣次、組合徳左衛門→東江部村庄左衛門殿	弘化元年辰12月	縦紙・1通	134-2-2
（吉田村分取米勘定書）	（天保9～弘化3）	折紙・1通	134-2-3
（吉田村内田畑極上場所につき聞書）		切紙・1通	134-2-4
覚（質地代金3両請取） 庄左衛門→庄作殿	嘉永元申12月	切紙・1通	134-2-5
（午年分取米勘定書）		切紙・1通	134-2-6
覚（嘉永4年東吉申込分の田畑取米・代金など書上） 134-4～8は134-3に挟込		切継紙・1通	134-3
（吉田小右衛門など作田徳初代金勘定書）	（嘉永3年）	切紙・1通	134-4
（畑2筆分代金書上、酉冬嘉兵衛へ申遣ス）		切紙・1通	134-5
（田畑坪数書上、図面共）		切紙・1通	134-6
（田畑徳初代金など勘定書）		切紙・1通	134-7
（七郎右衛門作田の徳初代金など勘定書）		切紙・1通	134-8
新保地差引帳（質地受取・所持地譲渡の記録） 159-1～3は丁間挟込	天保2年卯2月吉日（～嘉永3）	横長半・1冊	159
新保茂八へ引合（土地売渡）		小切紙・1通	159-1
（土地質入の書付）	戌12月朔日	小切紙・1通	159-2
（年貢金皆済目録綴） 159-3-1～9がその中味		綴り・1綴	159-3
（天保6～9年皆済目録辻、新保役元より頼みにつき書抜控）	（天保9）	折紙・1通	159-3-1

申御年貢金皆済目録 名主幸左衛門→庄左衛門殿	戌3月	切継紙・1通	159-3-2
酉御年貢金皆済目録 名主保重郎→東江部村庄左衛門殿	寅3月	横切継紙・1通	159-3-3
天保九戌年皆済目録 新保村名主弥左衛門→東江部村庄左衛門殿	(天保9) 寅3月	横切継紙・1通	159-3-4
天保十亥御年貢金皆済目録 名主利兵衛→庄左衛門殿	(天保10)	横切継紙・1通	159-3-5
(質代金返済受取勘定書、控) 東江部村庄左衛門→新保村柳左衛門殿	嘉永2酉12月9日	切継紙・1通	159-3-6
(土地質入に関する書付)		切紙・1通	159-3-7
二ツ橋 篠井増五郎へ (土地質入に関する書付)		切継紙・1通	159-3-8
(土地質入に関する書付)		切継紙・1通	159-3-9
覚(田畑永質入代内金50両受取、控) 東江部村山田庄左衛門→間山村九之丞殿 地種・石高・地積・俵数などの書付3通を巻込	文久元酉5月14日	切紙・4通	459
「軽井沢土地買入証文・外略図巻葉在」	明治38年8月	袋入・2鋪1冊1袋	323-2
(地字図、北佐久郡東長倉村大字軽井沢)		820×796・1鋪	323-2-1
軽井沢原野実測図	明治40年6月23日調整	400×564・1鋪	323-2-2
北佐久郡東長倉村大字軽井沢千七拾六番外九拾九筆切図		美・1冊	323-2-3
(合計反別、宅地・畑・原野内訳書上) 323-2-3に挟込		切紙・1通	323-2-3-1
「裏屋敷新築絵図面類入」 下高井郡江部邨山田会計所 図面は各266×376	明治12年木取、同13年建設、同14年10月落成	袋入・3鋪	323-2-4
「保存登記申請書」 320-1～9は袋入	(明治37、38年)	茶封筒入・1袋	320
土地所有権保存登記申請書 下高井郡平野村式拾九番地山田莊左衛門、下水内郡飯山町五百八拾六番地右代人浦野金治郎→飯山区裁判所御中	明治37年12月23日	仮綴・1通	320-1
土地所有権保存登記申請書副本 下高井郡平野村式拾九番地申請人山田莊左衛門、同郡瑞穂村三百五拾九番地右代理人佐藤辰蔵→飯山区裁判所御中	明治37年7月21日	仮綴・1通	320-2
受取証(山崎充三郎屋敷田普請代) 穂高村山崎彦蔵→山田莊左衛門殿	(明治) 43年5月3日	切紙・1通	320-3
土地所有権之保存ニ付登記申請 下高井郡平野村式拾九番地山田莊左衛門、同郡同村九拾貳番地右代理人久保正→飯山区裁判所中野出張所御中	明治38年2月22日	半・1冊	320-4
土地所有権之保存ニ付登記申請 下高井郡平野村式拾九番地山田莊左衛門、同郡中野町百拾貳番地右代理人寺澤孝之助→飯山区裁判所中野出張所御中	明治38年11月9日	半・1冊	320-5
土地所有権之保存ニ付登記申請 下高井郡平野村式拾九番地山田莊左衛門、同郡中野町七拾四番地内壱番右代人森山久吉→飯山区才判所中野出張所御中	明治38年12月27日	半・1冊	320-6
土地所有権之保存ニ付登記申請 下高井郡平野村式拾九番地山田莊左衛門、同郡中野町七拾四番地内壱番森山久吉→飯山区才判所中野出張所御中	明治38年12月28日	半・1冊	320-7
土地所有権之保存ニ付登記申請 下高井郡平野村式拾七番地山田榮左衛門→飯山区裁判所中野出張所御中	明治39年1月25日	半・1冊	320-8

土地所有権保存登記申請副本 下高井郡平野村式拾九番地所有者山田莊左衛門、上高井郡小布施村九百拾四番地右代人涌井逸作→長野区才判所須坂出張所御中	明治38年2月28日	美・1冊	320-9
土地売渡証書 更級郡稲荷山町百拾六番地、売主・小出八郎右衛門→下高井郡平野村山田莊左衛門殿 裏表紙に登記・所有権移転の朱印	明治38年8月27日	美・1冊	323-1
永代売渡シ申田畑書出し目録帳		横長美・仮1冊	127
覚（卯暮辰辰迄しち入新開）		横長美・1冊	128
卯暮しち地返シ覚		横長美・仮1冊	129
しち地相渡申証文之事（戌辰迄迄年季） 片塩村源七、甚五右衛門 452-8-1・2は括紐一括、開披不能		1通	452-1-8-1
小作手形並畑方間数書付 片塩村源七、甚五右衛門 開披不能		1通	452-1-8-2
一札之事 片塩村甚五右衛門 開披不能		1通	452-1-9
しち地流シ切りニ相渡し申証文之事 何村地主たれ、同所請人たれ、名主たれ、与頭たれ 端裏書「下書」		縦紙・1通	452-1-12
（田地売渡証文文言一部書付）		切紙・1通	452-1-17
流シ切相渡申畑成証文之事（下書） 地主たれ、名主たれ、名主たれ、与頭一、与頭一、請人一、同一、立会一、同一 端裏下「田地下書」	年号月日	縦紙・1通	452-1-23-2

小作証文・小作証券

○江部村東組（明治17・28年）

「江部村東組小作証文」		包紙入・100通	443-1
小作証券 下高井郡江部村小作人小林文助、同郡同村請人 小林為右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-1
小作証券 下高井郡江部村小作人丸山文作、同郡同村請人 小林市右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-2
小作証券 下高井郡江部村小作人丸山文作、同郡同村請人 小林市左衛門→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-3
小作証券 下高井郡江部村小作人玉井嘉助、同郡同村請人 山田利左衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-4
小作証券 下高井郡江部村小作人小林武蔵、同郡同村請人 山田増蔵→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-5
小作証券 下高井郡江部村小作人玉井嘉助、同郡同村請人 山田利左衛門→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-6
小作証券 下高井郡江部村小作人中嶋萬重郎、同郡同村請人 小林市左衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-7
小作証券 下高井郡江部村小作人竹内常蔵、同郡同村請人 竹内政之丞→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-8
小作証券 下高井郡江部村小作人湯本しま、同郡同村請人 湯本治兵衛→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-9
小作証券 下高井郡江部村小作人湯本しま、同郡同村請人 湯本治兵衛→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-10

小作証券 下高井郡江部村小作人湯本浅吉、同郡同村請人湯本治兵衛→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-11
小作証券 下高井郡江部村小作人山田菊次、同郡同村請人関谷政蔵→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-12
小作証券 下高井郡江部村小作人関谷新七、同郡同村請人大坂惣太郎→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-13
小作証券 下高井郡江部村小作人小林富右衛門、同郡同村請人小林文助→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦継紙・1通	443-1-14
借地証券 下高井郡江部村借地人小沢国吉、同郡同村請人小沢和吉→同郡同村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦継紙・1通	443-1-15
小作証券 下高井郡江部村小作人小川宇太郎、同郡同村請人小川丑次郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-16
小作証券 下高井郡江部村小作人小川宇太郎、同郡同村請人小川丑次郎→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-17
小作証券 下高井郡江部村小作人小川丑次郎、同郡同村請人小川宇太郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-18
小作証券 下高井郡江部村小作人小川善次郎、同郡同村請人小川友八→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦継紙・1通	443-1-19
小作証券 下高井郡江部村小作人小川善次郎、同郡同村請人小川友八→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦継紙・1通	443-1-20
小作証券 下高井郡江部村小作人小川友八、同郡同村請人小川善次郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-21
小作証券 下高井郡江部村小作人小川友八、同郡同村請人小川善次郎→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-22
小作証券 下高井郡江部村小作人湯本定次郎、同郡同村請人湯本治兵衛→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-23
小作証券 下高井郡江部村小作人湯本定次郎、同郡同村請人湯本治兵衛→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-24
小作証券 下高井郡江部村小作人小林甚作、同郡同村請人山田辰次郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-25
小作証券 下高井郡江部村小作人小林甚作、同郡同村請人山田辰次郎→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-26
小作証券 下高井郡江部村小作人山田辰次郎、同郡同村請人小林甚作→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-27
小作証券 下高井郡江部村小作人山田辰次郎、同郡同村請人小林甚作→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-28
小作証券 下高井郡江部村小作人山田増蔵、同郡同村請人小林文助→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦継紙・1通	443-1-29
小作証券 下高井郡江部村小作人小川丑次郎、同郡同村請人小川宇太郎→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-30
小作証券 下高井郡江部村小作人小林与吉、同郡同村請人中嶋萬十郎→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-31
小作証券 下高井郡江部村小作人小野沢吉左衛門、同郡同村請人関谷新七→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-1-32
小作証券 下高井郡江部村小作人山田忠治、同郡同村請人湯本治兵衛→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	縦継紙・1通	443-1-33

小作証券 下高井郡江部邨小作人山田喜七、同郡同村請人 山田直助→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-34
小作証券 下高井郡江部邨小作人山田菊次、同郡同村請人 関谷政蔵→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-35
小作証券 下高井郡江部村小作人小澤國吉、同郡同村請人 小沢和吉→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎継紙・1通	443-1-36
小作証券 下高井郡江部邨小作人小沢和吉、同郡同村請人 小澤国吉→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-37
小作証券 下高井郡江部邨小作人小澤和吉、同郡同村請人 小沢國吉→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-38
小作証券 下高井郡江部村小作人湯本治兵衛、同郡同村請人 人湯本浅次→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎継紙・1通	443-1-39
小作証券 下高井郡江部邨小作人湯本治兵衛、同郡同村請人 人湯本浅次→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎継紙・1通	443-1-40
借地証券 下高井郡江部村借地人関谷政蔵、同郡同村請人 関谷つま→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-41
小作証券 下高井郡江部邨小作人関谷政蔵、同郡同村請人 関谷つま→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-42
小作証券 下高井郡江部邨小作人湯本源右衛門、同郡同村請人 湯本治兵衛→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎継紙・1通	443-1-43
小作証券 下高井郡平野村小作人高木庄之丞、同郡同村請人 人高木市三郎→下高井郡江部邨（平野）山田莊左衛門殿	明治28年3月5日	豎紙・1通	443-1-44
小作証券 下高井郡平野村字吉田小作人春原清蔵、同郡同 邨請人畠山和重郎→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿	明治28年2月1日	豎紙・1通	443-1-45
小作証券 下高井郡平野邨小作人小林文助、同郡同村請人 小林五三郎→山田莊左衛門殿	明治28年3月5日	豎継紙・1通	443-1-46
小作証券 下高井郡小作人小林五三郎、同郡同邨請人小林 文助→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿	明治28年3月5日	豎紙・1通	443-1-47
小作証券 下高井郡平野邨小作人小林五三郎、同郡同村請人 人小林文助→山田莊左衛門殿	明治28年3月5日	豎継紙・1通	443-1-48
小作証券 下高井郡平野邨小作人山田木之助、同郡同村請人 人山田文吉→山田莊左衛門殿	明治28年3月5日	豎継紙・1通	443-1-49
小作証券 下高井郡平野邨小作人湯本才治、同郡同邨請人 小林市左衛門→下高井郡平野邨山田莊左衛門殿	明治28年3月7日	豎紙・1通	443-1-50
小作証券 下高井郡江部邨小作人小林弥三郎、同郡同村請人 人小林市左衛門→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎継紙・1通	443-1-51
小作証券 下高井郡江部邨小作人大坂磯右衛門、同郡同村請人 人高木惣吉→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎継紙・1通	443-1-52
小作証券 下高井郡江部邨小作人大坂磯右衛門、同郡同村請人 人高木惣吉→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-53
小作証券 下高井郡江部邨小作人山田増蔵、同郡同村請人 小林文助→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎継紙・1通	443-1-54
小作証券 下高井郡江部邨小作人関谷政蔵、同郡同邨請人 関谷つま→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎継紙・1通	443-1-55
小作証券 下高井郡江部邨小作人勝山金吾、同郡同村請人 小澤久之助→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-56

小作証券 下高井郡江部村小作人勝山金吾、同郡同村請人小沢久之助→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-57
借地証券 下高井郡江部村借地人小川佐吉、請人小林富右衛門→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎継紙・1通	443-1-58
小作証券 下高井郡江部村小作人山田直助、同郡同村請人山田喜七→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎継紙・1通	443-1-59
小作証券 下高井郡江部村小作人山田直助、同郡同村請人山田喜七→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎継紙・1通	443-1-60
小作証券 下高井郡江部村小作人小川佐吉、同郡同村請人小林富右衛門→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎継紙・1通	443-1-61
小作証券 下高井郡江部村小作人村上平藏、同郡同村請人大坂惣太郎→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎継紙・1通	443-1-62
小作証券 下高井郡江部村小作人湯本浅吉、同郡同村請人湯本治兵衛→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-63
小作証券 下高井郡江部村小作人山田喜七、同郡同村請人山田直助→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎継紙・1通	443-1-64
小作証券 下高井郡江部村小作人小林富右衛門、同郡同村請人小林文助→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-65
小作証券 下高井郡江部村小作人村上平藏、同郡同村請人大坂惣太郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎継紙・1通	443-1-66
小作証券 下高井郡江部村小作人小川佐吉、同郡同村請人小林富右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎継紙・1通	443-1-67
小作証券 下高井郡江部村小作人関谷新七、同郡同村請人大坂惣太郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-68
小作証券 下高井郡江部村小作人小林弥三郎、同郡同村請人小林市左衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-69
小作証券 下高井郡江部村小作人山田仁助、同郡同村請人高木惣吉→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-70
小作証券 下高井郡江部村小作人宮崎茂兵衛、同郡同村請人勝山金吾→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月14日	豎紙・1通	443-1-71
小作証券 下高井郡江部村小作人小林市左衛門、同郡同村請人中島萬重郎→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-72
小作証券 下高井郡江部村小作人小林市左衛門、同郡同村請人山田寅藏→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年6月23日	豎紙・1通	443-1-73
小作証券 下高井郡江部村小作人小林市左衛門、同郡同村請人山田寅藏→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年6月23日	豎紙・1通	443-1-74
小作証券 下高井郡江部村小作人小林市左衛門、同郡同村請人山田寅藏→山田莊左衛門殿	明治17年6月23日	豎紙・1通	443-1-75
小作証券 下高井郡江部村小作人山田寅藏、同郡同村請人山田利左衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月日	豎継紙・1通	443-1-76
小作証券 下高井郡江部村小作人山田寅藏、同郡同村請人山田利左衛門→山田莊左衛門殿	明治17年5月日	豎紙・1通	443-1-77
小作証券 下高井郡江部村小作人山田つゑ、同郡同村請人山田榮左衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	豎紙・1通	443-1-78
小作証券 下高井郡江部村小作人網嶋九兵衛、同郡同村請人玉井嘉助→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎継紙・1通	443-1-79

小作証券 下高井郡江部村小作人綱嶋九兵衛、同郡同村請人玉井嘉助→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-80
小作証券 下高井郡江部村小作人山田利左衛門、同郡同村請人玉井嘉助→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎繼紙・1通	443-1-81
小作証券 下高井郡江部村小作人山田利左衛門、同郡同村請人玉井嘉助→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎繼紙・1通	443-1-82
小作証券 下高井郡江部村小作人山田仁助、同郡同村請人高木惣吉→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-83
小作証券 下高井郡江部村小作人小澤久之助、同郡同村請人勝山金吾→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-84
小作証券 下高井郡江部村小作人小沢久之助、同郡同村請人勝山金吾→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-85
小作証券 下高井郡江部村小作人山田忠治、同郡同村請人湯本治兵衛→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-86
小作証券 下高井郡江部村小作人大坂莊平、同郡同村請人大坂惣太郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-87
小作証券 下高井郡江部村小作人高木惣吉、同郡同村請人大坂磯右衛門→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-88
小作証券 下高井郡江部村小作人高木惣吉、同郡同村請人大坂磯右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-89
小作証券 下高井郡江部村小作人竹内政之丞、同郡同村請人竹内常藏→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-90
小作証券 下高井郡江部村小作人湯本源右衛門、同郡同村請人湯本治兵衛→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎繼紙・1通	443-1-91
小作証券 下高井郡江部村小作人高木市三郎、同郡同村請人高木徳次→上水内郡牟禮村小川昌夫殿代理山田莊左衛門殿	明治17年5月21日	豎紙・1通	443-1-92
小作証券 下高井郡江部村小作人佐藤喜代次、同郡同村請人青木新藏→上水内郡牟禮村小川昌夫殿代理山田莊左衛門殿	明治17年5月21日	豎紙・1通	443-1-93
小作証券 下高井郡江部村小作人小林市左衛門、同郡同村請人山田寅藏→上水内郡牟禮村小川昌夫殿代理下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年6月23日	豎紙・1通	443-1-94
小作証券 下高井郡吉田村小作人西原市治郎、同郡同村請人岡本佐七→上水内郡牟禮村小川昌夫殿代理山田莊左衛門殿	明治17年6月19日	豎紙・1通	443-1-95
小作証券 下高井郡江部村小作人高津伊助、同郡片塩村請人吉見久衛→上水内郡牟禮村小川昌夫殿代理山田莊左衛門殿	明治17年6月23日	豎紙・1通	443-1-96
小作証券 下高井郡江部村小作人竹内政之丞、同郡同村請人竹内常藏→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎繼紙・1通	443-1-97
借地証券 下高井郡江部村借地人大坂惣太郎、請人邨上平藏→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎繼紙・1通	443-1-98
小作証券 下高井郡江部村小作人大坂惣太郎、同郡同村請人邨上平藏→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎紙・1通	443-1-99
小作証券 下高井郡江部村小作人大坂惣太郎、同郡同村請人邨上平藏→山田莊左衛門殿	明治17年5月12日	豎繼紙・1通	443-1-100

○江部村西組（明治14・17・28年）

「江部村西組小作証文」		包紙入・53通	443-2
小作証券 下高井郡小作人丸山伊右衛門、同郡同郷請人山田多喜三→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治28年3月5日	堅紙・1通	443-2-1
小作証券 下高井郡平野村小作人小林市左衛門、同郡同郷請人湯本才治→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	明治28年3月7日	堅紙・1通	443-2-2
小作証券 下高井郡平野村小作人山田多喜三、同郡同郷請人竹内萬平→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	明治28年3月5日	堅紙・1通	443-2-3
小作証券 下高井郡平野村小作人山田多喜三、同郡同村請人竹内萬平→山田莊左衛門殿	明治28年3月5日	堅紙・1通	443-2-4
小作証券 下高井郡小作人竹内岸藏、同郡同郷請人竹内萬平→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治28年3月5日	堅紙・1通	443-2-5
小作証券 下高井郡平野村寄留小作人戸川作徳、同郡同郷請人小林市左衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治28年3月13日	堅紙・1通	443-2-6
小作証券 下高井郡江部村小作人春日勝之助、同郡同村請人小林鶴吉→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月21日	堅紙・1通	443-2-7
小作証券 下高井郡江部村小作人春日勝之助、同郡同村請人小林鶴吉→山田理兵衛殿	明治17年5月21日	堅紙・1通	443-2-8
小作証券 下高井郡江部村西組小作人竹内岸藏、同郡同村請人竹内作兵衛→上水内郡牟礼小川千代吉殿代理下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年3月30日	堅紙・1通	443-2-9
小作証券 下高井郡江部村小作人唐木田多一郎、同郡同村請人丸山直藏→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年6月22日	堅紙・1通	443-2-10
小作証券 下高井郡江部村小作人小林作五郎、同郡吉田村請人柳沢喜重郎→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年6月30日	堅紙・1通	443-2-11
小作証券 下高井郡江部村小作人小林鶴吉、同郡同村請人春日勝之助→山田理兵衛殿	明治17年5月23日	堅紙・1通	443-2-12
小作証券 下高井郡江部村小作人小林鶴吉、同郡同村請人春日勝之助→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年6月7日	堅紙・1通	443-2-13
小作証券 下高井郡吉田村小作人木村莊作、同郡同村請人塩崎倉之助→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年6月21日	堅紙・1通	443-2-14
小作証券 下高井郡江部村小作人長嶋平次、同郡同村請人長嶋金次郎→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年6月7日	堅紙・1通	443-2-15
小作証券 下高井郡江部村小作人高木作藏、同郡同村請人高木徳次→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月22日	堅紙・1通	443-2-16
小作証券 下高井郡江部村小作人高木作藏、同郡同村請人高木徳次→山田理兵衛殿	明治17年5月22日	堅紙・1通	443-2-17
小作証券 下高井郡江部村小作人高津伊助、同郡片塩村請人吉見久衛→山田理兵衛殿	明治17年6月23日	堅紙・1通	443-2-18
小作証券 下高井郡江部村小作人高津伊助、同郡片塩村請人吉見久衛→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年6月23日	堅紙・1通	443-2-19
小作証券 下高井郡江部村小作人青木新藏、同郡同村請人青木常次郎→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月28日	堅紙・1通	443-2-20
小作証券 下高井郡江部村小作人青木新藏、同郡同村請人青木彦次郎→山田理兵衛殿	明治17年5月28日	堅紙・1通	443-2-21

小作証券 下高井郡江部村小作人高木市三郎、同郡同村請人高木徳次→山田理兵衛殿	明治17年5月21日	縦紙・1通	443-2-22
小作証券 下高井郡江部村小作人高木市三郎、同郡同村請人高木徳次→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月22日	縦継紙・1通	443-2-23
小作証券 下高井郡江部村小作人永見潔、同郡同村請人長瀧茂吉→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年6月16日	縦紙・1通	443-2-24
小作証券 下高井郡江部村小作人永見潔、同郡同村請人長瀧茂吉→山田理兵衛殿	明治17年6月16日	縦継紙・1通	443-2-25
小作証券 下高井郡江部村小作人高木徳次、同郡同村請人高木作蔵→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月26日	縦紙・1通	443-2-26
小作証券 下高井郡江部村小作人高木徳次、同郡同村請人高木作蔵→山田理兵衛殿	明治17年5月26日	縦紙・1通	443-2-27
小作証券 下高井郡江部村小作人篠田牧太郎、同郡同村請人篠田濱之助→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月23日	縦紙・1通	443-2-28
小作証券 下高井郡江部村小作人篠田牧太郎、同郡同村請人篠田濱之助→山田理兵衛殿	明治17年5月23日	縦紙・1通	443-2-29
小作証券 下高井郡江部村小作人篠田濱之助、同郡同村請人篠田牧太郎→山田理兵衛殿	明治17年5月21日	縦紙・1通	443-2-30
小作証券 下高井郡江部村小作人篠田濱之助、同郡同村請人篠田牧太郎→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月21日	縦紙・1通	443-2-31
小作証券 下高井郡江部村小作人長嶋金次郎、同郡同村請人長嶋武右衛門→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月21日	縦紙・1通	443-2-32
小作証券 下高井郡江部村小作人長嶋武右衛門、同郡同村請人長嶋金次郎→山田理兵衛殿	明治17年5月21日	縦紙・1通	443-2-33
小作証券 下高井郡江部村小作人長嶋武右衛門、同郡同村請人長嶋金次郎→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月21日	縦継紙・1通	443-2-34
小作証券 下高井郡江部村小作人丸山文作、同郡同村請人小林市左衛門→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月26日	縦紙・1通	443-2-35
小作証券 下高井郡江部村小作人関谷政蔵、同郡同村請人小林市左衛門→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年6月21日	縦紙・1通	443-2-36
小作証券 下高井郡江部村小作人小林與吉、同郡同村請人丸山文作→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月26日	縦紙・1通	443-2-37
小作証券 下高井郡吉田村小作人西原市治郎、同郡同村請人岡本佐七→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年6月19日	縦紙・1通	443-2-38
小作証券 下高井郡吉田村小作人竹内惣四郎、同郡同村請人畠山和重郎→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年6月20日	縦紙・1通	443-2-39
小作証券 下高井郡吉田村小作人原清助、同郡同村請人畠山和重郎→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年6月20日	縦紙・1通	443-2-40
小作証券 下高井郡吉田村小作人小林徳蔵、同郡同村請人畠山和重郎→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年6月20日	縦紙・1通	443-2-41
小作証券 下高井郡江部村小作人佐藤幸松、同郡同村請人高木作蔵→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年10月5日	縦紙・1通	443-2-42
小作証券 下高井郡江部村小作人佐藤喜代次、同郡同村請人青木新蔵→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月21日	縦紙・1通	443-2-43
小作証券 下高井郡江部村西組小作人佐藤喜代次、同郡同村請人佐藤丑太郎→山田理兵衛殿	明治17年6月15日	縦紙・1通	443-2-44

小作証券 下高井郡江部村小作人佐藤喜代次、同郡同村請人青木新蔵→山田理兵衛殿	明治17年5月21日	縦継紙・1通	443-2-45
(小作証券一括)	明治14年明治17年	こより一括・2束	443-2-46
(小作証券一括、帯封書「跡廻シ認方見合ノ事」)		帯封一括・3通	443-2-46-1
小作証券 下高井郡江部村西組小作人丸山林之助、同郡同村請人丸山綱五郎→上水内郡牟禮宿小川千代吉殿代理下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年3月30日	縦紙・1通	443-2-46-1-1
小作証券 下高井郡江部村西組小作人唐木田多一郎、同郡同村請人丸山近蔵→上水内郡牟禮宿小川千代吉殿代理下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年3月30日	縦紙・1通	443-2-46-1-2
小作証券 下高井郡江部村西組小作人竹内岸蔵、同郡同村請人竹内作兵衛→上水内郡牟禮宿小川千代吉殿代理下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年3月30日	縦紙・1通	443-2-46-1-3
(小作証券一括)	明治17年	こより一括・10通	443-2-46-2
小作証券 下高井郡江部村小作人青木常次郎、同郡同村請人青木新蔵→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月28日	縦紙・1通	443-2-46-2-1
小作証券 下高井郡江部村小作人長嶋七左衛門、同郡同村請人長嶋重次郎→山田理兵衛殿	明治17年6月20日	縦継紙・1通	443-2-46-2-2
小作証券 下高井郡江部村小作人長嶋七左衛門、同郡同村請人長嶋重次郎→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年6月20日	縦継紙・1通	443-2-46-2-3
(10名名前書上)		横切紙・1通	443-2-46-2-4
小作証券 下高井郡江部村小作人長嶋七左衛門、同郡同村請人長嶋牧左衛門→同郡同村山田理兵衛殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-2-46-2-5
小作証券 下高井郡江部村小作人長嶋七左衛門、同郡同村請人長嶋牧左衛門→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-2-46-2-6
小作証券 下高井郡江部村小作人長嶋牧左衛門、同郡同村請人長嶋七左衛門→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年6月20日	縦紙・1通	443-2-46-2-7
小作証券 下高井郡江部村小作人長嶋牧左衛門、同郡同村請人長嶋七左衛門→山田理兵衛殿	明治17年6月20日	縦紙・1通	443-2-46-2-8
小作証券 下高井郡江部村小作人長嶋牧左衛門、同郡同村請人長嶋七左衛門→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-2-46-2-9
小作証券 下高井郡江部村小作人長嶋牧左衛門、同郡同村請人長嶋七左衛門→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年6月24日	縦紙・1通	443-2-46-2-10

○（小作証文一括）

「小作証文」		包紙入・16通	443-3
小作証券 下高井郡木嶋村大字下木嶋小作人高橋市郎、同郡同村請人井上米吉→山田莊左衛門殿	明治26年6月27日	縦継紙・1通	443-3-1
日延証券 下高井郡平野村江部小林駒之助、全郡全村小林ぶん→山田莊左衛門殿	明治30年3月24日	縦紙・1通	443-3-2
小作証券 下高井郡木嶋村小作人阿部茂市郎、同郡同村請人月岡和吉→山田莊左衛門殿	明治26年5月20日	縦紙・1通	443-3-3
小作証券 下高井郡木嶋村小作人丸山和吉、同郡同村請人萩原助太郎→山田莊左衛門殿	明治26年5月日	縦紙・1通	443-3-4

小作証券 下高井郡平野邨片塩小作人小林伴三、同郡同邨請人小林宇太郎→下高井郡平野邨山田莊左衛門殿	明治30年4月11日	縦紙・1通	443-3-5
小作証券 下高井郡平野村字吉田小作人藤澤安藏、同郡同邨請人小林勝藏→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿	明治30年2月28日	縦紙・1通	443-3-6
小作証券 上高井郡押羽邨請人島津吉藏、同郡同邨小作人山崎八作→下高井郡平野邨山田莊左衛門殿	明治30年2月16日	縦紙・1通	443-3-7
小作証券 上高井郡押羽邨小作人島津吉藏、同郡同村請人山崎八作→山田莊左衛門殿	明治30年2月16日	縦継紙・1通	443-3-8
小作証券 上高井郡押羽邨小作人浅岡兵治、同郡同邨請人小林傳治→下高井郡平野邨山田莊左衛門殿	明治30年2月16日	縦紙・1通	443-3-9
田小作証書 下高井郡中野町大字西條小作人倉品千六、下高井郡中ノ町大字西条受人倉品房治→同郡平野村大字江部関谷孝之助殿	明治30年5月18日	赤野紙・1通	443-3-10
小作証券 下高井郡平野邨小作人大坂亀作、同郡同邨請人大坂莊平→下高井郡平野邨山田莊左衛門殿	明治30年4月16日	縦紙・1通	443-3-11
小作証券 下高井郡平野邨片塩小作人小林伴三、同郡同邨請人小林宇太郎→下高井郡平野邨山田莊左衛門殿	明治30年4月11日	縦紙・1通	443-3-12
小作証券 下高井郡高丘邨小作人金井藤五郎、同郡同邨請人松嶋慶治→下高井郡平野邨山田莊左衛門殿	明治30年4月19日	縦紙・1通	443-3-13
小作証券 下高井郡高丘邨小作人松嶋慶治、同郡同邨請人金井藤五郎→下高井郡平野邨山田莊左衛門殿	明治30年4月19日	縦紙・1通	443-3-14
小作証文 下高井郡高野村小作人村越茂助、全郡全村小作人廣瀬庄作、全郡全村請人小林茂右衛門→山田庄左衛門殿 奥に小作桑苗植付の約定書	明治23年4月16日	縦継紙・1通	443-3-15
（桑苗植付料50円本目下附願） 村越茂助、廣瀬庄作→山田莊左衛門殿 443-3-15に挟込、奥に桜井勘右衛門の50円受取書	（明治23年）4月24日	縦紙・1通	443-3-15-1

○押切・北岡・矢島・清水（明治17年）

「押切北岡矢島清水小作証文」	明治17年	包紙入・58通	443-4
小作証券 下高井郡押羽村小作人永井善右衛門、同郡同村請人永井源作→山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-1
小作証券 下高井郡押羽村小作人永井善右衛門、同郡同村請人永井源作→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦継紙・1通	443-4-2
小作証券 下高井郡押羽村小作人久保田萬右衛門、同郡同村請人中西莊作→山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-3
小作証券 下高井郡押羽村小作人久保田萬右衛門、同郡同村請人中西莊作→下高井郡江部村山田庄左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-4
小作証券 下高井郡押羽村小作人小林頼太郎、同郡同村請人小林源治郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦継紙・1通	443-4-5
小作証券 下高井郡押羽村小作人小林常吉、同郡同村請人小林利惣次→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-6
小作証券 下高井郡押羽村小作人小林源治郎、同郡同村請人小林頼太郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-7
小作証券 下高井郡押羽村小作人永井吉左衛門、同郡同村請人永井源作→山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-8

小作証券 下高井郡押羽村小作人永井吉左衛門、同郡同村請人永井源作→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-9
小作証券 下高井郡押羽村小作人涌井勘兵衛、同郡同村請人関六兵衛→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-10
小作証券 下高井郡押羽村小作人浅岡鉄之助、同郡同村請人永井茂市→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-11
小作証券 下高井郡押羽村小作人浅岡鉄之助、同郡同村請人永井茂市→山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-12
小作証券 下高井郡押羽村小作人北沢佐治右衛門、同郡同村請人涌井逸作→山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-13
小作証券 下高井郡押羽村小作人北沢佐治右衛門、同郡同村請人涌井逸作→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-14
小作証券 下高井郡押羽村小作人丸山亀太良、同郡同村請人浅岡久治→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-15
小作証券 下高井郡押羽村小作人高津幸之助、同郡同村請人高津與市→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-16
小作証券 下高井郡押羽村小作人中西莊作、同郡同村請人久保田万右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-17
小作証券 下高井郡押羽村小作人高津栄藏、同郡同村請人浅岡良平→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-18
小作証券 下高井郡押羽村小作人芋川惣太郎、同郡同村請人清水治郎作→山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-19
小作証券 下高井郡押羽村小作人芋川惣太郎、同郡同村請人清水治郎作→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-20
小作証券 下高井郡押羽村小作人曾我市右衛門、同郡同村請人関菊次郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-21
小作証券 下高井郡押羽村小作人永井和吉、同郡同村請人小田切八右衛門→山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-22
小作証券 下高井郡押羽村小作人永井和吉、同郡同村請人小田切八右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-23
小作証券 下高井郡押羽村小作人浅岡良助、同郡同村請人浅岡良平→山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-24
小作証券 下高井郡押羽村小作人浅岡良助、同郡同村請人浅岡良平→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-25
小作証券 下高井郡押羽村小作人浅岡良平、同郡同村請人高津栄藏→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-26
小作証券 下高井郡押羽村小作人永井源作、同郡同村請人嶋田久藏→山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-27
小作証券 下高井郡押羽村小作人永井源作、同郡同村請人嶋田久藏→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-28
小作証券 下高井郡押羽村小作人嶋田久藏、同郡同村請人永井源作→山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-29
小作証券 下高井郡押羽村小作人嶋田久藏、同郡同村請人永井源作→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-30
小作証券 下高井郡押羽村小作人小田切八右衛門、同郡同村請人高津幸之助→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-31

小作証券 下高井郡押羽村小作人芋川新太郎、同郡同村請人丸山亀太郎→山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-32
小作証券 下高井郡押羽村小作人芋川新太郎、同郡同村請人丸山亀太郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-33
小作証券 下高井郡押羽村小作人土屋喜太郎、同郡同村請人浅岡良助→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-34
小作証券 下高井郡押羽村小作人浅岡久治、同郡同村請人丸山亀太郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-35
小作証券 下高井郡押羽村小作人内山林八、同郡同村請人笹岡栄之助→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-36
小作証券 下高井郡押羽村小作人関音作、同郡同村請人関由右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-37
小作証券 下高井郡押羽村小作人笹岡栄之助、同郡同村請人内山林八→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦継紙・1通	443-4-38
小作証券 下高井郡押羽村小作人山岸元作、同郡同村請人山岸惣吉→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-39
小作証券 下高井郡北岡村小作人小林政八、同郡同村請人根津吉右衛門→山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-40
小作証券 下高井郡北岡村小作人小林政八、同郡同村同請人根津吉右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-41
小作証券 下高井郡北岡村小作人根津吉右衛門、同郡同村同請人根津三之丞→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-42
小作証券 下高井郡北岡村小作人鶴田茂市、同郡同村同請人根津三之丞→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-43
小作証券 下高井郡北岡村小作人入江九左衛門、同郡同村請人鶴田茂市→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-44
小作証券 下高井郡北岡村小作人山崎駒造、同郡同村請人鶴田重左衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-45
小作証券 下高井郡北岡村小作人和田きう、同郡同村請人鶴田重左衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-46
小作証券 下高井郡押羽村小作人涌井逸作、同郡同村請人北澤佐治右衛門→山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-47
小作証券 下高井郡押羽村小作人涌井逸作、同郡同村請人北沢佐治右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦継紙・1通	443-4-48
小作証券 下高井郡北岡村小作人朝日奈了秀、同郡同村請人小林励道→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦継紙・1通	443-4-49
小作証券 下高井郡北岡村小作人根津三之丞、同郡同村同請人根津吉右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-50
小作証券 下高井郡北岡村小作人鶴田重左衛門、同郡同村請人山崎駒蔵→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-51
小作証券 下高井郡押羽村小作人浅岡喜一郎、同郡同村請人浅岡良平→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-52
小作証券 下高井郡押羽村小作人塩野崎安次、同郡同村請人玉井新兵衛→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-53
小作証券 下高井郡押羽村小作人関六兵衛、同郡同村請人涌井勘兵衛→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	縦紙・1通	443-4-54

小作証券 下高井郡押羽村小作人永井茂市、同郡同村請人 浅岡鉄之助→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-55
小作証券 下高井郡押羽村小作人月岡伊兵衛、同郡同村請 人嶋田久蔵→山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-56
小作証券 下高井郡押羽村小作人関菊次郎、同郡同村請人 曾我市右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-57
小作証券 下高井郡押羽村小作人月岡伊兵衛、同郡同村請 人嶋田久蔵→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月16日	豎紙・1通	443-4-58

○江部（明治14・15年）

(小作証券一括)		紙紐一括・11通	443-5
小作証券 下高井郡江部村西組小作人長島茂吉、同郡同村 請人長嶋武右衛門→山田莊左衛門殿	明治14年3月31日	豎継紙・1通	443-5-1
(小作証券) 下高井郡江部村西組小作人長島茂吉、同郡 同村請人長嶋武右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年3月31日	豎紙・1通	443-5-2
小作証券 下高井郡江部村西組小作人青木太兵衛、同郡同 村請人青木新蔵→山田莊左衛門殿	明治14年3月30日	豎紙・1通	443-5-3
小作証券 下高井郡江部村西組小作人長嶋紋左〔 〕、 同郡同村請人長嶋七左〔 〕→下高井郡江部村山田莊 左衛門殿 印切取、端裏書「消印」	明治14年3月31日	豎紙・1通	443-5-4
小作証券 下高井郡江部村西組小作人佐藤丑太郎、同郡同 村請人佐藤善右衛門→山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端 裏朱書「6月1日本人参り消印」	明治14年3月30日	豎紙・1通	443-5-5
小作証券 下高井郡江部村西組小作人長嶋紋左衛門、同郡 同村請人長嶋七左衛門→山田莊左衛門殿 印切取、端裏 書「消印」	明治14年3月31日	豎継紙・1通	443-5-6
小作証券 下高井郡江部村西組小作人丸山〔伊右衛門〕、 同郡同村請人丸山〔 〕→山田莊左衛門殿 印切取、 端裏朱書「6月1日印形返ス」	明治14年3月30日	豎紙・1通	443-5-7
小作証券 下高井郡江部村小作人長嶋七左〔 〕、同郡 同村〔 〕→山田莊左衛門殿 印切取、端裏書 「消印」	明治14年5月22日	豎紙・1通	443-5-8
小作証券 下高井郡江部村西組小作人〔伊右衛門〕、同郡 同村請人〔 〕→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印 紙・印墨消、小作人名切取、端裏朱書「6月1日印形返ス」	明治14年3月30日	豎継紙・1通	443-5-9
小作証券 下高井郡小作人長嶋七左〔 〕、同郡同村〔 〕→山田莊左衛門殿 印切取、端裏書「消印」	明治15年3月11日	豎紙・1通	443-5-10
小作証券 下高井郡江部村小作人長嶋七左衛〔 〕、同 郡同村〔 〕→下高井郡江部村山田莊左衛門 殿 印切取、端裏貼紙「明治17年4月30日受人長嶋紋左衛 門ノ印形本人七左衛門へ返ス」	明治14年5月22日	豎紙・1通	443-5-11

○新井・七瀬（明治17年）

「新井七瀬小作証文」		包紙入・6通	443-6
小作証券 下高井郡新井村小作人相馬徳兵衛、同郡同村請 人相馬弥太郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月14日	豎継紙・1通	443-6-1

地主/小作証文・小作証券/○新井・七瀬（明治17年）

小作証券 下高井郡新井村小作人相馬直右衛門、同郡同村請人相馬徳兵衛→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月14日	豎紙・1通	443-6-2
小作証券 下高井郡新井村小作人栗林萬助、同郡同村請人古原傳兵衛→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月15日	豎紙・1通	443-6-3
小作証券 下高井郡新井村小作人相馬安之丞、同郡同村請人田沢金左衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月18日	豎紙・1通	443-6-4
小作証券 下高井郡新井村小作人相馬和吉、同郡同村請人相馬武右衛門→山田莊左衛門殿	明治17年5月日	豎紙・1通	443-6-5
小作証券 下高井郡新井村小作人相馬和吉、同郡同村請人相馬武右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月日	豎紙・1通	443-6-6

○吉田（明治17～28年）

「吉田小作証文」		包紙一括・26通	443-7
小作証券 下高井郡吉田村小作人小林勝藏、同郡同村請人竹内多長次→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月22日	豎紙・1通	443-7-1
小作証券 下高井郡吉田村小作人小林勝藏、同郡同村請人竹内多長次→山田莊左衛門殿	明治17年5月22日	豎紙・1通	443-7-2
小作証券 下高井郡平岡村小作人栗林萬助、同郡同村請人栗林森三郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治28年2月9日	豎紙・1通	443-7-3
小作証券 下高井郡平岡村小作人相馬直右衛門、同郡同村請人相馬米次郎→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	明治26年4月29日	豎紙・1通	443-7-4
小作証券 下高井郡平野村小作人小林敬太郎、同郡同村請人竹内熊太郎→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	明治28年3月7日	豎紙・1通	443-7-5
小作証券 下高井郡吉田村小作人小林末吉、同郡同村請人松井宇八→山田莊左衛門殿	明治17年5月26日	豎紙・1通	443-7-6
小作証券 下高井郡吉田村小作人小林末吉、同郡同村請人松井宇八→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月26日	豎紙・1通	443-7-7
借地証券 下高井郡吉田村借地人竹内多長治、同郡同村請人竹内儀兵衛→山田莊左衛門殿	明治17年5月22日	豎紙・1通	443-7-8
小作証券 下高井郡平野村小作人小林栄之助、同郡同村請人原彌太郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治18年月日	豎紙・1通	443-7-9
小作証券 下高井郡吉田村小作人竹内惣四郎、同郡同村請人岡本佐七→山田莊左衛門殿	明治17年5月22日	豎紙・1通	443-7-10
小作証券 下高井郡吉田村小作人原友助、同郡同村請人原國吉→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月17日	豎紙・1通	443-7-11
小作証券 下高井郡吉田村小作人原國吉、同郡同村請人原友助→山田莊左衛門殿	明治17年5月17日	豎紙・1通	443-7-12
小作証券 下高井郡吉田村小作人原國吉、同郡同村請人原友助→下高井郡江部村山田莊左衛門殿へ	明治17年5月17日	豎紙・1通	443-7-13
小作証券 下高井郡吉田村小作人平林多左衛門、同郡同村請人町田要之助→山田莊左衛門殿	明治17年5月21日	豎紙・1通	443-7-14
小作証券 下高井郡吉田村小作人竹内庄作、同郡同村請人→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月19日	豎紙・1通	443-7-15
小作証券 下高井郡吉田村小作人上原理左衛門、同郡同村請人町田作治→山田莊左衛門殿	明治17年5月10日	豎紙・1通	443-7-16

小作証券 下高井郡吉田村小作人竹内藤太夫、同郡同村請人→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 端裏貼紙「受人印形相済」	明治17年5月10日	縦紙・1通	443-7-17
小作証券 下高井郡吉田村小作人春原清蔵、同郡同村請人畠山和十郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月23日	縦紙・1通	443-7-18
小作証券 下高井郡吉田村小作人松井宇八、同郡同村請人小林末吉→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月26日	縦紙・1通	443-7-19
小作証券 下高井郡吉田村小作人竹内多長治、同郡同村請人竹内儀兵衛→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月22日	縦紙・1通	443-7-20
小作証券 下高井郡吉田村小作人竹内多長次、同郡同村請人小林菊之助→山田莊左衛門殿	明治17年5月22日	縦紙・1通	443-7-21
小作証券 下高井郡吉田村小作人竹内多長治、同郡同村請人竹内儀兵衛→山田莊左衛門殿	明治17年5月22日	縦紙・1通	443-7-22
小作証券 下高井郡平野村吉田小作人平林九重郎、同郡同村請人小林年兵衛→山田莊左衛門殿	明治27年2月27日	縦紙・1通	443-7-23
小作証券 下高井郡平野村吉田小作人春原芳松、同郡同村請人小林市蔵→山田莊左衛門殿	明治27年2月27日	縦紙・1通	443-7-24
小作証券 下高井郡平岡村小作人栗林萬助、同郡同村請人栗林森三郎→山田莊左衛門殿	明治28年2月9日	縦紙・1通	443-7-25
小作証券 下高井郡平野村小作人竹内熊太郎、同郡同村請人小林敬太郎→同郡平野村山田莊左衛門殿	明治28年3月7日	縦紙・1通	443-7-26

○一括されていない小作証券（443の括りには含まれる）

小作証券 下高井郡新保村小作人嶋田定八、同郡同村請人番場倉之助→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年4月10日	縦紙・1通	443-8
小作証券 下高井郡新保村小作人小林七重郎、同郡同村請人小林惣吉→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年4月11日	縦紙・1通	443-9
小作証券 下高井郡新保村小作人小林七重郎、同郡同村請人小林惣吉→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治14年4月11日	縦紙・1通	443-10
小作証券 下高井郡新保村小作人馬場周蔵、同郡同村請人同庄兵衛→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年4月10日	縦紙・1通	443-11
小作証券 下高井郡新保村小作人黒岩要之丞、同郡同村請人小林与右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消	明治14年4月11日	縦紙・1通	443-12
小作証券 下高井郡新保村小作人黒崎八左衛門、同郡同村請人同藤太→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年4月10日	縦紙・1通	443-13
小作証券 下高井郡新保村小作人宮崎治助、同郡同村請人宮崎孝太郎→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年月日	縦紙・1通	443-14

○中野町共同貯蓄講持村（明治19年）

「中野町共同貯蓄講持村小作証文」		帯封一括・6通	443-15
小作証書 下高井郡天神堂村小作人大沢森之助、同郡同村請人小池彦七→中野町共同貯蓄講会主曾我新造代人下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治19年月日	縦紙・1通	443-15-1
小作証書 下高井郡下木島村小作人高橋市郎、同郡同村請人佐藤々作→中野町共同貯蓄講会主曾我新造代人下高井	明治19年月日	縦紙・1通	443-15-2

郡江部邨山田理兵衛殿			
小作証書 下高井郡天神堂村小作人佐藤三之丞、同郡同邨請人佐藤々作→中野町共同貯蓄講会主曾我新造代人下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治19年月日	縦紙・1通	443-15-3
小作証書 下高井郡天神堂村小作人本山助作、同郡天神堂村請人佐藤惣左衛門→中野町共同貯蓄講会主曾我新造代人下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治19年月日	縦紙・1通	443-15-4
小作証書 下高井郡天神堂村小作人伊東治助、同郡同邨請人伊東長吉→中野町共同貯蓄講会主曾我新造代人下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治19年月日	縦紙・1通	443-15-5
小作証書 下高井郡天神堂村小作人佐藤テイ、同郡同邨請人佐藤傳八→中野町共同貯蓄講会主曾我新造代人下高井郡江部邨山田理兵衛殿 小作人変更の貼紙	明治19年7月23日	縦紙・1通	443-15-6

○吉田（明治14・15・17年）

「古 吉田村小作証文 江部分トモ」		包紙入・31通	443-16
小作証券 下高井郡吉田村小作人上原利左衛門、同郡同村請人町田作治→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年4月27日	縦紙・1通	443-16-1
小作証添一札 下高井郡吉田村小林多吉、同郡同村請人畠山兵左衛門→山田莊左衛門殿	明治14年4月27日	縦紙・1通	443-16-2
小作証券 下高井郡小作人小林萬藏、同郡同村請人小林文吉→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年4月12日	縦紙・1通	443-16-3
小作証券 下高井郡吉田村小作人松井宇八、同郡同村請人小林末吉→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年4月15日	縦紙・1通	443-16-4
小作証券 下高井郡小作人松井倉吉、同郡同村請人松井宇八→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年4月27日	縦紙・1通	443-16-5
小作証券 下高井郡吉田村小作人小林勝藏、同郡同村請人小林末吉→山田莊左衛門殿	明治15年4月10日	縦紙・1通	443-16-6
小作証券 下高井郡吉田村小作人竹内太長次、同郡同村請人竹内儀兵衛→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年4月12日	縦紙・1通	443-16-7
小作証券 下高井郡吉田邨小作人竹内太長治、同郡同村請人竹内儀兵衛→山田莊左衛門殿	明治15年3月15日	縦紙・1通	443-16-8
小作証券 下高井郡吉田邨小作人竹内太長次、同郡同村請人竹内儀兵衛→山田莊左衛門殿	明治14年4月12日	縦紙・1通	443-16-9
小作証券 下高井郡吉田村小作人竹内吉左衛門、同郡同村請人同新右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年4月28日	縦紙・1通	443-16-10
小作証券 下高井郡吉田村小作人町田作次、同郡同村請人小林春松→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年4月27日	縦紙・1通	443-16-11
借地証券 下高井郡吉田村借地人竹内太長次、同郡同村請人竹内儀兵衛→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年4月12日	縦紙・1通	443-16-12
小作証券 下高井郡吉田村小作人三ツ井和吉、同郡同村請人小林春松→山田莊左衛門殿	明治14年4月12日	縦紙・1通	443-16-13
小作証券 下高井郡吉田村小作人三ツ井和吉、同郡同村請人小林春松→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年4月12日	縦紙・1通	443-16-14
小作証券 下高井郡吉田村小作人竹内嘉左衛門、同郡同村請人小林藤右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年4月15日	縦紙・1通	443-16-15

小作証券 下高井郡吉田村小作人竹内嘉左衛門、同郡同村請人小林藤右衛門→山田莊左衛門殿	明治14年4月15日	豎紙・1通	443-16-16
小作証券 下高井郡吉田村小作人小林藤右衛門、同郡同村請人竹内嘉左衛門→山田莊左衛門殿	明治14年4月15日	豎紙・1通	443-16-17
小作証券 下高井郡吉田村小作人小林藤右衛門、同郡同村請人竹内嘉左衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年4月15日	豎紙・1通	443-16-18
小作証券 下高井郡吉田村小作人小林吉兵衛、同郡同村請人小林多吉→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 小作地の上に朱印「此筆返地消印」	明治14年4月27日	豎紙・1通	443-16-19
小作証券 下高井郡吉田村小作人畠山兵左衛門、同郡同村請人小林多吉→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年4月27日	豎紙・1通	443-16-20
小作証券 下高井郡吉田村小作人小林多吉、同郡同村請人畠山兵左衛門→山田莊左衛門殿	明治14年4月27日	豎紙・1通	443-16-21
小作証券 下高井郡吉田村小作人小林多吉、同郡同村畠山兵左衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年4月27日	豎紙・1通	443-16-22
小作証券 下高井郡吉田村小作人竹内太長治、同郡同村請人竹内儀兵衛→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治15年3月15日	豎紙・1通	443-16-23
小作証券 下高井郡小作人小林末吉、同郡同村請人小林勝藏→山田莊左衛門殿	明治15年4月10日	豎紙・1通	443-16-24
小作証券 下高井郡吉田村小作人小林末吉、同郡同村請人竹内多長次→山田莊左衛門殿	明治15年5月9日	豎紙・1通	443-16-25
小作証券 下高井郡小作人岡本八郎次、同郡同村請人西原市次郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・小作地墨消	明治15年4月10日	豎紙・1通	443-16-26
小作証券 下高井郡吉田村小作人岡本佐七、同郡同村請人西原市治郎→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年6月19日	豎紙・1通	443-16-27
小作証券 下高井郡吉田村小作人岡本佐七、同郡同村請人小林末吉→山田莊左衛門殿	明治17年5月26日	豎紙・1通	443-16-28
小作証券 下高井郡小作人小林末吉、同郡同村請人平林宇之助→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治15年4月10日	豎紙・1通	443-16-29
小作証券 下高井郡吉田村小作人小林末吉、同郡同村請人竹内太長次→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治15年5月9日	豎紙・1通	443-16-30
小作証券 下高井郡吉田村小作人小林末吉、同郡同村請人松井宇八→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年4月15日	豎紙・1通	443-16-31

○片塩（明治14年）ほか

(小作証文一括)		包紙入・35通	443-17
小作証券 下高井郡栗林村小作人松嶋熊藏、同郡江部村請人長島小平→山田理兵衛殿	明治18年2月28日	豎紙・1通	443-17-1-1
小作証券 下高井郡草間村小作人金井藤平、同郡同村小作人金井健左衛門、同郡同村請人北村幸吉→山田理兵衛殿	明治18年2月2日	豎紙・1通	443-17-1-2
小作証券 下高井郡片塩村小作人大澤喜三郎、同郡同村請人堀内栄三郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年3月28日	豎紙・1通	443-17-2-01
小作証券 下高井郡片塩村小作人山田平十郎、同郡同村請人山田文吉→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年3月28日	豎紙・1通	443-17-2-02
小作証券 下高井郡片塩村小作人土屋太市、同郡同村請人	明治14年3月28日	豎紙・1通	443-17-2-03

田中徳太郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿			
小作証券 下高井郡片塩村小作人吉見六右衛門、同郡同村 請人田中寿作→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年5月18日	縦紙・1通	443-17-2-04
小作証券 下高井郡片塩村小作人田中寿作、同郡同村請人 田中佐惣治→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年3月28日	縦紙・1通	443-17-2-05
小作証券 下高井郡片塩村小作人田中寿作、同郡同村請人 田中佐惣治→山田莊左衛門殿	明治14年3月28日	縦紙・1通	443-17-2-06
小作証券 下高井郡片塩村小作人大澤文四郎、同郡同村請 人大澤七右衛門→山田莊左衛門殿	明治14年3月28日	縦紙・1通	443-17-2-07
小作証券 下高井郡片塩村小作人大澤文四郎、同郡同村請 人大沢七右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年3月28日	縦紙・1通	443-17-2-08
借地証券 下高井郡片塩村借地人岩月与吉、同郡同村請人 田中賢順→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年3月31日	縦継紙・1通	443-17-2-09
小作証券 下高井郡片塩村小作人小林孫吉、同郡同村請人 小林平吉→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年3月28日	縦紙・1通	443-17-2-10
小作証券 下高井郡片塩村小作人大澤七右衛門、同郡同村 請人大澤文四郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 443- 17-2-11-1・2は帯封一括	明治14年3月28日	縦紙・1通	443-17-2- 11-1
小作証券 下高井郡小作人大沢七右衛門、同郡同村請人田 中市蔵→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治15年1月29日	縦紙・1通	443-17-2- 11-2
小作証券 下高井郡片塩村小作人土屋太市、同郡同村請人 田中徳太郎→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治18年3月19日	縦紙・1通	443-17-3
小作証券 下高井郡片塩村小作人岩月与吉、同郡同村請人 田中賢順→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年3月31日	縦紙・1通	443-17-4-1
小作証券 下高井郡片塩村小作人田中賢順、同郡同村請人 岩月与吉→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年3月31日	縦紙・1通	443-17-4-2
小作証券 下高井郡岩舟村小作人小林嘉市、同郡同村請人 小林重治郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 端裏貼紙 朱書「小作地ナシ」	明治14年3月28日	縦紙・1通	443-17-4-3
小作証券 下高井郡片塩村小作人土屋濱次郎、同郡同村請 人岩月伊蔵→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年3月28日	縦紙・1通	443-17-4-4
小作証券 下高井郡片塩村小作人城倉九蔵、同郡同村請人 城倉吉三良→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年3月28日	縦紙・1通	443-17-4-5
小作証券 下高井郡片塩村小作人大澤七右衛門、同郡同村 請人大澤文四郎→山田莊左衛門殿 小作地の上に朱印 「此筆返地消印」	明治14年3月28日	縦紙・1通	443-17-4-6
小作証券 下高井郡片塩村小作人吉見善左衛門、同郡同村 請人沢田喜作→山田莊左衛門殿 印紙・印・全体墨消	明治14年3月28日	縦紙・1通	443-17-5-1
小作証券 下高井郡片塩村小作人吉見善左衛門、同郡同村 請人沢田喜作→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・ 印・全体墨消、端裏墨引	明治14年3月28日	縦継紙・1通	443-17-5-2
小作証券 下高井郡片塩村小作人津金團蔵、同郡同村請人 津金千代作→山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引	明治14年3月28日	縦紙・1通	443-17-5-3
小作証券 下高井郡片塩村小作人津金團蔵、同郡同村請人 津金千代作→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨 消、端裏墨引	明治14年3月28日	縦継紙・1通	443-17-5-4
小作証券 下高井郡片塩村小作人沢田喜作、同郡同村請人 吉見善左衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印	明治14年3月28日	縦紙・1通	443-17-5-5

墨消、端裏墨引			
小作証券 下高井郡片塩村小作人堀内与四郎、同郡同村請人堀内儀兵衛→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引	明治14年3月28日	縦紙・1通	443-17-5-6
小作証券 下高井郡片塩村小作人堀内儀兵衛、同郡同村請人堀内与四郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引	明治14年3月28日	縦紙・1通	443-17-5-7
小作証券 下高井郡片塩村小作人田中平右衛門、同郡同村請人津金三郎右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引	明治14年3月28日	縦継紙・1通	443-17-5-8
小作証券 下高井郡片塩村小作人山田文吉、同郡同村請人山田平十郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引	明治14年3月28日	縦紙・1通	443-17-5-9
借地証券 下高井郡片塩村借地人永峯民吉、同郡同村請人永峯嘉七→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引	明治14年3月28日	縦紙・1通	443-17-5-10
借地証券 下高井郡片塩村借地人永峯三津治、同郡同村請人永峯嘉七→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引	明治14年3月28日	縦継紙・1通	443-17-5-11
借地証券 下高井郡片塩村借地人永峯嘉七、同郡同村請人永峯武吉→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引	明治14年3月28日	縦継紙・1通	443-17-5-12
小作証券 下高井郡新保村小作人番場和作、同郡同村請人番場林吉→山田莊左衛門殿	明治14年4月11日	縦紙・1通	443-17-6
小作証券 下高井郡新保村小作人黒崎与作、同郡同村請人黒崎喜市→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治14年4月10日	縦紙・1通	443-17-7

○天神堂其外（明治19年）

「天神堂其外小作証文」		包紙入・40通	443-18
小作証券 下高井郡木島村小作人関源吉、同郡同村請人関与惣治→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治19年月日	縦紙・1通	443-18-1
小作証文 下高井郡木島村小作人小林茂左衛門、同郡同村請人飯嶋与兵衛→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治19年6月28日	縦紙・1通	443-18-2
小作証書 下高井郡天神堂村小作人佐藤惣左衛門、同郡同村請人佐藤三之丞→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治19年月日	縦紙・1通	443-18-3
小作証書 下高井郡天神堂村小作人伊東治助、同郡同村請人伊東長吉→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治19年月日	縦紙・1通	443-18-4
小作証書 下高井郡天神堂村小作人伊東常吉、同郡同村請人佐藤政吉→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治19年月日	縦紙・1通	443-18-5
小作証書 下高井郡天神堂村小作人伊東常吉、同郡同村請人佐藤政吉→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治19年月日	縦紙・1通	443-18-6
小作証書 下高井郡天神堂村小作人佐藤彌右衛門、同郡同村請人池田伊之右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治19年月日	縦紙・1通	443-18-7
小作証書 下高井郡穂高村小作人本山助作、同郡天神堂村請人佐藤惣左衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治19年月日	縦紙・1通	443-18-8
小作証書 下高井郡穂高村小作人幸野茂平、同郡同村請人本山要五郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治19年月日	縦紙・1通	443-18-9

小作証書 下高井郡穂高村小作人本山助作、同郡天神堂村 請人佐藤惣左衛門→下高井郡江部郡山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-10
小作証書 下高井郡天神堂村小作人佐藤こと、同郡同郷請 人池田庄九郎→下高井郡江部郡山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-11
小作証書 下高井郡天神堂村小作人小池彦七、同郡同郷請 人大津森之助→下高井郡江部郡山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-12
小作証書 下高井郡天神堂村小作人小池彦七、同郡同郷請 人大津森之助→下高井郡江部郡山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-13
小作証書 下高井郡天神堂村小作人市川啓作、同郡同郷請 人市川莊左衛門→下高井郡江部郡山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-14
小作証書 下高井郡天神堂村小作人佐藤慎一郎、同郡同郷 請人池田莊九郎→下高井郡江部郡山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-15
小作証書 下高井郡天神堂村小作人伊東富吉、同郡同郷請 人伊東芳弥→下高井郡江部郡山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-16
小作証券 下高井郡天神堂村小作人丸山芳太郎、同郡同郷 請人佐藤惣郎→下高井郡江部郡山田莊左衛門殿	明治19年7月23日	豎紙・1通	443-18-17
小作証書 下高井郡天神堂村小作人浦野六右衛門、同郡同 郷請人→下高井郡江部郡山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-18
小作証書 下高井郡天神堂村小作人浦野六右衛門、同郡同 郷請人→下高井郡江部郡山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-19
小作証書 下高井郡穂高村小作人本山助作、同郡同郷請人 本山伊兵衛→下高井郡江部郡山田莊左衛門殿	明治19年7月23日	豎紙・1通	443-18-20
小作証書 下高井郡穂高村小作人本山助作、同郡天神堂村 請人佐藤惣左衛門→下高井郡江部郡山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-21
小作証書 下高井郡天神堂村小作人佐藤々作、同郡同郷請 人高橋市郎→下高井郡江部郡山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-22
小作証書 下高井郡天神堂村小作人佐藤六之助、同郡同郷 請人佐藤三之丞→下高井郡江部郡山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-23
小作証書 下高井郡天神堂村小作人佐藤六之助、同郡同郷 請人佐藤三之丞→下高井郡江部郡山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-24
小作証書 下高井郡天神堂村小作人中島米吉、同郡同郷請 人市川龜八→下高井郡江部郡山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-25
小作証書 下高井郡天神堂村小作人丸山利平、同郡同郷請 人佐藤重三郎→下高井郡江部郡山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-26
小作証書 下高井郡小作人本山助作、同郡同郷請人佐藤三 之丞→下高井郡江部郡山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-27
借地借家証券 下高井郡天神堂村借家借地人佐藤市兵衛、 全 全 伊東長吉、全 受人→江部郡山田莊左衛門殿	明治19年7月20日	豎紙・1通	443-18-28
小作証書 下高井郡天神堂村小作人伊東長吉、同郡同郷請 人伊東治助→下高井郡江部郡山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-29
小作証書 下高井郡天神堂村小作人佐藤三之丞、同郡同郷 請人佐藤々作→下高井郡江部郡山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-30
小作証書 下高井郡天神堂村小作人佐藤三之丞、同郡同郷 請人佐藤々作→下高井郡江部郡山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-31
小作証書 下高井郡天神堂村小作人伊東弥十郎、同郡同郷 請人佐藤重三郎→下高井郡江部郡山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-32

小作証書 下高井郡天神堂村小作人高橋市郎、同郡同郷請人佐藤三之丞、全郡全村受人佐藤々作→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-33
小作証書 下高井郡天神堂村小作人池田その、同郡同郷請人佐藤佐藤三之丞→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-34
小作証書 下高井郡穂高村小作人幸野茂平、同郡同郷請人本山要五郎→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-35
小作証券 下高井郡天神堂邨小作人佐藤惣治郎、同郡穂高邨請人本山伊兵衛→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-36
小作証書 下高井郡穂高村小作人本山伊兵衛、同郡天神堂村請人佐藤惣左衛門→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-37
小作証書 下高井郡穂高村小作人本山伊兵衛、同郡天神堂村請人佐藤惣左衛門→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-38
小作証書 下高井郡天神堂村小作人佐藤徳右衛門、同郡同郷請人佐藤弥右衛門→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-39
小作証書 下高井郡天神堂村小作人池田伊之右衛門、同郡同郷請人佐藤政吉→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿	明治19年月日	豎紙・1通	443-18-40

○新保（明治18～20年）

「十八年と二十年迄三ヶ年季 新保小作証文 畑方」		包紙入・80通	443-19
小作証券 下高井郡新保村小作人黒崎武平太、同郡同郷請人黒崎啓治→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年4月11日	豎紙・1通	443-19-1
小作証券 下高井郡新保村小作人小坂安治、同郡同郷同村請人黒崎武平太→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	豎紙・1通	443-19-2
小作証券 下高井郡新保村小作人黒崎武平太、同郡同郷請人小坂安治→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	豎紙・1通	443-19-3
小作証券 下高井郡新保村小作人荒井岸之助、同郡同郷請人黒崎藤太→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	豎紙・1通	443-19-4
小作証券 下高井郡新保村小作人黒崎與作、同郡同郷請人柳沢雄右衛門→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	豎紙・1通	443-19-5
小作証券 下高井郡新保村小作人小平兵太夫、同郡同郷請人嶋田定八→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年4月14日	豎紙・1通	443-19-6
小作証券 下高井郡新保村小作人小平兵太夫、同郡同郷請人柳沢壽平→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年4月10日	豎紙・1通	443-19-7
小作証券 下高井郡新保村小作人小平兵太夫、同郡同郷請人小坂安治→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	豎紙・1通	443-19-8
小作証券 下高井郡新保村小作人押鐘作治、同郡同郷請人荒井幸左衛門→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月23日	豎紙・1通	443-19-9
小作証券 下高井郡新保村小作人馬場名右衛門、同郡同郷請人西沢安太郎→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年4月10日	豎紙・1通	443-19-10
小作証券 下高井郡新保村小作人黒崎弥市、同郡同郷請人荒井啓造→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	豎紙・1通	443-19-11
小作証券 下高井郡新保村小作人荒井啓造、同郡同郷請人黒崎弥市→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	豎紙・1通	443-19-12
小作証券 下高井郡新保村小作人樋口嘉兵衛、同郡同郷請人番場和蔵→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	豎紙・1通	443-19-13

小作証券 下高井郡新保村小作人番場和藏、同郡同郷請人番場長吉→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	縦継紙・1通	443-19-14
小作証券 下高井郡新保村小作人荒井弥右衛門、同郡同郷請人番場竹松→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月24日	縦紙・1通	443-19-15
小作証券 下高井郡新保村小作人荒井和吉、同郡同郷請人西沢与吉→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年4月10日	縦紙・1通	443-19-16
小作証券 下高井郡新保村小作人荒井和吉、同郡同郷請人西澤安太郎→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月23日	縦紙・1通	443-19-17
小作証券 下高井郡新保村小作人柳澤多四郎、同郡同郷請人篤田定八→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年4月10日	縦継紙・1通	443-19-18
小作証券 下高井郡新保村小作人嶋田定八、同郡同郷請人番場倉之助→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	縦紙・1通	443-19-19
小作証券 下高井郡新保村小作人篤田定八、同郡同郷請人柳澤多四郎→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年4月10日	縦継紙・1通	443-19-20
小作証券 下高井郡新保村小作人番場倉之助、同郡同郷請人押鐘新右衛門→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	縦継紙・1通	443-19-21
小作証券 下高井郡新保村小作人黒崎助十郎、同郡同郷請人宮澤多七→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年4月10日	縦継紙・1通	443-19-22
小作証券 下高井郡新保村小作人押鐘新右衛門、同郡同郷請人番場倉之助→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	縦紙・1通	443-19-23
小作証券 下高井郡新保村小作人黒崎藤太、同郡同郷請人黒崎八左衛門→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	縦紙・1通	443-19-24
小作証券 下高井郡新保村小作人黒崎藤太、同郡同郷請人黒崎八左衛門→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年4月10日	縦紙・1通	443-19-25
小作証券 下高井郡新保村小作人黒崎八左衛門、同郡同郷請人黒崎藤太→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年4月10日	縦紙・1通	443-19-26
小作証券 下高井郡新保村小作人黒崎八左衛門、同郡同郷請人黒崎藤太→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	縦紙・1通	443-19-27
小作証券 下高井郡新保村小作人黒崎民次、同郡同郷請人黒崎八左衛門→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	縦紙・1通	443-19-28
小作証券 下高井郡新保村小作人山田治郎作、同郡同郷請人山田己之助→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年4月10日	縦紙・1通	443-19-29
小作証券 下高井郡新保村小作人山田己之助、同郡同郷請人山田治郎作→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年4月10日	縦紙・1通	443-19-30
小作証券 下高井郡新保村小作人山田己之助、同郡同郷請人山田治郎作→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年4月10日	縦紙・1通	443-19-31
小作証券 下高井郡新保村小作人番場高右衛門、同郡同郷請人番場孝右衛門→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年4月10日	縦紙・1通	443-19-32
小作証券 下高井郡新保村小作人西澤与吉、同郡同郷請人番場勝治→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	縦紙・1通	443-19-33
小作証券 下高井郡新保村小作人西澤与吉、同郡同郷請人荒井和吉→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年4月10日	縦紙・1通	443-19-34
小作証券 下高井郡新保村小作人小林友八、同郡同郷請人番場勝治→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	縦紙・1通	443-19-35
小作証券 下高井郡新保村小作人小林友八、同郡同郷請人西沢与吉→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年4月10日	縦紙・1通	443-19-36

小作証券 下高井郡新保村小作人清水里助、同郡同郷請人 篠原勇雄→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	豎紙・1通	443-19-37
小作証券 下高井郡新保村小作人番場勝治、同郡同郷請人 西澤与吉→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	豎紙・1通	443-19-38
小作証券 下高井郡新保村小作人押鐘市弥、同郡同郷請人 押鐘作治→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	豎紙・1通	443-19-39
小作証券 下高井郡新保村小作人郷道平吉、同郡同郷請人 宮崎玉助→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	豎紙・1通	443-19-40
小作証券 下高井郡新保村小作人西澤安太郎、同郡同郷請人 人馬場名右衛門→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月23日	豎紙・1通	443-19-41
小作証券 下高井郡新保村小作人西澤丹治、同郡同郷請人 西澤多造→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月23日	豎紙・1通	443-19-42
小作証券 下高井郡新保村小作人西澤多藏、同郡同郷請人 西澤丹治→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月23日	豎紙・1通	443-19-43
小作証券 下高井郡新保村小作人若林對治、同郡同郷請人 若林惣左衛門→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月23日	豎紙・1通	443-19-44
小作証券 下高井郡新保村小作人笠原惣右衛門、同郡同郷 請人笠原市藏→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月23日	豎紙・1通	443-19-45
小作証券 下高井郡新保村小作人宮崎孝太郎、同郡同郷請人 人宮崎治助→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	豎紙・1通	443-19-46
小作証券 下高井郡新保村小作人宮崎房吉、同郡同郷請人 黒岩彦兵衛→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	豎紙・1通	443-19-47
小作証券 下高井郡新保村小作人黒岩彦兵衛、同郡同郷請人 人黒岩平作→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	豎紙・1通	443-19-48
小作証券 下高井郡新保村小作人黒岩平藏、同郡同郷請人 黒岩彦兵衛→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	豎紙・1通	443-19-49
小作証券 下高井郡新保村小作人荒井庄之助、同郡同郷請人 人黒岩彦兵衛→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	豎紙・1通	443-19-50
小作証券 下高井郡新保村小作人宮津新作、同郡同郷請人 樋口千代左衛門→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	豎紙・1通	443-19-51
小作証券 下高井郡新保村小作人黒岩要之丞、同郡同郷請人 人黒岩うめ→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年4月10日	豎紙・1通	443-19-52
小作証券 下高井郡新保村小作人黒岩要之丞、同郡同郷請人 人黒岩平藏→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	豎紙・1通	443-19-53
借地証券 高井郡新保村借地人小林五郎左衛門、同郡同郷 更科村請人小根澤久吉→山田理兵衛殿	明治18年3月23日	豎紙・1通	443-19-54
小作証券 下高井郡新保村小作人小林五郎左衛門、同郡同郷 更科村請人小根澤久吉→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月23日	豎紙・1通	443-19-55
小作証券 下高井郡新保村小作人西沢佐五右衛門、同郡同郷 請人西沢源之助→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	豎紙・1通	443-19-56
小作証券 下高井郡新保村小作人西沢佐五右衛門、同郡同郷 請人西沢源之助→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月22日	豎紙・1通	443-19-57
小作証券 下高井郡新保村小作人郷道長太郎、同郡同郷請人 人馬場名右衛門→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年4月10日	豎紙・1通	443-19-58
小作証券 下高井郡新保村小作人黒崎又勝、同郡同郷請人 黒崎藤太→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年4月10日	豎紙・1通	443-19-59

小作証券 下高井郡新保村小作人宮沢浅治、同郡同郷請人荒井善吉→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治18年3月22日	縦紙・1通	443-19-60
小作証券 下高井郡新保村小作人馬場喜代作、同郡同郷請人馬場名右衛門→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治18年4月10日	縦紙・1通	443-19-61
小作証券 下高井郡新保村小作人柳澤寿平、同郡同郷請人柳沢雄右衛門→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治18年3月30日	縦継紙・1通	443-19-62
小作証券 下高井郡新保村小作人柳澤寿平、同郡同郷請人柳澤雄右衛門→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治18年3月22日	縦継紙・1通	443-19-63
小作証券 下高井郡新保村小作人柳沢壽平、同郡同郷請人小平兵太夫→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治18年4月10日	縦紙・1通	443-19-64
小作証券 下高井郡新保村小作人荒井幸左衛門、同郡同郷請人押鐘作治→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治18年3月23日	縦紙・1通	443-19-65
小作証券 下高井郡新保村小作人番場孝右衛門、同郡同村請人番場高右衛門→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年10月21日	縦紙・1通	443-19-66
小作証券 下高井郡新保村小作人番場孝右衛門、同郡同村請人番場高右衛門→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年10月21日	縦紙・1通	443-19-67
借地証券 下高井郡新保村借地人荒井良吉、同郡同郷受人荒井庄之助→同郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年3月16日	縦継紙・1通	443-19-68
小作証券 下高井郡三ツ和郷小作人小林利兵衛、同郡同村請人小林市太郎→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年月日	縦紙・1通	443-19-69
小作証券 下高井郡三ツ和郷小作人小林平八、同郡同村請人小林嘉藏→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年月日	縦紙・1通	443-19-70
小作証券 下高井郡新保村小作人小根沢市右衛門、同郡同郷請人小根沢伊助→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治18年3月22日	縦紙・1通	443-19-71
小作証券 下高井郡新保村小作人谷本紋右衛門、同郡同郷請人番場長吉→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治18年3月22日	縦紙・1通	443-19-72
小作証券 下高井郡新保村小作人宮崎玉助、同郡同郷請人西澤与吉→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治18年4月10日	縦紙・1通	443-19-73
小作証券 下高井郡新保村小作人宮崎玉助、同郡同郷請人郷道平吉→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治18年3月22日	縦紙・1通	443-19-74
小作証券 下高井郡延徳村小作人黒崎文治郎、同郡全村請人黒崎長吉、同郡同村請人黒崎武平太→下高井郡平野村山田莊左衛門殿 443-19-75～80は包紙と括紐の間に挟込	明治35年3月20日	縦継紙・1通	443-19-75
小作証券 下高井郡新保村小作人樋口弥平、同郡同村請人小坂安治→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 端裏貼紙小作人変更か「柳沢寿平」	明治14年4月11日	縦紙・1通	443-19-76
小作証券 下高井郡延徳村大字新保小作人山本龍之助、同郡同村証人番場惣作→同郡平野村山田莊左衛門殿	明治35年3月30日	赤罫紙・1通	443-19-77
小作証券 下高井郡延徳村小作人武田熊治、同郡同郷証人馬場作太夫→同郡平野村山田莊左衛門殿	明治35年3月9日	赤罫紙・1通	443-19-78
小作証券 下高井郡新保村小作人西澤源之助、同郡同村請人西澤安太郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年4月12日	縦紙・1通	443-19-79
借地証券 下高井郡新保村借地人小根沢茂市、同郡同郷受人小根沢弥作→山田理兵衛殿	明治17年10月24日	縦継紙・1通	443-19-80

○岩船（明治18・26・28年）

「岩船村小作証文」 包紙は「記」（山田熊太郎の酒造免許書替下附領収書下書、明治19年3月22日）を使用		包紙入・25通	443-20
小作証券 下高井郡平野邨小作人阿部久兵衛、同郡同邨請人阿部才治→下高井郡平野邨山田莊左衛門殿	明治28年3月18日	豎紙・1通	443-20-1
小作証券 下高井郡平野邨小作人阿部久兵衛、同郡同邨請人阿部才治→下高井郡平野邨山田莊左衛門殿	明治28年3月18日	豎繼紙・1通	443-20-2
小作証券 下高井郡平野村小作人町田喜兵衛、同郡同邨請人→下高井郡平野邨山田莊左衛門殿	明治26年5月2日	豎紙・1通	443-20-3
小作証券 下高井郡平野村小作人小林和三郎、同郡同邨請人小林重次郎→下高井郡平野邨山田莊左衛門殿	明治26年4月26日	豎紙・1通	443-20-4
小作証券 下高井郡平野村小作人三ツ井幸吉、同郡同邨請人小林千代松→下高井郡平野邨山田莊左衛門殿	明治26年4月26日	豎紙・1通	443-20-5
小作証券 下高井郡平野村小作人小林重次郎、同郡同邨請人小林和三郎→下高井郡平野邨山田莊左衛門殿	明治26年4月26日	豎紙・1通	443-20-6
小作証券 下高井郡平野村小作人小林千代松、同郡同邨請人小林和三郎→下高井郡平野邨山田莊左衛門殿	明治26年4月26日	豎紙・1通	443-20-7
小作証券 下高井郡岩舟邨小作人小林重二郎、同郡同邨請人小林千代松→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月24日	豎紙・1通	443-20-8
小作証券 下高井郡岩舟村小作人武士重三郎、同郡同邨請人小林千代松→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月24日	豎紙・1通	443-20-9
小作証券 下高井郡岩舟村小作人武士和吉、同郡同邨請人武士重三郎→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月24日	豎紙・1通	443-20-10
小作証券 下高井郡岩舟村小作人小古井喜作、同郡同邨請人町田藤吉→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月24日	豎繼紙・1通	443-20-11
借地証券 高井郡岩舟邨借地人中嶋新左衛門、同郡同邨請人阿部時治郎→山田理兵衛殿	明治18年3月25日	豎繼紙・1通	443-20-12
借地証券 高井郡岩舟邨借地人町田藤吉、同郡同邨受人塩崎久藏→山田理兵衛殿	明治18年3月24日	豎紙・1通	443-20-13
小作証券 下高井郡岩舟村小作人塩崎久藏、同郡同邨請人町田藤吉→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月24日	豎紙・1通	443-20-14
小作証券 下高井郡岩船村小作人三ツ井多吉、同郡同邨請人町田藤吉→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月24日	豎紙・1通	443-20-15
小作証券 下高井郡岩舟村小作人黒川高三郎、同郡同邨請人黒川倉之助→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月25日	豎紙・1通	443-20-16
小作証券 下高井郡岩舟村小作人武田廣右衛門、同郡同邨請人黒川高三郎→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月25日	豎紙・1通	443-20-17
小作証券 下高井郡岩舟村小作人武田廣右衛門、同郡同邨請人黒川高三郎→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月25日	豎紙・1通	443-20-18
小作証券 下高井郡岩舟村小作人堺七郎右衛門、同郡同邨請人武田廣右衛門→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月25日	豎紙・1通	443-20-19
小作証券 下高井郡岩舟邨小作人武田玄治、同郡同邨請人武田廣右衛門→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月25日	豎紙・1通	443-20-20
小作証券 下高井郡岩舟村小作人武田玄治、同郡同邨請人武田廣右衛門→下高井郡江部邨山田理兵衛殿	明治18年3月25日	豎紙・1通	443-20-21

小作証券 下高井郡新保村小作人小根沢伊助、同郡同郷請人小根沢市右衛門→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治18年3月22日	縦紙・1通	443-20-22
小作証券 下高井郡平野村小作人山田多喜三、同郡同郷請人竹内萬平→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	明治28年3月5日	縦紙・1通	443-20-23
小作証券 下高井郡平野村小作人竹内岸藏、同郡同郷請人竹内萬平→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	明治28年3月5日	縦紙・1通	443-20-24
小作証券 下高井郡平野村小作人小林市左衛門、同郡同郷請人湯本才治→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	明治28年3月5日	縦紙・1通	443-20-25

○西條（明治17年）

「西條村小作証文」 包紙「借用証券壹通 下高井郡高野村吉越勝右衛門」		包紙入・11通	443-21
小作証券 下高井郡西條村小作人芦澤三之丞、同郡同村請人玉木多之助→山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	縦紙・1通	443-21-1
小作証券 下高井郡西條村小作人鈴木善兵衛、同郡同村請人玉木多之助→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	縦紙・1通	443-21-2
借地証券 下高井郡西條村借地人白鳥善作、同郡同村受人白鳥九郎右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月14日	縦紙・1通	443-21-3
小作証券 下高井郡西條村小作人玉木作二郎、同郡同村請人玉木多之助→山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	縦紙・1通	443-21-4
小作証券 下高井郡西條村小作人玉木作二郎、同郡同村請人玉木多之助→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	縦紙・1通	443-21-5
小作証券 下高井郡西條村小作人芦澤三之丞、同郡同村請人玉木多之助→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	縦紙・1通	443-21-6
小作証券 下高井郡小作人小林幸助、同郡同村請人白鳥音作→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月14日	縦紙・1通	443-21-7
小作証券 下高井郡西條村小作人小林幸助、同郡同村請人白鳥音作→山田莊左衛門殿	明治17年5月14日	縦紙・1通	443-21-8
小作証券 下高井郡西條村小作人白鳥音作、同郡同村請人白鳥九郎右衛門→山田莊左衛門殿	明治17年5月14日	縦紙・1通	443-21-9
小作証券 下高井郡西條村小作人白鳥音作、同郡同村請人白鳥九郎右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月14日	縦紙・1通	443-21-10
小作証券 下高井郡西條村小作人阿部なみ、同郡同村請人玉木多之助→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	縦紙・1通	443-21-11

○新保田方（明治17・25年）

「十七年と十九年三ヶ年季 新保村小作証文 田方」 包紙「匱集」		包紙入・38通	443-22
小作証券 下高井郡新保村小作人若林惣左衛門、同郡同村請人荒井幸左衛門→山田理兵衛殿	明治17年10月18日	縦紙・1通	443-22-1
小作証券 下高井郡新保村小作人山田己之助、同郡同村請人山田治郎作→山田理兵衛殿	明治17年10月18日	縦紙・1通	443-22-2
小作証券 下高井郡新保村小作人番場名右衛門、同郡同村請人押鐘作次→山田理兵衛殿	明治17年10月19日	縦紙・1通	443-22-3

小作証券 下高井郡新保邨小作人黒崎八左衛門、同郡同村 請人黒崎藤太→山田理兵衛殿	明治17年10月19日	縦紙・1通	443-22-4
小作証券 下高井郡新保邨小作人宮澤多七、同郡同村請人 黒崎助十郎→山田理兵衛殿	明治17年10月18日	縦継紙・1通	443-22-5
小作証券 下高井郡新保村小作人黒崎助重郎、同郡同村請 人宮澤多七→山田理兵衛殿	明治17年10月18日	縦紙・1通	443-22-6
小作証券 下高井郡新保村小作人山田治郎作、同郡同村請 人山田寿作→山田理兵衛殿	明治17年10月18日	縦紙・1通	443-22-7
小作証券 下高井郡新保邨小作人番場和蔵、同郡同村請人 小林友八→山田理兵衛殿	明治17年10月18日	縦紙・1通	443-22-8
小作証券 下高井郡新保邨小作人西澤源之助、同郡同村請 人西澤佐五右衛門→山田理兵衛殿	明治17年10月18日	縦継紙・1通	443-22-9
小作証券 下高井郡新保邨小作人西澤源之助、同郡同村請 人西澤佐五右衛門→山田理兵衛殿	明治17年10月18日	縦紙・1通	443-22-10
小作証券 下高井郡新保邨小作人荒井啓造、同郡同村請人 宮崎玉助→山田理兵衛殿	明治17年10月18日	縦紙・1通	443-22-11
小作証券 下高井郡新保邨小作人小根沢伊助、同郡同村請 人黒岩平蔵→山田理兵衛殿	明治17年10月18日	縦紙・1通	443-22-12
小作証券 下高井郡三ツ和邨小作人小林半左衛門、同郡同 村請人小林多平治→山田理兵衛殿	明治17年10月2日	縦紙・1通	443-22-13
小作証券 下高井郡延徳邨新保小作人荒井善吉、同郡同邨 同町請人関口熊五郎→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿	明治25年3月6日	縦紙・1通	443-22-14
小作証券 下高井郡延徳邨新保小作人郷道長太郎、同郡同 村同町請人山田治郎作→山田莊左衛門殿	明治25年4月24日	縦紙・1通	443-22-15
小作証券 下高井郡延徳村新保小作人荒井善吉、同郡同村 同町請人関口熊五郎→山田莊左衛門殿	明治25年3月6日	縦紙・1通	443-22-16
小作証券 下高井郡延徳邨新保小作人番場宇市、同郡同邨 同町請人山田治郎作→下高井郡平野邨山田莊左衛門殿	明治25年4月24日	縦紙・1通	443-22-17
小作証券 下高井郡新保邨小作人押鐘作治、同郡同村請人 馬場名右衛門→山田理兵衛殿	明治17年10月18日	縦継紙・1通	443-22-18
小作証券 下高井郡新保邨小作人西澤佐五右衛門、同郡同 村請人西澤源之助→山田理兵衛殿	明治17年10月18日	縦紙・1通	443-22-19
小作証券 下高井郡新保邨小作人荒井幸左衛門、同郡同村 請人若林惣左衛門→山田理兵衛殿	明治17年10月18日	縦紙・1通	443-22-20
小作証券 下高井郡新保邨小作人黒岩平蔵、同郡同村請人 小根沢伊助→山田理兵衛殿	明治17年10月18日	縦紙・1通	443-22-21
小作証券 下高井郡新保邨小作人宮崎孝太郎、同郡同村請 人宮崎治助→山田理兵衛殿	明治17年月日	縦紙・1通	443-22-22
小作証券 下高井郡新保邨小作人小林七重郎、同郡同村請 人小林惣吉→山田理兵衛殿	明治17年月日	縦紙・1通	443-22-23
小作証券 下高井郡新保邨小作人小坂安治、同郡同村請人 黒崎武平太→山田理兵衛殿	明治17年10月21日	縦紙・1通	443-22-24
小作証券 下高井郡新保邨小作人黒崎武平太、同郡同村請 人小坂安治→山田理兵衛殿	明治17年10月21日	縦紙・1通	443-22-25
小作証券 下高井郡新保邨小作人番場孝右衛門、同郡同村 請人番場高右衛門→山田理兵衛殿	明治17年10月21日	縦紙・1通	443-22-26

小作証券 下高井郡新保郷小作人押鐘新右衛門、同郡同村 請人番場宇市→山田理兵衛殿	明治17年10月19日	縦紙・1通	443-22-27
小作証券 下高井郡新保郷小作人番場宇市、同郡同村請人 押鐘新右衛門→山田理兵衛殿	明治17年10月19日	縦紙・1通	443-22-28
小作証券 下高井郡新保郷小作人小林登作、同郡同村請人 黒崎長吉→山田理兵衛殿	明治17年10月20日	縦紙・1通	443-22-29
小作証券 下高井郡新保郷小作人小根沢弥作、同郡同村請人 宮沢新作→山田理兵衛殿	明治17年月日	縦紙・1通	443-22-30
小作証券 下高井郡新保郷小作人柳沢雄右衛門、同郡同村 請人柳澤多四郎→山田理兵衛殿	明治17年月日	縦紙・1通	443-22-31
小作証券 下高井郡新保郷小作人柳澤多四郎、同郡同村請人 柳沢雄右衛門→山田理兵衛殿	明治17年月日	縦紙・1通	443-22-32
小作証券 下高井郡新保郷小作人宮崎房吉、同郡同村請人 黒岩平蔵→山田理兵衛殿	明治17年10月18日	縦紙・1通	443-22-33
小作証券 下高井郡新保郷小作人山田寿作、同郡同村請人 山田治郎作→山田理兵衛殿	明治17年10月18日	縦紙・1通	443-22-34
小作証券 下高井郡新保郷小作人樋口貞治、同郡同村請人 番場和蔵→山田理兵衛殿	明治17年10月18日	縦紙・1通	443-22-35
小作証券 下高井郡新保郷小作人小林友八、同郡同村請人 番場和蔵→山田理兵衛殿	明治17年10月18日	縦紙・1通	443-22-36
小作証券 下高井郡新保郷小作人荒井岸之輔、同郡同村請人 荒井幸左右衛門→山田理兵衛殿	明治17年10月18日	縦紙・1通	443-22-37
小作証券 下高井郡新保郷小作人宮崎玉助、同郡同村請人 荒井啓造→山田理兵衛殿	明治17年10月18日	縦紙・1通	443-22-38

○江部・カ印（明治17年ほか）

「江部郷小作証文 カ印分」（カ印は亀屋のこと）		包紙一括・29通	443-23
小作証券 下高井郡平野郷小作人小林五三郎、同郡同村請人 小林文助→山田理兵衛殿 端裏朱書「カ印」	明治28年3月5日	縦紙・1通	443-23-1
小作証券 下高井郡江部村小作人丸山文作、同郡同村請人 小林市左衛門→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-2
小作証券 下高井郡江部村小作人湯本源右衛門、同郡同村 請人湯本治兵衛→山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-3
小作証券 下高井郡江部村小作人小林市左衛門、同郡同村 請人中島萬重郎→山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-4
小作証券 下高井郡江部村小作人小林市左衛門、同郡同村 請人中島萬重郎→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-5
小作証券 下高井郡江部村小作人山田仁助、同郡同村請人 高木惣吉→山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-6
小作証券 下高井郡江部村小作人山田仁助、同郡同村請人 高木惣吉→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-7
小作証券 下高井郡江部村小作人湯本浅次、同郡同村請人 湯本治兵衛→山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-8
小作証券 下高井郡江部村小作人竹内政之丞、同郡同村請人 竹内常蔵→山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-9

小作証券 下高井郡江部村小作人小澤久之助、同郡同村請人勝山金吾→山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-10
小作証券 下高井郡江部村小作人小林彌三郎、同郡同村請人小林市左衛門→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-11
小作証券 下高井郡江部村小作人大坂磯右衛門、同郡同村請人高木惣吉→山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦継紙・1通	443-23-12
小作証券 下高井郡江部村小作人関谷政藏、同郡同村請人関谷つま→山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-13
小作証券 下高井郡江部村小作人勝山金吾、同郡同村請人小沢久之助→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-14
小作証券 下高井郡江部村小作人山田直助、同郡同村請人山田喜七→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-15
小作証券 下高井郡江部村小作人小林為右衛門、同郡同村請人小林文助→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-16
小作証券 下高井郡江部村小作人小林文助、同郡同村請人小林為右衛門→山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-17
小作証券 下高井郡江部村小作人小林文助、同郡同村請人小林為右衛門→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-18
小作証券 下高井郡小作人村上平藏、同郡同村請人大坂惣太郎→山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦継紙・1通	443-23-19
小作証券 下高井郡江部村小作人村上平藏、同郡同村請人大坂惣太郎→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-20
小作証券 下高井郡江部村小作人山田増藏、同郡同村請人小林文助→山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-21
小作証券 下高井郡江部村小作人小林甚作、同郡同村請人山田辰次郎→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-22
小作証券 下高井郡江部村小作人小川宇太郎、同郡同村請人小川丑次郎→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-23
小作証券 下高井郡江部村小作人小澤国吉、同郡同村請人小沢和吉→山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-24
小作証券 下高井郡江部村小作人湯本治兵衛、同郡同村請人湯本浅次→山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-25
小作証券 下高井郡江部村小作人湯本治兵衛、同郡同村請人湯本浅次→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-26
小作証券 下高井郡江部村小作人山田忠次、同郡同村請人湯本治兵衛→山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-27
小作証券 下高井郡江部村小作人湯本しふ、同郡同村請人湯本治兵衛→山田理兵衛殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-23-28
小作証券 下高井郡延徳郷新保小作人関口熊五郎、同郡同村同町請人荒井善吉→山田理兵衛殿 端裏朱書「力印」	明治25年3月6日	縦紙・1通	443-23-29

○江部村地籍入作栗林・草間分（明治17年）

「江部村地籍入作 栗林 草間分」		包紙入・22通	443-24
小作証 下高井郡栗林村小作人山口金作、同郡同村請人松島為藏→山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	縦紙・1通	443-24-1

地主/小作証文・小作証券/○江部村地籍入作栗林・草間分（明治17年）

小作証 下高井郡栗林村小作人山口要三郎、同郡同村請人山口金作→山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	豎紙・1通	443-24-2
小作証券 下高井郡栗林村小作人小嵯源兵衛、同郡同村請人山口市兵衛→山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	豎紙・1通	443-24-3
小作証券 下高井郡栗林村小作人山口市兵衛、同郡同村請人小崎源兵衛→山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	豎紙・1通	443-24-4
小作証券 下高井郡栗林村小作人松島為藏、同郡同村請人山口金作→山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	豎繼紙・1通	443-24-5
小作証券 下高井郡草間村小作人金井健左衛門、同郡同村請人松井源助→山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	豎紙・1通	443-24-6
小作証券 下高井郡草間村小作人今井臺次郎、同郡同村請人今井本三郎→山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	豎紙・1通	443-24-7
小作証券 下高井郡草間村小作人北邨文四郎、同郡同村請人北村又市→山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	豎紙・1通	443-24-8
小作証券 下高井郡草間村小作人金井本三郎、同郡同村請人今井臺次郎→山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	豎紙・1通	443-24-9
小作証券 下高井郡草間村小作人金井藤平、同郡同村請人北邨幸吉→山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	豎紙・1通	443-24-10
小作証券 下高井郡草間村小作人瀧澤新重郎、同郡同村請人若林政右衛門→山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	豎紙・1通	443-24-11
小作証券 下高井郡草間村小作人小林清太郎、同郡同村請人瀧沢新重郎→山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	豎紙・1通	443-24-12
小作証券 下高井郡草間村小作人湯川三次郎、同郡同村請人金井惣之丞→山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	豎紙・1通	443-24-13
小作証券 下高井郡草間村小作人金井要左衛門、同郡同村請人金井平藏→山田莊左衛門殿	明治17年5月14日	豎繼紙・1通	443-24-14
小作証券 下高井郡草間村小作人金井要左衛門、同郡同村請人金井平藏→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治17年5月14日	豎紙・1通	443-24-15
小作証券 下高井郡草間村小作人黒岩直之助、同郡同村請人春原岩藏→山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	豎紙・1通	443-24-16
小作証券 下高井郡草間村小作人北村幸吉、同郡同村請人金井藤平→山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	豎紙・1通	443-24-17
小作証券 下高井郡草間村小作人北邨又市、同郡同村請人北邨文四郎→山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	豎繼紙・1通	443-24-18
小作証券 下高井郡草間村小作人春原岩藏、同郡同村請人黒岩藤左衛門→山田莊左衛門殿	明治17年5月14日	豎紙・1通	443-24-19
小作証券 下高井郡草間村小作人松井源助、同郡同村請人金井健左衛門→山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	豎紙・1通	443-24-20
小作証券 下高井郡草間村小作人勝山八百吉、同郡同村請人北邨文四郎→山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	豎紙・1通	443-24-21
小作証券 下高井郡草間村小作人若林政右衛門、同郡同村請人瀧沢新十郎→山田莊左衛門殿	明治17年5月13日	豎紙・1通	443-24-22

○片塩（明治18年ほか）

「片塩村小作証文」		包紙入・35通	443-25
-----------	--	---------	--------

小作証券 下高井郡片塩村小作人堀内治郎右衛門、同郡同 郷請人田中忠之助→下高井郡江部郷山田理兵衛殿	明治18年3月24日	縦紙・1通	443-25-1
小作証券 下高井郡片塩村小作人田中平右衛門、同郡同郷 請人吉見善左衛門→下高井郡江部郷山田理兵衛殿	明治18年3月28日	縦紙・1通	443-25-2
小作証券 下高井郡片塩村小作人堀内与四郎、同郡同郷請 人澤田茂七→下高井郡江部郷山田理兵衛殿	明治18年3月28日	縦紙・1通	443-25-3
小作証券 下高井郡片塩村小作人津金改造、同郡同郷請人 田中平右衛門→下高井郡江部郷山田理兵衛殿	明治18年3月28日	縦紙・1通	443-25-4
小作証券 下高井郡片塩村小作人津金改造、同郡同郷請人 田中平右衛門→下高井郡江部郷山田理兵衛殿	明治18年3月28日	縦継紙・1通	443-25-5
小作証券 下高井郡片塩村小作人堀内治助、同郡同郷請人 酒井源之助→下高井郡江部郷山田理兵衛殿	明治18年4月3日	縦紙・1通	443-25-6
小作証券 下高井郡片塩村小作人吉見善左衛門、同郡同郷 請人澤田喜作→下高井郡江部郷山田理兵衛殿	明治18年3月28日	縦紙・1通	443-25-7
小作証券 下高井郡片塩村小作人吉見善左衛門、同郡同郷 請人澤田喜作→下高井郡江部郷山田理兵衛殿	明治18年3月28日	縦継紙・1通	443-25-8
借地証券 高井郡片塩村借地人永峯嘉七、同郡同村受人永 峯三津治→山田理兵衛殿	明治18年3月31日	縦紙・1通	443-25-9
小作証券 下高井郡片塩村小作人田中徳太郎、同郡同郷請 人土屋太市→下高井郡江部郷山田理兵衛殿	明治18年3月18日	縦継紙・1通	443-25-10
小作証券 下高井郡片塩村小作人岩月伊蔵、同郡同郷請人 小林孫吉→下高井郡江部郷山田理兵衛殿	明治18年3月24日	縦継紙・1通	443-25-11
小作証券 下高井郡片塩村小作人堀内治郎右衛門、同郡同 郷請人田中忠之助→下高井郡江部郷山田理兵衛殿	明治18年3月24日	縦紙・1通	443-25-12
小作証券 下高井郡片塩村小作人城倉吉三良、同郡同郷請 人田中佐惣治→下高井郡江部郷山田理兵衛殿	明治18年3月24日	縦継紙・1通	443-25-13
小作証券 下高井郡片塩村小作人永峰新之助、同郡同郷請 人岩月己之助→下高井郡江部郷山田理兵衛殿	明治18年3月26日	縦紙・1通	443-25-14
小作証券 下高井郡片塩村小作人田中佐惣治、同郡同郷請 人城倉吉三良→下高井郡江部郷山田理兵衛殿	明治18年3月24日	縦紙・1通	443-25-15
小作証券 下高井郡片塩村小作人田中佐惣治、同郡同郷請 人城倉吉三良→下高井郡江部郷山田理兵衛殿	明治18年3月24日	縦紙・1通	443-25-16
小作証券 下高井郡小作人田中保作、同郡同郷請人大沢保 市→下高井郡江部郷山田理兵衛殿	明治18年3月24日	縦紙・1通	443-25-17
小作証券 下高井郡片塩村小作人大沢保市、同郡同郷請人 田中保作→下高井郡江部郷山田理兵衛殿	明治18年3月24日	縦紙・1通	443-25-18
小作証券 下高井郡小作人大沢保市、同郡同郷請人田中保 作→下高井郡江部郷山田理兵衛殿	明治18年3月24日	縦紙・1通	443-25-19
小作証券 下高井郡片塩村小作人岩月伊蔵、同郡同郷請人 小林孫吉→下高井郡江部郷山田理兵衛殿	明治18年3月24日	縦紙・1通	443-25-20
借地証券 高井郡片塩村借地人岩月伊蔵、同郡同村受人小 林孫吉→山田理兵衛殿	明治18年3月24日	縦継紙・1通	443-25-21
借地証券 下高井郡片塩村借地人永峯三津治、同郡同村受 人永峯嘉七→山田理兵衛殿	明治18年3月31日	縦継紙・1通	443-25-22
小作証券 下高井郡片塩村小作人田中忠之助、同郡同郷請 人堀内次郎右衛門→下高井郡江部郷山田理兵衛殿	明治18年3月24日	縦継紙・1通	443-25-23

地主/小作証文・小作証券/〇片塩（明治18年ほか）

小作証券 下高井郡片塩村小作人田中忠之助、同郡同郷請人堀内次郎右衛門→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治18年3月24日	縦継紙・1通	443-25-24
小作証券 下高井郡片塩村小作人田中忠之助、同郡同郷請人堀内次郎右衛門→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治18年3月24日	縦継紙・1通	443-25-25
小作証券 下高井郡片塩村小作人堀内惣吉、同郡同郷請人大沢保市→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治18年3月24日	縦紙・1通	443-25-26
小作証券 下高井郡片塩村小作人堀内儀兵衛、同郡同郷請人堀内与四郎→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治18年3月25日	縦紙・1通	443-25-27
小作証券 下高井郡片塩村小作人永峯重兵衛、同郡同郷請人永峯平作→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治18年3月24日	縦紙・1通	443-25-28
小作証券 下高井郡片塩村小作人永峯平作、同郡同郷請人永峯重兵衛→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治18年3月24日	縦紙・1通	443-25-29
小作証券 下高井郡片塩村小作人永峯平作、同郡同郷請人永峯重兵衛→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治18年3月24日	縦継紙・1通	443-25-30
小作証券 下高井郡片塩村小作人大沢善三郎、同郡同郷請人大沢長蔵→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治18年3月24日	縦紙・1通	443-25-31
小作証券 下高井郡片塩村小作人小林孫吉、同郡同郷請人小林儀重郎→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治18年3月24日	縦紙・1通	443-25-32
小作証券 下高井郡平野村片塩小作人田中平右衛門、同郡同郷請人津金勝治→山田莊左衛門殿	明治24年3月31日	縦紙・1通	443-25-33
小作証券 下高井郡平野村片塩小作人田中平右衛門、同郡同村請人津金勝治→山田莊左衛門殿	明治24年3月31日	縦紙・1通	443-25-34
小作証券 下高井郡片塩村小作人大沢長蔵、同郡同郷請人大沢善三郎→下高井郡江部村山田理兵衛殿	明治18年3月24日	縦紙・1通	443-25-35

〇江部・ツ印（明治17年）

「江部村小作証文 ツ印分」（ツ印は鶴屋のこと）		包紙入・11通	443-26
小作証券 下高井郡江部村小作人大坂惣太郎、同郡同村請人村上平蔵→下高井郡江部村山田松三郎殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-26-1
小作証券 下高井郡江部村小作人山田仁助、同郡同村請人高木惣吉→山田松三郎殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-26-2
小作証券 下高井郡江部村小作人山田辰次郎、同郡同村請人小林甚作→山田松三郎殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-26-3
小作証券 下高井郡江部村小作人小林文助、同郡同村請人小林為右衛門→下高井郡江部村山田松三郎殿	明治17年5月日	縦紙・1通	443-26-4
小作証券 下高井郡江部村小作人山田直助、同郡同村請人山田善七→山田松三郎殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-26-5
小作証券 下高井郡江部村小作人山田増蔵、同郡同村請人小林文助→山田松三郎殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-26-6
小作証券 下高井郡江部村小作人村上平蔵、同郡同村請人大坂惣太郎→下高井郡江部村山田松三郎殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-26-7
小作証券 下高井郡江部村小作人竹内政之丞、同郡同村請人竹内常蔵→下高井郡江部村山田松三郎殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-26-8
小作証券 下高井郡江部村小作人竹内政之丞、同郡同村請人竹内常蔵→山田松三郎殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-26-9

小作証券 下高井郡江部村小作人小澤国吉、同郡同村請人小沢和吉→下高井郡江部村山田松三郎殿	明治17年5月日	縦紙・1通	443-26-10
小作証券 下高井郡江部村小作人小澤和吉、同郡同村請人小沢国吉→下高井郡江部村山田松三郎殿	明治17年5月12日	縦紙・1通	443-26-11

○綿内

(綿内村小作証文一括、こより・包紙・紙帯で多重に一括したもの)		こより一括・	444
「新証文 貳拾三組合百三拾三通」(綿内村小作証文一括、二束)		包紙入・	444-1
(綿内村小作証文一括)		包紙入・	444-1-1
「入作組四通 ㄨ拾貳俵五升五合」		紙帯一括・4通	444-1-1-01
小作証文之事 綿内村入作組地預熊太郎、親類請人多左衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦紙・1通	444-1-1-01-01
借地証文之事 綿内村入作組借地人多左衛門、親類請人熊太郎、組合受人滝次→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-01-02
小作証文之事 綿内村入作組地預多左衛門、親類受人滝次→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦紙・1通	444-1-1-01-03
小作証文之事 綿内村入作組地預滝次、親類受人多左衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-01-04
「万年嶋組拾八通 ㄨ八拾俵四斗也」		紙帯一括・18通	444-1-1-02
小作証文之事 綿内村万年嶋組地預田村藤重郎、親類請人平七→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-02-01
小作証文之事 綿内村万年嶋組地預八百八、親類受人初治→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-02-02
借地証文之事 綿内村万年嶋組借地人千代松、親類請人八百八、組合受人甚左衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-02-03
小作証文之事 綿内村万年嶋組地預平弥、親類受人初治→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-02-04
借地証文之事 綿内村万年嶋組借地人平七、親類受人彦彦、組合受人藤十郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-02-05
小作証文之事 綿内村万年嶋組地預平七、親類受人彦彦→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦紙・1通	444-1-1-02-06
小作証文之事 綿内村万年嶋組地預金平、親類受人孝左衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-02-07
借地証文之事 綿内村万年嶋組借地人左平次、親類受人富七、組合請人初治→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-02-08
小作証文之事 綿内村万年嶋組地預左平次、親類受人富七→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-02-09
借地証文之事 綿内村万年嶋組借地人彦松、親類受人平七、組合受人藤十郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-02-10
小作証文之事 綿内村万年嶋組地預彦松、親類受人平七→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦紙・1通	444-1-1-02-11
小作証文之事 綿内村万年嶋組地預文平、親類受人初治→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-02-12

小作証文之事 綿内村万年嶋組地預富七、親類受人左平次→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅紙・1通	444-1-1-02-13
小作証文之事 綿内村万年嶋組地預作次、親類受人富七→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-1-02-14
小作証文之事 綿内村万年嶋組地預孝左衛門、親類受人金平→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅紙・1通	444-1-1-02-15
借地証文之事 綿内村万年嶋組借地人初治、親類受人富七、組合請人左平次→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-1-02-16
小作証文之事 綿内村万年嶋組地預初治、親類請人富七→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-1-02-17
小作証文之事 綿内村万年嶋組地預喜太郎、親類受人富七→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-1-02-18
「芦町組六通 〆三拾三俵四斗三升七合」		紙帶一括・6通	444-1-1-03
小作証文之事 綿内村芦町組地預惣右衛門、親類請人善五郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅紙・1通	444-1-1-03-01
小作証文之事 綿内村芦町組地預角左衛門、親類受人善五郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅紙・1通	444-1-1-03-02
小作証文之事 綿内村芦町組地預清左衛門、親類受人庄兵衛→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-1-03-03
小作証文之事 綿内村芦町組地預庄兵衛、親類受人清左衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-1-03-04
小作証文之事 綿内村芦町組地預要吉、親類受人善五郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅紙・1通	444-1-1-03-05
小作証文之事 綿内村芦町組地預善五郎、親類受人多之吉→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-1-03-06
「ぬるゆ組四通 〆廿八俵貳斗壹合」		紙帶一括・4通	444-1-1-04
小作証文之事 綿内村ぬるよ組地預藤左衛門、親類受人七兵衛→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-1-04-01
小作証文之事 綿内村ぬるよ組地預清松、親類請人音右衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-1-04-02
小作証文之事 綿内村ぬるよ組地預音右衛門、親類受人清泰→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅紙・1通	444-1-1-04-03
小作証文之事 綿内村ぬるよ組地預伊兵衛、親類受人伊三郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅紙・1通	444-1-1-04-04
「清水組壹通 三俵五升」		紙帶一括・1通	444-1-1-05
小作証文之事 綿内村清水組地預清七、親類請人初治→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅紙・1通	444-1-1-05-01
「菱田組拾貳通 〆七拾貳俵四斗七升」		紙帶一括・12通	444-1-1-06
小作証文之事 綿内村菱田組地預治三郎、親類請人喜左衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-1-06-01
小作証文之事 綿内村菱田組地預利助、親類受人治三郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-1-06-02
小作証文之事 綿内村菱田組地預倉吉、親類受人民弥→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅紙・1通	444-1-1-06-03

小作証文之事 綿内村菱田組地預紋重郎、親類受人治三郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-06-04
小作証文之事 綿内村菱田組地預喜左衛門、親類受人飯重郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-06-05
小作証文之事 綿内村菱田組地預平五郎、親類受人民弥→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦紙・1通	444-1-1-06-06
小作証文之事 綿内村菱田組地預岡右衛門、親類受人治三郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-06-07
小作証文之事 綿内村菱田組地預富左衛門、親類請人喜左衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-06-08
小作証文之事 綿内村菱田組地預長助、親類請人利助→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦紙・1通	444-1-1-06-09
借地証文之事 綿内村菱田組借地人幸吉、親類受人喜左衛門、組合請人飯重郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-06-10
小作証文之事 綿内村菱田組地預幸吉、親類請人喜左衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-06-11
小作証文之事 綿内村菱田組地預民弥、親類受人平五郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-06-12
「森組式通 〆拾俵三斗三升五合」		紙帶一括・2通	444-1-1-07
小作証文之事 綿内村森組地預源次郎、親類受人金弥→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-07-1
小作証文之事 綿内村森組地預高吉、親類請人金弥→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-07-2
「嶋組六通 〆拾七俵四斗七升五合」		紙帶一括・6通	444-1-1-08
小作証文之事 綿内村嶋組地預佐兵衛、親類請人又右衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦紙・1通	444-1-1-08-01
小作証文之事 綿内村嶋組地預喜兵衛、親類請人又右衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦紙・1通	444-1-1-08-02
小作証文之事 綿内村嶋組地預清右衛門、親類請人又右衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-08-03
小作証文之事 綿内嶋組地預又右衛門、親類請人又右衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-08-04
小作証文之事 綿内村嶋組地預庄三郎、親類受人又右衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦紙・1通	444-1-1-08-05
小作証文之事 綿内村嶋組地預又右衛門、親類請人清右衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦紙・1通	444-1-1-08-06
「牛池組壹通 三俵壹斗」		紙帶一括・1通	444-1-1-09
小作証文之事 綿内村牛池組地預喜代蔵、親類請人→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦紙・1通	444-1-1-09-01
「大橋組七通 〆貳拾九俵」		紙帶一括・7通	444-1-1-10
借地証文之事 綿内村大橋組借地人武左衛門、親類請人清助、組合請人金兵衛→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	縦継紙・1通	444-1-1-10-01
小作証文之事 綿内村大橋組地預栄作、親類受人金兵衛→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年	縦紙・1通	444-1-1-10-02
小作証文之事 綿内村大橋組地預吉松、親類請人金兵衛	文久3亥年	縦紙・1通	444-1-1-10-

→東江部村山田庄左衛門殿			03
小作証文之事 綿内村大橋組地預金兵衛、親類請人栄作 →東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	竖継紙・1通	444-1-1-10-04
小作証文之事 綿内村大橋組地預嘉平次、親類請人勘左衛門 →東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年	竖紙・1通	444-1-1-10-05
小作証文之事 綿内村大橋組地預勘左衛門、親類請人嘉平次 →東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	竖継紙・1通	444-1-1-10-06
小作証文之事 綿内村大橋組地預与惣次、親類請人金兵衛 →東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	竖継紙・1通	444-1-1-10-07
「町田組五通 ㄨ拾七俵半」		紙帶一括・5通	444-1-1-11
小作証文之事 綿内村町田組地預り治助、親類請人清右衛門 →東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	竖継紙・1通	444-1-1-11-01
小作証文之事 綿内村町田組地預り清右衛門、親類請人治助 →東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	竖紙・1通	444-1-1-11-02
小作証文之事 綿内村町田組地預り佐兵衛、親類請人多左衛門 →東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	竖継紙・1通	444-1-1-11-03
小作証文之事 綿内村町田組地預己之吉、親類請人政吉 →東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	竖紙・1通	444-1-1-11-04
小作証文之事 綿内村町田組地預り末吉、親類請人常蔵 →東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	竖継紙・1通	444-1-1-11-05
借地証文之事 綿内村上町組借地人善十郎、新類受人大次郎、組合与作 →東江部村山田庄左衛門殿 444-1-1-12-1・2は包紙の外に括付	元治2丑年3月	竖継紙・1通	444-1-1-12-01
借地証文之事 綿内村牛池組借地人栄作、新類受人駒吉、組合藤太郎 →東江部村山田庄左衛門殿	元治2丑年3月	竖継紙・1通	444-1-1-12-02
(綿内村小作証文一括)		包紙一括・	444-1-2
「勘七組三通 ㄨ廿俵三斗九升七合」		紙帶一括・3通	444-1-2-01
小作証文之事 綿内村勘七組地預房治、親類請人多兵衛 →東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	竖継紙・1通	444-1-2-01-01
小作証文之事 綿内村勘七組地預り庄右衛門、親類請人多兵衛 →東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	竖継紙・1通	444-1-2-01-02
小作証文之事 綿内村勘七組地預鯛助、親類請人多兵衛 →東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	竖継紙・1通	444-1-2-01-03
「上町組拾五通 ㄨ七拾五俵三斗八升貳合」		紙帶一括・15通	444-1-2-02
小作証文之事 綿内村之内上町組地預町田忠兵衛、親類請人玉蔵 →東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	竖継紙・1通	444-1-2-02-01
小作証文之事 綿内村上町組地預り人彦作、親類請人八左衛門 →東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	竖紙・1通	444-1-2-02-02
小作証文之事 綿内村上町組地預り人勘右衛門、親類請人次右衛門 →東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	竖紙・1通	444-1-2-02-03
小作証文之事 綿内村上町組地預小吉、親類請人勘右衛門 →東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	竖継紙・1通	444-1-2-02-04
借地証文之事 綿内村上町組借地人常七、親類請人房治、組合請人次右衛門 →東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	竖継紙・1通	444-1-2-02-05
小作証文之事 綿内村上町組地預三之助、親類請人初治	文久3亥年2月	竖紙・1通	444-1-2-02-

→東江部村山田庄左衛門殿			06
小作証文之事 綿内村上町組地預多右衛門、親類請人庄助→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎紙・1通	444-1-2-02-07
小作証文之事 綿内村上町組地預庄助、親類請人多兵衛→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎紙・1通	444-1-2-02-08
小作証文之事 綿内村上町組地預伴助、親類請人友三郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎繼紙・1通	444-1-2-02-09
小作証文之事 綿内村上町組地預り常七、親類請人房次→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎繼紙・1通	444-1-2-02-10
小作証文之事 綿内村上町組地預八右衛門、親類請人伴助→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎繼紙・1通	444-1-2-02-11
小作証文之事 綿内村上町組地預り唯八、親類請人伴助→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎繼紙・1通	444-1-2-02-12
小作証文之事 綿内村上町組地預喜四郎、親類請人大次郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎繼紙・1通	444-1-2-02-13
小作証文之事 綿内村上町組地預多兵衛、親類請人鯛助→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎繼紙・1通	444-1-2-02-14
小作証文之事 綿内村上町組地預り善十郎、親類請人大次郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎繼紙・1通	444-1-2-02-15
「六兵衛組九通 ㄨ 四十七俵三斗六合」		紙帶一括・9通	444-1-2-03
小作証文之事 綿内村六兵衛組地預り長五郎、親類請人兵右衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎繼紙・1通	444-1-2-03-01
小作証文之事 綿内村六兵衛組地預伊兵衛、親類請人長五郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎繼紙・1通	444-1-2-03-02
小作証文之事 綿内村六兵衛組地預庄左衛門、親類請人伴右衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎繼紙・1通	444-1-2-03-03
小作証文之事 綿内村六兵衛組地預伴右衛門、親類請人庄左衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎紙・1通	444-1-2-03-04
小作証文之事 綿内村六兵衛組地預貞五郎、親類請人新右衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎紙・1通	444-1-2-03-05
小作証文之事 綿内村六兵衛組地預捨藏、親類請人伴右衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎繼紙・1通	444-1-2-03-06
小作証文之事 綿内村六兵衛組地預新右衛門、親類請人定五郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎繼紙・1通	444-1-2-03-07
小作証文之事 綿内村六兵衛組地預兵右衛門、親類請人長五郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎繼紙・1通	444-1-2-03-08
小作証文之事 綿内村六兵衛組地預六兵衛、親類請人新右衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎紙・1通	444-1-2-03-09
「茂右衛門組五通 ㄨ 四拾七俵壹斗三升七合」		紙帶一括・5通	444-1-2-04
小作証文之事 綿内村茂右衛門組地預幸右衛門、親類請人新藏→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎繼紙・1通	444-1-2-04-01
小作証文之事 綿内村茂右衛門組地預要右衛門、親類請人喜三郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎繼紙・1通	444-1-2-04-02
小作証文之事 綿内村茂右衛門組地預又次郎、親類請人才次郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎繼紙・1通	444-1-2-04-03

小作証文之事 綿内村茂右衛門組地預新蔵、親類請人幸右衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-2-04-04
小作証文之事 綿内村茂右衛門組地預才次郎、親類請人又次郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-2-04-05
「下万年組式通 〆五俵四升五合」		紙帶一括・2通	444-1-2-05
小作証文之事 綿内村下万年組地預徳次郎、親類請人新右衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅紙・1通	444-1-2-05-01
小作証文之事 綿内村下万年組地預文右衛門、親類請人徳次郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅紙・1通	444-1-2-05-02
「中万年組拾壹通 〆五拾四俵壹斗五升三合」		紙帶一括・11通	444-1-2-06
小作証文之事 綿内村中万年組地預磯吉、親類請人千代治→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-2-06-01
小作証文之事 綿内村中万年組地預千之松、親類請人久三郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅紙・1通	444-1-2-06-02
借地証文之事 綿内村中万年組借地人卯之松、親類請人千之松、組合請人久三郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-2-06-03
小作証文之事 綿内村中万年組地預卯之松、親類請人千之松→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-2-06-04
小作証文之事 綿内村中万年組地預新之助、親類請人栄七→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅紙・1通	444-1-2-06-05
小作証文之事 綿内村中万年組地預栄七、親類請人新之助→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅紙・1通	444-1-2-06-06
小作証文之事 綿内村中万年組地預只右衛門、親類請人千之松→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-2-06-07
小作証文之事 綿内村中万年組地預新右衛門、親類請人嘉代治→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-2-06-08
小作証文之事 綿内村中万年組地預久三郎、親類請人千之松→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-2-06-09
小作証文之事 綿内村中万年組地預り嘉代治、親類請人新右衛門→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-2-06-10
小作証文之事 綿内村中万年組地預り喜代作、親類請人久三郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅紙・1通	444-1-2-06-11
「上万年組三通 〆拾俵八升」		紙帶一括・3通	444-1-2-07
借地証文之事 綿内村上万年組借地人新八、親類請人六右衛門、組合請人千代治→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-2-07-01
小作証文之事 綿内村上万年組地預平蔵、親類請人栄七→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-2-07-02
小作証文之事 綿内村上万年組地預友三郎、親類請人伴助→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-2-07-03
「長助組三通 〆八俵壹斗六升貳合」		紙帶一括・3通	444-1-2-08
小作証文之事 綿内村長助組地預仁惣次、親類請人與惣治→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅紙・1通	444-1-2-08-01
借地証文之事 綿内村長助組借地人繁吉、親類請人與惣次、組合請人仁惣次→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	堅繼紙・1通	444-1-2-08-02
小作証文之事 綿内村長助組地預与惣次、親類請人仁惣	文久3亥年2月	堅紙・1通	444-1-2-08-

次→東江部村山田庄左衛門殿			03
「小兵衛組四通 ㄨ拾五俵三斗五升五合」		紙帶一括・4通	444-1-2-09
小作証文之事 綿内村小兵衛組地預稲奈、親類請人茂三郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎紙・1通	444-1-2-09-01
小作証文之事 綿内村小兵衛組地預寅吉、親類請人稲奈→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎繼紙・1通	444-1-2-09-02
小作証文之事 綿内村小兵衛組地預茂三郎、親類請人稲奈→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎繼紙・1通	444-1-2-09-03
小作証文之事 綿内村小兵衛組地預市左衛門、親類請人寅吉→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎繼紙・1通	444-1-2-09-04
「田中組式通 ㄨ四俵五升」		紙帶一括・2通	444-1-2-10
小作証文之事 綿内村田中組地預富吉、親類請人岩吉→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎紙・1通	444-1-2-10-01
小作証文之事 綿内村田中組地預岩吉、親類請人富吉→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎紙・1通	444-1-2-10-02
「春山組四通 ㄨ拾三俵式斗」		紙帶一括・4通	444-1-2-11
小作証文之事 綿内村春山組地預和七、親類請人長三郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎繼紙・1通	444-1-2-11-01
小作証文之事 綿内村春山組地預三之丞、親類請人長三郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎紙・1通	444-1-2-11-02
小作証文之事 綿内村春山組地預長三郎、親類請人長七→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎紙・1通	444-1-2-11-03
小作証文之事 綿内村春山組地預栄藏、親類請人長三郎→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎紙・1通	444-1-2-11-04
「岩崎組六通 ㄨ廿七俵式斗三升五合」		紙帶一括・6通	444-1-2-12
小作証文之事 綿内村岩崎組地預り善之助、親類請人今吉→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎繼紙・1通	444-1-2-12-01
小作証文之事 綿内村岩崎組地預友弥、親類請人今吉→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎紙・1通	444-1-2-12-02
小作証文之事 綿内村岩崎組地預清八、親類請人甚藏→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎紙・1通	444-1-2-12-03
小作証文之事 綿内村岩崎組地預り甚藏、親類請人清八→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎紙・1通	444-1-2-12-04
小作証文之事 綿内村岩崎組地預り今吉、親類請人善之助→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎紙・1通	444-1-2-12-05
小作証文之事 綿内村岩崎組地預り泰次郎、親類請人今吉→東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年2月	豎繼紙・1通	444-1-2-12-06
「午春入綿内跡江小作証文六本ニ而四拾三俵四斗納」		包紙入・6通	444-2
小作証文之事 綿内村大橋組地所預り主軍治郎、六兵衛組受人定五郎→東江部村山田庄左衛門殿	明治3午年2月	豎紙・1通	444-2-1
小作証文之事 綿内村嶋組地所預り主利右衛門、六兵衛組請人定五郎→東江部村山田庄左衛門殿	明治3午年2月	豎紙・1通	444-2-2
小作証文之事 綿内村六兵衛組地預り人喜曾七、同村同組受人貞助→東江部村山田庄左衛門殿	明治3午年3月	豎繼紙・1通	444-2-3

小作証文之事 綿内村茂右衛門組地預り喜左衛門、同村六兵衛組受人喜曾七→東江部村山田庄左衛門殿	明治3午年3月	縦継紙・1通	444-2-4
小作証文之事 綿内村六兵衛組地預り貞助、同村同組受人喜曾七→東江部村山田庄左衛門殿	明治3午年3月	縦継紙・1通	444-2-5
小作証文之事 綿内村六兵衛組地所預り主定五郎、同組受人喜曾七→東江部村山田庄左衛門殿	明治3午年2月	縦紙・1通	444-2-6
小作証文之事 綿内村上万年組地預り宮沢新八、請人宮沢清之丞→東江部村山田庄左衛門殿	明治4未年2月	縦紙・1通	444-3

○平野（明治28年）ほか

(平野村ほか小作証券一括)		括紐一括・21通	445
小作証券 下高井郡小作人浅岡又治、同郡同郷請人浅岡兵次→下高井郡平野村山田庄左衛門殿	明治18年月日	縦紙・1通	445-1
小作証券 下高井郡小作人浅岡又次、同郡同村請人浅岡兵次→山田庄左衛門殿	明治年月日	縦紙・1通	445-2
小作証券 下高井郡平野村小作人竹内和一郎、同郡同郷科野村請人池田嘉助→下高井郡平野村山田庄左衛門殿 445-3-1・2は帯紙一括	明治28年4月7日	縦紙・1通	445-3-1
約定書 下高井郡科野村池田嘉助→同郡平野村山田庄左衛門殿	明治28年4月7日	縦継紙・1通	445-3-2
小作証券 下高井郡平野村小作人山田木之助、同郡同郷請人山田文六→下高井郡平野村山田庄左衛門殿	明治28年3月5日	縦継紙・1通	445-4
小作証券 下高井郡平野村小作人湯本才治、同郡同村請人小林市左衛門→山田庄左衛門殿	明治28年3月7日	縦継紙・1通	445-5
小作証券 下高井郡平野村小作人大坂啓蔵、同郡同郷請人大坂亀作→下高井郡平野村山田庄左衛門殿	明治28年4月17日	縦紙・1通	445-6
小作証券 下高井郡平野村小作人小林勝蔵、同郡延徳村請人小林与作→下高井郡平野村山田庄左衛門殿 445-7-1～3は帯紙一括	明治28年4月19日	縦紙・1通	445-7-1
小作証券 下高井郡平野村小作人小林勝蔵、同郡延徳村請人小林與作→下高井郡平野村山田庄左衛門殿	明治28年4月19日	縦紙・1通	445-7-2
約定書 下高井郡延徳村引受人小林與作→同郡同郷山田庄左衛門殿	明治28年4月19日	縦継紙・1通	445-7-3
小作証券 下高井郡平野村小作人堀田利太郎、同郡同郷請人田中忠之助→下高井郡平野村山田庄左衛門殿	明治28年3月31日	縦紙・1通	445-8
小作証券 下高井郡平野村小作人堀田利太郎、同郡同郷請人田中忠之助→下高井郡平野村大徳寺代人山田庄左衛門殿 端裏朱書「寺印」	明治28年3月31日	縦紙・1通	445-9
小作証券 下高井郡平野村小作人澤田勝蔵、同郡同郷請人堀内庄作→下高井郡平野村山田庄左衛門殿	明治28年3月日	縦紙・1通	445-10
小作証券 下高井郡平野村小作人澤田勝蔵、同郡同村請人堀内庄作→下高井郡平野村大徳寺山田庄左衛門殿 端裏朱書「寺」	明治28年3月日	縦紙・1通	445-11
小作証券 下高井郡平野村小作人堀内庄作、同郡同郷請人吉見熊三→下高井郡平野村山田庄左衛門殿	明治28年3月日	縦紙・1通	445-12
小作証券 下高井郡平野村小作人町田樸七、同郡同郷請人阿部久兵衛→下高井郡平野村山田庄左衛門殿	明治28年3月24日	縦紙・1通	445-13

小作証券 下高井郡平野邨小作人阿部久兵衛、同郡同邨請人町田樺七→下高井郡平野邨篠田佐賢殿代人山田莊左衛門殿 端裏朱書「篠」	明治28年3月24日	縦紙・1通	445-14
小作証券 下高井郡平野邨小作人阿部久兵衛、同郡同村請人町田樺七→同郡同村篠田佐賢殿代人山田莊左衛門殿 端裏朱書「篠」	明治28年3月24日	縦紙・1通	445-15
小作証券 下高井郡平野邨小作人竹内甚之助、同郡同邨請人小林多吉→下高井郡平野邨山田莊左衛門殿	明治28年3月15日	縦継紙・1通	445-16
小作証券 下高井郡平野邨小作人竹内甚之助、同郡同村請人小林多吉→山田莊左衛門殿	明治28年3月15日	縦紙・1通	445-17
小作証券 下高井郡平野村小作人大坂啓蔵、同郡同村請人大坂亀作→山田莊左衛門殿	明治28年4月17日	縦継紙・1通	445-18

○新保（明治14年）ほか

「明治小作証文」 一括表題は便箋にペン書で括紐に挟込 (絵図) 白紙1枚共 * 地代金請取一札（水車敷地、10年季金20円） 下高井郡篠井村地主田中清吉、同受人田中應助→山田莊左衛門殿 446-2は紙帯一括 * 借家証文之事（水車1ヶ所） 下高井郡篠井村借家人田中清吉、同受人田中應助→山田莊左衛門殿 (新保村ほか小作証券一括)	(明治14年3月28日～明治25年12月26日)	括紐一括・48通	446
		275×380・1通	446-1
	明治19年2月21日	縦継紙・1通	446-2-1
	明治19年2月21日	縦継紙・1通	446-2-2
		括紐一括・23通	446-3
小作証券 下高井郡延徳邨字新保小作人黒崎傳吉、同郡同邨同断請人山田治郎作→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿	明治25年12月26日	縦紙・1通	446-3-1
小作証券 下高井郡新保邨小作人黒崎喜市、同郡同村請人黒崎与作→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引	明治14年4月10日	縦継紙・1通	446-3-2
小作証券 下高井郡新保邨小作人馬場庄兵衛、同郡同村請人同周蔵→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引	明治14年4月10日	縦紙・1通	446-3-3
小作証券 下高井郡新保村小作人黒崎藤太、同郡同村請人同八左衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引	明治14年4月10日	縦紙・1通	446-3-4
小作証券 下高井郡新保村小作人黒崎又勝、同郡同村請人黒崎重左衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引、端裏赤丸	明治14年4月11日	縦紙・1通	446-3-5
小作証券 下高井郡新保村小作人山田清八、同郡同村請人山田壽作→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引、端裏赤丸	明治14年4月10日	縦紙・1通	446-3-6
小作証券 下高井郡新保邨小作人山田作重郎、同郡同村請人山田壽作→下高井郡江部村山田理兵衛殿 印紙・印墨消、端裏墨引、端裏「カ」	明治14年4月10日	縦紙・1通	446-3-7
小作証券 下高井郡新保村小作人山田作重郎、同郡同村請人山田壽作→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引	明治14年4月10日	縦紙・1通	446-3-8
小作証券 下高井郡新保邨小作人黒崎助重郎、同郡同村	明治14年4月11日	縦紙・1通	446-3-9

請人宮澤多七→下高井郡江部村山田理兵衛殿 印紙・印墨消、端裏墨引、端裏「カ」			
小作証券 下高井郡新保村小作人宮澤多七、同郡同村請人黒崎助十郎→下高井郡江部村山田理兵衛殿 印紙・印墨消、端裏墨引、端裏「カ」	明治14年4月11日	縦紙・1通	446-3-10
小作証券 下高井郡新保村小作人宮澤多七、同郡同村請人黒崎助十郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引	明治14年4月11日	縦紙・1通	446-3-11
小作証券 下高井郡新保村小作人黒崎助重郎、同郡同村請人宮澤多七→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引	明治14年4月11日	縦継紙・1通	446-3-12
小作証券 下高井郡新保村小作人柳沢多四郎、同郡同村請人柳澤寿平→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引	明治14年4月10日	縦継紙・1通	446-3-13
小作証券 下高井郡新保村小作人番場高右衛門、同郡同村請人郷道宇兵衛→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引	明治14年4月10日	縦紙・1通	446-3-14
小作証券 下高井郡新保村小作人西沢与吉、同郡同村請人番場長吉→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引	明治14年4月11日	縦紙・1通	446-3-15
小作証券 下高井郡新保村小作人小林友八、同郡同村請人小林本三郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引	明治14年4月11日	縦紙・1通	446-3-16
小作証券 下高井郡新保村小作人荒井和吉、同郡同村請人荒井弥右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引	明治14年4月日	縦紙・1通	446-3-17
小作証券 下高井郡新保村小作人宮崎三十郎、同郡同村請人荒井啓造→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引	明治14年4月10日	縦紙・1通	446-3-18
小作証券 下高井郡新保村小作人郷道宇兵衛、同郡同村請人番場高右衛門→下高井郡江部村山田理兵衛殿 印紙・印墨消、端裏墨引、端裏「カ」	明治14年4月10日	縦紙・1通	446-3-19
小作証券 下高井郡新保村小作人郷道宇兵衛、同郡同村請人番場高右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引	明治14年4月10日	縦継紙・1通	446-3-20
小作証券 下高井郡新保村小作人馬場名右衛門、同郡同村請人西澤安太郎→下高井郡江部村山田理兵衛殿 印紙・印墨消、端裏墨引、端裏「カ」	明治14年4月10日	縦紙・1通	446-3-21
小作証券 下高井郡新保村小作人篠原勇雄、同郡同村請人清水里助→下高井郡江部村山田理兵衛殿 印紙・印墨消、端裏墨引、端裏「カ」	明治14年4月11日	縦紙・1通	446-3-22
小作証券 下高井郡新保村小作人黒崎友吉、同郡同村請人宮澤淺作→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印紙・印墨消、端裏墨引	明治14年4月11日	縦紙・1通	446-3-23
(下高井郡諸村小作証券一括)		括紐一括・22通	446-4
小作証券 下高井郡吉田村小作人三井和吉、同郡同村請人町田要之助→山田莊左衛門殿 長男三ツ井繁之助代印	明治17年5月21日	縦紙・1通	446-4-1
小作証券 下高井郡岩舟村小作人阿部久兵衛、同郡同村請人黒川高三郎→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年3月29日	縦紙・1通	446-4-2
小作証券 下高井郡岩舟村小作人阿部久兵衛、同郡同村	明治14年3月29日	縦紙・1通	446-4-3

請人黒川高三郎→山田莊左衛門殿			
小作証券 下高井郡岩船邨小作人小古井新兵衛、同郡同村請人小古井伴右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治14年4月27日	縦紙・1通	446-4-4
小作証券 下高井郡岩舟邨小作人三ツ井要之助、同郡同村請人武田廣右衛門→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 本文中朱印「明治17年10月21日勸1706号飯山治安裁判所（片山）」	明治14年3月28日	縦紙・1通	446-4-5
小作証券 上高井郡押羽村小作人永井辰五郎、同郡同邨受人永井新吉→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿	明治22年2月12日	縦紙・1通	446-4-6
小作証券 下高井郡小作人山岸代蔵、同郡同村請人青木豊治良→山田莊左衛門殿 紙片挟込（小作地等書上）	明治17年5月日	縦紙・1通	446-4-7
小作証券 下高井郡片塩邨小作人田中保作、同郡同邨請人大沢保市→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿	明治19年3月12日	縦紙・1通	446-4-8
小作証券 下高井郡片塩邨小作人田中新左衛門、同郡同邨請人田中久兵衛→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿	明治19年8月2日	縦紙・1通	446-4-9
小作証券 下高井郡江部邨小作人小林ぶん（小林萬吉代印）、同郡同村請人小林駒之助→山田莊左衛門殿	明治21年4月23日	縦継紙・1通	446-4-10
借地証券 下高井郡安源寺村借地人永井きゆ、同人親受人永井宇藤治→同郡江部邨山田莊左衛門殿	明治21年4月21日	縦紙・1通	446-4-11
小作証券 下高井郡平野村大字江部小作人永見潔、同郡同邨請人長瀧文右衛門→下高井郡平野邨大字江部山田莊左衛門殿	明治22年5月21日	縦紙・1通	446-4-12
小作証券 下高井郡江部邨小作人小林ぶん（小林萬吉代印）、同郡同邨受人小林駒之助→山田莊左衛門殿	明治21年4月23日	縦継紙・1通	446-4-13
小作証券 下高井郡北岡村小作人山口利左衛門、同郡同村請人小林喜市→下高井郡江部村山田莊左衛門殿	明治19年4月3日	縦継紙・1通	446-4-14
小作証券 下高井郡押羽村小作人小林勸道、同郡同村請人朝日奈万秀→下高井郡江部村山田莊左衛門殿 印墨消	明治17年5月16日	縦継紙・1通	446-4-15
小作証券 下高井郡吉田邨小作人小林勝蔵、同郡同邨請人小林徳蔵→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿 446-4-16-1～17は括紐一括	明治20年3月6日	縦紙・1通	446-4-16-1
小作証券 下高井郡新井村小作人相馬弥太郎、同郡同邨請人相馬徳兵衛→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿	明治20年2月25日	縦紙・1通	446-4-16-2
小作証券 下高井郡吉田村小作人平林宇之助、同郡同邨請人小林勝蔵→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿	明治20年4月10日	縦紙・1通	446-4-16-3
小作証券 下高井郡吉田村小作人原国吉、同郡同邨請人木村利兵衛→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿	明治20年2月24日	縦紙・1通	446-4-16-4
小作証券 下高井郡吉田村小作人三ツ井繁之助、同郡同邨請人町田要之助→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿	明治20年3月16日	縦紙・1通	446-4-16-5
小作証券 下高井郡吉田邨小作人竹内惣四郎、同郡同邨請人木村利兵衛→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿 小作人竹内代印「田中奈美代印」	明治20年2月24日	縦紙・1通	446-4-16-6
小作証券 下高井郡吉田村小作人竹内儀兵衛、同郡同邨請人小林勝蔵→下高井郡江部邨山田莊左衛門殿	明治20年4月10日	縦紙・1通	446-4-16-7

○「慶応四辰年 5 小作証文入」

「慶應四辰年 5 小作証文入」		包紙一括・23通	447
小作証文之事 片塩村地預り武平太、同受人嘉之助、同同 三郎右衛門、同同五右衛門→東江部村庄左衛門殿	明治3午年正月	豎継紙・1通	447-1
小作証文之事 吉田村地預り忠兵衛→山田庄左衛門殿	明治2巳年正月	豎紙・1通	447-2
小作証文之事 新保村地預り彦右衛門、同受人傳兵衛→東 江部村山田庄左衛門殿	明治2巳年3月	豎継紙・1通	447-3
小作証文之事 新保村地預り元兵衛、同受人儀助→東江部 村山田庄左衛門殿	明治2巳年3月	豎継紙・1通	447-4
小作証文之事 新井村地預り安右衛門→山田庄左衛門殿	明治2巳年3月	豎継紙・1通	447-5
小作証文之事 新保村地預り源之助、同受人茂兵衛→山田 庄左衛門殿	慶応4辰年11月	豎継紙・1通	447-6
小作証文之事 新保村地預りきよ、同受人清之丞、同受人 安左衛門→山田庄左衛門殿	慶応4辰年2月	豎紙・1通	447-7
小作証文之事 新保村地預り糸吉、同所受人伊作→東江部 村山田庄左衛門殿	慶応4辰年3月	豎紙・1通	447-8
小作証文之事 西江部村地預り紋左衛門、受人文右衛門→ 東江部村山田庄左衛門殿	慶応4辰年10月	豎継紙・1通	447-9
小作証文之事 新保村地預り仲右衛門、同所受人勘左衛門 →東江部村山田庄左衛門殿	慶応4辰年3月	豎紙・1通	447-10
小作証文之事 新保村地預り惣左衛門、同所受人仲右衛門 →東江部村山田庄左衛門殿	慶応4辰年3月	豎紙・1通	447-11
小作証文之事 新保村地預り友八、同受人五郎左衛門→山 田庄左衛門殿	慶応4辰年2月	豎紙・1通	447-12
小作証文之事 新保村地預り又右衛門、同受人定右衛門→ 山田庄左衛門殿	慶応4辰年2月	豎紙・1通	447-13
小作証文之事 新保村地預り友右衛門、同受人安左衛門→ 山田庄左衛門殿	慶応4辰年2月	豎紙・1通	447-14
小作証文之事 新保村地預り壽平、同受人佐右衛門→山田 庄左衛門殿	明治元辰年12月	豎紙・1通	447-15
小作証文之事 岩舟村地預り人市四郎、同請人重治良→山 田庄左衛門殿	明治元辰年12月	豎紙・1通	447-16
小作証文之事 片塩村地預徳左衛門、同添源左衛門→東江 部村庄左衛門殿	嘉永6丑年12月	豎紙・1通	447-17
小作証文之事 新保村地預り友八、同親類与五左衛門→山 田庄左衛門殿	明治4未年2月	豎紙・1通	447-18
小作証文之事 新保村地預り名右衛門、同受人高右衛門→ 山田庄左衛門殿	明治4未年2月	豎紙・1通	447-19
小作証文之事 北岡村小作人九市、同所受人貞助→東江部 村山田庄左衛門殿	万延2酉年2月	豎紙・1通	447-20
小作証文之事 北岡村小作人太兵衛、同所受人貞助→東江 部村山田庄左衛門殿	万延2酉年2月	豎紙・1通	447-21
小作証文之事 新保村地預り人小根澤宇右衛門、同請人小 根澤市右衛門→東江部村山田理兵衛殿	明治5年壬申正月	豎紙・1通	447-22

小作証文之事 (小作地が理右衛門から理兵衛の所持へ変更につき) 右、八左衛門、金吾、直吉、嘉作、八郎左衛門、茂兵衛、原藏、源兵衛、磯右衛門→理兵衛殿	明治5年壬申3月	縦継紙・1通	447-23
--	----------	--------	--------

○「享和三年迄村々小作入」

「享和三年迄村々小作入」		包紙一括・19通	448
「戌小作入」 包紙裏面絵図		包紙一括・6通	448-1
小作証文之事 吉田村文藏、惣助→庄左衛門殿	享和2戌2月	縦紙・1通	448-1-1
小作請証文之事 七瀬村仁左衛門→庄左衛門殿	享和2戌2月	縦紙・1通	448-1-2
小作証文之事 新井村幸七→庄左衛門殿	享和2戌2月	縦紙・1通	448-1-3
小作請証文之事 東江部村太兵衛→庄左衛門殿	享和2戌2月	縦紙・1通	448-1-4
小作証文之事 新保村惣兵衛→庄左衛門殿	享和2戌2月	縦紙・1通	448-1-5
小作証文之事 新保村平次郎、半兵衛→庄左衛門殿	享和2戌2月	縦紙・1通	448-1-6
小作証文之事 押切村午之助→東江部村庄左衛門殿	享和2年戌2月	縦紙・1通	448-2
小作証文之事 清水村喜右衛門→庄左衛門殿	享和元年酉3月	縦紙・1通	448-3
小作請証文之事 押切村小作人幸助、請人治五右衛門→庄左衛門殿	寛政10年2月	縦継紙・1通	448-4
小作証文之事 押切村清右衛門→庄左衛門殿	享和2戌12月	縦紙・1通	448-5
小作証文之事 押切村滝左衛門→庄左衛門殿	寛政13酉年2月	縦紙・1通	448-6
小作請証文之事 羽場村藤右衛門、請人与惣兵衛→庄左衛門殿	享和元酉2月	縦紙・1通	448-7
小作請証文之事 押切村九兵衛→庄左衛門殿	寛政13酉2月	縦継紙・1通	448-8
小作証文之事 押切村清七→庄左衛門殿	寛政13酉年2月	縦継紙・1通	448-9
小作証文之事 西江部村傳七→庄左衛門殿	寛政12申年2月	縦紙・1通	448-10
小作請証文之事 新保村惣兵衛→庄左衛門殿	寛政9巳2月	縦紙・1通	448-11
小作証文之事 押切村小作人清吉、請人栄八→庄左衛門殿	寛政4年子正月	縦紙・1通	448-12-1
小作証文之事 新保村小作人新右衛門、請人善四郎→東江部村庄左衛門殿	寛政5年丑2月	縦継紙・1通	448-12-2
小作請証文之事 押切村小作人栄八、請人清吉→庄左衛門殿	寛政4年子正月	縦紙・1通	448-12-3

○ (小作証文一括)

(小作証文一括)		括紐一括・8通	449
小作証文之事 片塩村小作人栄八、請人権之助→庄左衛門殿	天保2年卯2月	縦紙・1通	449-1
小作証文之事 片塩村小作人彦左衛門、請人源兵衛→庄左衛門殿	(年欠)	縦紙・1通	449-2
小作証文之事 片塩村小作人久藏、請人孫兵衛→庄左衛門殿	天保2年卯正月	縦紙・1通	449-3

小作証文之事 衛門殿	片塩村小作人清右衛門、請人已之介→庄左	天保2年卯2月	豎紙・1通	449-4
小作証文之事 衛門殿	西江部村小作人友之丞、請人伊兵衛→庄左	文政13年寅2月	豎紙・1通	449-5
小作証文之事 門殿	片塩村小作人庄兵衛、請人只兵衛→庄左衛	文政13年寅2月	豎紙・1通	449-6
小作証文之事 門殿	片塩村小作人治兵衛、請人孫兵衛→庄左衛	天保2年卯2月	豎紙・1通	449-7
小作証文之事	片塩村小作人佐兵衛、請人→庄左衛門殿	文政13年寅2月	豎紙・1通	449-8

○「西5子迄小作証文 小作帳 岩舟村」

「西5子迄小作証文 小作帳 岩舟村」			包紙一括・40通	450
小作証文之事 殿	片塩村小作人清十郎、請人類吉→庄左衛門	天保8年酉2月	豎紙・1通	450-1
小作証文之事 衛門殿	片塩村小作人四郎三郎、請人千代作→庄左	天保8年酉2月	豎紙・1通	450-2
小作証文之事 衛門殿	片塩村小作人吉兵衛、請人林右衛門→庄左	天保8年酉正月	豎紙・1通	450-3
小作証文之事 左衛門殿	片塩村小作人宇右衛門、請人久右衛門→庄	天保8年酉正月	豎紙・1通	450-4
小作証文之事 左衛門殿	西江部村小作人清右衛門、請人庄兵衛→庄	天保8年酉2月	豎紙・1通	450-5
小作証文之事 門殿	片塩村小作人吉右衛門、請人忠作→庄左衛	天保7年申2月	豎紙・1通	450-6
小作証文之事 殿	草間村小作人安兵衛、請人弥八→庄左衛門	天保8年酉3月	豎紙・1通	450-7
小作証文之事 門殿	片塩村小作人久藏、請人林右衛門→庄左衛	天保8年酉2月	豎紙・1通	450-8
小作証文之事 門殿	七瀬村小作人又左衛門、請人彦八→庄左衛	天保8年酉2月	豎紙・1通	450-9
小作証文之事 衛門殿	七瀬村小作人喜左衛門、請人平五郎→庄左	天保8年酉2月	豎紙・1通	450-10
小作証文之事	七瀬村小作人彦八、請人与七→庄左衛門殿	天保8年酉2月	豎紙・1通	450-11
小作証文之事 殿	草間村地預清七、請人倉右衛門→庄左衛門	天保8年酉2月	豎紙・1通	450-12
小作証文之事 庄左衛門殿	安源寺村小作人由左衛門、請人直左衛門→	天保8年酉2月	豎紙・1通	450-13
小作証文之事 門殿	牧山村地預千代吉、請人要右衛門→庄左衛	天保8年酉2月	豎紙・1通	450-14
小作証文之事 門殿	七瀬村小作人彦八、請人又左衛門→庄左衛	天保9年戌2月	豎紙・1通	450-15
小作証文之事 殿	片塩村小作人氏吉、請人甚藤次→庄左衛門	天保9年戌3月	豎紙・1通	450-16
小作証文之事	吉田村小作人太七、請人紋藏→庄左衛門殿	天保9年戌2月	豎紙・1通	450-17

小作証文之事 殿	吉田村小作人幸三郎、請人太七→庄左衛門	天保9年戌2月	豎紙・1通	450-18
小作証文之事 殿	草間村小作人勘藏、請人助四郎→庄左衛門	天保10年亥2月	豎紙・1通	450-19
小作証文之事	草間村要五郎、請人勘藏→庄左衛門殿	天保10年亥2月	豎紙・1通	450-20
小作証文之事 門殿	新保村小作人友八、請人定右衛門→庄左衛	天保10年亥2月	豎紙・1通	450-21
小作証文之事 庄左衛門殿	篠井村小作人弥五左衛門、請人文左衛門→	天保10年亥2月	豎紙・1通	450-22
小作証文之事 殿	片塩村小作人已之助、請人儀助→庄左衛門	天保10年亥2月	豎紙・1通	450-23
小作証文之事 殿	片塩村地預清七、請人四郎三郎→庄左衛門	天保10年亥2月	豎紙・1通	450-24
小作証文之事 衛門殿	安源寺村小作人弥五郎、請人治兵衛→庄左	天保10年亥2月	豎紙・1通	450-25
小作証文之事 衛門殿	西江部村小作人富左衛門、請人幸藏→庄左	天保10年亥2月	豎紙・1通	450-26
小作証文之事 衛門殿	西間村小作人林兵衛、請人与右衛門→庄左	天保10年亥2月	豎紙・1通	450-27
小作証文之事 左衛門殿	西間村小作人与右衛門、請人善右衛門→庄	天保10年亥2月	豎紙・1通	450-28
小作証文之事 衛門殿	西間村小作人清九郎、請人清左衛門→庄左	天保10年亥2月	豎紙・1通	450-29
小作証文之事 左衛門殿	西江部村小作人重左衛門、請人安太郎→庄	天保10年亥2月	豎紙・1通	450-30
小作証文之事 衛門殿	西江部村小作人孫兵衛、請人安太郎→庄左	天保10年亥2月	豎紙・1通	450-31
小作証文之事 衛門殿	西江部村小作人富左衛門、請人幸藏→庄左	天保10年亥2月	豎紙・1通	450-32
小作証文之事 左衛門殿	西江部村小作人忠兵衛、請人新右衛門→庄	天保10年亥2月	豎紙・1通	450-33
小作証文之事 衛門殿	西江部村小作人安太郎、請人團兵衛→庄左	天保10年亥2月	豎紙・1通	450-34
小作証文之事 門殿	西江部村小作人伊兵衛、請人幸藏→庄左衛	天保10年亥2月	豎紙・1通	450-35
小作証文之事 庄左衛門殿	西江部村小作人九右衛門、請人茂左衛門→	天保10年亥2月	豎紙・1通	450-36
小作証文之事 門殿	西江部村地預清左衛門、請人幸藏→庄左衛	天保11年子2月	豎紙・1通	450-37
小作証文之事 門殿	草間村地預佐次右衛門、請人佐七→庄左衛	天保11年子2月	豎紙・1通	450-38
小作証文之事 殿	吉田村地預平右衛門、請人太七→庄左衛門	天保11年子2月	豎紙・1通	450-39
小作証文之事 門殿	片塩村地預善左衛門、請人七郎次→庄左衛	天保11年子2月	豎紙・1通	450-40

○（小作証文一括）

(小作証文一括)		括紐一括・6通	451
小作証文之事 岩船村作人栄吉、同村請人定兵衛→東江部 村庄左衛門殿	文政6年未2月	縦紙・1通	451-1
小作証文之事 西江部村小作人庄兵衛、同所請人直作→庄 左衛門殿	文政8年酉2月	縦紙・1通	451-2
小作証文之事 高井郡西江部村小作人代八、同郡同村請人 林兵衛→庄左衛門殿	文政8年酉2月	縦紙・1通	451-3
小作証文之事 西江部村元蔵→庄左衛門殿	文政10年亥2月	縦紙・1通	451-4
小作証文之事 草間村幸五郎、請人武右衛門→庄左衛門殿	文政10年亥2月	縦紙・1通	451-5
小作証文之事 西江部村治介→庄左衛門殿	文政9年戌2月	縦紙・1通	451-6

○地所賃借契約証書

(包紙、表書「大正年間ヨリ昭和ニ至ル小作証文」) 裏に内山紙製造人高井新吉の印4つ、麻紐で一括		縦紙・1枚	208
地所賃借契約証書（使用之目的：畑作、以下のカッコ 内は使用之目的） 上高井郡都住村百拾壹番地賃借人 鈴木貞七、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門 殿	大正4年4月1日	縦紙・1通	208-1
地所賃借契約証書 上高井郡小布施村四五一番地賃借人 永井栄三郎、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛 門殿	大正6年1月1日	縦紙・1通	208-2
地所賃借契約証書（桑栽植） 上高井郡都住村百拾壹番 地賃借人鈴木貞七、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田 莊左衛門殿	昭和5年1月	縦紙・1通	208-3
地所賃借契約証書（麦作） 上高井郡都住村三百六拾番 地賃借人小出末之助→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和5年1月	縦紙・1通	208-4
地所賃借契約証書 高井郡高丘村字牧山六百五七番地賃 借人小林實治、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左 衛門殿	大正11年4月7日	縦紙・1通	208-5
地所賃借契約証書 下高井郡高丘村三十四番地賃借人高 見沢字喜多、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛 門殿	大正11年4月	縦紙・1通	208-6
地所賃借契約証書（畑作） 下高井郡延徳村三四三番地 賃借人黒崎栄治、ほか保証人2名→下高井郡平野村山田莊 左衛門殿	大正14年3月2日	縦紙・1通	208-7
土地賃借契約証書 下高井郡平岡村字新井賃借人相馬沢 之助、ほか保証人1名→同郡平野村山田莊左衛門殿 青野 紙に全文手書	大正9年3月21日	縦紙・1通	208-8
地所賃借契約証書（畑作） 下高井郡平野村賃借人小林 文八、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	大正6年3月	縦紙・1通	208-9
地所賃借契約証書 下高井郡平野村賃借人山田喜助、ほ か保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	明治43年4月	縦紙・1通	208-10
地所賃借契約証書（稲作） 下高井郡高丘村三百廿九番 地賃借人勝山栄蔵、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田 莊左衛門殿	大正7年11月17日	縦紙・1通	208-11

地所賃借契約証書（稲作） 下高井郡高丘村賃借人春原廣作、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	大正7年3月31日	縦紙・1通	208-12
地所賃借契約証書（畑作） 下高井郡賃借人徳武計佐治郎、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	大正8年1月4日	縦紙・1通	208-13
地所賃借契約証書（畑作） 下高井郡平野村賃借人小林清之丞、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿 がり版刷用紙	大正15年3月	縦紙・1通	208-14
地所賃借契約証書（田稲作・畑桑及麦作） 上高井郡小布施村八百拾七番地賃借人永井和吉、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-15
地所賃借契約証書（田稲作・畑桑及麦） 上高井郡小布施村九百十八番地賃借人小田切慶一、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-16
地所賃借契約証書（桑栽植） 上高井郡小布施村九百六十九番地賃借人高津民之助、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-17
地所賃借契約証書（桑栽植） 上高井郡小布施村大字北岡三三八番地賃借人朝比奈廣宣、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-18
地所賃借契約証書（宅地家屋、畑桑及麦） 上高井郡小布施村四百九十九番地賃借人片山富治、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-19
地所賃借契約証書（桑栽植） 上高井郡小布施村百八九番地賃借人小林万平、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-20
地所賃借契約証書（桑及麦） 上高井郡小布施村八四式番地賃借人根津善四郎、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-21
地所賃借契約証書（桑栽植） 小布施村大字北岡一七三番地根津廣吉、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-22
地所賃借契約証書（桑栽植） 上高井郡小布施村大字押羽五六九番地賃借人関美治郎、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-23
地所賃借契約証書（麦） 上高井郡小布施村字押羽八八五番地賃借人八代幸助、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-24
地所賃借契約証書（桑栽植） 上高井郡小布施村九四七番地賃借人荒井賀一、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和5年1月	縦紙・1通	208-25
地所賃借契約証書（桑及麦） 上高井郡小布施村五百四番地賃借人小林正太夫、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和5年2月7日	縦紙・1通	208-26
地所賃借契約証書（桑及麦） 上高井郡小布施村四〇二番地賃借人小林鳥彦、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-27
地所賃借契約証書（桑及麦） 上高井郡小布施村五八九番地賃借人月岡専之助、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-28
地所賃借契約証書（稲作及桑、麦） 上高井郡小布施村九百拾九番地賃借人島田栄太郎、ほか保証人1名→下高	(昭和)	縦紙・1通	208-29

井郡平野村山田莊左衛門殿			
地所賃借契約証書（桑栽植） 上高井郡小布施村押羽六〇六番地賃借人永井乙十郎、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和5年1月	縦紙・1通	208-30
地所賃借契約証書（桑及麦） 小布施村大字押羽六一〇番地賃借人内山泰寿郎、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和5年2月	縦紙・1通	208-31
地所賃借契約証書（桑栽植） 五〇式番地賃借人佐相仁之助→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-32
地所賃借契約証書（稲作及桑） 上高井郡小布施村押羽六百十二番地賃借人原重太郎、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和5年1月	縦紙・1通	208-33
地所賃借契約証書（桑栽植） 上高井郡小布施村大字北岡四五二番地賃借人中村元助、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-34
地所賃借契約証書（桑及麦） 上高井郡小布施村四百九拾壹番地賃借人山崎昇内、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-35
地所賃借契約証書（桑栽植） 上高井郡小布施村四百五十一番地賃借人永井栄三郎、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-36
地所賃借契約証書（桑栽植） 上高井郡小布施村四九五番地賃借人北沢平内、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-37
地所賃借契約証書（桑栽植） 上高井郡小布施村六百九十五番地賃借人涌井忠治郎、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-38
地所賃借契約証書（桑及麦） 上高井郡小布施村九百三十一番地賃借人清水治良作、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-39
地所賃借契約証書（桑栽植） 上高井郡郡住村参百九十三番地賃借人手塚行雄、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-40
地所賃借契約証書（桑及麦） 上高井郡小布施村九百九番地賃借人大原峯作、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和5年1月	縦紙・1通	208-41
地所賃借契約証書（桑栽植） 上高井郡小布施村八百四十七番地賃借人鶴田茂市、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和5年2月9日	縦紙・1通	208-42
地所賃借契約証書（麦） 上高井郡小布施村四二四番地賃借人高橋康平、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和5年1月	縦紙・1通	208-43
地所賃借契約証書（田稲作、畑麦栽植） 上高井郡小布施村字押羽百拾壹番地賃借人小林源治、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和5年1月	縦紙・1通	208-44
地所賃借契約証書（稲作及家屋、桑、麦） 上高井郡小布施村大字北岡百四十一番地賃借人小林喜多治、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和5年2月9日	縦紙・1通	208-45
地所賃借契約証書（稲作） 上高井郡小布施村大字押羽四百八十一番地賃借人北沢春之助、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和5年1月	縦紙・1通	208-46

地所賃借契約証書（稲作） 上高井郡小布施村押羽六〇九番地賃借人永井九十郎→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	（昭和）	縦紙・1通	208-47
地所賃借契約証書（桑） 上高井郡小布施村六百四十五番地賃借人永井金治郎、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和5年2月14日	縦紙・1通	208-48
地所賃借契約証書（稲作） 上高井郡小布施村九百五十二番地賃借人芋川寿之助、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和5年1月	縦紙・1通	208-49
地所賃借契約証書（桑栽植） 上高井郡小布施村押羽六百五番地賃借人永井政八、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和5年1月1日	縦紙・1通	208-50
地所賃借契約証書（桑） 上高井郡小布施村五百七拾貳番地賃借人永井庄市郎、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	（昭和）	縦紙・1通	208-51
地所賃借契約証書（稲作） 上高井郡小布施村大字北岡字三木367番地賃借人山岸福太郎、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和5年2月23日	縦紙・1通	208-52
地所賃借契約証書（桑栽植） 上高井郡小布施村八九三番地賃借人山縣良猛、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和2年2月28日	縦紙・1通	208-53
地所賃借契約証書（稲作及桑、麦） 上高井郡小布施村八百七拾七番地賃借人永井米蔵、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和5年2月26日	縦紙・1通	208-54
地所賃借契約証書（桑栽植） 上高井郡小布施村北岡三三七番地賃借人朝比奈精、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	（昭和）	縦紙・1通	208-55
地所賃借契約証書（桑栽植） 下高井郡平野村片塩三三六番地賃借人重倉朝良、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和9年4月1日	縦紙・1通	208-56
地所賃借契約証書（畑作） 下高井郡延徳村三百三十四番地ノ内二番賃借人笠原市治郎、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿 ガリ版刷用紙	大正5年3月3日	縦紙・1通	208-57
地所賃借契約証書（稲作） 下高井郡平野村二百七十四番地賃借人中川熊太郎、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿 ガリ版刷用紙	昭和2年3月25日	縦紙・1通	208-58
地所賃借契約証書（畑作） 下高井郡延徳村三百六拾老番地賃借人宮澤万作、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿 ガリ版刷用紙	昭和2年12月31日	縦紙・1通	208-59
地所賃借契約証書（稲作） 下高井郡延徳村字大熊千六十六番賃借人小林友治郎、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿 ガリ版刷用紙	昭和3年1月	縦紙・1通	208-60
地所賃借契約証書（粉作、畑作） 下高井郡延徳村二千五百五十九番地賃借人小林佐久間、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿 ガリ版刷用紙	大正15年1月	縦紙・1通	208-61
地所賃借契約証書 下高井郡高丘村賃借人金井捨之丞、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	明治44年3月	縦紙・1通	208-62
初子借用証（1俵） 下高井郡高丘村借用人金井捨之丞→山田莊左衛門殿 208-62に挟込	明治44年3月	赤罫紙・1通	208-62-1
地所賃借契約証書（稲作） 下高井郡平野村賃借人小林栄助、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	大正4年3月	縦紙・1通	208-63

地所賃借契約証書（畑麦豆作） 下高井郡平野村百八拾参番地賃借人畠山栄助、ほか保証人2名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	大正11年1月1日	縦紙・1通	208-64
地所賃借契約証書（畑作） 下高井郡平野村五百九拾番地賃借人土屋九兵衛、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿 ガリ版刷用紙	昭和3年1月	縦紙・1通	208-65
地所賃借契約証書（桑栽植） 平野村吉田参壹五番地賃借人長嶋義次、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿 ガリ版刷用紙	(大正)	縦紙・1通	208-66
地所賃借契約証書（畑作） 下高井郡延徳村大字新保賃借人宮崎孫吉、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和4年12月31日	縦紙・1通	208-67
地所賃借契約証書（桑及麦） 下高井郡延徳村賃借人金子七郎右衛門、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和5年4月1日	縦紙・1通	208-68
地所賃借契約証書（稲作） 下高井郡延徳村大字新保二百七番地賃借人馬場初、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和6年2月18日	縦紙・1通	208-69
地所賃借契約証書 下高井郡延徳村新保五三〇番地賃借人押鐘正雄、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和6年2月20日	縦紙・1通	208-70
地所賃借契約証書（桑栽植） 下高井郡平野村片塩賃借人堀内定之助・堀内治三郎、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和6年1月1日	縦紙・1通	208-71
地所賃借契約証書（桑栽植） 同郡平野村西江部一〇三八番地賃借人丸山義次、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-72
地所賃借契約証書（稲作） 延徳村新保七百二十一番地賃借人番場源作、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-73
地所賃借契約証書（田稲作、畑桑栽植） 下高井郡平野村大字江部一一九四番地賃借人小林貞三、ほか保証人2名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-74
地所賃借契約証書（桑栽植） 下高井郡平野村江部一〇〇五番地賃借人青木義太郎→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和6年3月10日	縦紙・1通	208-75
地所賃借契約証書（杞柳栽植） 下高井郡延徳村賃借人郷道篤司、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和7年12月22日	縦紙・1通	208-76
地所賃借契約証書（麦豆栽培） 下高井郡平野村大字江部千七八番地賃借人丸山近次郎、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-77
地所賃借契約証書（稲栽培） 下高井郡高丘村賃借人柴内喜蔵→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和16年3月27日	縦紙・1通	208-78
地所賃借契約証書（桑栽植） 下高井郡平野村大字吉田三三三番地賃借人中沢啓治、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和14年3月1日	縦紙・1通	208-79
地所賃借契約証書（桑麦栽植） 下高井郡平野村式百八十式番地賃借人畠山菊太郎、同郡同村千三百七八番地賃借人高木当之輔→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和14年3月1日	縦紙・1通	208-80
地所賃借契約証書（稲作） 下高井郡平野村大字江部百十参番地賃借人鈴木幸次郎、ほか保証人1名→下高井郡平	昭和12年3月20日	縦紙・1通	208-81

野村山田莊左衛門殿			
地所賃借契約証書（稲作） 下高井郡平野村大字江部賃借人長嶋理一、ほか保証人2名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和12年2月22日	縦紙・1通	208-82
地所賃借契約証書（桑栽植） 下高井郡平野村千式百五十三番地ノ參賃借人山田茂閑、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-83
地所賃借契約証書（稲作） 下高井郡平野村大字江部一四三五番地賃借人長嶋嘉吉、ほか保証人2名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和12年2月21日	縦紙・1通	208-84
地所賃借契約証書（宅地及桑栽培） 同郡平野村大字式百九拾九番地保証人吉見吉治郎→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-85
地所賃借契約証書（桑栽植） 下高井郡平野村三二六番地賃借人竹井由太郎、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和10年1月	縦紙・1通	208-86
地所賃借契約証書（宅地） 下高井郡平野村大字江部九八八番地賃借人青木光之輔、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-87
地所賃借契約証書（桑栽植） 下高井郡平野村江部一一六六番地賃借人小林徐男、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-88
地所賃借契約証書（麦豆） 下高井郡平野村大字岩舟二二二番地賃借人小古井己作、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿 ガリ版刷用紙	昭和10年3月	縦紙・1通	208-89
地所賃借契約証書（麦豆作） 下高井郡高丘村大字安源寺千百番地賃借人今井勝弥、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和11年1月	縦紙・1通	208-90
地所賃借契約証書（柳及桑） 下高井郡延徳村新保二九〇番地賃借人小林健造、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和11年1月30日	縦紙・1通	208-91
地所賃借契約証書（桑畑） 下高井郡平野村大字吉田九八八番地イ号賃借人竹内与茂市、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-92
地所賃借契約証書（桑栽植） 下高井郡延徳村大字新保五百三十番地賃借人押鐘正雄、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和11年1月15日	縦紙・1通	208-93
地所賃借契約証書（田作） 下高井郡平野村字西江部賃借人山田茂閑、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和11年2月7日	縦紙・1通	208-94
地所賃借契約証書（稲作） 下高井郡平野村千式百五十番地ノ參賃借人山田茂閑、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-95
地所賃借契約証書（苗代） 下高井郡延徳村式百八十一番地賃借人番場孝治、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和8年4月1日	縦紙・1通	208-96
地所賃借契約証書（田稲作、畑桑栽植） 下高井郡延徳村三百七十八番地賃借人鈴木浦治、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和8年3月18日	縦紙・1通	208-97
地所賃借契約証書（稲作） 下高井郡平野村三五四番地賃借人岩月三代作→下高井郡平野村山田莊左衛門殿 端書「大徳寺土地」	大正4年3月27日	縦紙・1通	208-98

地所賃借契約証書（畑作） 下高井郡平野村賃借人竹内亀吉、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	大正3年3月31日	縦紙・1通	208-99
地所賃借契約証書（稲作） 下高井郡平野村賃借人竹内萬平、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	大正6年3月	縦紙・1通	208-100
地所賃借契約証書（宅地使用） 下高井郡平野村賃借人春日直次郎、賃借人春日門造→下高井郡平野村山田理兵衛殿	大正6年2月26日	縦紙・1通	208-101
地所賃借契約証書（畑作） 下高井郡平野村賃借人吉見卯太郎、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	大正6年1月	縦紙・1通	208-102
地所賃借契約証書（稲作） 下高井郡高丘村九拾五番地賃借人山崎常治、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	大正5年4月	縦紙・1通	208-103
地所賃借契約証書（宅地敷） 下高井郡延徳村二百九十九番地賃借人小林五八郎、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	大正5年3月25日	縦紙・1通	208-104
地所賃借契約証書（畑作） 下高井郡平岡村賃借人相馬信義、ほか保証人2名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	大正5年2月29日	縦紙・1通	208-105
地所賃借契約証書（畑作） 下高井郡平野村八二五番地賃借人松井幸松、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	大正5年3月25日	縦紙・1通	208-106
地所賃借契約証書（宅地、畑作） 下高井郡平野村賃借人津金一郎、ほか保証人1名→下高井郡平野村大徳寺世話人山田莊左衛門殿	大正5年1月1日	縦紙・1通	208-107
地所賃借契約証書（稲作） 下高井郡平野村賃借人丸山林八、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	大正5年3月	縦紙・1通	208-108
地所賃借契約証書（畑作） 高井郡平岡村賃借人高坂飛之助、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	大正5年	縦紙・1通	208-109
地所賃借契約証書（畑作） 下高井郡延徳村二九九番地賃借人小林五八郎、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	大正5年3月25日	縦紙・1通	208-110
地所賃借契約証書（畑作） 下高井郡平野村賃借人丸山林八、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿、山田理兵衛殿	大正5年3月	縦紙・1通	208-111
山林借地証書 下高井郡高丘村字安源寺借地人高見沢九之丞、同郡平野村大字片塩借地人永峰吉三郎、ほか保証人1名→山田莊左衛門殿	大正2年12月20日	縦紙・青野紙・1通	208-112
地所賃借契約証書（稲作） 下高井郡平野村七拾九番地賃借人山田九蔵、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	明治45年3月3日	縦紙・1通	208-113
地所賃借契約証書（桑栽植） 下高井郡延徳村大字新保八〇二番地ノ二賃借人山本包政→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-114
(家事都合上藤沢半平様に御願ひする旨の証文) 小林精一郎→山田本宅様		便箋・1通	208-115
地所賃借契約証書（麦、大豆） 下高井郡平岡村大字新井賃借人藤沢半平、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和17年9月1日	縦紙・1通	208-116
地所賃借契約証書（稲作） 下高井郡平野村大字江部賃借人山田茂閑、ほか保証人2名→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	昭和12年2月21日	縦紙・1通	208-117

地所賃借契約証書（桑） 上高井郡小布施村九百二十番 地賃借人島田安吉、ほか保証人1名→下高井郡平野村山田 莊左衛門殿	(昭和)	縦紙・1通	208-118
--	------	-------	---------

〇一括されていない小作証券

小作手形之事 西江部村作り主六左衛門、同村請人五郎右 衛門→東江部村理兵衛殿 1-23の内3点开披不能	享保18年子2月	縦紙・1通	452-1-23-1
差出申弍札之事（小作地に無断で屋敷建設の詫、借地 継続の証文） 下高井郡片塩郷小作人小林音吉、同郡同 村立会人小林勘六→同郡江部村山田莊左衛門殿	明治20年8月4日	縦継紙・1通	460

地主小作関係帳簿

年々聞合帳

年々聞合帳（諸相場・引方等書上） 高井郡東江部邑山 田莊左衛門	寛政5年癸丑季冬（～ 文政元）	横長美・1冊	114
覚（押切村分小作料引方書上） 押切村 114-1～4は 丁間挟込		切紙・1通	114-1
（押切村・北岡村分小作料引方書上）		切紙・2通	114-2
（小作料引方勘定書付）		切紙・1通	114-3
覚（押切村・北岡村分小作料引方書上）	子極月	切紙・1通	114-4

惣小作帳

丑惣小作帳		横長美・1冊	171
-------	--	--------	-----

小作米金収入計算帳

年々小作米金収入計算帳 山田理兵衛	明治17～明治31年	横長美・1冊	186-1
明治二十九年小作米金収入計算帳	明治30年4月調	横長美・1冊	186-2
明治三十年小作米金収入計算帳	明治31年4月調	横長美・1冊	186-3
小作米金収入帳	大正9年10月～大正10 年9月	横長美・1冊	186-4

小作入帳

酉之年小作帳 破損大、年貢納通などを綴じて後に括付	元禄6年正月吉日	横長美・1冊	135-1
丑之年小作帳 東江部村山田文六 破損大、年貢受取通な どを綴じて後に括付	元禄10年丁丑2月吉日	横長美・1冊	135-3
寅之年小作帳 東江部村山田文六郎 破損大	元禄11年2月吉日	横長美・1冊	135-2
卯之歳小作帳 東江部村山田文六郎 破損大、年貢皆済目 録などを綴じて後に括付	元禄12年	横長美・1冊	135-10
辰之歳小作帳 東江部村山田文六郎 破損大、年貢受取通	元禄13年庚辰正月吉日	横長美・1冊	135-4

などを綴じて後に括付			
巳〔 〕小作帳 東江部村山田文六 破損大、年貢受取通 などを綴じて後に括付	元禄14年辛巳2月吉日	横長美・1冊	135-5
午〔 〕小作帳 東江部村山田文六 破損大、年貢皆済目 録などを綴じて後に括付	元禄15年壬午ノ2月吉 日	横長美・1冊	135-6
未年小作帳 東江部村山田文六 破損大、年貢皆済目録な どを綴じて後に括付	元禄16年未2月吉日	横長美・1冊	135-7
申年小作帳 東江部村山田文六 破損大、年貢皆済目録な どを綴じて後に括付	元禄17年申ノ2月吉日	横長半・1冊	135-8
酉年小作帳 東江部村山田文六 破損大、年貢皆済目録な どを綴じて後に括付	宝永2年酉2月吉日	横長美・1冊	135-9
子〔ノ小作〕入帳 山田文六 諸書付綴を後に括付	宝永5年戊子正月吉日	横長美・1冊	136-2
丑ノ小作入帳 高井郡東江部村山田文六 諸書付綴を後に 括付	宝永6年己丑正月吉日	横長美・1冊	136-3
(小作入帳) 諸書付綴を後に括付、破損大	(宝永年間カ)	横長美・1冊	136-1
卯ノ小作入帳 東江部村山田 諸書付綴を後に括付	宝永8年卯正月吉日	横長美・1冊	136-4
辰小作入帳 東江部村山田勝之助 更科村田畑小作入帳ほ か諸書付を後に括付	正徳2年正月吉日	横長美・1冊	136-5
巳小作入帳 東江部村山田庄兵衛 諸書付綴を後に括付	正徳3年巳正月吉日	横長美・1冊	136-6
未小〔作入〕帳 東江部村山田庄兵衛 更科村田畑小作入 目録帳ほか諸書付を後に括付	正徳5年乙未正月	横長美・1冊	136-7
申小作〔 〕 更科村田畑小作入目録帳ほか諸書付を後に 括付	正徳6年丙申正月	横長美・1冊	136-8
子〔 〕畑小作入帳 東江部村山田理兵衛 諸書付綴を 後に括付	享保17年	横長美・1冊	136-9
丑小作入帳 東江部村山田理兵衛 諸書付綴を後に括付	享保18癸丑年2月吉祥 日	横長美・1冊	136-10
寅小作〔 〕 諸書付綴を後に括付	享保19歳2月大吉日	横長美・1冊	136-11
卯〔小〕作入帳 東江部村山田理兵衛 諸書付綴を後に括 付	享保20年2月吉祥日	横長美・1冊	136-12
午小作入帳 東江部村山田理兵衛 諸書付綴を後に括付	元文3年2月吉日	横長美・1冊	136-13
申田畑小作入帳 高井郡東江部村山田理兵衛 申小作入取 立覚帳ほか諸書付綴を後に括付	元文5庚申歳3月吉辰日	横長美・1冊	136-14
酉田畑小作入帳 高井郡東江部邑山田庄左衛門	元文6年辛酉2月吉日	横長美・1冊	136-15
申小作入帳 信州高井郡東江部村山田庄左衛門 以下の1 ~27を綴じて後に括付 丁間挾込文書1通あり(金子勘定 書)	宝暦2年2月吉日	横長美・1冊	136-16
覚(吉田村又兵衛ほか諸村6名分俵数書上)		横切紙・1通	136-16-1
押切村畑下見長(帳)(人別俵数・作物書上)	西9月2日	横半半・1冊	136-16-2
新保村畑下見長	西9月3日	横半半・1冊	136-16-3
宝暦三年新保村酉ノ二月小作入覚	宝暦3年酉2月	折紙・1通	136-16-4
(酉春上り地田畑、酉春初小作入之覚)	酉春	折紙・1通	136-16-5

西小作入		横長半(無綴)・1冊(4枚)	136-16-6
田畑小作入勘定帳 更科兵左衛門→山田庄左衛門様	(宝暦2年) 申12月晦日	横長美・1冊	136-16-7
未御年貢請取覚 更科村定右衛門→江部村庄左衛門殿	寛延4年	折紙・1通	136-16-8
(書状、小作方勘定帳・上納過金の引渡、小作金引方願) 中山兵左衛門→山田庄左衛門様、人々御中	申12月大晦日	横切継紙・1通	136-16-9
申小作入取立帳	宝暦2年極月吉日	横長美・1冊	136-16-10
未ノ御年貢皆済 岩舟村名主角兵衛→東江部村庄左衛門殿	申ノ12月	横切継紙・1通	136-16-11
(粗金・種手金勘定書)		横切紙・1通	136-16-12
(小作料・年貢諸役差引勘定書) 岩舟村名主角兵衛→東江部村庄左衛門殿	申ノ12月30日	横切継紙・1通	136-16-13
覚(小作料・年貢諸役差引勘定書) 大俣村勘右衛門→東江部村庄左衛門様	申ノ12月28日	横切紙・1通	136-16-14
覚(金子勘定書) 小布せ市右衛門→江部村庄左衛門殿	申12月26日	切紙・1通	136-16-15
覚(金子受取) 小布せ甚右衛門→江部庄左衛門様	申12月26日	切紙・1通	136-16-16
覚(過金額書上)		小切紙・1通	136-16-17
午御年貢皆済 名主仁兵衛→東江部村庄左衛門殿	宝暦2年申3月	横切継紙・1通	136-16-18
覚(年貢・小作差引勘定書) 新保村平右衛門		切紙・1通	136-16-19
(下畑三筆分地積・高の書上)		切紙・1通	136-16-20
覚(年貢金・夫錢・橋入用金受取) 新保村名主助治郎→江部村庄左衛門殿	12月	横切紙・1通	136-16-21
(不足・夫錢・小遣代の書上) →庄左衛門殿		切紙・1通	136-16-22
未目録覚 押切村名主重左衛門→江部庄左衛門殿	申12月	切継紙・1通	136-16-23
覚(年貢諸役・小作粗の差引勘定書) 新保村清吉→東江部村[] 後欠		切紙・1通	136-16-24
覚(年貢金・小作金の差引勘定書) 田中村彦四郎→江部村庄左衛門殿	申12月17日	横切紙・1通	136-16-25
覚(庄左衛門分の年貢諸役金書上) 六右衛門→彦四郎殿	申12月	横切継紙・1通	136-16-26
新保村小作入覚	宝暦5年さる2月	折紙・1通	136-16-27
酉小作入帳 信州高井郡東江部村山田庄左衛門 田畑小作入差引帳(更科村)・小作入取立帳などの綴を後に括付	宝暦3年2月吉日	横長美・1冊	136-17
戌小作入帳 信州高井郡東江部村山田庄左衛門 田畑小作入差引帳(更科村)・戌小作入勘定帳などの綴を後に括付	宝暦4年2月吉日	横長美・1冊	136-18
亥小作入帳 信州高井郡東江部村山田庄左衛門 田畑小作差引帳(更科村)ほか小作年貢不納証文などの綴を後に括付	宝暦5年2月吉日	横長美・1冊	136-19
子小作入帳 信州高井郡東江部村山田庄左衛門 田畑小作入勘定帳(更科村)・小作入取立覚帳ほか年貢金受取書などの綴を後に括付	宝暦6年2月吉日	横長美・1冊	136-20
丑小作入帳 信州高井郡東江部村山田庄左衛門 田畑小作	宝暦7年2月吉日	横長美・1冊	136-21

入勘定帳（更科村）・小作入取立覚帳・小作方勘定帳（安源寺村）ほか年貢金受取書などの綴を後に括付			
寅小作入帳 信州高井郡東江部村山田庄左衛門 田畑小作入勘定帳（更科村）・小作入取立勘定帳ほか年貢金受取書などの綴を後に括付	宝暦8年2月吉日	横長美・1冊	136-22
卯小作入帳 信州高井郡東江部村山田庄左衛門 田畑小作入勘定帳（更科村）・小作入取立勘定帳ほか年貢金受取書などの綴を後に括付	宝暦9己卯年2月吉祥日	横長美・1冊	136-23
辰小作入帳 信州高井郡東江部村山田庄左衛門 田畑小作入勘定帳・小作入勘定帳などの綴を後に括付	宝暦10庚辰年2月吉祥日	横長美・1冊	136-24
巳小作入帳 信州高井郡東江部村山田庄左衛門 田畑小作入勘定帳・小作入取立勘定帳などの綴を後に括付	宝暦11辛巳年2月吉祥日	横長美・1冊	136-25
午小作入帳 信州高井郡東江部村山田庄左衛門 小作入覚帳（吉田村）・田畑小作入勘定帳・午ノ暮買入地初開・午小作入取立勘定帳（西間村）などの綴を後に括付	宝暦12歳2月吉祥日	横長美・1冊	136-26
未小作入帳 信州高井郡東江部村山田庄左衛門 田畑小作勘定覚帳・小作入勘定帳・安源寺村田畑小作入勘定帳・初開小作入などの綴を後に括付	宝暦13癸未歳2月吉祥日	横長美・1冊	136-27
申小作入帳 信州高井郡東江部村山田庄左衛門 年貢納通・小作証文等、田畑小作入勘定帳などの綴を後に括付	宝暦14甲申年2月吉祥日	横長美・1冊	136-28
丑小作入帳 信州高井郡東江部村山田庄左衛門 寅春より新開小作入・田畑小作入勘定帳などの綴を後に括付	明和6己丑年2月吉祥日	横長美・1冊	136-29
卯小作入帳 安源寺村分の小作入覚帳・小作方勘定帳・夫食覚を後に括付	文化4年2月吉日	横長美・1冊	136-30
田方小作初書抜帳（片塩・新保・押羽） 山田勘定場	明治13年11月更正	小帳（折目左、90×193）・1冊	168-1
田方小作初書抜帳（西江部・西條・岩舟・吉田） 山田勘定場	明治13年11月更正	小帳（折目左、90×193）・1冊	168-2
壬寅小作入帳 下高井郡平野村地主山田庄左衛門	明治35年第7月改	横美列・1冊	185-1
癸卯小作入帳 下高井郡平野村地主山田庄左衛門	明治36年第7月改	横美列・1冊	185-2
丁未小作入帳 下高井郡平野村地主山田庄左衛門	明治40年第7月改	横美列・1冊	185-3
癸酉年小作入帳 地主 下高井郡平野村地主山田庄左衛門	昭和8年第8月改	横美列・1冊	185-5
証（小作残金返納証文） 小林静雄→山田庄左衛門殿 185-5-1・2は丁間挟込	昭和8年12月31日	便箋・1通	185-5-1
（田畑宅地別小作料書上） 鉛筆書		便箋・1通	185-5-2
戊寅小作入帳 下高井郡平野村地主山田庄左衛門	昭和13年第8月改	横美列・1冊	185-4
（小作料請求書用紙） 地主山田庄左衛門→殿 185-4-1 ～3は丁間挟込、ガリ版刷	昭和13年12月20日	切紙・1通	185-4-1
（俵数勘定書付） ガリ版刷用紙		切紙・1通	185-4-2
（下木島冷田樽川工事売却関係地積書上） 中村		切紙・1通	185-4-3
○東江部村			
小作帳 東江部村地主山田隈太郎	明治5壬申年ヨリ（～明治18）	横美半・1冊	165-18
○新野村			

辰小作帳	天保15年正月吉日	横美半折・1冊	165-1
巳小作帳	弘化2年正月吉日	横美半折・1冊	165-2
午小作帳	弘化3年正月吉日	横美半折・1冊	165-3
未小作帳	弘化4年正月吉日	横美半折・1冊	165-4
申小作帳	弘化5年正月吉日	横美半折・1冊	165-5
酉小作帳	嘉永2年正月吉日	横美半折・1冊	165-6
戌小作帳	嘉永3歳正月吉日	横美半折・1冊	165-7
亥小作帳（庄左衛門分）	嘉永4年12月	横美半折・1冊	165-8
（諸入費勘定書） 165-8-1・2は丁間挟込		折紙・1通	165-8-1
（差引勘定書）		切継紙・1通	165-8-2
小作帳（庄左衛門分）	嘉永5年子正月日	横美半折・1冊	165-9
小作帳	嘉永6年癸丑正月吉日	横美半折・1冊	165-10
小作帳	嘉永7年寅正月吉日	横美半折・1冊	165-11
小作帳	安政2年卯正月吉日	横美半折・1冊	165-12
小作帳	安政3年辰正月吉日	横美半折・1冊	165-13
小作帳	安政4年巳正月吉日	横美半折・1冊	165-14
小作帳	安政5年午正月吉日	横美半折・1冊	165-15
○東江部・新保・西江部・西間・片塩・岩船・押切・吉田の諸村			
巳小作帳 高井郡東江部地主庄左衛門	弘化2年2月吉日	横美列・1冊	165-16
（巳年悪作引の通知） 吉田村 165-16-1～3は丁間挟込		切紙・1通	165-16-1
（惣小作初174俵の内訳書）		切紙・1通	165-16-2
（惣小作初434俵余の内訳書）	巳10月3日改	切紙・1通	165-16-3
午小作帳 高井郡東江部地主庄左衛門	弘化3年2月吉日	横美列・1冊	165-17
（小作地の俵・両換算書） 165-17-1～10は丁間挟込		切紙・1通	165-17-1
（当午悪作引の通知）		切紙・1通	165-17-2
覚（草間作分受取） 文吉→庄左衛門	12月29日	切紙・1通	165-17-3
（各村分小作初俵数書上）		切紙・1通	165-17-4
（善左衛門分金子初等書付）		切紙・1通	165-17-5
（忠作不納小作料勘定書付）		切紙・1通	165-17-6
（小作初勘定書付）		切紙・1通	165-17-7
覚（山年貢受取） 東江部村庄左衛門→南大熊村藤兵衛殿	弘化元辰年12月23日	切紙・1通	165-17-8
（悦右衛門分桑・杉植付額書上）		切紙・1通	165-17-9
（杉苗本数と植・手入手間人数等勘定書付）		切紙・1通	165-17-10

田畑小作入改帳

○押切村			
押切村田畑小作入寅年改帳	宝暦8年寅2月	横長美・1冊	141
○吉田村			
吉田村田畑小作証文連判帳	宝暦8年寅之2月	横長美・1冊	140
○更科村			
丑之春更科村田畑小作入帳		横長美・1冊	178
○新野村		横	
新野村分戌亥小作入帳	天保9年戌2月吉日	美半・1冊	161
○片塩村			
片塩村持地田畑小作入改帳	享保20年卯正月吉日	横長半・1冊	138
子年片塩村小作入帳 東江部村山田庄左衛門	宝暦6年2月吉日	横長美・1冊	139

小作粉・金請取帳

酉小作粉請取帳 東江部村山田理兵衛	享保14年10月吉祥日	横長美・1冊	137-1
戌小作粉請取帳 東江部村山田理兵衛 小作入覚など諸書付を後に括付	享保15年10月吉日	横長美・1冊	137-2
子年小作粉請取帳 東江部村山田理兵衛 小作入覚など諸書付を後に括付	享保17年10月吉日	横長美・1冊	137-3
寅小作粉請取覚帳 高井郡東江部村山田理兵衛 小作入覚など諸書付を後に括付	享保19年10月吉祥日	横長美・1冊	137-4
巳小作年貢請取帳 信州東江部邑山田庄左衛門 開披困難、諸書付を後に括付	寛延2年10月吉日	横長美・1冊	137-7
午歳小作粉請取帳 東江部邑山田庄左衛門 開披困難、諸書付を後に括付	寛延2（3カ）年10月吉日	横長美・1冊	137-8
未小作粉請取帳 信州高井郡東江部村山田庄左衛門 小作粉馬附改帳ほか諸書付を後に括付	寛延4辛未年10月吉日	横長美・1冊	137-9
申小作粉請取帳 東江部村山田庄左衛門 諸書付を後に括付	宝暦2年10月吉日	横長美・1冊	137-10
辰小作粉請取帳 東江部邑山田庄左衛門 年貢諸役金請求・受取書ほか諸書付を後に括付	明和9壬辰歳10月吉祥日	横長美・1冊	137-11
（金銀勘定書付） 137-11の丁間挟込		切継紙・1通	137-11-1
巳小作粉請取帳 東江部村山田庄左衛門 諸書付を後に括付	安永2癸巳年10月吉祥日	横長美・1冊	137-12
（小作粉勘定書付） 137-12-1～8は丁間挟込		切紙・1通	137-12-1
（粉代金勘定書付）		切紙・1通	137-12-2
覚（粉金銭書上） 幸助→庄吉様	12月29日	切紙・1通	137-12-3
（金銭書上）	12月29日	切紙・1通	137-12-4

覚（金銭差引勘定）	巳12月	切紙・1通	137-12-5
覚（鎌代の請求） 小布施町善十郎→江部村庄左衛門様	巳12月	切紙・1通	137-12-6
覚（租金書上）	12月30日	切紙・1通	137-12-7
（巳小作不納分書上）	極月29日	折紙・1通	137-12-8
卯小作年貢請取帳 諸書付を後に括付	文政2年9月吉日	横長美・1冊	137-13
（穀類俵数・差出期限書上） 137-13-1～3は丁間挟込		切紙・1通	137-13-1
租稗預り覚		切紙・1通	137-13-2
（西国租・赤餅租・稗俵数書上）		切紙・1通	137-13-3
辰小作年貢請取帳	文政3年10月吉日	横長美・1冊	137-14
（10月～極月分小作金・租・大豆・稗・実綿勘定書） 137-14の丁間挟込		切紙・1通	137-14-1
巳小作年貢請取帳	文政4年10月吉日	横長美・1冊	137-15
（北岡村重兵衛ほか4名の金子受取額書上） 137-15 の丁間挟込		切紙・1通	137-15-1
午小作年貢請取帳	文政5年10月吉日	横長美・1冊	137-16
覚（5名分金子書上） 137-16-1・2は丁間挟込		切紙・1通	137-16-1
覚（金と租の総額決算書）		折紙・1通	137-16-2
未小作年貢請取帳	文政6年10月吉日	横長美・1冊	137-17
覚（大豆・租送状） 新保村善左衛門→東江部山田庄左衛門様 137-17-1～3は丁間挟込	申ノ正月12日	切紙・1通	137-17-1
覚（金子送状） 吉田村亀二郎→東江部村庄左衛門様	12月大晦日	切紙・1通	137-17-2
（金と租の総額決算書）		折紙・1通	137-17-3
申小作年貢請取帳	文政7年9月吉日	横長美・1冊	137-18
（両替額書付） 137-18-1～7は丁間挟込		切紙・1通	137-18-1
（6名分金額書上） 新保村善左衛門→東江部村山田庄左衛門様		切紙・1通	137-18-2
（金と租の総額決算書）		折紙・1通	137-18-3
（申年手作租、小作餅・租など俵数書上）		切紙・1通	137-18-4
覚（金子送状、不納所分勘弁願） 新保村善左衛門→東江部山田庄左衛門様	文政8年西正月2日	切紙・1通	137-18-5
覚（6名分金額書上） 新保村善左衛門→東江部村庄左衛門様	正月30日	切紙・1通	137-18-6
（租俵数書付）		切紙・1通	137-18-7
酉小作年貢請取帳	文政8年10月吉日	横長美・1冊	137-19
戌小作年貢請取帳	文政9年10月吉日	横長美・1冊	137-20
（酉年・戌年分小作金額書上） 137-20-1～3は丁間挟込		切紙・1通	137-20-1
（受取租、蔵別租・穀類俵数書上）	戌12月17日改	折紙・1通	137-20-2

(受取粉・蔵別粉・穀類俵数書上)	亥4月15日改	折紙・1通	137-20-3
亥小作年貢請取帳	文政10年9月吉日	横長美・1冊	137-21
(小作粉・蔵入粉俵数、小作金額書上) 137-21-1~3 は丁間挟込		折紙・1通	137-21-1
(人別小作粉俵数書上)		折紙・2通	137-21-2
(人別小作粉俵数書上)		切紙・1通	137-21-3
子小作年貢請取帳	文政11年10月吉日	横長美・1冊	137-22
覚(小作金送状、残人分延納願) 新保村善左衛門 →山田庄左衛門様 137-22-1・2は丁間挟込		切紙・1通	137-22-1
(受取粉・蔵入粉・小作金勘定書上)		折紙・1通	137-22-2
丑小作年貢請取帳	文政12年10月吉日	横長美・1冊	137-23
寅小作年貢請取帳	文政13年10月吉日	横長美・1冊	137-24
卯小作年貢請取帳	天保2年10月吉日	横長美・1冊	137-25
酉小作年貢請取帳	天保8年10月吉日	横長美・1冊	137-26
覚(人別小作金書上) 137-26-1・2は丁間挟込		横長美・1冊	137-26-1
(人別小作銭額書上)		切紙・1通	137-26-2
巳小作年貢請取帳	明治2年10月吉日	横美半・1冊	184-1
(人別金額書上) 184-1に挟込		切紙・1通	184-1-1
午小作年貢請取帳	明治3年10月吉日	横美半・1冊	184-2
未小作年貢請取帳	明治4年10月吉日	横美半・1冊	184-3
申小作年貢請取帳	明治5年正月吉日	横美半・1冊	184-4
癸酉小作年貢請取帳	明治6年1月吉日	横美半・1冊	184-5
(人別入金額書上) 184-5に挟込		切紙・1通	184-5-1
甲戌小作年貢受取帳	明治7年2月吉日	横美半・1冊	184-6
(預り地小作入金額書上) 184-6に挟込		切紙・1通	184-6-1
乙亥小作米金受取帳	明治8年7月吉日	横美半・1冊	184-7
(小見畑小作代受取書一括)	明治33年、同34年	袋入・2通	335
小作粉受取控 山田帳場	明治43年10月～明治44年10月	横美半・1冊	169
新保粉請取帳之写 山田寿作手控 表紙に「大正四年卯十一月分全納、大正三年寅十一月検見引方納、大正二年丑十一月分全納」の記載	大正2年～4年	横美半・1冊	389
粉請取帳 山田蔵前控	大正2年、3年	横美半・1冊	390
(新保村小林梅吉ほか3名粉高書上) 390に挟込		切紙・1通	390-1
下方玄米請取帳 山田蔵前控	大正2年～5年	横美半・1冊	391
粉蔵前帳 山田 粉数の覚書など4点挟込	大正4年、5年	横美半・1冊	392
小作粉請取帳 山田帳場	大正8己未年10月	横美半・1冊	170-2

小作租請取帳	昭和3戊辰年	横長半・1冊	170-1
--------	--------	--------	-------

小作勘定帳

○安源寺村			
安源寺村小作方勘定帳 安源寺村世話人藤蔵→東江部村山田庄吉郎様	安永2年巳極月29日	横長半・1冊	147
田畑小作方勘定帳 安源寺村藤左衛門→東江部村庄左衛門様	文化10年酉極月	横長半・1冊	153-2
田畑小作方勘定帳 安源寺村藤左衛門→東江部村庄左衛門殿	文政元年寅極月大晦日	横長半・1冊	157
明和八年卯極月小作入勘定帳 安源寺藤蔵→東江部村庄左衛門殿	卯極月26日	横長美・1冊	413-7
○押切村			
文化十酉年押切村小作勘定帳	文化10年	横長美・1冊	154
○岩舟村			
卯小作入取立勘定帳 高井郡岩船村地方	明和8年極月吉日	横長美・1冊	413-3
酉小作入取立勘定帳 (高井郡岩船邑地方)	文化10歳極月吉日	横長美・1冊	153-3
子小作入取立勘定帳 (岩舟村地方)	文化14 (ママ) 歳極月吉日	横長美・1冊	156-1
丑小作入取立勘定帳 (岩舟村地方)	文化14歳極月吉日	横長美・1冊	156-2
寅小作入取立勘定帳 (岩舟村地方)	文政元歳極月吉日	横長美・1冊	156-3
卯小作入取立勘定帳 (岩舟村地方)	文政2歳極月吉日	横長美・1冊	156-4
辰小作入取立勘定帳 (岩舟村地方)	文政3歳極月吉日	横長美・1冊	156-5
巳小作入取立勘定帳 (岩舟村地方)	文政4歳極月吉日	横長美・1冊	156-6
午小作入取立勘定帳 (岩舟村地方)	文政5歳極月吉日	横長美・1冊	156-7
未小作入取立勘定帳 (岩舟村地方)	文政6歳極月吉日	横長美・1冊	156-8
申小作入取立勘定帳 (岩舟村地方)	文政7歳極月吉日	横長美・1冊	156-9
酉小作入取立勘定帳 (岩舟村地方)	文政8歳極月吉日	横長美・1冊	156-10
戌小作入取立勘定帳 (岩舟村地方)	文政9年極月吉日	横長美・1冊	156-11
亥小作入取立勘定帳 (岩舟村地方)	文政10歳極月吉日	横長美・1冊	156-12
子小作入取立勘定帳 (岩舟村地方)	文政11年極月吉日	横長美・1冊	156-13
丑小作入取立勘定帳 (岩舟村地方)	文政12歳極月吉日	横長美・1冊	156-14
寅小作入取立勘定帳 (岩舟村地方)	天保元歳極月吉日	横長美・1冊	156-15
卯小作入取立勘定帳 (岩舟村地方)	天保2歳極月吉日	横長美・1冊	156-16
辰小作入取立勘定帳 (岩舟村地方)	天保3年極月吉日	横長美・1冊	156-17
巳小作入取立勘定帳 (岩舟村地方)	天保4歳極月吉日	横長美・1冊	156-18
午小作入取立勘定帳 (岩舟村地方)	天保5歳極月吉日	横長美・1冊	156-19

未小作入取立勘定帳（岩舟村地方）	天保6歳極月吉日	横長美・1冊	156-20
申小作入取立勘定帳（岩舟村地方）	天保7歳極月吉日	横長美・1冊	156-21
申小作入手当割賦帳（岩舟村地方）	天保7歳極月吉日	横長美・1冊	160
酉小作入取立勘定帳（岩舟村地方）	天保8歳極月吉日	横長美・1冊	156-22
戌小作入取立勘定帳（岩舟村地方）	天保9歳極月吉日	横長美・1冊	156-23
亥小作入取立勘定帳（岩舟村地方）	天保10歳極月吉日	横長美・1冊	156-24
子小作入取立勘定帳（岩舟村地方）	天保11歳極月吉日	横長美・1冊	156-25
丑小作入取立勘定帳（岩舟村地方）	天保12歳極月吉日	横長美・1冊	156-26
○更科村			
卯田畑小作勘定帳 更科村兵左衛門→東江部村山田庄左衛門様	明和8年卯12月日	横長美・1冊	143
田畑小作入勘定帳 （更科村）中山庄右衛門、常右衛門→山田庄吉様	安永2年巳12月日	横長美・1冊	148
○新野村			
子小作勘定帳（新野村）	天保11年12月吉日	横美半・1冊	163-1
丑小作勘定帳（新野村）	天保12年12月吉日	横美半・1冊	163-2
寅小作勘定帳（新野村）	天保13年12月吉日	横美半・1冊	163-3
新野村小作勘定帳	天保14年卯12月	横美半・1冊	164
覚（小作地役初夫銭勘定） 164-1～4は丁間挟込	天保13寅年分	折紙・1通	164-1
（辰年夫銭山年貢役銭皆済書）	弘化3年2月8日改	切紙・1通	164-2
（丑年貢・国役銭など皆済書）		切継紙・1通	164-3
（元利勘定書）		切紙・1通	164-4
○その他			
辰年小作帳（「辰小作入取立勘定帳」、更科村・安源寺村分「田畑小作勘定帳」、「辰小作不納覚」、年貢金受取書など綴）	安永元年12月	横長綴・1綴	145
巳小作入取立勘定帳	安永2年極月吉日	横長美・1冊	146
田畑小作入勘定帳 文四郎→山田庄左衛門様	文化10年酉12月日	横長美・1冊	153-1

小作年貢不納帳等

小作御年貢不納証文之事（20俵2斗） 西江部村小作不納人六左衛門、請人平兵衛、同断佐五兵衛 端裏下「下書」、しち畑相渡し申証文之事（地主六郎左衛門、平兵衛）1通挟込	元文元年辰12月28日	豎紙・2通	452-1-23-6
明和八年卯十二月廿九日小作不納証文之事（新保村分）清蔵、ほか3名	明和8年卯12月29日	折紙・1通	413-6
（小作年貢不納人連印証文） 新井村銀右衛門、ほか17名	明和8年卯12月	横長美・1冊	413-4
去申年迄小作年貢不納帳（高井郡吉田村） 高井郡吉田村分地小作人（表紙裏）「東江部村庄左衛門所持」	天明9年己酉2月	横長美・1冊	149

小作御年貢年延証文之事（初代2両を4年賦） 岩船村 不納人吉兵衛、請人長七→庄左衛門殿	天保12年丑10月	縦紙・1通	454
(村名・人名書上)		折紙・1枚	413-5
片塩村小作年貢不納差滞（人名・不納額書上、後欠）		縦継紙・1通	455-4
小作年貢不納差滞（人名・不納額書上、後欠）		縦紙・1通	455-16
(小作年貢不納滞出入訴状下書)		縦紙・2通	455-21

旱損見分改帳

丑小作入旱損見分改帳（岩舟村地方） 155は麻紐で一 括	文化14歳8月	横長美・1冊	155-1
寅小作入旱損見分改帳（岩舟村地方）	文政元歳8月	横長美・1冊	155-2
未小作入旱損見分改帳（岩舟村地方）	文政6歳7月吉日	横長美・1冊	155-3
辰小作入旱損見分改帳（岩舟村地方）	天保3歳8月	横長美・1冊	155-4
村上畑旱損手当割賦連印帳 岩舟村地方	天保2年卯3月日	横長美・1冊	405

小作取上請印帳

吉田村分田畑小作取上請印帳（手作のため小作地取上） 吉田村小作人→東江部村庄左衛門殿	寛政3年亥2月	横長美・1冊	150
---	---------	--------	-----

手作

元文四己未秋木綿改日記	(元文4)	横長美・1冊	106
宝暦五亥年木綿ひろい改帳 大豆売出覚・初請取覚など の仮綴を後に括付	(宝暦5) 9月12日～	横長半・1冊	107-2
明和元年申八月木綿ひろい帳（附山莉）	(明和元)	横長半・1冊	107-3
明和五年子木綿拾帳 帳崩、表紙と本体の関係も不明	(明和5) 8月日	横長美・1冊	107-1
諸作日記（農業記録） 高井郡東江部村山田荘左衛門顕 治	天明7丁未年晩秋10月3 日（～寛政4）	横長美・1冊	110
諸作覚帳（農業記録）	寛政4年子2月日（～文 化2）	横美列・1冊	112

年貢諸役負担

他村割付状等写

已御年貢可納割付之事（新保村） 大野佐左衛門→右村 名主組頭惣百姓 端裏書「已割付写」	宝暦11年巳10月	縦継紙・1通	233-1
已御年貢皆済目録（新保村） 大野佐左衛門手代塚谷安 右衛門、石川太五郎、大坪忠蔵、山田東蔵、木村直左衛 門→右村名主惣百姓中 大野佐左衛門の奥書、「宝暦十三 未十二月十七日写」の奥書、端裏書「已目録写」	宝暦12年午3月	縦継紙・1通	234-1

午御年貢可納割付之事（新保村） 大野佐左衛門→右村 名主与頭惣百姓 端裏書「午年割付写」	宝暦12年午10月	縦継紙・1通	233-2
午御年貢皆済目録（新保村） 大野佐左衛門手代塚谷安 右衛門、大坪忠蔵、石川太五郎、山田東蔵、木村直左衛 門→右村名主組頭惣百姓中 大佐左衛門の奥書、端裏書 「午目録写」	宝暦13年未3月	縦継紙・1通	234-2

諸村分年貢金納帳

村々江御年貢金納帳 表紙書「享保拾八年又紙を増」、 後括付	(宝永6年～宝暦元年)	横長美・1冊	22
歳々御上納覚帳（諸村宛年貢・諸負担支払、他に持山 覚、火事・雪・帚星などの記録、すじ粉覚、ほか） 信州高井郡東江部山田庄左衛門 各村名主よりの受取 書を綴じて後に括付	寛延4辛未年10月吉祥 日（寛延4～安永5）	横長美・1冊	33
年々御上納金夫銭覚帳（諸村宛年貢・諸負担支払） 信州高井郡東江部村山田丑之助 各村名主よりの受取書 を綴じて後に括付	安永5年丙申10月吉日 (安永5～天明4)	横長美・1冊	35
御年貢納控帳・附夫銭納控（諸村宛年貢・諸負担支払） 信州高井郡東江部村山田庄左衛門顕治代 各村名主よりの 受取書を綴じて後に括付	天明4甲辰歳10月吉日 (天明4～寛政3)	横長美・1冊	36-1
年々御年貢諸役覚帳（諸村宛年貢・諸負担支払） 信 州高井郡山田庄左衛門顕治記 各村名主よりの受取書を 綴じて後に括付	寛政3辛亥歳10月吉祥 日（～寛政11）	横長美・1冊	37-1
御年貢高役帳 信州高井郡東江部山田庄左衛門	文政6癸未正月吉日 (～天保10)	横長美・1冊	38
(諸村宛年貢・負担金支払覚帳)	(文化7～文政5)	横長美・1冊	37-2

年貢諸役金受取書等

皆済目[録] 表紙下半分欠落、諸村名主よりの年 貢諸役金受取書など後に括付	享保12後正月吉日	横長美・1冊	21
御年貢御役勘定（大熊村分） 大熊村名主伊右衛門・同 所役人長右衛門→東江部村庄左衛門殿	明和8年卯12月	横半半・1冊	34
寅御年貢金皆済目録（更科村）名主定右衛門→江部村 庄左衛門殿	明和8年卯12月	横切継紙・1通	413-1
丑御年貢金皆済目録 更科村名主定右衛門→東江部村庄 左衛門殿	明和7年寅12月	横切継紙・1通	413-2
申御年貢皆済目録 大熊村名主弥次右衛門→江部村庄左 衛門殿 36-2は帯紐一括、36-1と37の間にはさまれていた (便宜上枝番付与)	安永6酉年10月	切継紙・1通	36-2-1
辰御年貢皆済目録 大熊村名主弥次右衛門→江部村庄左 衛門殿	安永2巳年10月	切継紙・1通	36-2-2
午御年貢皆済目録 大熊村名主弥次右衛門→江部村庄左 衛門殿	安永4未年10月	切継紙・1通	36-2-3
巳御年貢皆済目録 大熊村名主弥次右衛門→江部村庄左 衛門殿	安永3午年10月	切継紙・1通	36-2-4
未御年貢皆済目録 大熊村名主弥次右衛門→江部村庄左 衛門殿	安永5申年10月	切継紙・1通	36-2-5

御年貢納通（押切村分） 東江部村庄左衛門	安永7年戊10月日（～寛政8）	横美半・1冊	463
（包紙、上書「大熊押切上納受取通」） 235-1-1～6はこの包紙で一括されていたと思われる	（寛政9～文化12）	包紙・1枚	235-1
御年貢小役通帳 大熊村名主富右衛門→江部村庄左衛門殿	寛政9巳12月	横半半・1冊	235-1-1
御年貢御小役通帳（庄左衛門分） 大熊村役代太右衛門	文化4年卯12月～文化8年	横半半・1冊	235-1-2
御年貢御小役通帳 大熊村名主彦之丞→東江部村庄左衛門殿	文化11年戊12月	横美半・1冊	235-1-3
御年貢御小役通 大熊村名主彦之丞→東江部村庄左衛門殿	文化12亥年12月	横半半・1冊	235-1-4
酉御年貢御小役皆済目録 大熊村名主九右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化10酉年12月	切継紙・1通	235-1-5
申御年貢御小役皆済目録 大熊村名主九右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化9申年12月	切継紙・1通	235-1-6
（年貢諸夫錢請求・受取書など綴）	寛政10～文化4年	ひねり綴・1綴	235-2-4
覚（卯年貢金受取） 宇木村名主新之丞→江部村庄左衛門殿 奥に釣り銭額の書込	文化4年卯12月	小切紙・1通	235-2-4-1
（寅年夫錢額書付）		小切紙・1通	235-2-4-2
（寅年貢・国役錢受取書） 高遠村名主卯兵衛→江部村庄左衛門殿	卯12月	堅切紙・1通	235-2-4-3
御年貢金請取（納入庄左衛門） 片塩村名主伊右衛門	卯正月12日	小切紙・1通	235-2-4-4
文化三寅十二月御年貢金請取（庄左衛門納） 片塩村名主伊右衛門	寅12月8日	小切紙・1通	235-2-4-5
文化三寅御年貢金請取（庄左衛門納） 片塩村名主伊右衛門	寅10月14日	小切紙・1通	235-2-4-6
文化三年寅御年貢金請取（庄左衛門納） 片塩村名主伊右衛門	寅11月14日	横切紙・1通	235-2-4-7
巳皆済目録（大豆代・浮役など差引未進額書上） 大熊名主藤兵衛→東江部村庄左衛門殿	寛政10午年	切継紙・1通	235-2-4-8
午皆済目録（諸差引未進額書上） 大熊名主藤兵衛→東江部村庄左衛門殿	寛政11未年	切紙・1通	235-2-4-9
未皆済目録（諸差引未進額書上） 大熊名主藤兵衛→東江部村庄左衛門殿	寛政12申年	切継紙・1通	235-2-4-10
文化四年卯御年貢米金請取 片塩村名主伊右衛門	文化4年卯10月14日	切紙・1通	235-2-2
覚（年貢米金・国役・三役給・破免入用の書上） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化4年卯11月14日	切紙・1通	235-2-3
文化四年卯十二月御年貢米金請取 片塩村名主伊右衛門	文化4年卯12月8日	切紙・1通	235-2-1
（庄左衛門押切村所持地の川欠見落分御引高願） 百姓代又八、組頭源左衛門、同断弥兵衛、名主永井重右衛門→北條雄之助様中野御役所	天保12丑7月	折紙・1通	440
権堂村御年貢請取通入 235-16-2を入れたと思われる	（嘉永5～安政）	封筒・	235-16-1
御年貢金通 東江部村庄左衛門代納権堂村勝助	従嘉永5子年10月	横美半・1冊	235-16-2

当辰御年貢金請取覚 名主善左衛門→山田庄左衛門殿 家代勝助殿 235-16-2-1～4は丁間挟込	安政3年10月10日	切紙・1通	235-16-2-1
御年貢初納（榎堂村役元納・夫銭額書付） 1に疊込		小切紙・1通	235-16-2-2
当卯御年貢金請取 榎堂村名主善左衛門→東江部村山 田庄左衛門殿代勝助殿	安政2年10月10日	折紙・1通	235-16-2-3
丑御年貢皆済目録 水内郡榎堂村名主善左衛門→高井 郡東江部村山田庄左衛門代納当村勝助殿	嘉永7寅年10月	縦継紙・1通	235-16-2-4
御年貢金通（清水村分ほか） 納入山田庄左衛門	嘉永7寅10月（嘉永7～ 明治2）	横半美・1冊	39
御年貢請取帳（押切村分ほか） 東江部村納入山田庄左 衛門	文久元酉年12月（～明 治元）	横半美・1冊	40
戌御年貢皆済目録 平林村名主傳右衛門	文久3戌4月	折紙・1通	235-18-5
亥御年貢皆済目録 間山村名主甚右衛門 貼紙あり	文久4子年2月	横切紙・1通	235-18-4
亥御年貢皆済目録 名主与惣右衛門→山田庄左衛門殿	元治元子年12月	横切継紙・1通	235-18-7
亥年御年貢皆済目録 新野村名主孫左衛門	慶応2寅年2月	横切継紙・1通	235-18-2
去々亥御年貢皆済目録 新野村名主孫左衛門	慶応2寅年2月	横切継紙・1通	235-18-3
亥御年貢皆済目録 片塩村名主平右衛門→東江部村山田 庄左衛門殿	慶応2寅3月	横切紙・1通	235-18-6
「壬申貢租諸役小手形入」 山田氏 袋内に受取書など 多数	明治5年	袋入	346
地目変換ニ付地価修正願 右地主山田莊左衛門、山田理 兵衛、小林駒之助、竹内林右衛門、下高井郡江部村戸長 山田文六→長野県令大野誠殿代理長野県大書記官鳥山重 信殿 郡長奥書、大書記官聞届書、土地図面共	明治16年6月27日	仮綴・1綴	331
記（明治29年水害地租免除額通知） 下高井郡穂高 村役場	明治31年5月16日	1通	332-1
領収証（地租免除願用取調費用） 下高井郡穂高村中村 組惣代本山茂吉→同郡平野村山田莊左衛門殿	明治31年5月26日	朱罫紙・1通	332-2
領収証（地租免除願用取調費用） 下高井郡穂高村小見 組惣代山崎久太→下高井郡平野村山田莊左衛門殿	明治31年5月	朱罫紙・1通	332-3
（相続税課税申告に関する調書綴）	大正5年9月	1綴	333
覚（御囲初1俵6升の請求） 吉田村名主→東江部村庄左 衛門殿	寅2月26日	切紙・1通	452-1-15
（書状、小作方勘定、皆済目録・上納通を遣わす、など） 中山兵左衛門→山田庄左衛門様、人々御中	12月大晦日	横切継紙・1通	413-9
午御年貢皆済通 西江部村清左衛門→文六殿	午ノ12月25日	横切紙・1通	455-24
午ノ御年貢納覚 岩舟村庄屋角兵衛→東江部村文六殿	午ノ極月日	横切継紙・1通	455-23
○質地分御年貢小手形			
「質地分御年貢小手形入」	（天保15～安政2）	袋入・22通	236
覚（戌年上納・夫銭受取） 上町名主長左衛門→東江 部村庄左衛門殿	嘉永3戌年	縦紙・1通	236-1
覚（上納・夫銭受取） 上町名主治郎次→東江部村庄左 衛門殿 236-1に挟込	嘉永2酉年	縦切紙・1通	236-1-1

(天保15年・弘化3年分年貢諸役差引、小作粉送状) 浅野村庄屋兵八→東江部村庄左衛門殿 2年分を続け書き	天保15年2月、弘化3年2月	横切継紙・1通	236-2
覚(除地年貢受取) 佐野村延命寺→庄左衛門殿	丑極月晦日	堅切紙・1通	236-3
覚(年貢諸役差引、小作粉送状) 浅野村庄屋幾右衛門→東江部村庄左衛門殿	嘉永4年12月	横切継紙・1通	236-4
覚(年貢諸役差引、小作粉送状) 浅野村庄屋幾右衛門→東江部村庄左衛門殿	嘉永2年12月	横切継紙・1通	236-5
覚(年貢諸役差引、小作粉送状) 浅野村庄屋幾右衛門→東江部村庄左衛門殿	嘉永3年12月	横切継紙・1通	236-6
覚(亥年上納・夫錢・国役受取) 上町名主長左衛門→江部村庄左衛門殿	亥極月4日	切継紙・1通	236-7
覚(初・二・三納・夫錢受取) 長沼上町三郎右衛門→江部村庄左衛門殿	子12月	横切紙・1通	236-8
(年貢粉受取書送状) 善光寺平八(藤屋平八)→山田庄左衛門様 粉受取書2通を貼継、包紙入	安政2乙卯12月	切継紙・1通	236-9
覚(年貢諸役差引、小作粉送状) 浅野村庄屋幾右衛門→高井郡東江部村庄左衛門殿	嘉永3年戌2月	横切継紙・1通	236-10
覚(申年貢・高掛諸役受取) 上町役本→東江部村庄左衛門殿	嘉永元申年	堅切紙・1通	236-11
覚(年貢諸役差引、小作粉送状) 浅野村庄屋久之丞→東江部村庄左衛門殿	嘉永元年12月	横切継紙・1通	236-12
子御年貢皆済目録 権堂村名主善左衛門→東江部村庄左衛門殿代納勝助殿	嘉永6丑年10月	堅継紙・1通	236-13
覚(卯除地年貢金受取) 佐野村社僧→庄左衛門様	極月20日	小切紙・1通	236-14
当子御年貢金受取通 権堂村名主善左衛門→東江部村庄左衛門殿代納吉左衛門殿 236-15-1・2は同じ包紙入	嘉永5年10月	堅切紙・1通	236-15-1
当子御年貢金覚 名主善左衛門→庄左衛門殿代納小三郎殿		切紙・1通	236-15-2
覚(年貢諸役差引、小作粉送状) 浅野村庄屋久之丞→東江部村庄左衛門殿	弘化4未12月	横切継紙・1通	236-16
当丑御年貢金請取覚 名主善左衛門→東江部村庄左衛門代納小三郎	嘉永6年10月	小切紙・1通	236-17
(年貢金受取書) 名主善右衛門→江部村庄左衛門代納小三郎納	嘉永6丑年11月	小切紙・1通	236-18
納長野村分当寅御年貢粉 栢彦太夫→阿弥陀院町平八(木屋平八) 236-19-1・2は2枚の包紙入	嘉永7年12月	切紙・1通	236-19-1
納長野村寅御年貢粉之事 中治兵衛→阿弥陀院町平八	嘉永7寅年12月	切紙・1通	236-19-2

文化7年分綴

(文化7年年貢諸夫錢請求・受取書など綴)		綴り・1綴	235-3
去巳御年貢皆済目録 安源寺村名主要左衛門→東江部村庄左衛門殿	文化7年午12月	横切紙・1通	235-3-1
文化7年午御年貢金請取通 岩船村名主弥右衛門→東江部村庄左衛門殿		折紙・1通	235-3-2

已御年貢金皆済目録 更科村名主定右衛門→江部村庄左衛門	午12月	切継紙・1通	235-3-3
覚（金2分余請求） 西間村名主→東江部村庄左衛門殿	午12月18日	切紙・1通	235-3-4
覚（夫錢・足役金書上） 吉田村名主作右衛門→東江部村庄左衛門殿	午12月	小切紙・1通	235-3-5
覚（年貢・諸夫錢請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	午12月	小切紙・1通	235-3-6
覚（当年分勘定残金請求） 西間名主久右衛門→東江部村庄左衛門様	午12月26日	横切紙・1通	235-3-7
覚（金2分余受取） 西間村名主久右衛門→東江部村庄左衛門殿	午12月19日	切紙・1通	235-3-8
辰御年貢皆済目録 清水村名主武兵衛→庄左衛門殿	文化7年午12月	切継紙・1通	235-3-9
覚（役初代・夫錢など請求） 岩船村名主弥右衛門→東江部村庄左衛門様	午12月25日	横切紙・1通	235-3-10
已御年貢皆済目録 岩船村名主弥右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化7午12月	横切紙・1通	235-3-11
覚（三納金受取） 吉田村名主作左衛門→東江部村庄左衛門殿	午12月	小切紙・1通	235-3-12
覚（年貢三納金・同寿栄分受取） 名主文六→庄左衛門殿	午12月4日	小切紙・1通	235-3-13
覚（諸勘定差引額受取）		切継紙・1通	235-3-14
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・2通	235-3-15
午十二月御金触（年貢金請求） 安源寺村→東江部村庄左衛門殿	午12月	切継紙・1通	235-3-16
已御年貢皆済目録 西江部村名主→庄左衛門殿	文化7午12月	切紙・1通	235-3-17
覚（国役金受取） 吉田村名主作左衛門→東江部村庄左衛門殿	午10月	小切紙・1通	235-3-18
覚（二納金の書付）		切紙・1通	235-3-19
覚（二納金受取） 吉田村名主作左衛門→東江部村庄左衛門殿	午12月15日	切紙・1通	235-3-20
覚（二納金受取） 西間村名主久右衛門→東江部村庄左衛門殿		切紙・1通	235-3-21
覚（年貢・夫給請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	午11月	小切紙・1通	235-3-22
覚（年貢二納金請求） 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	午11月	小切紙・1通	235-3-23
十一月御金ふれ（庄左衛門分金子請求書付）		小切紙・1通	235-3-24
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・2通	235-3-25
覚（朝鮮人国役金・初納金受取） 押切村名主重兵衛→江部村庄左衛門殿	午10月10日	小切紙・1通	235-3-26
覚（午年貢・同寿栄分の受取） 名主文六→庄左衛門殿	午11月9日	小切紙・1通	235-3-27
（春中夫錢残金受取書） 同（山田）文六→山田庄左衛門様	11月9日	小切紙・1通	235-3-28
（国役・夫錢など書上）		小切紙・1通	235-3-29

覚（午年貢十月納・五ヶ年賦国役など受取） 名主文 六→庄左衛門殿	午10月11日	小切紙・1通	235-3-30
覚（初納金受取） 吉田村名主作左衛門→東江部村庄左 衛門殿	午10月15日	小切紙・1通	235-3-31
覚（年貢・国役金の書上）		小切紙・1通	235-3-32
覚（初納・諸入用請求） 西間村名主→東江部村庄左衛門 殿	午11月	縦切紙・1通	235-3-33
覚（初納金受取） 西間村名主久右衛門→東江部村庄左 衛門殿	午10月14日	小切紙・1通	235-3-34
覚（初納・国役金受取） 岩船村名主→東江部村庄左衛門 様	10月14日	小切紙・1通	235-3-35
覚（国役金など請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿 （庄左衛門分金額書付）	午10月	小切紙・1通	235-3-36
午十月御金ふれ（請求金額書付） 安源寺村名主→東江 部村庄左衛門殿		小切紙・2通	235-3-37
午十月御金ふれ（請求金額書付） 安源寺村名主→東江 部村庄左衛門殿		小切紙・1通	235-3-38
覚（午年貢金請求） 西江部村名主→東江部村庄左衛門 殿	午10月	小切紙・1通	235-3-39

文化8年分綴

（文化8年年貢諸夫錢請求・受取書など綴）		綴り・1綴	235-4-1
午御年貢金皆済目録 更科村名主定右衛門→江部村庄左 衛門殿	文化8年末12月	切継紙・1通	235-4-1-1
辰御年貢皆済目録 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左 衛門殿	文化8年	切継紙・1通	235-4-1-2
覚（錢受取） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	極月20日	小切紙・1通	235-4-1-3
覚（夫錢請求） 大熊名主→江部村庄左衛門殿	未極月	小切紙・1通	235-4-1-4
覚（山上納夫錢受取） 小沼村名主勘右衛門→東江部村 庄左衛門殿	未極月	小切紙・1通	235-4-1-5
覚（高掛・足役金請求） 西間村名主→東江部村庄左衛門殿 （庄左衛門分金額書付）	未極月	縦切紙・1通	235-4-1-6
午御年貢皆済目録 岩船村名主弥右衛門→東江部村庄左 衛門殿		小切紙・2通	235-4-1-7
午御年貢皆済目録 岩船村名主弥右衛門→東江部村庄左 衛門殿	文化8年末10月	横切紙・1通	235-4-1-8
覚（夫錢・役粉代など書上） 岩船村名主弥右衛門→東 江部村庄左衛門様	未12月23日	横切紙・1通	235-4-1-9
覚（金子受取） 西間村名主→東江部村庄左衛門殿	未12月9日	縦切紙・1通	235-4-1-10
文化八年未御年貢米金請取 片塩村名主伊右衛門	未12月9日	小切紙・1通	235-4-1-11
（夫錢など書上）		小切紙・1通	235-4-1-12
覚（三納金受取） 吉田村名主作左衛門→東江部村庄左 衛門殿	文化8年末12月	小切紙・1通	235-4-1-13
覚（夫錢・足役金書上） 吉田村名主作左衛門→東江部村 庄左衛門殿	文化8年末12月	小切紙・1通	235-4-1-14

地主/年貢諸役負担/文化8年分綴

(庄左衛門分金額書付)		小切紙・2通	235-4-1-15
(大熊村武七へ渡分金額書付)		小切紙・1通	235-4-1-16
覚(年貢・郡割水損入用請求) 大熊名主→東江部村庄左衛門殿	未12月	小切紙・1通	235-4-1-17
覚(末年貢12月納・同寿栄分受取) 名主文六→庄左衛門殿	未12月	小切紙・1通	235-4-1-18
未十二月御金触 安源寺村→東江部村庄左衛門殿		切継紙・1通	235-4-1-19
覚(三納金・夫錢受取) 新保村名主弥左衛門→東江部村庄左衛門殿	未極月4日	小切紙・1通	235-4-1-20
(足役并夫錢受取書)			235-4-1-21
覚(当未三納受取) 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿			235-4-1-22
(御金触、三納金・夫錢皆済につき印形手形持参すべき旨) 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	未12月	小切紙・1通	235-4-1-23
午御年貢皆済目録 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	未12月	横切紙・1通	235-4-1-24

文化9年分綴

(文化9年年貢諸夫錢請求・受取書など綴)		綴・1綴	235-5-2
覚(夫給ほか金子請求) 大熊村名主→東江部村庄左衛門殿	申11月	小切紙・1通	235-5-2-1
覚(金子書上) 更科村名主→江部村庄左衛門殿	申11月	小切紙・1通	235-5-2-2
覚(申年貢二納金・国役金・朝鮮人來聘高役金・村役給受取) 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	申11月14日	小切紙・1通	235-5-2-3
覚(二納金受取) 西間村名主→東江部村庄左衛門殿	申11月14日	堅切紙・1通	235-5-2-4
(庄左衛門分金額書付)		小切紙・2通	235-5-2-5
覚(二納金受取) 吉田村名主作左衛門→東江部村庄左衛門殿	申12月13日	小切紙・1通	235-5-2-6
申十一月御金ふれ(金子請求書付) 安源寺村役元→東江部村庄左衛門殿		小切紙・1通	235-5-2-7
覚(当申二納金受取) 西江部村名主→庄左衛門殿	申12月10日	小切紙・1通	235-5-2-8
覚(申年貢二納金・同寿栄分受取) 名主文六→庄左衛門殿	申11月10日	小切紙・1通	235-5-2-9
覚(初納・国役金受取) 吉田村名主作左衛門→東江部村庄左衛門殿	文化9年申10月	切紙・1通	235-5-2-10
覚(初納・国役・村入用など受取) 西間村名主→東江部村庄左衛門殿	文化9申10月14日	小切紙・1通	235-5-2-11
文化九申御年貢金請求 名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	申10月14日	切紙・1通	235-5-2-12
覚(十月金・高役金書上) 更科名主→江部村庄左衛門殿	10月	小切紙・1通	235-5-2-13
覚(初納・国役金請求) 岩船村名主九郎右衛門→東江部村庄左衛門殿	申10月13日	切紙・1通	235-5-2-14

覚（夫錢請求） 大熊村名主→東江部村庄左衛門殿	申7月	小切紙・1通	235-5-2-15
覚（国役金など請求） 大熊名主→東江部村庄左衛門殿	申10月	小切紙・1通	235-5-2-16
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・3通	235-5-2-17
覚（年貢初納金請求） 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	10月	小切紙・1通	235-5-2-18
文化九年御年貢請取通 名主市左衛門→東江部村庄左衛門殿		横切紙・1通	235-5-2-19
申月御金触 安源寺村→東江部村庄左衛門殿		小切紙・1通	235-5-2-20
（寿栄分・夫錢ほか金子書上）		小切紙・1通	235-5-2-21
覚（申年貢十月納・同寿栄分受取） 名主文六→庄左衛門殿	申10月10日	切継紙・1通	235-5-2-22
覚（申年年貢・高役受取） 高遠村卯兵衛→東江部村庄左衛門殿 235-5-2の綴と史料館封筒に同封	文化10酉年12月	小切紙・1通	235-5-1
（申年村入用夫錢受取） 235-5-1に挟込	申8月1日	小切紙・1通	235-5-1-1

文化7・8・9年分綴

（年貢諸夫錢請求・受取書など綴、文化7・8・9年分）		綴・1綴	235-4-2
河原未年割（割地割当・代金書上） 北岡重兵衛→江部庄左衛門様	申極月	横切紙・1通	235-4-2-1
覚（未四納書上） 岩船村名主弥右衛門→東江部村庄左衛門様	申2月9日	小切紙・1通	235-4-2-2
覚（未残納金受取） 吉田村名主佐左衛門→東江部村庄左衛門様	文化9年申2月	小切紙・1通	235-4-2-3
覚（未年貢米金二月割賦分受取） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門様	文化9年申2月9日	小切紙・1通	235-4-2-4
覚（勘定違不足金・三月割賦分差引勘定書）	申3月17日	小切紙・1通	235-4-2-5
覚（村入用受取） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化9年申3月	小切紙・1通	235-4-2-6
覚（午年村入用・夫錢受取） 卯兵衛→庄左衛門殿	文化8未年	小切紙・1通	235-4-2-7
覚（未上納金受取） 宇木村名主久兵衛→江部村庄左衛門殿	文化8年未ノ12月	小切紙・1通	235-4-2-8
覚（午年年貢・高役受取） 高遠村名主卯兵衛→江部村庄左衛門殿	文化8未年	堅切紙・1通	235-4-2-9
覚（金子受取） 吉田村名主作左衛門→東江部村庄左衛門殿	申7月13日	小切紙・1通	235-4-2-10
覚（申秋夫錢・陣屋普請入用受取） 岩船村名主九郎右衛門→東江部村庄左衛門殿	申7月11日	切継紙・1通	235-4-2-11
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・2通	235-4-2-12
申三月夫錢		切継紙・1通	235-4-2-13
（庄左衛門高入地の改書）		切継紙・1通	235-4-2-14
覚（金額書付） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	文化9申8月	小切紙・1通	235-4-2-15

(四納金額書付)	未2月9日	小切紙・1通	235-4-2-16
覚(年貢・国役・夫錢額書付) 卯兵衛	午12月	小切紙・1通	235-4-2-17
覚(已年貢・国役金皆済) 高遠村名主卯兵衛→江部村庄左衛門殿	午12月	堅切紙・1通	235-4-2-18
覚(午残金受取) 吉田村名主作左衛門→東江部村庄左衛門殿	未12月	小切紙・1通	235-4-2-19
覚(二月取立午年貢受取) 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	未2月	小切紙・1通	235-4-2-20
覚(小物成受取) 宇木村名主久兵衛→東江部村庄左衛門様	文化8年未正月	小切紙・1通	235-4-2-21
覚(未村入用・辰年貢受取) 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	未3月	小切紙・1通	235-4-2-22
覚(午四納金額書付) 岩船村名主→東江部村庄左衛門様	未2月9日	小切紙・1通	235-4-2-23
覚(夫錢書付) 吉田村名主作左衛門→東江部村庄左衛門様	未7月	小切紙・1通	235-4-2-24
(庄左衛門分金額書付)		小切紙・2通	235-4-2-25
覚(夫錢書付) 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	未7月7日	小切紙・1通	235-4-2-26
覚(夫錢書付) 岩船村名主→東江部村庄左衛門様	未8月	小切紙・1通	235-4-2-27
覚(夫錢請求) 大熊村名主藤兵衛→江部村庄左衛門殿	午12月	小切紙・1通	235-4-2-28
覚(山上納錢受取) 小沼村名主→東江部村庄左衛門殿	午極月	小切紙・1通	235-4-2-29
覚(地種・地積・分米など書上)		横切紙・1通	235-4-2-30
覚(二納金受取) 西間村名主久右衛門→東江部村庄左衛門殿	未11月14日	堅切紙・1通	235-4-2-31
覚(二納金・田夫錢受取) 吉田村名主作左衛門→東江部村庄左衛門殿	未11月	小切紙・1通	235-4-2-32
覚(御長家夫錢ほか受取) 更科伊右衛門→江部庄左衛門殿	未11月	小切紙・1通	235-4-2-33
(金額書上)		小切紙・1通	235-4-2-34
覚(年貢・夫給夫錢請求) 大熊村名主→東江部村庄左衛門殿	未11月	小切紙・1通	235-4-2-35
覚(年貢二納・国役金受取) 新保村名主弥左衛門→東江部村庄左衛門殿	文化8年未霜月	小切紙・1通	235-4-2-36
覚(年貢金二納分請求) 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	未11月	小切紙・1通	235-4-2-37
覚(未年貢・同寿栄分受取) 名主文六→庄左衛門殿	未11月10日	切継紙・1通	235-4-2-38
(庄左衛門分金額書付)		小切紙・2通	235-4-2-39
十一月御金触(庄左衛門分金納請求)		小切紙・1通	235-4-2-40
覚(年貢・国役金受取) 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	未11月10日	小切紙・1通	235-4-2-41
覚(初納金受取ほか諸勘定) 西間村名主→東江部村庄左衛門殿	文化8未10月14日	横切紙・1通	235-4-2-42

覚（初納・国役金受取） 吉田村名主作右衛門→東江部 村庄左衛門殿	文化8年末10月	切紙・1通	235-4-2-43
文化八年未御年貢金請取 片塩村名主伊右衛門	未10月14日	切紙・1通	235-4-2-44
覚（初納・国役金請求） 岩船村名主→東江部村庄左衛門 様	未10月14日	切紙・1通	235-4-2-45
覚（年貢・国役金請求） 大熊村名主→東江部村庄左衛門 殿	未10月	切紙・1通	235-4-2-46
覚（国役金書付） 更科伊右衛門→江部庄左衛門殿 （庄左衛門分金額書付）		切紙・1通	235-4-2-47
覚（未年貢国役・同寿栄分受取） 名主文六→庄左衛門 殿	未10月10日	切紙・1通	235-4-2-48
覚（初納金受取） 新保村名主弥左衛門→東江部村庄左 衛門殿 国役・夫銭は記載あるが未納カ	未10月10日	小切紙・1通	235-4-2-49
未十月御金触 安源寺村名主		小切紙・1通	235-4-2-50
未御年貢金請取通 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	文化8年	切紙・1通	235-4-2-51
覚（年貢金請求） 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	未10月	小切紙・1通	235-4-2-52
文化八未御年貢米金請取（庄左衛門分） 片塩村名主 伊右衛門	文化8年末11月	切紙・1通	235-4-2-53
去年御年貢皆済目録 安源寺村名主要左衛門→東江部村 庄左衛門殿	文化8末12月	横切紙・1通	235-4-2-54

文化9・10年分綴

（文化9・10年年貢諸夫銭請求・受取書など綴）		綴り・1綴	235-5-3
覚（申残金受取） 吉田村名主作左衛門→東江部村庄左 衛門殿	文化10年酉2月	切紙・1通	235-5-3-1
覚（申年貢金受取、皆済） 片塩村名主伊右衛門→東江 部村庄左衛門殿	酉2月9日	切紙・1通	235-5-3-2
（四納金請求書付） 岩船村名主九郎右衛門→東江部村庄 左衛門殿	酉2月8日	小切紙・1通	235-5-3-3
覚（納金額書付）	酉2月	小切紙・1通	235-5-3-4
未御年貢金皆済目録 更科名主伊右衛門→江部庄左衛門 殿	文化9年申12月	切紙・1通	235-5-3-5
未皆済覚 岩船村名主弥右衛門→東江部村庄左衛門殿	申極月	横切紙・1通	235-5-3-6
去未御年貢皆済目録 安源寺村名主要左衛門→東江部村 庄左衛門殿	文化9年申12月	横切紙・1通	235-5-3-7
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・2通	235-5-3-8
覚（廿日夫銭請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	極月19日	小切紙・1通	235-5-3-9
覚（林上納金受取） 宇木名主平右衛門→庄左衛門殿	文化10酉年正月2日	切紙・1通	235-5-3-10
覚（申年上納夫銭・諸役受取） 小沼村名主勘右衛門→ 東江部村庄左衛門殿	酉正月2日	切紙・1通	235-5-3-11
覚（未年村入用・夫銭受取） 卯兵衛	申12月	小切紙・1通	235-5-3-12

覚（未年年貢・国役金受取） 高遠村名主卯兵衛→江部 村庄左衛門殿	文化9申年12月	堅切紙・1通	235-5-3-13
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・1通	235-5-3-14
覚（村入用受取） 西間村名主→東江部庄左衛門殿	申12月25日	堅切紙・1通	235-5-3-15
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・2通	235-5-3-16
申十二月御金触 安源寺村→東江部村庄左衛門殿		切継紙・1通	235-5-3-17
覚（申年貢・朝鮮人国役・未不足永受取） 西江部村名 主→東江部村庄左衛門殿	申12月4日	切紙・1通	235-5-3-18
未御年貢皆済目録 西江部村名主市左衛門→庄左衛門殿	申12月	切継紙・1通	235-5-3-19
覚（申年貢・朝鮮人来聘国役、同寿栄分受取） 名主 文六→庄左衛門殿	申12月	切紙・1通	235-5-3-20
覚（申年貢三納金・村入用受取） 片塩村名主伊右衛門 →東江部村庄左衛門殿	文化9申12月9日	切紙・1通	235-5-3-21
覚（三納金受取） 吉田村名主作左衛門→東江部村庄左 衛門殿	申12月	切紙・1通	235-5-3-22
覚（夫錢・足役書上） 吉田村名主作左衛門→庄左衛門殿		切紙・1通	235-5-3-23
（夫錢ほか金子請求書付） 大熊村名主→江部村庄左衛 門殿	申12月	小切紙・1通	235-5-3-24
覚（金子受取） 西間村名主久右衛門→東江部村庄左衛門 殿	申12月19日	堅切紙・1通	235-5-3-25
文化九申御年貢請取通 岩船村名主九郎右衛門		折紙・1通	235-5-3-26
覚（夫錢・足役初代など請求） 岩船村名主九郎右衛門 →東江部村庄左衛門殿	申極月23日	横切紙・1通	235-5-3-27

文化10年分綴

（文化10年年貢諸夫錢請求・受取書など綴）		綴り・1綴	235-6
覚（西林年貢受取） 宇木村名主平右衛門→江部村庄左 衛門殿	戊正月	小切紙・1通	235-6-1
覚（西皆済上納割・村入用受取） 西間村名主→東江部 村庄左衛門殿	酉12月25日	切紙・1通	235-6-2
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・1通	235-6-3
申御年貢金皆済目録 更科村伊右衛門→江部村庄左衛門 殿	文化10年酉12月	切継紙・1通	235-6-4
御年貢金請取通 高井郡岩船村名主九郎右衛門→同郡東江 部村庄左衛門納	文化10酉年	折紙・1通	235-6-5
覚（上納割・諸入用請求） 西間村名主→東江部村庄左 衛門殿	酉極月	切紙・1通	235-6-6
覚（東山上納夫錢・諸役受取） 小沼村名主→東江部村 庄左衛門殿	文化10年酉極月	切紙・1通	235-6-7
覚（月割金利足引請求） 大熊村名主→東江部村庄左衛 門殿	酉12月19日	切紙・1通	235-6-8
覚（夫錢・足役初代・申年貢不納分請求） 岩船村九郎 右衛門→東江部村庄左衛門殿	酉極月	切紙・1通	235-6-9

申皆済目録覚 岩船村名主九郎右衛門→東江部村庄左衛門殿	西極月	横切紙・1通	235-6-10
覚（夫錢ほか書上） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	文化10西閏11月	小切紙・1通	235-6-11
覚（五十金・郡中割・庄屋給など請求） 大熊村名主→東江部村庄左衛門殿	西12月	切紙・1通	235-6-12
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・4通	235-6-13
覚（三納金受取） 西間村名主久右衛門→東江部村庄左衛門殿	西12月18日	堅切紙・1通	235-6-14
覚（三納割金請求） 西間村名主→東江部村庄左衛門殿	西12月6日	堅切紙・1通	235-6-15
覚（夫錢・足役など書上） 吉田村名主作左衛門→東江部村庄左衛門殿		切紙・1通	235-6-16
覚（三納金受取） 吉田村名主作左衛門→東江部村庄左衛門殿	文化10年西12月	切紙・1通	235-6-17
西十二月御金触 安源寺村名主→東江部村庄左衛門殿		小切紙・1通	235-6-18
（西12月分金額書上、寿栄分ほか）		小切紙・1通	235-6-19
覚（酉年貢・同寿栄分受取） 名主文六→庄左衛門殿	西12月9日	切紙・1通	235-6-20
覚（年貢金・村入用受取） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化10西12月9日	切紙・1通	235-6-21
覚（国役金ほか請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	文化10西11月	切紙・1通	235-6-22
十一月御金触 安源寺邑名主→東江部村庄左衛門殿		切紙・1通	235-6-23
覚（二納・国役金請求） 西間村名主→東江部村庄左衛門殿	西11月	堅切紙・1通	235-6-24
覚（二納・国役金受取） 西間村名主久左衛門→東江部村庄左衛門殿	西11月14日	堅切紙・1通	235-6-25
（西11月納分金額書上） 名主嘉兵衛	11月14日	小切紙・1通	235-6-26
覚（年貢金・国役・名主組頭百姓代給受取） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化10年西11月14日	切紙・1通	235-6-27
覚（年貢二納・国役金請求） 西間村名主→東江部村	11月日	切紙・1通	235-6-28
覚（酉年貢二納金・同寿栄分受取） 名主文六→庄左衛門殿	西11月14日	切紙・1通	235-6-29
覚（二納・国役金など受取、小作料と差引） 吉田村名主作左衛門→東江部村庄左衛門殿	文化10年西11月14日	横切紙・1通	235-6-30
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・2通	235-6-31
覚（初納金受取） 吉田村名主作左衛門→東江部村庄左衛門殿	西10月15日	切紙・1通	235-6-32
文化十西御年貢米金請取（庄左衛門分） 片塩村名主伊右衛門	西10月14日	切紙・1通	235-6-33
西十月御金触（庄左衛門分） 安源寺村		小切紙・1通	235-6-34
覚（初納分請求） 西間村名主→東江部村庄左衛門殿	西10月9日	堅切紙・1通	235-6-35
覚（初納分受取） 西間村名主→東江部村庄左衛門殿	西10月14日	堅切紙・1通	235-6-36
西御年貢金覚	10月14日	小切紙・1通	235-6-37

覚（酉年貢初納・八月夫錢請求） 岩船村名主九郎右衛門→東江部村庄左衛門殿	酉10月14日	切継紙・1通	235-6-38
覚（酉年貢・同寿栄分受取） 名主文六→庄左衛門殿	酉10月14日	切紙・1通	235-6-39
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・2通	235-6-40
覚（月割永請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門	文化10酉10月2日	小切紙・1通	235-6-41
覚（立苗手土井入用金勘定）		切紙・1通	235-6-42
酉三月夫錢（ほかに立縄手土井入用など書上）		切継紙・1通	235-6-43
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・3通	235-6-44
覚（夫錢受取） 吉田村名主作左衛門→東江部村庄左衛門殿	酉7月10日	小切紙・1通	235-6-45
覚（錢請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	酉7月4日	小切紙・1通	235-6-46
覚（月割金請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	酉4月3日	小切紙・1通	235-6-47
覚（西村入用金受取、金2分錢255文） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	酉4月朔日	切紙・1通	235-6-48
覚（西村入用金受取、錢3貫955文） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	酉4月朔日	切紙・1通	235-6-49
御年貢皆済目録 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿 前欠・貼紙	文化10年酉4月	切継紙・1通	235-6-50
覚（年貢過納分返済） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	酉4月	切紙・1通	235-6-51
覚（金子受取） 宇木村名主平右衛門→江部村庄左衛門殿		小切紙・1通	235-6-52

文化11年分綴

（文化11年年貢諸夫錢請求・受取書など綴）		綴り・1綴	235-7-1
戌二月御金ふれ（触） 安源寺村役元		小切紙・1通	235-7-1-1
（年貢金請求書付） 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	文化11年戌2月	小切紙・1通	235-7-1-2
（夫錢皆済不足共受取書付）	文化11年2月9日	小切紙・1通	235-7-1-3
覚（申年貢皆済） 西江部村名主市左衛門→東江部村庄左衛門殿	文化11年	切紙・1通	235-7-1-4
覚（酉残金受取） 高井郡吉田村名主作左衛門→東江部村庄左衛門殿	文化11年戌2月	切紙・1通	235-7-1-5
覚（酉年貢米金割賦皆済） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	戌2月9日	小切紙・1通	235-7-1-6
（諸納入差引勘定書）		横切紙・1通	235-7-1-7
覚（酉年貢・同寿栄分受取） 名主文六→庄左衛門殿	戌2月9日	切紙・1通	235-7-1-8
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・2通	235-7-1-9
戌三月夫錢（寿栄分ほか受取）		切紙・1通	235-7-1-10
覚（酉年貢四納金請求） 岩船村名主九郎右衛門→東江部村庄左衛門殿 貼紙、金子受取の書込	戌2月	切紙・1通	235-7-1-11

覚（月割先納金請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	6月朔日	切紙・1通	235-7-1-12
覚（国役金・年延返金など書上） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	戊10月4日	切紙・1通	235-7-1-13
覚（国役金など書上） 更科嘉兵衛		小切紙・1通	235-7-1-14
（庄左衛門分金子請求書付） 安源寺村		小切紙・1通	235-7-1-15
文化十一戌御年貢金請取 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	戊10月14日	横切紙・1通	235-7-1-16
覚（国役過納金返済） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	戊10月15日	切紙・1通	235-7-1-17
覚（初納・高役金・夫錢請求） 岩船村名主九郎右衛門→東江部村庄左衛門殿	戊10月14日	切紙・1通	235-7-1-18
覚（国役金受取） 西間村名主久右衛門→東江部村庄左衛門殿	戊10月14日	切紙・1通	235-7-1-19
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・2通	235-7-1-20
覚（戌十月年貢金請求） 西江部村名主→庄左衛門殿	文化11年戌10月	小切紙・1通	235-7-1-21
（田夫錢額書付）		小切紙・1通	235-7-1-22
覚（初納・国役金受取） 吉田村名主新右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化11年戌10月15日	切紙・1通	235-7-1-23
覚（戌年貢初納・同寿栄分受取） 名主文六→庄左衛門殿	戊10月14日	切紙・1通	235-7-1-24
戌十月納（金子受取、庚申免国役など）	10月24日	切紙・1通	235-7-1-25
覚（夫給ほか請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	戊11月5日	小切紙・1通	235-7-1-26
（年貢金額書付） 名主嘉兵衛	戊11月	小切紙・1通	235-7-1-27
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・2通	235-7-1-28
覚（金6兩余受取）		小切紙・1通	235-7-1-29
覚（戌二納金受取） 西間村名主久右衛門→東江部村庄左衛門殿	11月14日	堅切紙・1通	235-7-1-30
戌十一月御金触 安源寺村		小切紙・1通	235-7-1-31
御年貢通（二納金受取） 吉田村名主→東江部村庄左衛門殿	文化11年11月	小切紙・1通	235-7-1-32
覚（年貢米金・名主組頭百姓代給受取） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	戊11月14日	切紙・1通	235-7-1-33
（戌11月年貢米請求） 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	戊11月	小切紙・1通	235-7-1-34
覚（年貢二納金・同寿栄分受取） 名主文六→庄左衛門殿	戊11月14日	切紙・1通	235-7-1-35
去戌御年貢皆済目録 吉田村名主新右衛門→庄左衛門殿	文化12年亥2月	折紙・1通	235-7-1-36
（夫錢・足役書上）		小切紙・1通	235-7-1-37
御年貢通覚（永3貫余受取） 吉田村名主新右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化11年戌12月	小切紙・1通	235-7-1-38
覚（戌二納年貢金・村入用受取） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	戊12月9日	切紙・1通	235-7-1-39

覚（三納金請求）	西間村名主→東江部村庄左衛門殿	戊12月5日	堅切紙・1通	235-7-1-40
覚（三納金受取）	西間村名主久右衛門→東江部村庄左衛門殿	戊12月9日	堅切紙・1通	235-7-1-41
覚（年貢・夫錢など請求）	大熊村名主→江部村庄左衛門殿	戊12月	切紙・1通	235-7-1-42
戌十二月御金触	安源寺村→江部村庄左衛門殿		切紙・1通	235-7-1-43
覚（戌年貢十二月納分・同寿栄分受取）	名主文六→庄左衛門殿	戊12月9日	切紙・1通	235-7-1-44
覚（金子請求）	西江部村名主→庄左衛門殿	戊12月	小切紙・1通	235-7-1-45
覚（戌足役受取）	西江部村名主→庄左衛門殿	12月9日	堅切紙・1通	235-7-1-46
覚（夫錢・月割利分引書上）	大熊村名主→江部村庄左衛門殿	戊極月29日	小切紙・1通	235-7-1-47
覚（諸役・夫錢米金請求）	西間村名主久右衛門→東江部村庄左衛門殿	戊12月21日	小切紙・1通	235-7-1-48
覚（夫錢・足役初代・酉年貢不納分請求）	岩船村名主九郎右衛門→東江部村庄左衛門殿	戊極月23日	横切紙・1通	235-7-1-49
酉御年貢皆済覚	岩船村名主九郎右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化11戌年極月	横切紙・1通	235-7-1-50
御年貢請取（酉年高役・夫錢）			堅切紙・1通	235-7-1-51
覚（酉年年貢取替分受取）	高遠村卯兵衛→東江部村庄左衛門殿	文化11戌年12月	堅切紙・1通	235-7-1-52
覚（戌年貢受取）	宇木村名主平右衛門→江部村庄左衛門殿	亥正月4日	小切紙・1通	235-7-1-53
（庄左衛門分金額書付）			小切紙・3通	235-7-1-54
覚（山手上納錢受取）	小沼村名主勘右衛門→東江部村庄左衛門	亥之正月14日	小切紙・1通	235-7-1-55
未御年貢金請取通	岩船村名主弥右衛門→東江部村庄左衛門様	文化8年	折紙・1通	235-7-1-56
文化十一戌御年貢金通	岩船村名主弥右衛門→東江部村庄左衛門納	（文化11）	横切紙・1通	235-7-1-57
去々酉御歳貢皆済目録	安源寺村名主要左衛門→東江部村庄左衛門殿	文化12年亥2月	切紙・1通	235-7-1-58

文化11・12年分綴

（文化11・12年年貢諸夫錢請求・受取書など綴）			綴り・1綴	235-7-2
去々申御年貢皆済目録	安源寺村名主要左衛門→東江部村庄左衛門殿	文化11年戌2月	切紙・1通	235-7-2-1
覚（村入用・名主給受取）	片塩村名主→東江部村庄左衛門殿	戊3月28日	切紙・1通	235-7-2-2
覚（朝鮮信使入用・郡中割夫錢請求）	大熊村名主→江部村庄左衛門殿	戊7月5日	切紙・1通	235-7-2-3
覚（夫錢受取）	吉田村名主作左衛門→東江部村庄左衛門殿	文化11年戌7月10日	切紙・1通	235-7-2-4

(金額書付)		小切紙・1通	235-7-2-5
(庄左衛門分金額書付)		小切紙・2通	235-7-2-6
(金額書付) 前欠		切継紙・1通	235-7-2-7
亥二月御金触 安源寺村名主→東江部庄左衛門殿		切紙・1通	235-7-2-8
覚(市四郎跡目分去戌暮諸勘定引残金預かり) 岩船村名主九郎右衛門→東江部村庄左衛門殿 貼紙あり	亥2月9日	切継紙・1通	235-7-2-9
覚(戌皆済不足・亥村入用前割金請求) 西間村名主→東江部村庄左衛門殿	亥2月	竪切紙・1通	235-7-2-10
覚(戌年貢・同寿栄分受取) 名主文六→庄左衛門殿	亥2月9日	小切紙・1通	235-7-2-11
亥二月納(寿栄分ほか金額書上)		小切紙・1通	235-7-2-12
覚(戌年貢米金の内当二月九日皆済上納割賦受取) 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	亥2月9日	小切紙・1通	235-7-2-13
覚(当二月年貢金請求) 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	亥2月	小切紙・1通	235-7-2-14
覚(戌年貢金皆済・当亥村入用前割金受取) 西間村名主久右衛門→東江部村庄左衛門殿	亥2月9日	小切紙・1通	235-7-2-15
覚(去戌勘定金額受取) 吉田村名主新右衛門→江部村庄左衛門殿	亥2月10日	切継紙・1通	235-7-2-16
(庄左衛門分金額書付)		小切紙・1通	235-7-2-17
覚(村入用割賦金受取) 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	亥3月29日	小切紙・1通	235-7-2-18
覚(金子受取) 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門様	亥3月29日	小切紙・1通	235-7-2-19
(庄左衛門分金額書付)		小切紙・3通	235-7-2-20
覚(七月夫錢受取) 吉田村新右衛門→東江部村庄左衛門	亥7月18日	小切紙・1通	235-7-2-21
覚(金子受取) (印)→仙太郎殿	亥7月	小切紙・1通	235-7-2-22

文化12年分綴

(文化12年年貢諸夫錢請求・受取書など綴)		綴り・1綴	235-8
亥御年貢請取通 名主市左衛門→納入庄左衛門	文化12年	切紙・1通	235-8-1
(庄左衛門分金額書付)		小切紙・2通	235-8-2
覚(亥年貢・国役金・八月夫錢請求) 岩船村名主九郎右衛門→東江部村庄左衛門殿	亥10月13日	横切紙・1通	235-8-3
覚(年貢・朝鮮信使国役請求) 大熊村名主→東江部村庄左衛門殿	10月	小切紙・1通	235-8-4
覚(年貢・国役金書上) 更科村		小切紙・1通	235-8-5
覚(上納・国役金受取) 吉田村名主新右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化12亥10月	切紙・1通	235-8-6
亥十月御金触 安源寺村名主→東江部邑庄左衛門殿	(亥10月)	切紙・1通	235-8-7

覚（初納・国役金請求） 西間村名主→東江部村庄左衛門 殿 14日付受取の奥書	亥10月13日	切紙・1通	235-8-8
覚（亥年貢初納・同寿栄分受取） 名主文六→庄左衛門 殿	亥10月14日	切紙・1通	235-8-9
覚（年貢・国役金・村入用受取） 片塩村名主伊右衛門→ 東江部村庄左衛門殿	亥10月14日	切紙・1通	235-8-10
覚（亥年貢二納・同寿栄分受取） 名主文六→庄左衛門 殿	亥11月14日	切紙・1通	235-8-11
覚（二納金ほか受取） 西間村名主久右衛門→東江部村 庄左衛門殿	亥11月14日	切紙・1通	235-8-12
亥十一月御金触 安源寺役元→東江部庄左衛門殿	（亥11月）	小切紙・1通	235-8-13
覚（二納・国役金受取） 吉田村名主新右衛門→東江部村 庄左衛門殿	文化12亥年11月14日	切紙・1通	235-8-14
覚（田畑高・御金・日光金など書上）	11月7日	切紙・1通	235-8-15
（かる分・庄左衛門分差引高勘定書付）		小切紙・1通	235-8-16
覚（夫給など請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	亥11月4日	小切紙・1通	235-8-17
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・2通	235-8-18
覚（年貢・国役金・日光入用受取） 西江部村名主→庄左 衛門殿	亥11月14日	切紙・1通	235-8-19
覚（年貢金・日光入用・名主組頭百姓代給受取） 片塩 村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化亥11月14日	切紙・1通	235-8-20
戌御年貢皆済目録、覚（亥年貢納辻） 西江部村名主 →庄左衛門殿 皆済目録に覚を貼継	文化12亥12月	切紙・1通	235-8-21
酉御年貢皆済目録 西江部村名主→庄左衛門殿	文化11年戌10月	切紙・1通	235-8-22
覚（亥夫銭受取） 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	12月7日	切紙・1通	235-8-23
覚（亥三納金受取） 西江部村名主→東江部村庄左衛門 殿	亥12月7日	切紙・1通	235-8-24
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・2通	235-8-25
覚（亥年貢・夫銭・御用金請求） 大熊村名主→江部村庄 左衛門殿	亥12月	切紙・1通	235-8-26
亥十二月御金触 安源寺村名主→東江部村庄左衛門殿	（亥12月）	切紙・1通	235-8-27
覚（三納金受取） 西間村名主→東江部村庄左衛門殿	亥12月	切紙・1通	235-8-28
覚（亥年貢三納・同寿栄分受取） 名主文六→庄左衛門 殿	亥12月8日	切紙・1通	235-8-29
覚（年貢米金・村入用受取） 片塩村名主伊右衛門→東 江部村庄左衛門殿	文化12年亥12月8日	切紙・1通	235-8-30
去亥御年貢皆済目録 吉田村名主新右衛門→東江部村庄 左衛門殿	文化13年子2月	切紙・1通	235-8-31
覚（夫銭・足役書上） 新右衛門→東江部庄左衛門殿	亥12月	切紙・1通	235-8-32
御年貢覚（金子受取） 吉田村名主新右衛門→東江部村 庄左衛門殿	亥12月	小切紙・1通	235-8-33
亥御年貢金請取通 岩船村名主九郎右衛門→東江部村庄 左衛門納	文化12亥年10月	折紙・1通	235-8-34

戊御年貢皆済目録 岩船村名主九郎右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化12亥年極月	横切紙・1通	235-8-35
覚（夫錢・足役初代・戌年貢不納分請求） 岩船村名主九郎右衛門→東江部村庄左衛門殿	亥極月22日	横切紙・1通	235-8-36
覚（諸役夫錢受取） 西間村名主→東江部村庄左衛門殿	亥12月23日	堅切紙・1通	235-8-37
覚（夫錢受取） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	亥極月19日	小切紙・1通	235-8-38
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・1通	235-8-39
当亥小物成御上納請取 宇木名主源藏→江部村庄左衛門殿	亥12月日	切紙・1通	235-8-40
覚（東山上納夫錢諸役受取） 小沼村名主→東江部村庄左衛門殿	子ノ正月2日	切紙・1通	235-8-41
覚（年貢・国役・夫錢書上）		小切紙・1通	235-8-42
覚（戌年年貢・国役金受取） 高遠村名主卯兵衛→東江部村庄左衛門殿	文化12亥年12月	堅切紙・1通	235-8-43

文化13年分綴

（文化13年年貢諸夫錢請求・受取書など綴）		綴り・1綴	235-9-2
覚（諸差引勘定書） 西間名主久右衛門→庄左衛門様	子2月7日	堅切紙・1通	235-9-2-1
覚（月割金請求） 大熊村名主→東江部村庄左衛門殿	子2月	小切紙・1通	235-9-2-2
子正月御金触 安源寺邑役元→東江部庄左衛門殿	（子正月）	小切紙・1通	235-9-2-3
覚（亥年貢皆済割賦金受取） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化13年子2月8日	小切紙・1通	235-9-2-4
覚（子二月御金書付） 更科村		小切紙・1通	235-9-2-5
（四納金額書付）	子2月9日	小切紙・1通	235-9-2-6
覚（亥年貢金四納分請求） 岩船村名主九郎右衛門→東江部村庄左衛門殿	子2月9日	小切紙・1通	235-9-2-7
覚（亥年貢皆済金・同寿栄分受取） 名主文六→庄左衛門殿	子2月9日	小切紙・1通	235-9-2-8
覚（亥皆済金・夫錢受取） 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	子2月9日	小切紙・1通	235-9-2-9
覚（亥皆済金受取） 吉田村名主新右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化13年子2月	小切紙・1通	235-9-2-10
去々戊御年貢皆済目録 名主要左衛門→東江部村庄左衛門殿	文化13年子2月	切継紙・1通	235-9-2-11
（安源寺村分小作入俵数書上）		小切紙・1通	235-9-2-12
覚（子村入用・田方用水引普請入用受取） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化13年子3月	切紙・1通	235-9-2-13
覚（夫錢書付） 岩船村名主→東江部村庄左衛門様	子8月4日	切紙・1通	235-9-2-14
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・4通	235-9-2-15
覚（七月夫錢書付）		小切紙・1通	235-9-2-16

覚（月割金請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	子9月	小切紙・1通	235-9-2-17
覚（子年貢初納・同寿栄分受取） 名主文六→庄左衛門殿	子10月14日	小切紙・1通	235-9-2-18
（諸金受取書付、庚申免・明神免・立苗手土井・寿栄分など）	子10月	小切紙・1通	235-9-2-19
覚（初納・国役金書上） 岩船村名主弥右衛門→東江部村庄左衛門様	子10月14日	切紙・1通	235-9-2-20
子十月御金触 安源寺村→東江部村庄左衛門殿	（子10月）	小切紙・1通	235-9-2-21
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・2通	235-9-2-22
覚（国役金ほか受取） 更科	10月15日納	小切紙・1通	235-9-2-23
覚（初納金受取） 西間村名主→東江部村庄左衛門殿 国役金受取の書添	10月14日	小切紙・1通	235-9-2-24
皆済目録 西間村名主久右衛門→庄左衛門殿	文化12亥年	横切紙・1通	235-9-2-25
覚（子年貢金・国役金・村入用・林入用受取） 片塩村 名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	子10月14日	切紙・1通	235-9-2-26
覚（金子請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	子10月	小切紙・1通	235-9-2-27
覚（十月上納金・国役金受取） 吉田村名主新右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化13年子10月	堅切紙・1通	235-9-2-28
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・2通	235-9-2-29
覚（夫給ほか請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	文化13 11月	切紙・1通	235-9-2-30
口上（二納・国役金請求） 吉田村名主新右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化13年子11月	切紙・1通	235-9-2-31
覚（二納・日光国役金受取） 吉田村名主→東江部村庄左衛門殿	子11月13日	切紙・1通	235-9-2-32
覚（二納金・日光国役金受取） 西間村名主→東江部村庄左衛門殿	子11月14日	切紙・1通	235-9-2-33
子十一月御金触 安源寺村→東江部村庄左衛門殿	子11月	切紙・1通	235-9-2-34
覚（子二納金・日光法会金・名主組頭百姓代給受取） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	子11月14日	切紙・1通	235-9-2-35
覚（日光金ほか書上） 更科村吉左衛門		切紙・1通	235-9-2-36
覚（子年貢二納金・同寿栄分受取） 名主文六→庄左衛門殿	子11月14日	切紙・1通	235-9-2-37
子御年貢皆済目録 吉田村名主新右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化13年子12月	切紙・1通	235-9-2-38
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・2通	235-9-2-39
覚（子年貢三納金・同寿栄分受取） 名主文六→庄左衛門殿	子12月8日	切紙・1通	235-9-2-40
（夫銭・足役金受取書付）	（子12月）	小切紙・1通	235-9-2-41
覚（子十二月年貢金・夫銭・足役請求） 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	子12月	切紙・1通	235-9-2-42
覚（上納・足役・夫銭書上） 吉田村名主新右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化13年子12月	横切紙・1通	235-9-2-43

覚（金額書付） 更科	子12月	小切紙・1通	235-9-2-44
子十二月御金触 安源寺村→東江部村庄左衛門殿	（子12月）	小切紙・1通	235-9-2-45
覚（金子請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	子12月4日	切継紙・1通	235-9-2-46
覚（子年貢金三納・村入用割賦受取） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	子12月8日	切紙・1通	235-9-2-47
覚（日光法会金過納分返却書） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	子12月8日	切紙・1通	235-9-2-48
覚（三納金受取） 西間村名主→東江部村庄左衛門殿	子極月8日	切紙・1通	235-9-2-49
覚（村入用・役代など受取） 西間村名主久右衛門→東江部村庄左衛門殿	子極月26日	堅切紙・1通	235-9-2-50
亥御年貢皆済目録 岩船村古名主九郎右衛門→東江部村庄左衛門様	子12月	横切紙・1通	235-9-2-51
覚（暮夫錢・足役初代・亥不納錢書上） 岩船村名主弥右衛門→東江部村庄左衛門様	子12月	横切紙・1通	235-9-2-52
覚（夫錢など請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	子極月18日	切紙・1通	235-9-2-53
林御上納請取 宇木村名主源兵衛→江部村庄左衛門殿	丑正月	切紙・1通	235-9-2-54
（亥年夫役受取書付）		小切紙・1通	235-9-2-55
覚（亥年貢取替分受取） 高遠村卯兵衛→東江部村庄左衛門殿	文化13子年12月	堅切紙・1通	235-9-2-56

文化12・13・14年分綴

（文化12・13・14年年貢諸夫錢請求・受取書など綴）		綴り・1綴	235-9-1
子之御年貢御国役皆済目録 大熊村名主庄兵衛→江部村庄左衛門殿	文化13子年12月	横切紙・1通	235-9-1-1
亥皆済目録 名主吉左衛門→庄左衛門殿		切継紙・1通	235-9-1-2
戌御年貢金皆済目録 名主嘉兵衛→江部村庄左衛門殿	文化12亥12月	切継紙・1通	235-9-1-3
子御年貢金請取通 岩船村名主弥右衛門→東江部村庄左衛門様	文化13年	横切紙・1通	235-9-1-4
覚（子御年貢金皆済割賦受取） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	丑2月9日	切紙・1通	235-9-1-5
丑二月御金ふれ（触） 安源寺村→東江部村庄左衛門殿	丑2月	小切紙・1通	235-9-1-6
覚（月割金請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	丑2月6日	小切紙・1通	235-9-1-7
覚（子四納金書上） 岩船村名主→東江部村庄左衛門殿	文化14丑年2月8日	小切紙・1通	235-9-1-8
覚（子年貢・同寿栄分受取） 名主文六→庄左衛門殿	丑2月8日	切継紙・1通	235-9-1-9
覚（二納金受取） 吉田村名主新右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化14年丑3月7日	小切紙・1通	235-9-1-10
覚（子年貢残金二月分皆済） 西江部村名主→莊左衛門殿	文化14丑2月8日	小切紙・1通	235-9-1-11
覚（金子書上） 更科 後欠		切紙・1通	235-9-1-12
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・1通	235-9-1-13

地主/年貢諸役負担/文化12・13・14年分綴

子御年貢金通 西江部村名主市左衛門→(納入庄左衛門)		横切紙・1通	235-9-1-14
覚(子四納金・村入用前割書上) 西間村名主久右衛門 →東江部村庄左衛門殿	丑2月7日	切継紙・1通	235-9-1-15
去々亥御年貢皆済目録 名主要左衛門→東江部村庄左衛門殿	文化14年丑2月	切継紙・1通	235-9-1-16
覚(未・申年貢未進分、西過納分差引皆済受取) 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化14年丑3月	横切紙・1通	235-9-1-17
御年貢皆済目録 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	文化14年丑3月	切継紙・1通	235-9-1-18
覚(丑村入用割賦金受取) 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	丑3月13日	切紙・1通	235-9-1-19

文政元年分綴

(文政元年年貢諸夫錢請求・受取書など綴)		綴り・1綴	235-10-1
去々子御歳貢皆済目録 安源寺村名主要左衛門→東江部村庄左衛門殿	文化15年寅2月	切紙・1通	235-10-1-1
覚(寅村入用割賦金受取) 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	寅3月	切紙・1通	235-10-1-2
(庄左衛門分金額書付)		小切紙・5通	235-10-1-3
覚(金子受取) 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門様	寅3月19日	切紙・1通	235-10-1-4
覚(金額書上) 新右衛門→庄左衛門殿	寅7月	切紙・1通	235-10-1-5
覚(八月夫錢書上) 岩船村名主弥右衛門→東江部村庄左衛門様	文政元寅年8月	切紙・1通	235-10-1-6
覚(国役金など請求) 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	寅10月3日	切紙・1通	235-10-1-7
(庄左衛門分金額書付)		小切紙・2通	235-10-1-8
覚(初納・国役金受取) 吉田村名主新右衛門→東江部村庄左衛門殿 青・朱紙の貼継	寅10月12日	切継紙・1通	235-10-1-9
覚(初納金・村入用内割金受取) 西間村名主→東江部村庄左衛門殿	寅10月14日	切紙・1通	235-10-1-10
覚(寅年貢初納金・夫錢請求) 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	10月	小切紙・1通	235-10-1-11
覚(寅年貢十月納・同寿栄分受取) 名主文六→庄左衛門殿	寅10月13日	切紙・1通	235-10-1-12
寅十月御金触 安源寺村→東江部村庄左衛門殿	(寅10月)	小切紙・1通	235-10-1-13
覚(年貢金・村入用・船奉加受取) 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	文政寅10月14日	切紙・1通	235-10-1-14
覚(初納・国役金書上) 岩船村名主弥右衛門→東江部村庄左衛門様	文政元年10月14日	切紙・1通	235-10-1-15
(庄左衛門分金額書付)		小切紙・2通	235-10-1-16
覚(夫給ほか請求) 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	11月2日	切紙・1通	235-10-1-17
寅十一月御金触 安源寺村→東江部村庄左衛門殿	(寅11月)	切継紙・1通	235-10-1-18

覚（二納金・御法会金受取） 吉田村名主新右衛門→東江部村庄左衛門殿	寅11月14日	切継紙・1通	235-10-1-19
寅御年貢金請取 名主文六	寅11月14日	切紙・1通	235-10-1-20
覚（国役銭など受取） 西間村名主久右衛門→東江部村庄左衛門殿	寅11月14日	切紙・1通	235-10-1-21
覚（寅年貢二納金・国役金・法会金・名主組頭百姓代給受取） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	寅11月14日	横切紙・1通	235-10-1-22
覚（年貢金三納・村入用受取） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	寅12月8日	横切紙・1通	235-10-1-23
（寅三納金・夫銭・足役請求） 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	寅12月	小切紙・1通	235-10-1-24
（夫銭・足役・年貢金書上）		切紙・1通	235-10-1-25
覚（国役・日光金書上） 名主佐野右衛門→江部庄左衛門	12月納	切紙・1通	235-10-1-26
寅十二月御金触 安源寺村→東江部村庄左衛門殿	寅12月	切紙・1通	235-10-1-27
覚（三拾金・大庄屋給など請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	寅12月2日	切紙・1通	235-10-1-28
覚（三納金受取） 西間村名主→東江部村庄左衛門殿	寅極月7日	切紙・1通	235-10-1-29
覚（寅年貢・同寿栄分受取） 名主文六→庄左衛門殿	寅12月8日	切継紙・1通	235-10-1-30
寅御年貢皆済目録 名主新右衛門→庄左衛門殿	文政元年寅12月	切継紙・1通	235-10-1-31
覚（年貢・足役・夫銭書上） 新右衛門→東江部村庄左衛門殿	寅12月8日	切継紙・1通	235-10-1-32

文政元・2年分綴

（文政元・2年年貢諸夫銭請求・受取書など綴）		綴り・1綴	235-10-2
覚（夫銭書上） 岩船村名主弥右衛門→東江部村縫之助様	卯8月3日	切紙・1通	235-10-2-1
覚（月割金請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	卯8月3日	切紙・1通	235-10-2-2
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・3通	235-10-2-3
覚（日光御用金・夫銭請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	卯7月	切紙・1通	235-10-2-4
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・1通	235-10-2-5
覚（卯村入用割賦受取） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	卯4月4日	切紙・1通	235-10-2-6
寅御年貢皆済目録 西江部村名主五左衛門→庄左衛門殿	卯2月	切継紙・1通	235-10-2-7
卯二月御金触 安源寺村役元→江部庄左衛門殿	（卯2月）	切紙・1通	235-10-2-8
去々丑御歳貢皆済目録 名主要左衛門→東江部村庄左衛門殿	文政2年卯2月	横切紙・1通	235-10-2-9
覚（寅四納金書上） 岩船村名主弥右衛門→東江部村庄左衛門様	卯2月9日	切紙・1通	235-10-2-10
覚（金1分受取） 西間村名主→東江部村庄左衛門殿	卯2月9日	切紙・1通	235-10-2-11
覚（寅年貢米金受取） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	文政2年卯2月9日	切紙・1通	235-10-2-12

覚（金子受取） 吉田村名主新右衛門→東江部村庄左衛門殿	卯2月9日	小切紙・1通	235-10-2-13
覚（寅年貢・同寿栄分受取） 名主文六→庄左衛門殿	卯2月9日	切紙・1通	235-10-2-14
（夫錢・皆済不足金など勘定書付）		切紙・1通	235-10-2-15
覚（寅年貢四納金・二月夫錢請求） 西江部村名主→庄左衛門殿	卯2月	切紙・1通	235-10-2-16
寅御年貢金請取通 西江部村名主五左衛門→東江部村納入庄左衛門殿		横切紙・1通	235-10-2-17
覚（山年貢受取） 小沼村役元→東江部村納入庄左衛門様	寅極月	切紙・1通	235-10-2-18
文政元寅御年貢金請取申候通 宇木村名主助之丞	卯正月四日	切紙・1通	235-10-2-19
覚（夫錢請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	寅極月	切紙・1通	235-10-2-20
覚（夫錢・足役書付） 名主佐野右衛門→庄左衛門殿	12月	切紙・1通	235-10-2-21
覚（年貢諸勘定、皆済目録差添） 押切村重兵衛→東江部村庄左衛門殿	文政元寅年12月	横切紙・1通	235-10-2-22
覚（夫錢・足役初代・丑過納など書上） 岩船村名主弥右衛門→東江部村庄左衛門様	文政元寅12月	切紙・1通	235-10-2-23
（庄左衛門分金額書付） 20、21は235-10-2に挟込		小切紙・2通	235-10-2-24
覚（諸役夫錢受取） 西間名主久右衛門→東江部村庄左衛門殿	寅極月26日	堅切紙・1通	235-10-2-25

文政3・4年分綴

（文政3・4年年貢諸夫錢請求・受取書など綴）		綴り・1綴	235-11
覚（国役金など請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	辰10月4日	切紙・1通	235-11-1
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・2通	235-11-2
覚（辰年貢初納金・夫錢請求） 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	辰10月	切紙・1通	235-11-3
覚（初納・田夫錢書上） 名主新右衛門→東江部村庄左衛門殿	辰10月14日	切紙・1通	235-11-4
覚（辰十月年貢金・村入用受取） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿		切紙・1通	235-11-5
覚（辰年貢初納金請求） 岩船村名主弥右衛門→東江部村庄左衛門殿	10月14日	切紙・1通	235-11-6
覚（初納金・村入用内割受取） 西間村名主久右衛門→東江部村庄左衛門殿	辰10月14日	堅切紙・1通	235-11-7
覚（縫之助・庄左衛門・寿栄分辰年貢初納金受取） 名主文六→庄左衛門殿	辰10月14日	切紙・1通	235-11-8
覚（夫給夫錢など請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	辰11月	切紙・1通	235-11-9
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・2通	235-11-10
覚（辰二納金・国役金請求） 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	辰11月	小切紙・1通	235-11-11

覚（二納・国役金受取） 吉田村名主新右衛門→東江部村庄左衛門殿	辰11月14日	切紙・1通	235-11-12
覚（御金・国役金・給割書上） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	文政3辰11月14日	切紙・1通	235-11-13
覚（縫之助・庄左衛門・寿栄分辰年貢二納金受取） 名主文六→庄左衛門殿	辰11月14日	切紙・1通	235-11-14
覚（縫之助・庄左衛門・寿栄分金額・庚申免国役金書上）		切紙・1通	235-11-15
覚（二納金・国役金受取） 西間村名主久右衛門→東江部村庄左衛門殿	辰霜月14日	切紙・1通	235-11-16
寅皆済目録 清水村名主武兵衛→庄左衛門殿	文政3年辰12月	切紙・1通	235-11-17
（金額書付）		小切紙・3通	235-11-18
覚（三拾金・大庄屋給・郡割など請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	極月	切紙・1通	235-11-19
覚（上納金受取） 西間村名主久右衛門→東江部村庄左衛門殿	辰12月8日	切紙・1通	235-11-20
（金額書付、人足賃引）		小切紙・1通	235-11-21
覚（辰三納金書付） 吉田村名主新右衛門→庄左衛門殿	12月8日	小切紙・1通	235-11-22
覚（夫錢・足役書上）		小切紙・1通	235-11-23
覚（辰年貢金三納・村入用受取） 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	文政3辰12月8日	切紙・1通	235-11-24
辰御年貢金三納請取 名主文六→庄左衛門殿	辰12月8日	切紙・1通	235-11-25
（年貢・夫錢・足役・卯皆済不足金差引勘定書）		切紙・1通	235-11-26
卯御年貢皆済目録 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	文政3辰12月	切紙・1通	235-11-27
覚（金子書上） 西間村名主→東江部村庄左衛門殿	辰12月23日	切紙・1通	235-11-28
覚（中野引湯夫錢受取） 新保村名主源右衛門→東江部村庄左衛門殿	辰12月19日	切紙・1通	235-11-29
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・1通	235-11-30
覚（夫錢・卯俵代受取） 押切村名主→庄左衛門殿	12月25日	切紙・1通	235-11-31
覚（夫錢など請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	辰極月	切紙・1通	235-11-32
覚（暮夫錢・足役代・卯不納・中野引湯高掛金書上） 岩船村名主弥右衛門→東江部村縫之助様	辰12月	切紙・1通	235-11-33
去辰御上納通 宇木組名主義兵衛→江部村庄左衛門殿		小切紙・1通	235-11-34
覚（山年貢受取） 小沼村名主	巳正月2日	小切紙・1通	235-11-35
辰御年貢請取 更科村名主定右衛門→江部村庄左衛門殿	12月	小切紙・1通	235-11-36
覚（辰四納金書上） 岩船村名主→東江部村縫之助様	巳2月9日	小切紙・1通	235-11-37
覚（金子受取） 吉田村名主新右衛門→東江部村庄左衛門殿	巳2月7日	切紙・1通	235-11-38
辰御年貢金請取 片塩村名主伊右衛門→東江部村庄左衛門殿	文政4年巳2月	切紙・1通	235-11-39
覚（上納皆済金など受取） 西間村名主→東江部村庄左	巳2月9日	切紙・1通	235-11-40

衛門殿			
覚（二月納金・夫錢前割請求） 西間村名主→東江部村庄左衛門殿	巳2月8日	切紙・1通	235-11-41
（縫之助・寿栄分など金額書上）	（巳2月分）	切紙・1通	235-11-42
覚（辰年貢四納金・同縫殿助分・同寿栄分受取） 名主 文六→庄左衛門殿	巳2月9日	切紙・1通	235-11-43
覚（辰年貢皆済金・春夫錢請求） 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	巳2月	小切紙・1通	235-11-44
覚（辰皆済金・巳二月夫錢書上）		切紙・1通	235-11-45
辰御年貢金請取通 西江部村名主五左衛門→納入庄左衛門		横切紙・1通	235-11-46

文政7年分綴

（文政7年年貢諸夫錢請求・受取書など綴） 1枚目右上 隔朱書「文政七申年」		綴り・1綴	235-12-1
覚（村入用金書上） 片塩村名主久蔵→東江部村庄左衛門殿	文政7年申4月	切紙・1通	235-12-1-1
覚（万石割夫錢請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	申7月	切紙・1通	235-12-1-2
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・2通	235-12-1-3
覚（村入用夫錢八月割賦請求） 岩船村名主豊八→東江部村庄縫之助殿	申8月6日	切紙・1通	235-12-1-4
覚（他役様夫錢請求） 西間村役元→東江部村庄左衛門殿	8月22日	切紙・1通	235-12-1-5
覚（金子受取） 西間村名主→東江部村庄左衛門様	8月25日	切紙・1通	235-12-1-6
覚（村入用金書上） 片塩村名主清左衛門→東江部村庄左衛門殿	文政7年申8月	切紙・1通	235-12-1-7
覚（七・八月夫錢書上） 吉田村名主→東江部村庄左衛門殿	申閏8月11日	切紙・1通	235-12-1-8
覚（御勘定御出役夫錢受取） 新保村名主→東江部村庄左衛門殿	申閏8月28日	切紙・1通	235-12-1-9
覚（御他役様御出につき諸入用夫錢請求） 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	申9月	切紙・1通	235-12-1-10
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・2通	235-12-1-11
覚（国役金ほか請求） 大熊村名主→東江部村庄左衛門殿	申10月	切紙・1通	235-12-1-12
覚（初納割賦請求） 西間村名主三右衛門→東江部村庄左衛門殿	申10月10日	小切紙・1通	235-12-1-13
覚（申年貢初納金・夫錢請求） 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	申10月	小切紙・1通	235-12-1-14
（金子受取書付） 片塩村名主清左衛門→東江部村庄左衛門様	申10月14日	切紙・1通	235-12-1-15
覚（縫之助・庄左衛門・寿栄分申年貢初納金請求） 名主 文右衛門→庄左衛門殿	申10月14日	切紙・1通	235-12-1-16

覚（初納金受取） 吉田村名主新右衛門→東江部村庄左衛門殿	申10月14日	切継紙・1通	235-12-1-17
覚（申年貢初納金受取） 岩舟村名主豊八→東江部村縫之助殿	申10月14日	横切紙・1通	235-12-1-18
覚（夫給ほか請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	申11月6日	切継紙・1通	235-12-1-19
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・2通	235-12-1-20
申御年貢金請取 片塩村名主清左衛門→東江部村庄左衛門殿	文政7年申11月	切紙・1通	235-12-1-21
覚（当二納金・高役金請求） 西間村名主三右衛門→東江部村庄左衛門殿	申11月10日	切継紙・1通	235-12-1-22
覚（申年貢二納金・国役金請求） 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	申11月	切紙・1通	235-12-1-23
覚（二納・国役金受取） 吉田村名主→東江部村庄左衛門殿	申11月14日	切継紙・1通	235-12-1-24
覚（縫之助・庄左衛門・寿栄分申年貢二納金受取） 名主文右衛門→庄左衛門殿	申11月14日	切継紙・1通	235-12-1-25
覚（御用金大庄屋給万石割請求） 大熊村名主→江部村庄左衛門殿	申12月	切継紙・1通	235-12-1-26
（庄左衛門分金額書付）		小切紙・2通	235-12-1-27
覚（三納金請求） 西間村名主三右衛門→東江部村庄左衛門殿	申12月5日	小切紙・1通	235-12-1-28
（書状・年貢金・足役・夫錢書上） 新右衛門→山田庄左衛門様 宛所脇付「御報」	12月6日	切継紙・1通	235-12-1-29
覚（去未定免切替入用夫錢書付） 吉田村名主→江部村庄左衛門様		小切紙・1通	235-12-1-30
御年貢金請取 片塩村名主清左衛門→東江部村庄左衛門殿	文政7年申12月	切継紙・1通	235-12-1-31
覚（申年貢三納金・夫錢・足役請求） 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	申12月	切紙・1通	235-12-1-32
未御年貢皆済目録 西江部村名主五左衛門→庄左衛門殿	文政7申12月	切継紙・1通	235-12-1-33
覚（三納金受取） 吉田村名主→東江部村庄左衛門殿	申12月7日	切紙・1通	235-12-1-34
覚（縫之助・庄左衛門・寿栄分申年貢三納金受取） 名主文右衛門→庄左衛門殿	申12月7日	切紙・1通	235-12-1-35
（縫之助・庄左衛門・寿栄分金額書上）		小切紙・1通	235-12-1-36
覚（古木代・宿料・取替分など差引勘定書） 名主文右衛門→庄左衛門殿	申3月7日	切継紙・1通	235-12-1-37
（申夫錢・足役・未皆済不足金書上）		切継紙・1通	235-12-1-38
覚（申年貢諸懸物請求） 更科村名主嘉兵衛→江部村庄左衛門殿	12月	小切紙・1通	235-12-1-39
覚（夫錢・足役・定夫・未年不納分請求） 西間村役元→東江部村庄左衛門殿	申12月20日	切継紙・1通	235-12-1-40
未御年貢金皆済目録 西間村名主三右衛門→東江部村庄左衛門殿	申12月	切継紙・1通	235-12-1-41
覚（夫錢未不納分受取） 西間村名主三右衛門→東江部村庄左衛門殿	申12月25日	切紙・1通	235-12-1-42

覚（夫錢請求） 大熊村名主→庄左衛門殿	申極月18日	切紙・1通	235-12-1-43
覚（申村入用夫錢・足役他役夫請求） 岩舟村名主豊八→東江部村名主縫之助殿	申極月26日	切紙・1通	235-12-1-44
覚（未夫錢受取） 新保村喜左衛門→東江部村庄左衛門殿	申極月日	切紙・1通	235-12-1-45
覚（上納金・夫錢受取） 押切村光藏→庄左衛門殿	文政7年申12月	切紙・1通	235-12-1-46
文政七申年御年貢通 名主助右衛門	（文政7年）	折紙・1通	235-12-1-47
（庄左衛門分上納金額書付）		小切紙・1通	235-12-1-48
未御年貢皆済目録 押切村名主永井重左衛門→江部村庄左衛門殿	文政7申12月	切紙・1通	235-12-1-49
覚（山上納金受取） 小沼村名主彦右衛門→庄左衛門殿	酉正月2日	切紙・1通	235-12-1-50
覚（山年貢受取） 宇木村名主久兵衛→江部村庄左衛門殿	文政7申12月	切紙・1通	235-12-1-51
覚（四納金受取） 西間村名主→東江部村庄左衛門殿	酉2月8日	切紙・1通	235-12-1-52
覚（四納金請求） 西間村名主三右衛門→東江部村庄左衛門殿	酉2月5日	小切紙・1通	235-12-1-53
覚（申年貢皆済金受取） 片塩村名主清左衛門→東江部村庄左衛門殿	文政8年酉2月8日	切紙・1通	235-12-1-54
覚（縫之助・庄左衛門・寿栄分申年貢金受取） 名主文右衛門→庄左衛門殿	酉2月8日	切紙・1通	235-12-1-55
覚（皆済上納金受取） 吉田村名主→東江部村庄左衛門殿	酉2月8日	切紙・1通	235-12-1-56
覚（申年貢皆済金・酉夫錢前割請求） 西江部村名主→東江部村庄左衛門殿	酉2月	切紙・1通	235-12-1-57
申御年貢金請取通 西江部村名主五左衛門→庄左衛門納		切紙・1通	235-12-1-58
覚（申年貢四納金請求） 岩舟村名主豊八→東江部村縫之助殿	酉2月8日	切紙・1通	235-12-1-59
申御年貢金請取通 西間村名主三右衛門→東江部村納人庄左衛門殿		折紙・1通	235-12-1-60

文政8年以降分綴

（文政8年年貢諸夫錢請求・受取書など綴） 1枚目右上 隅朱書「文政八酉年」		綴り・1綴	235-12-2
（文政9年年貢諸夫錢請求・受取書など綴） 1枚目右上 隅朱書「文政九戌年」		綴り・1綴	235-12-3
（文政10年年貢諸夫錢請求・受取書など綴） 1枚目右上 隅朱書「文政十亥年」、「戌年ト書違也」とも		綴り・1綴	235-13-1
（文政11年年貢諸夫錢請求・受取書など綴） 1枚目右上 隅朱書「文政十一子年」		綴り・1綴	235-13-2
（文政12年年貢諸夫錢請求・受取書など綴） 1枚目右上 隅朱書「文政十二丑年」		綴り・1綴	235-13-3
（文政13年年貢諸夫錢請求・受取書など綴） 1枚目右上 隅朱書「文政十三寅年」		綴り・1綴	235-13-4

(天保2年年貢諸夫錢請求・受取書など綴) 隅朱書「天保二卯年」	1枚目右上		綴り・1綴	235-14-1
(天保3年年貢諸夫錢請求・受取書など綴) 隅朱書「天保三辰年」	1枚目右上		綴り・1綴	235-14-2
(天保4年年貢諸夫錢請求・受取書など綴) 隅朱書「天保四巳年」	1枚目右上		綴り・1綴	235-14-3
(天保5年年貢諸夫錢請求・受取書など綴) 隅朱書「天保五午年」	朱書「天保五午年」		綴り・1綴	235-14-4
(天保6年年貢諸夫錢請求・受取書など綴) 隅朱書「天保六未年」	1枚目右上		綴り・1綴	235-15-1
(天保7年年貢諸夫錢請求・受取書など綴) 隅朱書「天保七申年」	1枚目右上		綴り・1綴	235-15-2
(天保8年年貢諸夫錢請求・受取書など綴) 隅朱書「天保八酉年」	1枚目右上		綴り・1綴	235-15-3
(天保9年年貢諸夫錢請求・受取書など綴) 隅朱書「天保九戌年」	1枚目右上		綴り・1綴	235-15-4
(岩船村分年貢皆済目録綴、酉～丑年分)		(天保11～13)	綴り・1綴	235-15-5
(嘉永7年年貢諸夫錢請求・受取書など綴)			綴り・1綴	235-17
(文久3年年貢諸夫錢請求・受取書など綴) 隅書「亥年分」	1枚目右上		綴り・1綴	235-18-1
(文久4年年貢諸夫錢請求・受取書など綴) 隅書「子年分」	1枚目右上		綴り・1綴	235-19-1
子御年貢皆済目録 岩船村名主八兵衛→東江部村山田庄左衛門様 235-19-2～7は235-19-1に挟込	12月		横切継紙・1通	235-19-2
子御年貢皆済目録 (東江部村熊太郎分) 新野村名主孫左衛門	慶応元丑年12月		横切継紙・1通	235-19-3
子御年貢皆済目録 (東江部村山田庄左衛門分) 新野村名主孫左衛門	慶応元丑年12月		横切継紙・1通	235-19-4
去子ノ御年貢皆済覚 出作役重右衛門→山田庄左衛門殿			切紙・1通	235-19-5
去子御年貢皆済目録 吉田村名主徳兵衛→東江部村山田庄左衛門殿	慶応2寅年2月		横切紙・1通	235-19-6
子御年貢皆済目録 名主与惣右衛門→山田庄左衛門殿	慶応元丑年12月		横切継紙・1通	235-19-7
(慶応元年年貢諸夫錢請求・受取書など綴) 235-20-1が全体表題だと思われる			綴り・1綴	235-20
(書付、「丑三月ゝ寅二月迄御年貢請取書并配賦、皆済目録共、丑年分」) 235-20-1～7は綴りに挟込			小切紙・1通	235-20-1
去丑御年貢皆済目録 (熊太郎分) 新野村名主孫左衛門	慶応2寅年2月		横切紙・1通	235-20-2
去丑御年貢皆済目録 (山田庄左衛門分) 新野村名主孫左衛門	慶応2寅年2月		切継紙・1通	235-20-3
丑御年貢皆済目録 片塩村名主平左衛門→東江部村山田庄左衛門殿	慶応3卯3月		横切紙・1通	235-20-4
覚 (年貢・小物成皆済書付) 奥助→山田庄左衛門殿	丑極月		切紙・1通	235-20-5

御年貢金皆済目録 名主平左衛門→納入山田庄左衛門殿	寅2月	横切継紙・1通	235-20-6
去丑御年貢皆済覚 名主彦兵衛	寅2月	横切紙・1通	235-20-7
(慶応2年年貢諸夫銭請求・受取書など綴) 235-21-1が全体表題だと思われる		綴り・1綴	235-21
(書付、「慶応二寅年」) 235-21-1～6は綴に挟込		小切紙・1通	235-21-1
寅御年貢金請取通 西江部村名主友八		横切紙・1通	235-21-2
寅御年貢 篠井村役元→東江部村山田庄左衛門		折紙・1通	235-21-3
寅御年貢請取 名主市郎		小切紙・1通	235-21-4
慶応二寅御年貢請取 岩船村名主九郎右衛門→山田庄左衛門殿		折紙・1通	235-21-5
慶応二寅年当寅御年貢金通 吉田村名主吉左衛門→東江部村納入山田庄左衛門殿		折紙・1通	235-21-6
(慶応4年年貢諸夫銭請求・受取書など綴)		綴り・1綴	235-22

村税等賦課令状

賦課令状(村税・地価割) 下高井郡穂高村長本山伊兵衛→山田庄左衛門 322-1～19は史料館封筒で一括	明治31年4月5日	切紙・1通	322-1
賦課令状(村税・地価割・反別割) 下高井郡延徳村長青木彦兵衛→山田庄左衛門	明治31年4月15日	切紙・1通	322-2
賦課令状(村税・地価割・反別割) 下高井郡延徳村長青木彦兵衛→山田理兵衛	明治31年4月15日	切紙・1通	322-3
賦課令状(町税・地価割) 下高井郡中野町長近山勝右衛門→山田庄左衛門代理人白井彦兵衛	明治31年4月30日	切紙・1通	322-4
賦課令状(町税・建坪割) 下高井郡中野町長近山勝右衛門→山田理兵衛代理人白井彦兵衛	明治31年4月30日	切紙・1通	322-5
賦課令状(村税・地価割) 下高井郡瑞穂村長村越茂助→山田庄左衛門	明治31年4月15日	切紙・1通	322-6
賦課令状(村税・地価割) 下高井郡瑞穂村長村越茂助→曾我新造代山田庄左衛門	明治31年4月15日	切紙・1通	322-7
賦課令状(村税・地価割・戸別等級割) 下高井郡平野村長武田与市→篠田佐賢代人山田庄右衛門(マ、)	明治31年4月10日	切紙・1通	322-8
賦課令状(村税・地価割) 下高井郡平野村長武田与市→亡山田ひろ進退人山田庄左衛門	明治31年4月10日	切紙・1通	322-9
賦課令状(村税・地価割) 下高井郡平野村長武田与市→山田松三郎	明治31年4月10日	切紙・1通	322-10
賦課令状(村税・地価割・戸別等級割・営業割) 下高井郡平野村長武田与市→山田理兵衛	明治31年4月10日	切紙・1通	322-11
賦課令状(村税・地価割・戸別等級割・営業割) 下高井郡平野村長武田与市→山田庄左衛門	明治31年4月10日	切紙・1通	322-12
賦課令状(村税・地価割・戸別等級割) 下高井郡平野村長武田与市→亡篠田佐賢代人山田庄左衛門	明治32年4月	切紙・1通	322-13
賦課令状(村税・地価割) 下高井郡平野村長武田与市→亡山田ひろ進退人山田庄左衛門	明治32年4月	切紙・1通	322-14

賦課令状（村税・地価割） 下高井郡平野村長武田与市 →山田松三郎	明治32年4月	切紙・1通	322-15
賦課令状（村税・地価割・戸別等級割・営業割） 下高 井郡平野村長武田与市→山田理兵衛	明治32年4月	切紙・1通	322-16
賦課令状（村税・地価割・戸別等級割・営業割） 下高 井郡平野村長武田与市→山田莊左衛門	明治32年4月	切紙・1通	322-17
賦課令状（村税・地価割・反別割） 下高井郡延徳村長青 木彦兵衛→山田庄左衛門代理人山田寿作	明治32年4月15日	切紙・1通	322-18
賦課令状（村税・地価割・反別割） 下高井郡延徳村長青 木彦兵衛→山田理兵衛代理人山田寿作	明治32年4月15日	切紙・1通	322-19

相論・訴願

高井郡安源寺・安源寺新田村借用金年賦返済請書写 （庄左衛門の訴につき） 高井郡安源寺村借り主仁兵 衛、ほか12名→内藤十右衛門様御役所、高井郡安源寺新 田村借り主藤右衛門、ほか14名→内藤十右衛門様御役所	延享3年寅6月	美・1冊	130
吉田村小作年貢滞出入一件	宝暦12午年正月	美・1冊	142
新保村質流地出入一件 信州高井郡東江部村庄左衛門倅 文治郎	明和5年子3月	美・1冊	132-2
乍恐以書付奉願上候（新保村次郎右衛門の質地請戻要求 拒否、下書） 信州高井郡東江部村百姓庄左衛門倅 文治郎	明和5子年5月	縦継紙・1通	132-1
西間村久右衛門質地請戻度之訴状壱通右返答書并質証 文写并丑之助印形願書	（明和8～天明4）	美・1冊	133-1
乍恐以追訴奉願上候（西間村久右衛門の質地請戻要求 につき） 原田清右衛門御代官所信州高井郡東江部村百 姓丑之助母あん→御奉行所様	天明3卯年8月	半・1冊	133-2
新保村惣高取米小作粗大凡取調帳（役所の仰付により 内仕立帳） 表紙「是ハ新保村惣代彦市・庄兵衛・善左衛 門を以浅野村越石江懸合御役所江訴出候由ニ付御見合ニ 被成度旨被仰付候」	寛政12年3月6日	横長美・1冊	151
新保村御高免米諸高懸小作初覚	寛政12申3月	横長美・1冊	152
道路占用並掘鑿願（願書・設計書・図面綴） 山田莊左 衛門→長野県知事近藤駿介殿	昭和11年5月	1綴	330
（道路占用并掘鑿願付図、地番図）		245×332・1鋪	330-1
○片塩村一件			
願一札之事（片塩村小作地差配人の継続願、名主中の 取放要求に対抗して） 片塩村権右衛門、久左衛門→ 東江部村庄左衛門殿	宝暦6年子3月	縦紙・1通	455-19
乍恐口上書ヲ以奉願上候（片塩村出作高役負担をめぐ る訴訟、下書） 高井郡東江部村庄左衛門、名主理右 衛門→天野助次郎様御役所 墨消	宝暦7年丑3月4日	縦紙・1通	455-18
高井郡片塩村御上納取替金小作年貢奉公人給金滞り出 入一件 高井郡東江部村庄左衛門 宝暦元年以降の小作 証文写あり	宝暦7年丑7月	美・1冊	131-2
片塩村御上納取替金・小作年貢・奉公人給金三種滞り出	宝暦7歳丑8月6日	半・1冊	131-1

入一件			
(書状、御役勤につき家別勤か賃銭勤を願いたい旨御報) (片塩村カ)	2月26日	横切継紙・1通	455-26
(書状、御自身御用御役御勤の申越を承知、差配人取放一件) 片塩村名主兵左衛門→東江部村山田庄左衛門様 切封	3月8日	横切継紙・2通	455-25
乍恐書付ヲ以奉願上候御事 (片塩村小作人ら小作年貢昫を納めず徒党、後欠)		縦紙・1通	455-17
取扱之品 (片塩村差配人取放の件で調停案)		縦紙・1通	455-20

入庫米運送控

大正十一年度入倉庫米運送控 (第一号) 地主山田莊左衛門→木嶋平農倉御中	(大正11年)	横美半・1冊	205-1
(表数書付) 205-1に挟込		藁半紙 (山形屋酒造店用紙) ・1通	205-1-1
大正十一年度入庫米運送控 (第二号) 地主山田莊左衛門→木嶋平農倉御中	(大正11年)	横美半・1冊	205-2
大正十二年度小作米運送控 (第一号) 地主山田莊左衛門→木嶋平販売組合御中 運送人佐野卯右衛門	(大正12年)	横美半・1冊	206-1
大正十二年度小作米運送控 (第二号) 地主山田莊左衛門→木嶋平販売組合御中 運送人三井重太郎	(大正12年)	横美半・1冊	206-2
(学校敷地につき書付) 206-2に挟込		切紙・1通	206-2-1
大正十三年度小作米運送控 (第一号) 地主山田莊左衛門→木嶋平販売組合御中 運送人佐野卯右衛門	(大正13年)	横美半・1冊	206-3
中村分調 206-3に挟込	大正14年5月27日	切紙・1通	206-3-1
大正十三年度小作米運送控 (第二号) 地主山田莊左衛門→木嶋平販売組合御中		横半・1冊	206-4

諸 経 営

年代 成立年代 天和3（1683）年～明治41（1908）年

数量 284点

歴史

現在のところ店卸勘定帳のような経営全体を直接的に総括する帳簿は見出されていないので、近世における山田家の経営全体の中で小作米販売や地主手作の繰綿販売などによる利益がどれだけの比重を占めていたか、酒造業の場合どうだったか、というような経営構造に関する究明は十分なされていない。しかし、近世の豪農一般に見られるように山田家は多角的な経営を展開していた。

この地域では領主米の領外移出が地理的に困難なことから、その多くが地払換金され酒造米に振り向けられたため、幕府・諸領主とも酒造業に一定の保護を与えていたと考えられ〔古川73〕、山田家では分家ともども酒造業に取り組み、遠く離れた稲荷山宿・町川田（いずれも松代藩領）に酒株を求めたり、洩田中に屋敷を求めて湯治客や草津越の商人へ酒販売をしようとしたりしている。また、金融についても正確な規模は不明だが、地域内での貸付にとどまらず、善光寺町や松代城下町の町人への商売仕入金貸から松本藩・上田藩などへの大名貸、江戸での金貸（表2で山田顕善が青年期に江戸で仏光寺門跡貸付所に出稼ぎしていることにも注目）まで幅広く行っていた。この他にも水車、質屋、中野村（町）や善光寺町での貸家なども行っていた。

その後明治10（1877）年代以降デフレ期に入ると、山田家はこれまでのような資金貸付と土地取得に対する投資を抑えて、より収益のあがる証券投資を積極的に行っていく。具体的には、明治12年の金禄公債証書などを手始めに、デフレ期の同17年から第六十三国立銀行（松代）株、横浜正金銀行株、彰真社株などを積極的に買い入れ（明治12年から20年までの投資総額は42,000円に及ぶ）、自らも明治23（1890）年に第六十三国立銀行、同38（1905）年に信濃銀行の頭取となっている（以上明治期については〔横山80〕）。このように地主資本の証券投資が著しいが、他にも石油販売や鉱山業などにも進出しようとしたようである。

構造と内容

以上のように山田家は多角的な経営を展開していたが、ここではそれを「金融」、「酒造」、「水車」、「貸家」、「北信商社」、「証券投資・銀行業」、「石油販売」、「鉱山」に分けて編成した。それぞれについて簡単に説明しておきたい。

（1）金融

「金子差引帳」には、幕末から明治初年の義印別差引帳・当座帳・台帳・万差引調帳など様々な表題をもつ帳簿を収めた。表題に差があるように若干性格のちがいはあるが、入金と出金を区分せずに日順に数年分連続で書き上げている点が共通する。例えば安政4（1857）年「義印別差引帳」（187、148頁）には「一 出金貳百両 江戸中山江預ケ、一 入金四拾両 同人より已利足取」などと諸方への貸金額と返済された元利金を記載し、時々「差引改」を行い有金を確認している。これらの帳簿

の出金・入金は、貸付金とその返済元利が多くを占めるのでここに配列したが、それにとどまらず土地売買代金、証券買入代金、酒造売上金、小作方入金も含まれており、幕末から明治初年の経営構造をうかがいうる史料であることに注意を要する。「金銀出入帳」は、明治2（1869）年以降毎年作成されており（ここで確認できるのは同8年まで）、そこでは帳簿の前半を出金、後半を入金の記載にあて、それぞれ日順に出入金額を書き上げ、帳末で年間の入金総額と出金総額を差し引きして残有金を算出するという形をとっている。明治5年分以降については先の万差引調帳と対応関係を持っている。「借金証文」には、いわゆる借金証文を収め、カッコ書で借用額や借用理由（判明する場合）を補記した。「質札所持」には、分家文六が質稼ぎを開始するにあたってすでに質稼ぎをしている本家に支障がないかを確認した関係の史料である。

（2）酒造

ここでは「酒株」、「酒造改」、「精米」、「酒販売」、「酒類納税」のサブシリーズを編成した。

「酒株」には、安永4（1775）年の松代藩による酒株吟味に際して休株を理由に運上赦免を願い出た際の史料と、松代藩町川田村の酒株取得関係の史料（年不明）、分家理右衛門家が稲荷山村酒株を上田原町瀧沢助右衛門より買い入れた関係の史料（宝永末から享保初年）を収めた。「酒造改」には、酒造制限令の請書や、実際の改に際して造込高・用不用諸道具などを書き上げた証文などを収めた。「精米」は、挽（引）米覚帳などの精米記録に関する帳簿類である。「酒販売」に関する史料はごくわずかで、文六の酒売覚帳（年不明）、享保18（1733）年の寒造売代通帳、天保8（1837）年の渋田中（湯田中）での酒店許可をめぐる小太郎口上書、の3点である。ちなみに小太郎は山田庄左衛門のことで、領知を異にする松代藩領内で酒株を取得するための仮名であったと考えられている〔古川73〕。「酒類納税」には、明治30（1897）年から同34年までの山田庄左衛門・同金四郎の下高井郡酒造組合長宛「酒類納税ニ関スル連帯契約書」と、明治37（1904）年から同39年までの長野税務署長宛「納税保証書」（水内村塩入治右衛門の酒造分につき）を収めた。

（3）水車

水車は精米など酒造業とも深く関わっているが、ここに収めたのは運上永の年季切替時における増永もしくは増永御免に関する役所宛願書控がほとんどで、水車経営そのものに関する史料は含まれていない。

（4）貸家

山田家が多少とも屋敷経営を行っていたのは確かで、表3にも「善光寺木屋平八屋敷」、「上田海野町椀甚屋敷」などがあがっているが、ここには湯田中村、中野町（村）分の貸家証文と田町忠助屋敷入上差揚帳があるだけである。田町は松代城下町内のそれではないかと思われる。

（5）北信商社

北信商社は明治2（1869）年12月に、独占的な横浜交易による利益で贖二分金の回収を図るべく伊那県が県下の豪農商に設立させた伊那県商社の支社で中野局下に設置された。現地分の史料の中には関係するものがあるが、ここには明治4（1871）年9月の社外差加金割戻差引帳（とその丁間挟込史料）があるだけである。社外差加金については、明治3年12月の中野騒動の際に騒動勢が要求項目にその

差戻しをあげている。

(6) 証券投資・銀行業

これに関する史料もごくわずかで、彰真社の定款・申合規則、横浜正金銀行の報告・定款・実際考課状、横浜生糸合名会社の決算報告、長野農工銀行の株主名簿、六十三銀行の本支店一覧表、信濃銀行の損害賠償関係書類、台湾興業合資会社関係の書状、などである。この関係の史料の多くは現地分の中に残されている。

(7) 石油販売

これについては明治33（1900）年の「石油井売買証書正式謄本」、「長野石油組契約証書正式謄本」の2冊がある。

(8) 鉱山

これは主に東京鉱山監督署との間でやりとりされた明治30（1897）年代末頃の書類で、山田荘左衛門は岩手県和賀郡谷内村金鉱や長野県北安曇郡高瀬入鉄山などで試掘を繰り返しているが、鉱業明細表に記載事項なしと記すなど本格的な事業展開はしていないようで、残された史料もわずかである。

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

諸経営

金融

金子差引帳

義印別差引帳	安政4年巳正月吉日	横美半・1冊	187
覚（金百両之利息金受取） 中野西町下妻や字八 187-1～3は丁間挟込	申12月15日	切紙・1通	187-1
覚（金百両・六十両之利息金受取） 中野西町下妻や 字八	酉12月15日	切紙・1通	187-2
覚（利息金五両請取） 中野西町下妻屋字八	未12月15日	切紙・1通	187-3
当座帳	安政6年未11月吉日～ 慶応4年	横美半・1冊	188
（元利金勘定書付） 188-1～3は丁間挟込		切紙・1通	188-1
（元利金勘定書付）		切紙・1通	188-2
（東江部分貸金勘定書付）	辰12月19日改	切紙・1通	188-3
（元利金勘定書付）		切紙・1通	188-4
万差引調帳 高井郡東江部山田庄左衛門顕純 小口「拾六 番」	明治5年壬申正月（～ 明治11）	横美列・1冊	386
（安政6年平八宛貸金の返済勘定書） 386-1～9は丁 間挟込		横切紙・1通	386-1
（商社基本金差引、出金覚）	（明治6）	折紙・1通	386-2
着物品書覚 坂本幸右衛門→山田庄左衛門様	（明治7） 戌10月16日	横切紙・1通	386-3
（諸着物代金書上）		横切紙・1通	386-4
（弘化4年井上宛貸金の返済勘定書）		切紙・1通	386-5
（金子差引勘定）		切紙・1通	386-6
（無尽懸金額・参会日通知書） 玉木世話人（六川玉木 無尽）→東江部村山田様		小切紙・1通	386-7
（無尽懸金額通知書） 玉木世話人→東江部村山田様		小切紙・1通	386-8
（栄左衛門無尽出金分の差引勘定書）		切紙・1通	386-9
台帳（金銀出入帳） 高井郡江部村山田庄左衛門	明治12年己卯1月ヨリ （～明治20年）	横美列・1冊	190
金録公債（証書番号・額面書上） 190-1・2は丁間挟込		切紙・1通	190-1
（貸金差引勘定書付）		切紙・1通	190-2
（金子貸借改帳）	明治31・32年改分	小帳・1冊	404
（書状、成田参詣日程連絡、金5円拝借願） 中山ぞ う 5→父上様 404-1～4は丁間挟込	1月29日	横切紙・1通	404-1
（元利金勘定書付）		小切紙・1通	404-2

(山田九蔵ほか宛貸金元利勘定書付)	(明治31)	小切紙・1通	404-3
記(元利金受取、写) 山田理右衛門→小林鶴吉殿	7月9日	切紙・1通	404-4

金銀出入帳

巳金銀出入帳	明治2年正月吉日	横美半・1冊	182-1
午金銀出入帳	明治3年正月吉日	横美半・1冊	182-2
未金銀出入帳	明治4年正月吉日	横美半・1冊	182-3
申金銀出入帳	明治5年正月吉日	横美半・1冊	182-5
(壬申年収支書上) 182-5の丁間挟込		折紙・1通	182-5-1
癸酉金銀出入帳	明治6年1月吉日	横美半・1冊	182-6
甲戌金銀出入帳	明治7年1月吉日	横美半・1冊	182-7
乙亥金銀出入帳	明治8年1月吉日	横美半・1冊	182-8

借金証文

預り申金子手形之事(金6両2分) 東江部村借主彦兵衛、平右衛門、佐兵衛→庄左衛門殿 455-5～7は袖を貼合、全面墨消	天和3年亥ノ12月21日	堅切紙・1通	455-5
質畑置申手形之事(金6両3分) 東江部村置主彦兵衛、同所請人佐五右衛門、同断佐兵衛、同断小兵衛、同断里兵衛、同断清右衛門→東江部村庄左衛門殿 全面墨消	貞享元年子ノ12月15日	堅紙・1通	455-6
預り申金子之事(金1分余) 源次郎、宇右衛門→文六殿 全面墨消	宝永3年戌霜月28日	堅紙・1通	455-7
預り申金子之事(金2両、粉2俵) 同村金子預り主与兵衛、同所請人八右衛門→東江部村文六殿 全面墨消	宝永8年辰ノ2月13日	堅紙・1通	455-8
預り申金子之事(金13両余、錢200文) 安源寺村預り主与左衛門、同所同断九右衛門、同所同断久兵衛、同所同断市兵衛、同所庄屋請人与兵衛→文六殿	正徳5年末12月19日	堅紙・1通	455-9
預り申新金之事(18両) 岩舟村金預り主七右衛門、同所請人文六、同断清七、同所名主角兵衛→東江部村利兵衛殿、庄左衛門殿	享保6年丑ノ12月	堅紙・1通	270-1
預り申金子之事(1両1分、錢600文) 岩舟村預り主文六、請人清七→利兵衛殿	享保12年末2月29日	堅紙・1通	270-3
預り申金子之事(1両) 岩舟村預り主清右衛門、吉田村請人与兵衛→理兵衛殿 清右衛門・与兵衛の利息に関する奥書	享保12年末ノ3月14日	堅紙・1通	270-2
預り申金子之事(3分、錢750文) 岩舟村預り主文六、同断源八、同村庄や角兵衛→東江部村庄左衛門殿、利兵衛殿	享保13年申ノ3月	堅紙・1通	270-4
預り金之事(金1両2朱) 片塩村預り主清右衛門、同断幸右衛門→利兵衛殿	享保13年申4月	堅紙・1通	452-1-10
御囲初代金御取替被下候証文之事 岩舟村名主角兵衛、百姓代清七、組頭清八→東江部村庄左衛門殿 利息につき角兵衛奥書	享保17年子ノ5月	堅紙・1通	272

諸経営/金融/借金証文

御取替被下候金子之事（年貢金2両借用） 岩舟村金預り主、名主角兵衛、組頭半左衛門、長百姓清七、同断平右衛門、同断定右衛門→東江部村利兵衛殿	享保18年丑ノ9月	堅紙・1通	271-1
預り申金子之事（1両、永189文） 岩舟村金預り主七兵衛、同所請人喜左衛門→東江部村庄左衛門殿	延享2年丑12月	堅紙・1通	270-6
預り申金子之事（1両3分） 羽場村預り主久兵衛、同村請人新右衛門→東江部村庄左衛門殿	延享2年丑閏12月	堅紙・1通	270-5
預り申金子之事（1分） 岩舟村金預り主惣八、同所請人喜左衛門→東江部村庄左衛門殿	延享3年寅12月	堅切紙・1通	270-7
預り申金子之事（2両2分、415文） 岩舟村預り主市四郎、同所請人喜左衛門→東江部村庄左衛門殿	延享4年卯ノ2月	堅切紙・1通	270-8
預り申金子之事（15両） 浅野村預り主治助、仁左衛門→江部村庄左衛門殿	延享5年辰4月12日	堅紙・1通	270-9
預り申金子之事（2両3分、1貫64文） 羽場村預り主久兵衛、同村請人新右衛門→東江部村庄左衛門殿	寛延3年午ノ極月	堅紙・1通	270-10
御年貢預り証文之事（1分、58文4分） 押切村預り主平内、同村請人小右衛門→東江部村庄左衛門殿	寛延3年午ノ極月	堅紙・1通	270-11
預り申金子之事（1分、189文） 羽場村預り主久兵衛→東江部村庄左衛門殿	宝暦元年未12月	堅切紙・1通	270-12
預り申金子之事（1両） 岩船村金預り主角兵衛、同所請人・彦兵衛代判清七→東江部村庄左衛門殿	宝暦4年戌3月日	堅切紙・1通	270-13
御取替被下候御上納金証文之事（4両1分） 岩舟村名主角兵衛、組頭作兵衛、百姓代清七、同断彦兵衛、同断吉右衛門、同断定右衛門→東江部村庄左衛門殿 利息につき三役人奥書	宝暦4年戌12月	堅紙・1通	271-2
預り申金子之事（2分宛） 押切村預り主平八、同代助	宝暦5年亥2月20日	堅切紙・1通	270-15
預り申金子之事（1両2分、225文5分） 岩舟村金預り主作兵衛、請人清七、同断角兵衛→東江部村庄左衛門殿	宝暦5年亥3月	堅紙・1通	270-14
預り申金子之事（2両、171文4歩） 岩船村金預り主与右衛門、同所請人清七、同所名主角兵衛→東江部村庄左衛門殿	宝暦6年子12月	堅紙・1通	270-16
預り申金子之事（1両1分） 岩舟村金預主清蔵、同所請人清七→東江部村庄左衛門殿 利息につき奥書	宝暦12年午12月	堅紙・1通	270-17
預り申金子之事（1両1分） 押切村預り主源左衛門、同所請人茂右衛門→東江部村庄左衛門殿、文次郎殿	明和元年申年閏12月	堅紙・1通	270-18
預り申金子之事（1両） 岩舟村金預主三左衛門、同所請人金左衛門、同所請人清七→東江部村庄左衛門殿	明和4年亥12月	堅紙・1通	270-19
預り申金子之事（1両1分） 岩舟村借主傳七、請人清七→東江部村庄左衛門殿	明和8年卯10月	堅紙・1通	270-20
借用金証文之事（商売仕入金2両3分） 借主祐吉、請人直七、請人富左衛門→庄左衛門殿	天保6年未4月	堅切紙・1通	273-2
屋敷地并建家絵図面（質物渡につき） 湯田中村質屋金七、親類、組合六右衛門→伊右衛門殿 この図面で237-9-1～6をくるみ込	（天保力）	堅紙・1通	273-9
屋敷地并建家絵図面（質物渡につき） 湯田中村質屋人金七、親類友七、組合米吉、名主六右衛門→江部村伊右衛門殿		堅紙・1通	273-9-1
借用金証文之事（金10両） 東江部村借主伊右衛門、請	天保7年申2月	堅紙・1通	273-9-2

人喜右衛門、南大熊村請人悦右衛門→庄左衛門殿 引当の湯田中村家屋敷本証文を差し出す旨伊右衛門・金七・悦右衛門の奥書			
質物相渡申家屋敷之事 湯田中村質置金七、親類要蔵、組合米吉→江部村伊右衛門殿 名主奥書	天保7申年2月	縦継紙・1通	273-9-3
借家証文之事 湯田中村借屋人金七、同所受人友七→江部村伊右衛門殿	天保7申年2月	縦紙・1通	273-9-4
差出申一札之事（借金返済日延） 中尾村借用人五左衛門、同村受人茂右衛門→江部村庄左衛門殿	嘉永3戌年12月	縦紙・1通	273-9-5
（印影、「印鑑長親」）		1点	273-9-6
借入金証文之事（金3両） 南大熊村借り主友之丞、請人勇之丞→庄左衛門殿 返済催促の飛脚賃負担につき奥書	天保7年申12月	縦継紙・1通	273-3
屋敷地并建家絵図面 水内郡善光寺桜小路八郎右衛門、西之門町請人佐兵衛、桜小路同断与三郎、新町同断新十郎、桜小路組頭源兵衛、庄屋吾左衛門→莊左衛門殿 273-8-1～4は273-8に巻込	天保9戌年10月	縦継紙・1通	273-8
借入金証文之事（商売仕入金12両2分） 水内郡善光寺桜小路借用人八郎右衛門、同所親類西之門町佐兵衛、親類中野氏家代庄之助、桜小路組合金兵衛→江部村庄左衛門殿 金兵衛名前下に貼紙	天保15辰正月	縦紙・1通	273-8-1
借入金引当書立添証文之事 水内郡善光寺桜小路借り主八郎右衛門、同所親類西之門町請人佐兵衛、親類中野氏家代同断庄之助、桜小路組合同断金兵衛→江部村庄左衛門殿 金兵衛名前下に貼紙	天保15辰正月	縦紙・1通	273-8-2
一札之事（貸金滞一件で家屋敷絵図面認直方につき） 東江部村啓助→善光寺桜小路町八郎右衛門殿	天保13寅年10月	縦紙・1通	273-8-3
借用申金子証文之事（金10両） 善光寺桜小路借用人八郎右衛門、組合組頭兼金兵衛、庄屋吾左衛門→江部村庄左衛門殿	天保13寅年9月	縦紙・1通	273-8-4
借金証文之事（金2両） 七瀬村借主市右衛門、請人茂右衛門→庄左衛門殿	天保12年丑5月	縦切紙・1通	273-5
（借用証文一括）		包紙入・3通	273-1
借入金引請証文之事（金50両） 中野村借り主長蔵→東江部村山田庄左衛門殿	万延元年11月	縦切紙・1通	273-1-1
日延一札之事（金50両の返済方） 中野村長蔵、同立合人安右衛門、同仁助→山田庄左衛門殿 包紙共	文久2戊4月	縦継紙・1通	273-1-2
借入金証文之事（商売仕入金1両2分） 信州高井郡中野村出、当時江戸牛込改代町家主亦三郎店借主仁右衛門→庄左衛門殿	天保12丑年10月	縦切紙・1通	273-1-3
借用申金子証文之事（金5両） 水内郡善光寺新町借主権右衛門、親類内蔵之助、組合文右衛門、組頭長兵衛→東江部村庄左衛門殿 庄屋奥書	天保13寅年12月	縦紙・1通	273-6
年賦金証文之事（商売仕入借入金残高42両返済方） 瀬戸物町新兵衛店借主栄助、三田新町音次郎店証人喜八、外神田旅籠町与兵衛店同庄助→東江部村庄左衛門殿	天保14卯年6月	縦紙・1通	273-4
借入金証文之事（金5両） 水内郡善光寺新町借主権右衛門、親類内蔵之助、組合文右衛門、組頭長兵衛、庄屋長治郎→東江部村庄左衛門殿	天保15年辰正月	縦紙・1通	273-27
借入金証文之事（商売元手金10両） 小田中村上組借	弘化元年辰12月	縦継紙・1通	275

主治作、請人太兵衛→東江部村庄左衛門殿 名主奥書			
借入金証文之事（商売仕入金20両） 水内郡中尾村借用人主五郎左衛門、請人庄蔵→高井郡東江部村庄左衛門殿 組頭奥書	弘化2年巳5月	豎紙・1通	273-12
（元利金返済勘定書） 273-12-1・2は273-12に挟込		小切継紙・1通	273-12-1
（田6筆書上、借金引当力）		小切紙・1通	273-12-2
借入金証文之事（金1両） 中野村借主瀬兵衛、請人宇吉→東江部村庄左衛門殿	弘化2年巳12月	堅切紙・1通	273-10
借入金証文之事（商売仕入金50両） 松代町近江屋借主作右衛門、福原村受人庄次郎→東江部村庄左衛門殿 包紙共	弘化3年午3月	豎紙・1通	273-26
覚（元金50両至急返済願） 山田庄左衛門→佐藤長左衛門 273-26の包紙入	嘉永4亥12月13日	切継紙・1通	273-26-1
（押切村文左衛門借金関係一括）	（弘化3～嘉永元）	帯封一括・6通	273-11
借入金証文之事（金40両） 押切村借主文左衛門、請人仁右衛門、請人利右衛門→東江部村庄左衛門殿	嘉永元年申12月	堅継紙・1通	273-11-1
売極証文之事（極上苗甘草、代金50両） 押切村願人文左衛門、請人永井重右衛門→東江部村庄左衛門殿	弘化3年午7月	堅切紙・1通	273-11-2
預申種代金之事（金60両） 押切村願主文左衛門、請人利右衛門、請人仁右衛門→東江部村庄左衛門殿 利金につき文左衛門らの奥書	弘化4年未12月	堅継紙・1通	273-11-3
預申種代金之事（金20両） 押切村願主文左衛門、請人利右衛門、請人仁右衛門→東江部村庄左衛門殿 利金の奥書	弘化4年未12月	堅継紙・1通	273-11-4
日延一札之事（村方分種子前借金80両、自分借入金57両の返済日延） 押切村借主文左衛門、請人仁右衛門、請人利右衛門→東江部村庄左衛門殿	嘉永元年申12月	堅継紙・1通	273-11-5
借入金証文之事（金17両） 押切村借主文左衛門、請人利右衛門、請人仁右衛門→東江部村庄左衛門殿	弘化4年未12月	堅継紙・1通	273-11-6
借入金証文之事（金2両2分） 平林村借主市左衛門、請人孫右衛門、請人善左衛門→東江部村庄左衛門殿	嘉永元年申12月	堅切紙・1通	273-16
借入金証文之事（商売仕入金20両） 新保村借主紋右衛門、請人安右衛門→東江部村庄左衛門殿 名主奥書	嘉永2年酉12月	堅継紙・1通	273-13
借入金証文之事（金10両） 高井郡中野村借用人定七、同所請人弓五郎→東江部村久蔵殿	嘉永3戌12月	豎紙・1通	273-15
借入金証文之事（金2両2分） 六川村借主一應、片塩村請人喜代太郎→東江部村庄左衛門殿	嘉永6年丑5月	豎紙・1通	273-14
借入金証文之事（金30両） 戸狩村借主相蔵、同人伴三代吉、請人竹治郎→東江部村庄左衛門殿 名主奥書	嘉永7寅12月	堅継紙・1通	273-17
借入金証文之事（金1両） 上条村借主みよ、同人娘みす、同村請人国蔵→東江部村庄左衛門殿	安政元寅年12月	堅継紙・1通	273-19
借入金証文之事（金5両） 高井郡新保村借主紋右衛門、同村請人儀助→東江部村山田庄左衛門殿	安政4巳年11月	豎紙・1通	273-21
借用申金子之事（商売仕入金3両） 中野新町借用主佐兵衛→山田庄左衛門殿	安政5年午5月	豎紙・1通	273-18
差出申一札之事（金30両借用） 山下道平→山田庄左衛門殿 包紙共	安政6未年8月6日	豎紙・1通	273-20

(書状、金30両差立の礼、関東水害の様子、永平寺僧の書を進上、など) 道平→庄左衛門様 封筒共、273-20の包紙入	8月9日	横切継紙・1通	273-20-1
覚(金10両借用仮証書) (上田原町) 布屋市郎右衛門→山田庄左衛門殿 2枚の包紙入	安政6未9月24日	切紙・1通	273-22
借入金証文之事(商売仕入金50両) 中野村借用人太兵衛、同請人長蔵、同断友右衛門→東江部村山田庄左衛門殿	万延元申年11月	縦紙・1通	273-7
借用申金子証文之事(金20両) 駒沢勇左衛門、駒沢頼母→山田庄左衛門殿 包紙共	文久2壬戌年2月	縦紙・1通	273-24
(書状、20両融通の礼) (駒沢) 勇左衛門→庄左衛門様、人々御中 封筒共、273-24の包紙入	2月23日	横切継紙・1通	273-24-1
借用申金子証文之事(金50両) 丸山兵衛次郎→山田庄左衛門殿	文久4子年正月	縦継紙・1通	273-23
借入金証書之事(金10両) 須坂家中丸山良平→山田庄左衛門様 包紙共	未12月	縦紙・1通	273-25
(書状、金子借用願) 丸山良平拝→山田庄左衛門様机下 封筒共、273-25の包紙入	12月29日	横切継紙・1通	273-25-1
預り申金子之事 片塩村三右衛門 開披不能		1通	452-1-7
預り申金子之事(金120両、下書) 清八、伊左衛門、名主六之丈	年号月日	縦紙・1通	452-1-23-3
乍恐書付以再願奉申上候御事(片塩村、安源寺村年賦金差滞りにつき) 高井郡東江部村願人庄左衛門、名主利右衛門→小野三太夫様御役所 差出に墨消	卯12月	縦紙・1通	452-1-24
預り金年賦証文之事(金9両、下書)		縦紙・1通	455-3

質札所持

御吟味二付申上候書付(文六の質稼に故障ない旨) 高井郡東江部村百姓庄左衛門→河尻甚五郎様中野御役所組頭奥書、下部欠、本文墨消あり	寛政6寅年間11月	縦紙・1通	432-1
御吟味二附申上候書付(文六の質稼に故障ない旨) 高井郡東江部村百姓庄左衛門印→河尻甚五郎様中野御役所組頭奥書、端裏書「文六質札添願写」	寛政6年寅閏11月	縦紙・1通	432-2
質札御引替二付請書	寛政10年午3月	美・1冊	433
(質札図面、表・宝暦四年戌四月質札、裏・信州高井郡東江部村庄左衛門) 433に挟込		切紙・1枚	433-1

その他

商法借入金証簿 山田文六→山田本宅様	明治5年壬申2月	横美半・1冊	189
(書状、約束の金子を証文と引替に借用願) 吉田村清左衛門→利兵衛様	2月20日	横切紙・1通	452-1-4
(書状、2月中約束の金1両2分借用願) 吉田村清左衛門→東江部村利兵衛様 切封	4月13日	横切紙・1通	452-1-5
覚(2両2分余借用願) 西江部村長嶋清右衛門→東江部村山田理兵衛様人々御中 切封	閏霜月28日	横切継紙・1通	452-1-23-4

連判金請取 剥落した貼紙2枚共

横長美・仮1冊

52

酒造

酒株

乍恐書付を以奉願上候（休株につき運上赦免願） 高井郡東江部村休酒造屋庄左衛門、（貼紙）「洪村小太郎事」→松代職御奉行所永井四郎右衛門様 264-1～3は2枚の包紙入	安永4年未5月	縦紙・1通	264-1
乍恐書付ヲ以奉申上候（所持酒株吟味につき本書・写差上） 高井郡東江部村休酒造屋庄左衛門、（貼紙）「洪村小太郎事」→松代職御奉行永井四郎右衛門様	安永4年未5月	縦紙・1通	264-2
（継添書付、前書部分なし） 高井郡東江部村酒造屋洪村小太郎事庄左衛門→松代職御奉行長井四郎右衛門様	安永4年未5月	縦切継紙・1通	264-3
乍恐書付を以奉願上候（佐久郡平賀村定右衛門への酒造株譲渡願下書） 高井郡東江部村酒造株譲渡人利右衛門 定右衛門奥書、東江部村・平賀村村役人奥書あり、印鑑墨消	文化元子年9月	縦継紙・1通	288
○町川田村株			
（庄左衛門所持町川田村酒林上納方につき伺書） 包紙共	5月22日	横切紙・1通	265-20
（洪湯村へ封状送書） 池与兵衛→東寺尾村、町川田村、福嶋村、大熊村、佐野村、右村々肝煎 剥離した継紙か	11月19日	切紙・1通	265-21
（文書袋、「松代御領分酒株壹本、町川田村喜六も買候酒林」） 265-19～21は265と266の史料館封筒に挟まれ置かれていたもの		袋・1袋	265-19
○理右衛門稲荷山株			
（理右衛門の稲荷山酒株買入関係史料一括） 史料館封筒一括			260
いなり山酒道具覚（売渡品書上） 利右衛門→文六殿 利右衛門・文六・文右衛門の指引目録を結付	享保元年申極月7日	折紙・1通	260-1
覚（酒道具・酒蔵代受取） 上田瀧沢助右衛門→いなり山出ミセ山田吉右衛門殿	子正月17日	縦紙・1通	260-2
売渡申酒林酒蔵諸道具手形之事 上田原町売主瀧沢助右衛門、口入今井村小林七兵衛、口入いなり山須見与次兵衛、証人同所永野文左衛門→東江辺村山田利右衛門殿	宝永4年亥10月9日	縦紙・1通	260-3
「利右衛門殿も請取証文」 下書紙など3枚を包紙に利用		包紙入・5通1冊1枚	260-4
売渡申酒株式本酒道具手形之事（稲荷山酒株、写） 当村酒株酒道具売人利右衛門印、請人文右衛門印→東江部村文六殿 利右衛門酒造再開の旨享和2年付の奥書、包紙共	享保元申年12月	縦紙・1通	260-4-1
（包紙、上書「稲荷山酒株」）		1枚	260-4-2
奉願上口上書（稲荷山株による酒造開始許可願、下書） 金丸又左衛門御代官所江辺村理右衛門、いなり山村庄や与次兵衛→御奉行様	（宝永3～5年）	縦紙・1通	260-4-3
一札之事（酒出店勤人の身元保証、下書） 江辺村理右衛門、同所たれ→いなり山与次兵衛、組頭中	年号月日	縦紙・1通	260-4-4

酒道具一巻覚 上田町瀧沢助右衛門→東江辺村山田利右衛門殿	亥10月9日	横長美・1冊	260-4-5
乍恐以書付奉願候御事（稲荷山引払、在所で酒株営業願、写） 金丸四郎兵衛御代官所高井郡東江部村利右衛門判→御奉行様（上田） 1通は下書、こより一括	宝永8年卯2月	縦紙・2通	260-4-6
乍恐以書付奉願上候御事（弟文六酒株2本に分株願、下書） 東江部村名主願人利右衛門、同断文六、同村組頭たれ→中野御役所 包紙共	宝永7年寅9月	縦切紙・1通	261-1
乍恐以書付ヲ奉願上候御事（弟文六酒株2本に分株願、控） 東江部村名主願人利右衛門判、同断文六判、同村組頭弥兵衛判→中野御役所 261-1の包紙入	宝永7年寅9月	縦紙・1通	261-2
仕上一札之事（上田領原町より買得の稲荷山酒株を公儀改時に隠したため、株売却・酒造停止の証文） 東江部村酒株主利右衛門、同村庄屋文右衛門、同村組頭嘉兵衛→村上清右衛門様、佐藤権左衛門様、塩田三右衛門様	享保元申年11月4日	縦継紙・1通	263-1
覚（稲荷山酒林買証文） 駒場村酒林買主孫左衛門→東江部村酒林売人利右衛門殿	享保元年申11月	縦切紙・1通	262
覚（稲荷山酒株を駒場村孫左衛門に売却し酒造を停止した旨） 東江部村酒株売人利右衛門印、同所証人小左衛門印、同所証人文右衛門印→御郡代中様 「飯山御会所江上候写」と書込	享保元申年11月27日	縦紙・1通	263-2

酒造改

指上ケ申一札之事（酒造制限令の請書、雛形） 高井郡何村酒屋たれ、同所名主たれ、同所たれ→御代官様	宝永2年酉極月25日	縦紙・1通	455-12
（酒造道具不用分封印証文、前欠） 東江部村酒や文六、名主理右衛門、組頭弥兵衛 破損、裏書「東江部村手形」	宝永5年子12月	縦継紙・1通	452-1-22
乍恐以書付奉願上候（新規酒桶の極印願） 高井郡東江部村酒造人庄左衛門、名主文六、組頭彦五郎、同伊兵衛→上野四郎三郎様御役所	享和元酉年11月	縦紙・1通	455-1
「酒造改書附并封印紙入（申十二月十五日恒川左内殿出役）」	万延元年	包紙入・2通・26枚	434
差上申一札之事（酒造半減令請証文）	万延元年申12月	切継紙・1通	434-1
（酒造道具用・不用分改書） 東江部村酒造人山田庄左衛門→上	万延元申年12月	切継紙・1通	434-2
（封印紙）	申12月16日	小切紙・26枚	434-3
差上申御請証文之事（庄左衛門酒造改） 右名主山田庄左衛門、組頭理右衛門、同市右衛門、百姓代文六→増田安兵衛様御手附松山辰三郎殿 端裏書「文久三亥年四月十九日御廻村酒造御改請証文帳控、但縦帳ニ致」	文久3亥年4月	縦継紙・1通	435-1
酒造御改之節御礼諸雑用控 436は史料館封筒一括	慶応元年丑12月	横長美・1冊	436-1
（礼金差出人・受取人・金額書上）		切継紙・1通	436-2
出金覚	元治2丑2月19日割合	折紙・1通	436-3
（山田庄左衛門ほか25名名前書上、酒造改礼金差出人方）		折紙・1通	436-4
酒造御改御礼割合名前控、御礼控		折紙・1通	436-5

諸経営/酒造/酒造改

差上申御請証文之事（庄左衛門酒造改） 当御代官所 信濃国高井郡東江部村稼人山田庄左衛門、組頭市右衛門、 名主理兵衛→小川達太郎様中野御役所 表紙「元治二丑 年二月御遠見願御見分之趣ニ而請書差出候控」	元治2丑年2月	美・1冊	435-2
（三分一酒造令請印書、控） 郡中酒造稼人不残、同断 差添村役人一人ツ、連印→中野御役所	慶応2寅年7月23日	豎継紙・1通	437
（封印預酒造道具の極印を除き破却・転用すべき旨につ き請書、部分）	辰2月23日	豎紙・1通	455-14
覚（五尺桶造酒高、米・粃・水分量書上）	丑2月	横切紙・1通	435-3
覚（封印預酒造道具の書上） 何村酒屋誰判→御代官様	酉ノ12月	豎紙・1通	455-13

精米

午之引米覚 信州高井郡山田戌松・山田吉松 表紙はずれ	正徳4年9月大吉日	横長半・1冊	118-5
酉引米 []（万引米并付米帳） 山田氏戌松（顕良） 破損大	享保2丁酉	横長半・1冊	118-3
卯挽米覚帳 東江部村山田顕良 書状・覚を後に括付	享保8癸年7月吉辰	横長半・1冊	118-4
巳造挽米白米日記帳 東江部村山田利兵衛	享保10年8月吉日	横長美・1冊	119
亥年挽 [] 破損大	享保16、8月吉	横長半・1冊	118-2
丑年挽 []（挽石数覚） 破損大	享保18癸6月	横長半・1冊	118-1
辰挽米精米改帳 東江部村山田理兵衛 表紙の断簡、121 は史料館封筒で一括	元文元年7月吉日	帳崩・2枚	121-1
（挽米改帳綴） 複数帳簿を一括綴、破損大	元文2年～同3年	横長美・1冊	121-2
未酒米摺精穀数改帳 東江部村山田理兵衛 代金受取覚 書などの綴を後に括付	元文4年8月吉祥	横長美・1冊	122
酉酒米挽精改帳 東江部村山田庄左衛門	寛保元年10月吉日	横長半・1冊	123
酒造米挽屋車屋 []	元治元年子11月吉日 （～慶応元）	横美半・1冊	125
酒造米挽屋車屋日記（表紙写） 125-1・2は丁間挟込	文政10年亥10月吉日	切紙・1枚	125-1
米洗帳（表紙写）	文政11年子10月吉日	切紙・1枚	125-2
搗挽帳	元治元年子11月吉日 （～明治3）	横美半・1冊	124
[] 米覚帳（挽石数覚） 東江部村戌吉 表紙の断 簡	8月吉祥日	帳崩・1枚	118-6

酒販売

寒造売代通帳 東江部村佐野右衛門	享保18年癸丑正月吉祥	横美半折・1冊	120
乍恐口上書を以御訴申上候（洪田中での酒店許可願、 沓野衆と相論） 小太郎→御奉行様	天保8年卯6月	豎紙・1通	455-22
酉酒書出し（酒売覚） 文六		横長半・1冊	117

酒類納税

酒類納税ニ関スル連帯契約書（山田理兵衛、製造見込高200石） 右酒類製造主連帯契約人山田理兵衛、連帯契約人山田莊左衛門、連帯契約人山田文六→長野県下高井郡酒造組合長関申七郎殿	明治30年	1通	326-1
酒類納税ニ関スル連帯契約書（山田莊左衛門、製造見込高180石） 右酒類製造主連帯契約人山田莊左衛門、連帯契約人山田理兵衛、連帯契約人山田文六→長野県下高井郡酒造組合長関申七郎殿	明治30年	1通	326-2
酒類納税ニ関スル連帯契約書（山田莊左衛門、製造見込高217石余） 右酒類製造主連帯契約人山田莊左衛門、連帯契約人山田理兵衛、連帯契約人関谷孝之助→長野県下高井郡酒造組合長関申七郎殿	明治33年10月	1通	326-3
酒類納税ニ関スル連帯契約書（山田莊左衛門、製造見込高193石余） 右酒類製造主連帯契約人山田莊左衛門、連帯契約人山田金四郎、連帯契約人山田文六→長野県下高井郡酒造組合長関申七郎殿	明治34年9月	1通	326-4
酒類納税ニ関スル連帯契約書（山田金四郎、製造見込高268石余） 右酒類製造主連帯契約人山田金四郎、連帯契約人山田莊左衛門、連帯契約人山田文六→長野県下高井郡酒造組合長関申七郎殿	明治34年	1通	326-5
納税保証書（製造主水内村塩入治右衛門、清酒1000石余、焼酎3石余） 山田莊左衛門 印鑑・印紙墨消、欄外に「第一六号」	明治36年10月21日	赤罫紙・1通	326-6
納税保証書（製造主水内村塩入治右衛門、増造石41石余） 山田莊左衛門→長野税務署長税務官中村尚銅殿 印鑑・印紙墨消、欄外に「一七」	明治37年2月27日	赤罫紙・1通	326-7
納税保証書（製造主水内村塩入治右衛門、清酒1000石余、焼酎1石余） 山田莊左衛門 印鑑・印紙墨消、欄外に「一八」	明治37年10月1日	青罫紙・1通	326-8
納税保証書（製造主水内村塩入治右衛門、清酒764石余） 山田莊左衛門 印鑑・印紙墨消、欄外に「一九」	明治38年10月1日	赤罫紙・1通	326-9
納税保証書（製造主水内村塩入治右衛門分、清酒19石余） 山田莊左衛門→長野税務署長税務官中村尚銅殿 印鑑・印紙墨消、欄外に「二〇」	明治39年3月31日	赤罫紙・1通	326-10

その他

借用申酒造蔵并諸道具証文之事 高井郡戸狩村借家人三代吉、同人親相蔵、同所請人竹次郎、同郡篠井村請人庄助→同郡東江部村庄左衛門殿	嘉永4年亥3月	縦継紙・1通	268
蔵法度并とうし（杜氏）可嗜作法書覚帳		横長半・1冊	116

水車

（職人受領名改・水車運上改の廻状、写） 大野佐左衛門中野御役所	（明和3）戌12月20日	横切継紙・1通	265-15
乍恐書付ヲ以奉申上候御事（古来より庄左衛門水車無運上の旨、控） 東江部村名主理右衛門、組頭文左衛門、同庄吉、百姓代文右衛門、水車持主庄左衛門→大野	明和3年戌12月	縦継紙・1通	265-1

佐左衛門様中野御役所 亥正月付村役人・庄左衛門連名の 相応の運上を支払う旨継添書			
(中野役所水車運上改御書付、写)	明和7年寅12月	堅紙・1通	265-2
乍恐書付ヲ以奉申上候 (酒造専用水車につき運上御免 願、控) 高井郡東江部村名主理右衛門、組頭文左衛門、 同断庄吉、百姓代文右衛門、持主庄左衛門→白井吉之丞 様中野御役所	明和7年寅12月	堅継紙・1通	265-3
乍恐書付ヲ以奉申上候御事 (酒造専用水車につき運上 御免願) 高井郡東江部村名主理右衛門、組頭文左衛門、 同断庄吉、百姓代文右衛門、持主庄左衛門→白井吉之丞 様中野御役所	明和7年寅12月	堅紙・1通	265-6
(中野役所での増永の継添書付作成に関する経緯書)	明和8年卯正月28日	堅切紙・1通	265-14
乍恐書付ヲ以奉申上候 (水車運上上納願、控) 高井 郡東江部村名主理右衛門、与頭文左衛門、同庄吉、百姓 代文右衛門、車持主庄左衛門→白井吉之丞様中野御役所	明和8年卯正月	堅継紙・1通	265-9
(水車運上関係書類一括)	寛政3年	こより一括・3通	267-8
(水車運上増永につき添状写、元締とのやりとりも 記録) 東江部村車屋丑之助事庄左衛門、名主、組頭、 百姓代	亥3月1日	切継紙・1通	267-8-1
乍恐以書付奉願上候 (水車運上増永御免願、控) 高井 郡東江部村名主吉太郎、与頭利七、同治助、百姓 代文右衛門、水車持主庄左衛門、中野御役所	寛政3年亥2月	堅紙・1通	267-8-2
差上申一札之事 (切替増の運上永納請書) 信州高 井郡東江部村願人庄左衛門、百姓代文右衛門、与頭治 助、同利七、名主吉太郎→風祭求馬様中野御役所	寛政3亥年7月	堅紙・1通	267-8-3
(水車運上切替願書入包)	寛政13年2月	1包・2通	267-7
乍恐以書附奉願上候 (水車運上増永御免願) 高井 郡東江部村名主文六、与頭彦五郎、願人百姓代庄左衛 門→上野四郎三郎様御役所 端裏書「二月十二日如此 訴出候所増永無之候而者御伺難相済ニ付永壹文増永仕 書上可申旨被仰付候」	寛政13年酉2月	堅紙・1通	267-7-1
乍恐以書附奉願上候 (水車運上増永願) 高井郡東 江部村水車持主願人庄左衛門、名主文六、与頭彦五郎 →上野四郎三郎様御役所 端裏書「被仰渡ニ付相直し 差上候控」	寛政13年酉2月	堅継紙・1通	267-7-2
乍恐以書附奉願上候 (水車運上増永御免願) 高井郡 東江部村願人庄左衛門、名主文六、与頭文蔵→稲垣藤四 郎様御役所 端裏書「文化八未水車年季明ニ付差上候願 書控」	文化8年未閏2月	堅継紙・1通	267-6
(庄左衛門分酒造・水車冥加永書上)	文政2年卯7月	堅切紙・1通	266
乍恐以書附奉願上候 (水車運上増永御免願) 端裏書 「文政三辰十月十七日水車切替ニ付願書奉差上候控書」	文政3年辰10月	堅紙・1通	267-4
乍恐以書附奉願上候 (水車運上増永願) 高井郡東江 部村水車持主願人百姓代庄左衛門、名主文右衛門、組頭 理右衛門→井上五郎左衛門様御役所 端裏書「此通り相 認持参致し候得共此書付ハ差上不申候」、差出人印墨消	天保2年卯正月	堅継紙・1通	267-2
乍恐以書附奉願上候 (水車運上増永御免願) 高井郡 東江部村水車持主願人百姓代庄左衛門、名主文右衛門、 組頭理右衛門→井上五郎左衛門様御役所 端裏書「天保 二卯正月廿四日切替願書差上候控」	天保2年卯正月	堅継紙・1通	267-3
乍恐以書附奉願上候 (水車運上増永御免願) 高井郡	天保12年丑2月	堅継紙・1通	267-1

東江部村水車持主願人百姓代庄左衛門、名主理右衛門、組頭市右衛門→北條雄之助様御役所 端裏書「天保十二丑二月朔日水車切替願書控、丑六月十五日御下知相済請印稼人三役印也、稼人庄左衛門・亥輔・五右衛門三人ニ而一分ツ、出金、御礼左之通り仕候、元ノ様江百疋御掛り江式百疋也」			
* 地代金請取一札（水車敷地、10年季金20円） 下高井郡篠井村地主田中清吉、同受人田中應助→山田莊左衛門殿 446-2は紙帯一括	明治19年2月21日	縦継紙・1通	446-2-1
* 借家証文之事（水車1ヶ所） 下高井郡篠井村借家人田中清吉、同受人田中應助→山田莊左衛門殿	明治19年2月21日	縦継紙・1通	446-2-2
（水車につき差紙廻状、写） 大野佐左衛門中野御役所→高井郡吉田村、東江部村、間山村	2月14日	横切紙・1通	265-17
（水車運上年季切替跡請願御下知につき稼人・村役人呼出廻状） 中野役所→片塩村、東江部村、新野村、間山村、右村々役人 端裏書「卯十月廿九日御下知相済候段被仰渡稼人并名主組頭百姓代御請印形御取被遊候、御掛り元ノ飯田八郎様江御礼金百疋差上候」	卯10月28日	切紙・1通	267-5
乍恐書付ヲ以奉申上候御事（酒造専用水車につき運上御免願、写）		縦紙・1通	265-4
乍恐書付ヲ以奉申上候（酒造専用水車につき運上御免願、下書）		縦紙・1通	265-5
乍恐書付ヲ以奉申上候御事（酒造専用水車につき運上御免願） 全面墨消、端裏書「はぐ」		縦紙・1通	265-7
乍恐以書付奉申上候御事（酒造専用水車につき運上御免願）		縦紙・1通	265-8
（水車運上御免願、下書）		縦紙・1通	265-10
乍恐口上書ヲ以御答申上奉候事（水車運上を賦課されるならば江戸表へ訴訟する旨、下書）		縦紙・1通	265-11
水車御運上（新規賦課の経緯書）		縦紙・1通	265-12
（水車運上御免願、部分）		縦紙・1通	265-13
（水車運上御免願、部分下書）		切紙・1通	265-16
（亥正月継添印形取の旨書付） 「本文酒造米高式拾四石」の付箋を挟込		切紙・1通	265-18

貸家

借家証文之事（1年季、2両2分） 中野借家人弥作、松川請人吉、中野請人銀蔵→江部庄左衛門殿	天保4年巳12月	縦紙・1通	274
借家証文之事（湯田中村分酒造売場・室屋借用） 湯田中村借家人六右衛門、請人六兵衛→山田庄左衛門殿	安政6未年7月	縦紙・1通	269
田町忠助屋敷入揚差引帳 山田莊左衛門	明治7年2月ヨリ	横美半折・1冊	310

北信商社

社外差加金割戻差引帳 北信会社	明治4年未9月	半・1冊	403
-----------------	---------	------	-----

(差出金勘定書) 403-1~3は丁間挟込		切継紙・1通	403-1
口演 (商社事件につき会議招集) 元北信会社→中の武七様、治兵衛様、佐左衛門様、松川百次郎様、平六様	7月19日	横切継紙・1通	403-2
(間長瀬村新田などの金子勘定書)		横切継紙・1通	403-3

証券投資・銀行業

彰真社

彰真社定款 小林元辰、山田莊左衛門、倉石吉左衛門、小出八郎右衛門、牧新七、小坂善三、箕輪五助、中山彦輔	明治20年4月1日	1冊	376-1
彰真社申合規則 小林元辰、山田莊左衛門、倉石吉左衛門、小出八郎右衛門、牧新七、小坂善三、箕輪五助、中山彦輔	明治20年4月1日	1冊	376-2

横浜正金銀行

第拾壹回半季實際考課状 横濱正金銀行 破損、後欠	明治18年上半季	刊・1冊	465-4
第十四回半季實際考課状 横濱正金銀行	明治19年下半季	刊・1冊	465-5
横濱正金銀行定款 「別紙」挟込	明治20年7月30日制定	刊・1冊	465-3
第拾五回半季實際考課状 横濱正金銀行	明治20年上半季	刊・1冊	465-6
第拾六回半季報告 横濱正金銀行	明治20年下半季	刊・1冊	465-7
第拾七回半季報告 横濱正金銀行	明治21年上半季	刊・1冊	465-1
第拾八回半季報告 横濱正金銀行 「第五十六号報告」挟込	明治21年下半季	刊・1冊	465-2
第拾九回半季報告 横濱正金銀行 後部破損	明治22年上半季	刊・1冊	465-8

横浜生糸合名会社

生糸合名会社決算報告 (第8~13回営業報告綴) 横浜生糸合名会社	明治34年7月ヨリ (明治33~39)	仮綴・1綴	385
-----------------------------------	---------------------	-------	-----

長野農工銀行

上高井郡株主名簿写 (長野農工銀行)	明治39年12月現在	仮綴・1冊	366
--------------------	------------	-------	-----

六十三銀行

株式会社六十三銀行本支店一覧表 (支店別決算報告) 株式会社六十三銀行→ (山田莊左衛門殿)	明治31年9月~同35年3月	42通	321
--	----------------	-----	-----

信濃銀行

(信濃銀行定時・臨時株主総会開催通知) 株式会社信濃銀行頭取山田莊左衛門→株主貴下 議案・財産目録・貸	明治41年1月6日	1通 (4枚)	368
---	-----------	---------	-----

借対照表・損益計算書・利益金分配案共 (信濃銀行損害賠償関係書類一括)		包紙入・3通2冊	329
(信濃銀行株千株差出により山田莊左衛門の損害賠償解除に賛同する誓約書) 信濃銀行株主……		赤罫紙・1通	329-1
覚書(山田莊左衛門・松三郎の負債賠償につき)		赤罫紙・1通	329-2
南條博士其日其日ノ五ヶ條(腹ヲ立マジキコト、他)		赤罫紙・1通	329-3
調書(預金・所有株券書上) 同じもの2冊		2冊	329-4

台湾興業合資会社

(台湾関係書類一括) 封筒共		包紙入・	361
(書状、清算報告と決議書への調印願) 台湾興業合資会社精算事務所→社員御中 「清算事務ニ関スル要領」1冊と貼合	明治38年	1通	361-1
(埋立のため養魚池収公関係書類綴) 東京市日本橋区北新堀町十八番地浅野台湾地所部→山田殿	明治38年7月29日	1綴	361-2

石油販売

石油井売買証書正式謄本	明治33	1冊	360-1
長野石油組契約証書正式謄本	明治33	1冊	360-2

鉾山

(鉄鉾試掘関係書類、北安曇郡平村字高瀬入) 包紙2枚	(明治37～同40)	包紙入・	377
(鉄鉾試掘認可書、試掘地実測図共) 東京鉾山監督署長中村清彦→山田莊左衛門、牧野莊右衛門 3ヶ所分	明治37年5月24日指令	3綴	377-1
(鉄鉾試掘認可書、試掘地実測図共) 東京鉾山監督署長中村清彦→山田莊左衛門、牧野莊右衛門	明治37年5月26日指令	1綴	377-2
(鉾業明細表未提出につき催促通知) 東京鉾山監督署長野野田勇→山田莊左衛門殿	明治39年5月14日	葉書・1通	377-3
(鉾業権満期消滅につき鉾業明細表提出通知) 東京鉾山監督署長野野田勇→山田莊左衛門殿、外一人	明治39年8月2日	葉書・2通	377-4
北安曇高瀬入鉄山試掘税納領収書并県税附余税同断	明治38年8月25日	封筒入・2通	377-5
(鉾業明細表未提出につき催促通知) 東京鉾山監督署長野野田勇→牧野莊右衛門様	明治40年3月2日	葉書・1通	377-6
(書状、渡辺博士鑑定のため鉾山支価など問合) 佐藤問作→牧谷太郎様 牧野莊右衛門宛東京鉾山監督署の封筒入	7月17日	1通	377-7
(長野県試掘登録書、共同鉾業権者代表牧野莊右衛門) 東京鉾山監督署	明治39年7月2日	1通	377-8
(長野県試掘登録書、共同鉾業権者代表山田莊左衛門) 東京鉾山監督署	明治39年7月2日	1通	377-9

鉱業明細表之義ニ付御届（作業せず記載事項なし） 山田荘左衛門→東京鉱山監督署長野田勇殿	明治39年5月17日	赤罫紙・1通	377-10
鉱業明細表之義ニ付御届（同上） 山田荘左衛門→ 東京鉱山監督署長野田勇殿	明治39年8月4日	赤罫紙・1通	377-11
（書状、電報にて東京での費用請求につき50円送金） 牧野荘右衛門→山田賢兄殿机下 マキノ宛オト電報・電 信為替金50円受領証書共	明治38年8月5日	封筒入・3通	377-12
領収証（明治38年度鉱区税） 長野県本金庫大町支金 庫→山田荘左衛門	明治38年12月22日	1通	377-13
郵便物受領証（東京鉱山監督署宛山田荘左衛門郵便 物）	明治39年5月23日	2通	377-14
封筒 東京鉱山監督署→山田荘左衛門殿 中味なし		3点	377-15
（試掘願不許可書、岩手県和賀郡谷内村金鉱） 仙台 鉱山監督署長浅野兼助→出願人山田荘左衛門	明治40年10月5日	1通	367-1
（試掘願書・鉱区図作成要領）		1通	367-2
金員領収通（安曇村金鉱分）	明治41稔9月より	横美半・1冊	227

堤 防 組 合 惣 代

年代 成立年代 享保7（1722）年～明治4（1871）年

数量 189点

歴史

山田家の所持地が展開する延徳耕地は、洪水が毎年のようにと言ってもよいほど頻繁に発生する、いわゆる洪水常襲地帯であった。その地形的理由としては、第一に南北に流れる千曲川が立ヶ花と蟹沢を結ぶラインより北側で急に狭くなっていること、第二にこのあたりで千曲川に流れ込む支流が多く（主なもので浅川、鳥居川、松川、篠井川がある）増水がはげしいこと、の2点があげられる。また、延徳耕地の場合、その中央を流れる篠井川が千曲川の増水時に逆流して周辺一帯を冠水させることも常であった。やや極端な例ではあろうが、洪水被害の大きさがうかがえる史料として、弘化4（1847）年の大洪水（後述）後に庄左衛門顕濟が、江戸日本橋住吉屋の婿養子に入っていた4男小竹助（伊兵衛）へあてた書状の一部を紹介しておく。

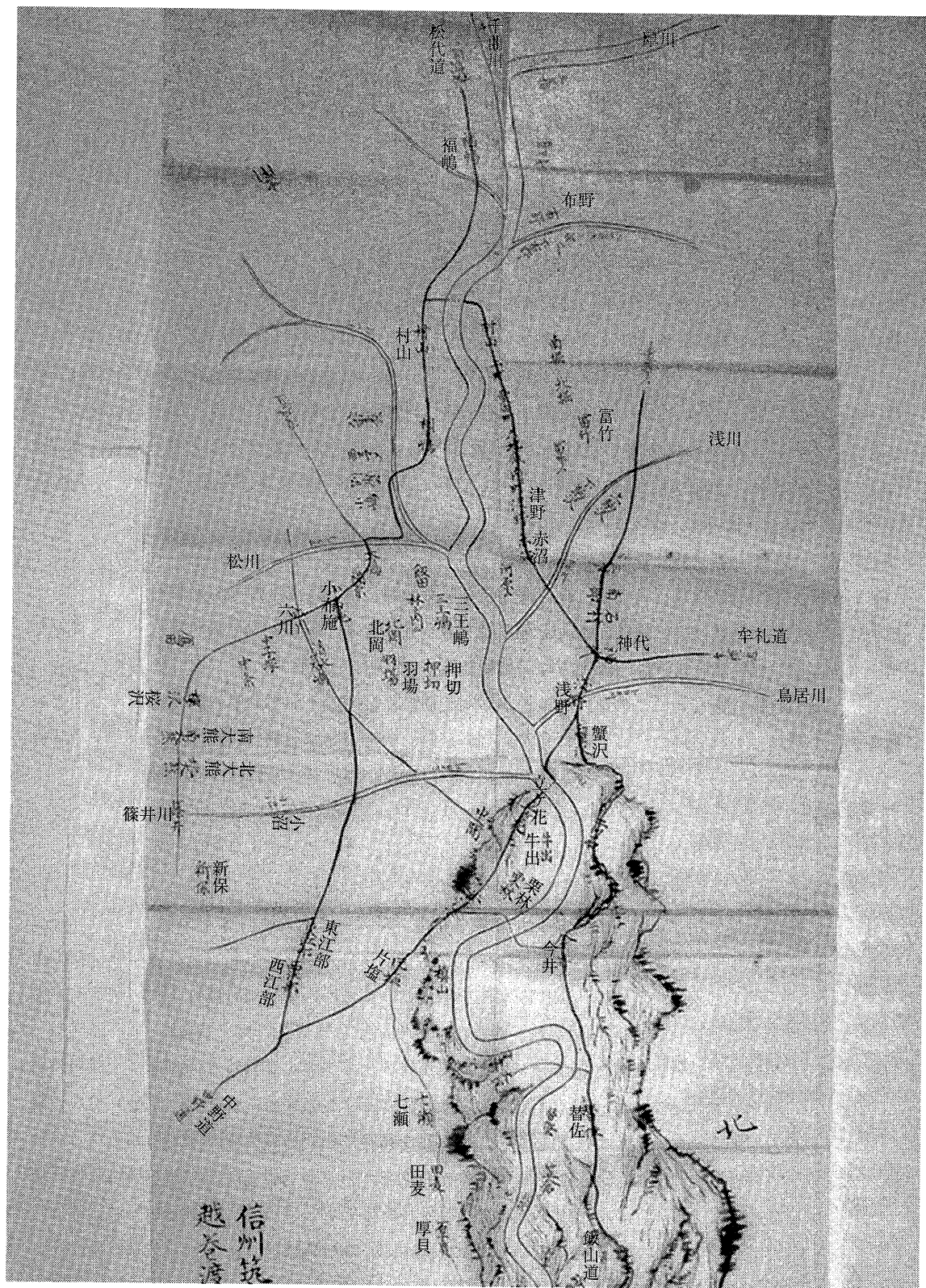
【史料3】

其上私共屋敷へも高六尺程入水仕、纔ニ潰残候車屋者勿論文庫蔵迄泥水押入、家内不残命からから逃去老人も怪我ハ無之、併田畑共泥水入永荒之場所も多分可有之、穀物等茂不残泥水入ニ相成誠ニ必至之大難ニ而、此節新野村五郎右衛門方ニ引越罷在候（277-7-1-1、31頁）

以下では先行研究をもとにこの地域の近世から明治期にかけての千曲川治水の歴史を踏まえ、堤防組合惣代の活動について確認することにした[岩戸74、中野市誌歴史編（前編）]。上記のような条件に対して、村々は当初1村ごとに小規模な治水工事を施すにとどまっており、延徳耕地全体の治水対策を検討するような大規模な連合は見られなかった。しかし、弘化4（1847）年の善光寺地震とそれに続いて発生した大洪水（上流での山崩れによる川の塞止とその決壊により発生）のため、堤防が決壊し川床も上昇したため以後一層激しい洪水の被害にさらされることとなったため、「延徳耕地組合」を結成して地域全体で治水に取り組む体制が整備された（結成の正式な年月は不明）。同組合村の名主・年寄は会議を行って、安源寺村名主慎平、桜沢村名主太兵衛、西江部村名主兼郡中取締役篠田市左衛門、東江部村年寄兼郡中取締役山田庄左衛門を惣代として選出した（史料には、明治期まで土堤組合惣代、堤惣代などの表現が見られるが、ここでは「堤防組合惣代」に統一した）。この惣代たちは、幕領・私領にまたがる21か村の組合村をまとめて工事の出願準備を進めると同時に、千曲川の対岸村々の説得、訴訟にも尽力した。惣代4人のうち篠田と山田は延徳耕地に主な所持地を有する大地主であり、自らの地主経営安定という関心からこの活動を積極的に担ったものと考えられる。

治水工事の方法としては、2案が立案され、第1案が押切村から立ヶ花村まで大堤防を構築して延徳耕地への水流入を防ぐというもの、第2案が下流の上今井地籍で千曲川が大きく曲流している部分をまっすぐにして水行をよくするというもの、である。慶応期には第1案にもとづいて活動が進められたが、これに対しては対岸の水内郡村々（赤沼、津野などの長沼組合村々）の反対が強く、諸領地に

図7 千曲川曲流部および流域村々



出典：「信州筑摩川犀川落口ヨリ越卷渡舟場迄曲流絵図」（246-2-4、172頁）

またがる広域的な問題でもあったため江戸での訴訟に及んでいる。結果的にはこの時築かれた堤防も間もなく洪水により決壊してしまったため第1案は行き詰まり、慶応4（1868）年以降は第2案の瀬直し工事の実現をめざした活動が安源寺村年寄（丸山）要左衛門らを中心に進められた。この工事計画は明治3（1870）年民部省土木司によって「御普請工事」として認可されるところとなったが（国庫負担6割）、工事現場に当たる上今井村が耕地の潰地化・用水系の分断などを理由に反対したため係争に及んだ。しかし、同村に対する補償交渉が成立し明治3年10月に着工、その後第二期「増堀り」工事を経て、同4年6月には全工事を完了している。この工事を支えた主体は、延徳耕地組合に加えて、かつて慶応期にはこれと敵対していた対岸の長沼組合も参加し、67か村の連合であった。

構造と内容

このサブグループは山田庄左衛門が堤防組合惣代を勤めた際に作成・授受した文書によって構成されるが、山田家文書の中には堤防組合惣代に就任する以前の堤防関係文書も見られるため、ここではそれらも堤防組合惣代を勤めた際に何らかの必要があって用いられたものと見なして一括し「慶応以前」というシリーズに編成した。そして慶応期の千曲川右岸における堤防工事関係の史料を「慶応期堤防工事」、それとは方針を大きく転換して千曲川を直流化する工事を行った明治期の史料を「千曲川瀬直し」というシリーズに編成した。以下にその概要を示す。

（1）慶応以前

上述の通り、ここには惣代就任以前の年代に属する史料を収めた。延徳耕地全体を包括する組合が成立していないので、統一的な内容とはなっていない。

（2）慶応期堤防工事

ここではサブシリーズとして①「組合村々水難高取調」、②「村々評議」、③「対岸村々と江戸訴訟」、④「人足・諸入用」、⑤「絵図」を設定した。①・②はいずれも慶応元（1865）年11月のもので、①は片塩村以下幕領・私領にまたがる20か村（延徳耕地土堤組合）の村別水難高を確定して普請費用・一件諸入用（訴訟費など）の負担基準としたもの、②は堤防敷地を提供する山王嶋村・押切村と組合村との間に結ばれた約定（代替地を求めない敷地の永久貸与と組合側による普請等諸入費負担）に関するもの、である。しかし、これをもとに工事を開始するやいなや対岸の水内郡村々から訴訟がなされ、江戸へも出向いて慶応2年10月まで争うこととなった（③）。④は訴訟に際して現地見分に訪れた役人の賄料、堤防普請入用関係の史料である。⑤には慶応期以前の川絵図も含めた。これらは訴訟の際に用いられたと思われる。

（3）千曲川瀬直し

ここではサブシリーズとして①「出願」、②「会計所御用」、③「人足・諸入用」を設定した。①は民部省土木司への請願・認可にいたるまでの関係書類や、工事現場となった今井村との間で行われた訴訟の関係書類などであるが、それ以外に幕末にも千曲川瀬直しをめぐる願書の作成は行われているので、これも前史としてここに収めた。②は栗林村（もしくは安源寺村）に設置された会計所関係の史料である。この会計所に水内郡・高井郡の双方から惣代が詰めて工事事務にあたったようである。③は実際の工事に要した人足・諸入用関係の書類である。

関連史料

関連史料としては、山田家以外の堤防組合惣代の家に残されている史料があるが、惣代の一人で千曲川瀬直し工事の事務を中心的に担った丸山要左衛門宅で保管されていた史料は明治30（1897）年に山田家に移管され、その際に「堀川関係書類引継目録」も作成されている。これらの史料は現在も山田顕五氏宅に保管されており、風呂敷包入りで帳簿・絵図など137点に及ぶもので、出願から工事関係、工事後の補償など基本史料を網羅している。

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
堤防組合惣代			
慶応以前			
御普請御入用金御取替証文之事（新金1両2分） 岩舟村名主角兵衛、組頭仁兵衛、長百姓清七、同断平右衛門、同文六、同貞右衛門、同傳兵衛、宗七→東江部村庄左衛門殿、利兵衛殿	享保7年寅7月	縦紙・1通	241-1
御普請御入用御取替証文之事（新金2両余） 岩舟村預り主名主角兵衛、組頭仁兵衛、請人清七、同断文六、同断貞右衛門→東江部村庄左衛門殿、利兵衛殿	享保8年卯3月	縦紙・1通	241-2
前書障りの趣々恐願村々答書以御内合申上候（堤普請をめぐる村々の訴えに反論） 高井郡六川村名主願人弥左衛門、出作同村同断治左衛門、大熊村同断治助、小沼村同断市三郎、新保村同断弥左衛門、同村同断治郎左衛門、東江部同断利右衛門、草間同断源左衛門→天野助治郎様御役所	宝暦5年	縦継紙・1通	242-1
信州高井郡新堤願御吟味銘細書 安源寺村丸山要左衛門写の写	宝暦9卯8月出、同11月帰村	半・1冊	76
（差紙） 安芸→信州高井郡六川村・大熊村・小沼村・新保村・東江部村・草間村・羽場村・押切村・北岡村・山王嶋村・立ヶ花村・小布施村、同国水内郡上町・栗田町・六地藏・内町・津野村・中尾村・赤沼村・赤沼河原新田・南郷村・石村・神代村・浅野村・蟹沢村、右村々名主組頭百姓代之内兩人ツ、76に挟込	（宝暦9）卯8月14日	切継紙・1通	76-1
信州高井郡新堤願御吟味銘細書 願東江部村 包紙共、包紙上書「宝暦年中水除堤一件写」	宝暦9年	半・1冊	242-3
差上申一札之事（六川村など願出の千曲川縁通新堤設置方につき） 元渡辺民部御代官所信州高井郡六川村名主弥右衛門、ほか10名（六川・新保・大熊・東江部・草間・小沼の各村役人）、右六ヶ村江戸宿馬喰丁三丁目水戸屋弥兵衛、元渡辺民部御代官所高井郡北岡村名主又右衛門、ほか9名（北岡・羽場・押切・山王嶋・立ヶ花の各村役人）、元渡辺民部御代官所真田伊豆守領分小布施村名主弥右衛門、ほか3名、右六ヶ村江戸宿湯島天神前足立屋治右衛門、元渡辺民部御代官所同国同郡清水村与頭彦右衛門代孫左衛門、ほか4名（清水・矢嶋の各村役人）、志村新左衛門御代官所桜沢村名主清左衛門、ほか15名（桜沢・篠井・片塩・安源寺・同新田・栗林・西江部の各村役人）、元渡辺民部御代官所同国水内郡上町名主岡右衛門、ほか8名（上町・栗田町・六地藏町・内町・津野村の各役人）、右五ヶ村江戸宿小日向水道町大黒屋孫左衛門、元渡辺民部御代官所同国同郡赤沼村名主利兵衛、ほか4名（赤沼・川原新田・中尾の各村役人）、本田豊後守領分同国同郡南郷村名主五郎右衛門、ほか9名（南郷・神代・浅野・蟹沢の各村役人）、右八ヶ村江戸宿牛込御簞笥町崎玉屋喜右衛門→御奉行所様	宝暦10年辰6月15日	縦継紙・1通	242-2
乍恐以書付奉願上候（桜沢新堤差障一件、出府せず済むよう願） 高井郡東江部村百姓五人組筆頭庄吉、ほか7名→久保平三郎様御役所	天明8年申正月22日	縦継紙・1通	243
議定一札之事（水除普請入用負担につき内議定） 東江部村名主文右衛門、新保村名主与兵衛、名主与五左衛門、安源寺村要左衛門、西江部村五左衛門、片塩村卯之八、小沼村勘右衛門、桜沢村甚五右衛門、南大熊村悦右衛門、小沼村茂右衛門、草間村恵八、北大熊村藤兵衛、栗林村武右衛門、篠井村名主莊助	文政11年子10月	縦継紙・1通	244-1

一札之事（堤舗・土取場の地替につき） 六川村名主同断、大熊村名主、新保村名主、東江部村名主、草間村名主→矢嶋村御名主中	文政11子10月	縦継紙・1通	244-2
乍恐以書付奉願上候（六川・草間間の大堤御普請願） 当御支配所信州高井郡東江部村名主文右衛門、ほか39名（東江部・新保・安源寺・西江部・片塩・栗林・篠井・小沼・桜沢・南大熊・小沼・草間・北大熊の各村々役人）→大原四郎右衛門様中野御役所	文政12丑年3月	縦継紙・1通	245
頼一札之事（水難村々の水防諸入用立替願） 小布施村名主名右衛門、同村六川出作兼名主久左衛門、六川村名主善兵衛、押切村名主弥兵衛、北岡村名主久兵衛、羽場村名主孝左衛門、清水村名主長次、矢嶋村名主半蔵、桜沢村名主元三郎、北大熊村名主藤兵衛、小沼村名主勘吉、同村名主茂右衛門、新保村名主孫兵衛、片塩村名主平左衛門、安源寺村名主慎平、草間村名主貞八、西江部村名主市左衛門→東江部村山田庄左衛門殿	万延元申年10月	縦継紙・1通	415
中野御支配所千曲川辺満水村々（水害村々石高書上）		横長美・1冊	240
（千曲川メ切堀割請御普請願） 高井郡押切村名主重兵衛、組頭次五右衛門、同喜惣次、百姓代永井重右衛門水下村々の奥書		縦継紙・1通	257

慶応期堤防工事

組合村々水難高取調

土堤組合村々水難高取調帳（御料私領式拾ヶ村）	慶応元年丑11月改	横長美・1冊	77
------------------------	-----------	--------	----

村々評議

差出申一札之事（土堤敷に耕地永久借用につき水難村々一同評議） 片塩村名主平右衛門、安源寺村同断慎平、草間村同断忠七、押切村同断与惣右衛門、羽場村同断斧右衛門、北岡村同断貞介、清水村同断長治、矢嶋村同断八十八、六川村同断治兵衛、桜沢村同断常松、南大熊村同断治郎右衛門、北大熊村同断藤兵衛、小沼村同断清吉、松代領小沼村同断茂右衛門、篠井村同断庄介、新保村同断彦市、東江部村年寄山田庄左衛門、西江部村名主篠田市左衛門→山王嶋村御役人衆中	慶応元乙丑年11月	縦継紙・1通	248-1
差出申一札之事（土堤敷に耕地永久借用につき水難村々一同評議） 片塩村名主平右衛門、安源寺村同断慎平、草間村同断忠七、羽場村同断斧右衛門、北岡村同断貞介、山王嶋同断作右衛門、清水村同断長治、矢嶋村同断八十八、六川村同断治兵衛、桜沢村同断常松、南大熊村同断治郎右衛門、北大熊村同断藤兵衛、小沼村同断清吉、同村松代領同断茂右衛門、篠井村同断庄介、新保村同断彦市、東江部村年寄山田庄左衛門、西江部村名主篠田市左衛門→押切村御役人衆中 奥に貼紙（207村規定書は表向、実際は本紙の通り）	慶応元乙丑年11月	縦継紙・1通	248-2

対岸村々と江戸訴訟

乍恐以書付奉申上候（水内郡村々の土堤一件出訴に対し反論、控） 高井郡片塩村名主平右衛門、安源寺村年寄要左衛門、立ヶ花村名主宇兵衛、押切村名主与惣右衛門、北岡村名主貞助、矢嶋村名主八十八、篠井村代兼新保村名主彦市、西江部村名主篠田市左衛門、東江部村年	慶応元丑年11月	縦継紙・1通	249
--	----------	--------	-----

寄山田庄左衛門→中野御役所 破れ			
(押切村字嶋地堤の修覆相論諸願書写、帳崩れ)	慶応元年11月	縦紙・4枚	289
上(千曲川東岸村々の堤普請に故障申立する西岸村々へ反論の訴状、写) 訴訟人・松本直一郎御代官所信州高井郡片塩村外式拾ヶ村惣代安源寺村年寄要左衛門、同東江部村名主理兵衛→御奉行所様 内済の仰付をうけて帰村した旨の寅4月付奥書	慶応2寅年2月	美・4冊	82-1
訴状写(千曲川東岸村々の堤普請に故障申立する西岸村々へ反論) 訴訟人・安源寺村年寄要左衛門、同東江部村名主理兵衛→御奉行所様	慶応2寅年2月	美・1冊	82-2
三月廿六日認直引替相預ケ難渋出入下書 訴訟人・松本直一郎御代官所信州高井郡片塩村外廿ヶ村惣代安源寺村年寄要左衛門、同東江部村名主理兵衛、同押切村組頭平之丞→御奉行所様 表紙表書「此分江戸表ニ而極内々ニ其御筋ニ而來書之分御加筆被下候分可罷置事」	慶応2寅年2月	美・1冊	82-3
訴状下案 訴訟人・松本直一郎御代官所信州高井郡片塩村外式拾ヶ村惣代安源寺村年寄要左衛門、同東江部村名主理兵衛、同押切村組頭平之丞→御奉行所様 内済の仰付をうけて帰村した旨の寅4月付奥書	慶応2寅年2月	美・1冊	82-4
乍恐以書附奉願上候(堤防一件江戸出訴の添翰願、控当御支配所信濃国高井郡押切村・片塩村・安源寺村・同新田村・立ヶ花村・北岡村・矢嶋村・篠井村・新保村・東江部村・西江部村、右拾ヶヶ村惣代西江部村名主篠田市左衛門、東江部村年寄山田庄左衛門→松本直一郎様中野御役所)	慶応2寅年2月	縦継紙・1通	250
乍恐以書付御訴訟奉申上候(水内郡村々による堤修復故障差止願、下書) 松本直一郎御代官所信濃国高井郡押切村(ほか村名略)、右拾ヶヶ村惣代東江部村年寄山田庄左衛門煩ニ付代兼同村名主理兵衛、ほか2名、真田信濃守御預所(村名略)、同領分(村名略)、右五ヶ村惣代山王嶋村名主作右衛門、堀右京亮領分(村名略)、右五ヶ村惣代→御勘定御奉行所様	慶応2寅年2月	縦継紙・1通	251-1
乍恐以書付御訴訟奉申上候(水内郡村々による堤修復故障差止願、下書写) 松本直一郎御代官所信濃国高井郡押切村(ほか村名略)、右拾ヶヶ村惣代東江部村年寄山田庄左衛門煩ニ付代同村名主理兵衛、ほか2名、真田信濃守御預り所(村名略)、同領分(村名略)、右五ヶ村惣代山王嶋村名主作右衛門、堀右京亮領分(村名略)、右五ヶ村惣代草間村名主長七→御勘定御奉行所様	慶応2寅年2月	縦継紙・1通	251-2
頼一札之事(堤防一件江戸出訴の惣代委任) 片塩村名主平右衛門、ほか55名(安源寺村同新田共・立ヶ花・押切・北岡・矢嶋・篠井・新保・東江部・西江部・六川・草間・清水・羽場・北大熊・松代領小沼・同預り同村・南大熊・桜沢・山王嶋の各村々役人)→東江部村年寄山田庄左衛門殿代兼名主理兵衛殿、西江部村名主篠田市左衛門殿、安源寺村年寄要左衛門殿、押切村組頭平之丞殿、草間村名主忠七殿、山王嶋村組頭惣左衛門殿 包紙共	慶応2寅年2月	縦継紙・1通	252
乍恐以書付御訴訟奉申上候(古堤修復被致故障難渋出入) 松本直一郎御代官所信濃国高井郡押切村・片塩村・安源寺村・同新田村・立ヶ花村・北岡村・矢嶋村・篠井村・新保村・東江部村・西江部村、右拾ヶヶ村惣代東江部村年寄山田庄左衛門煩ニ付代兼同村名主理兵衛、西江部村名主篠田市左衛門道中足痛ニ付代兼安源寺村年寄要左衛門、押切村組頭平之丞、真田信濃守御預り所山王嶋村・桜沢村・小沼村、同領分南大熊村・小沼村、右五ヶ村惣代山王嶋村名主作右衛門、堀右京亮領分六川村・羽場村・清水村・草間村・北大熊村、右五ヶ村惣代草間村名主忠七→御勘定御奉行所様	慶応2寅年2月	縦継紙・2通	406
(押切村の新堤築立につき水内郡村々の差止願書)	慶応2寅年2月	縦継紙・1通	416

<p>甘利八左衛門元当分御預所信州水内郡赤沼村・赤沼河原新田・内町・六地藏町・栗田町・上町・津野町・富竹村両組・金箱村・上駒沢村・下駒沢村・三才村、同元当分御預所真田信濃守御預所同州同郡津野村・中尾村、本多相模守領分同州同郡三才村・蟹沢村・浅野村・神代村・北石村・宿石村・南郷村、右式拾村小前役人惣代、右八右衛門元当分御預所赤沼村組頭訴訟人吉左衛門、右信濃守御預所津野村同同八郎右衛門、右相模守領分神代村庄屋同笑三郎、南郷村組頭同政右衛門→御奉行所様 前欠</p>			
<p>一件二付松代・中之条行日記（諸入用書上とも） 山田健蔵</p>	<p>（慶応2）寅4月13日発足</p>	<p>横半半・1冊</p>	<p>216</p>
<p>覚（宿泊代受取） 丸屋長兵衛→上 挟込 216-1～4は丁間</p>	<p>4月16日</p>	<p>切紙・1通</p>	<p>216-1</p>
<p>覚（宿泊・酒・人足代受取） 丸屋長兵衛（信州松代伊勢町丸屋長兵衛）→上</p>	<p>4月13日、14日</p>	<p>切紙・1通</p>	<p>216-2</p>
<p>（松代藩役人名書上）</p>		<p>切紙・1通</p>	<p>216-3</p>
<p>（元締・公事方掛名前書上）</p>		<p>切紙・1通</p>	<p>216-4</p>
<p>乍恐以書付奉願上候（評定所での堤防場所熟談日延願当御支配所片塩村・安源寺村・同新田村・立ヶ花村・押切村・北岡村・矢嶋村・篠井村・新保村・西江部村・東江部村、右拾壹ヶ村惣代東江部村年寄山田庄左衛門、安源寺村名主慎平→中野御役所</p>	<p>慶応2寅年4月</p>	<p>縦紙・1通</p>	<p>253</p>
<p>差上申済口証文之事（高井郡村々と水内郡村々の出入、新規築立の堤取払） 松本直一郎御代官所信州高井郡片塩村・安源寺村・同新田村・立ヶ花村・押切村・北岡村・矢嶋村・篠井村・新保村・西江部村・東江部村、真田信濃守御預所同州同郡山王嶋村・桜沢村・小沼村、同領分同州同郡小沼村・南大熊村、堀右京亮領分同州同郡六川村・草間村・清水村・羽場村・北大熊村、右式拾壹ヶ村惣代安源寺村年寄・訴訟人要左衛門、東江部村名主理兵衛煩ニ付代新保村名主・同彦市 元右直一郎元別廉当分御預所当時右信濃守御預所同州水内郡赤沼村・赤沼河原新田、同御預所同州同郡津野村古料・新料・中尾村・内町・六地藏町・栗田町・上町・富竹村両組・金箱村・上駒沢村・下駒沢村、本多相模守領分同州同郡蟹沢村・浅野村・神代村・北石村・宿石村・南郷村、右信濃守御預所相模守領分同州同郡三才村、右拾九ヶ村小前役人惣代赤沼村名主兵左衛門煩ニ付代赤沼河原新田名主・相手庄兵衛、中尾村同・同作内→御評定所 証文取替につき要左衛門・彦市・庄兵衛・作内の奥書</p>	<p>慶応2寅年10月</p>	<p>縦紙・1通</p>	<p>254-1</p>
<p>（済口証文写差上書） 右要左衛門、彦市→松本直一郎様中野御役所 254-1の包紙として使用</p>	<p>寅10月</p>	<p>縦紙・1通</p>	<p>254-2</p>
<p>差上申済口証文之事（高井郡村々と水内郡村々の出入、新規築立の堤取払） 松本直一郎御代官所信州高井郡片塩村・安源寺村・同新田村・立ヶ花村・押切村・北岡村・矢嶋村・篠井村・新保村・西江部村・東江部村、真田信濃守御預所同州同郡山王嶋村・桜沢村・小沼村、同領分同州同郡小沼村・南大熊村、堀右京亮領分同州同郡六川村・草間村・清水村・羽場村・北大熊村、右式拾壹ヶ村惣代安源寺村年寄・訴訟人要左衛門、東江部村名主理兵衛煩ニ付代新保村名主・同彦市 元右直一郎元別廉当分御預所当時右信濃守御預所同州水内郡赤沼村・赤沼河原新田、同御預所同州同郡津野村古料・新料・中尾村・内町・六地藏町・栗田町・上町・富竹村両組・金箱村・上駒沢村・下駒沢村、本多相模守領分同州同郡蟹沢村・浅野村・神代村・北石村・宿石村・南郷村、右信濃守御預所相模守領分同州同郡三才村、右拾九ヶ村小前役人惣代赤沼村名主兵左衛門煩ニ付代赤沼河原新田名主・相手庄兵衛、中尾村名主・同作内→御評定所 写提出の旨要左衛門・彦市より六川役所宛奥書あり</p>	<p>慶応2寅年10月</p>	<p>縦紙・1通</p>	<p>255</p>

土堤一件水内郡村々にて押切村壺ヶ村相手取先訴之積 にて出府之節認持参訴状之写	美・1冊	85
手ひかい覚 丸山要左衛門	横美半・1冊	102
(出府諸費用書上) 102に挟込	切継紙・1通	102-1

人足・諸入用

堤修復人足取調帳 円徳耕地式拾村組合	慶応元年丑11月	横長美・1冊	81
御出役御旅宿入用割銭帳 扱入 50はこより紐で一括	慶応2寅年5月24日～6月21日	横長美・1冊	50-1
高木様小川様御出役御旅宿御賄帳 井賀屋	慶応2寅年6月	横長美・1冊	50-2
海沼様御泊雑用帳 菱屋儀兵衛	(慶応2年6月)	横長美・1冊	50-3
松代御出役様御泊雑用帳 袋屋	寅6月	横長美・1冊	50-4
大久保様坂本様御出役御旅宿御賄帳 池田屋	慶応2寅年6月	横長美・1冊	50-5
六川御出役様御泊雑用帳 松田屋与吉	寅6月	横長美・1冊	50-6
土堤御組合御入用控 (中野町芝屋仁兵衛への支払) 芝屋仁兵衛→上	(慶応2) 7月10日	横長美・1冊	79
寅盆後土手一件宿料勘定 (代金受取書) 芝屋仁兵衛	(慶応2) 寅12月26日	横長美・1冊	80
覚 (昼飯など賄代書上) 宿仁兵衛→土堤御組合御惣 代様 80に挟込	(慶応2) 寅12月	状・1通	80-1
覚 (村内堤御普請に円徳耕地土堤組合より見舞酒代金 125両受取) 高井郡押切村名主又八、組頭文右衛門、 同又七、百姓代善左衛門、取締役市之丞→高井郡円徳耕 地土堤組合村々御役人中 包紙共	慶応3卯年12月	竖紙・1通	256
覚 (村内土手敷地潰挨拶金25両受取) 押切村市之 丞、与惣右衛門→土堤組合御惣代衆中 256-1・2は256 の包紙入	卯12月25日	切継紙・1通	256-1
(土手際より外明地面積書付)		小切紙・1通	256-2
組合普請入用帳 押切村百姓代善左衛門、ほか3名→式拾 壺ヶ村組合御惣代山田庄左衛門殿	慶応3卯年	横美半・1冊	83
組合普請諸入用帳 (千曲川堤防) 押切村役元	(慶応元～慶応2)	横美半・1冊	78

絵図

万延元申年押切村ニ而水内郡と為取替絵図之写 水内 郡川辺拾五ヶ村惣代赤沼村取締役兵左衛門、同河原新田 名主利兵衛、津野村同八郎右衛門、神代村庄屋幾三郎、 浅野村同利右衛門、蟹沢村伴六、高井郡押切村名主弥兵 衛、組頭永井重右衛門、同与惣右衛門、百姓代嘉右衛門、 重立小前惣代市之丞、同源之丞、同七郎右衛門、立入人 同郡中野村郷宿定兵衛、同取締役与吉	万延元申年4月	380×552・1鋪	407
(円徳耕地土堤組合絵図) 円徳耕地土堤組合式拾ヶ村 之内当御支配所高井郡片塩村名主平右衛門、安源寺村年 寄要左衛門、立ヶ花村名主宇兵衛、押切村同断与惣右衛 門、北岡村同断貞助、矢嶋村同断八十八、篠井村代兼新 保村同断彦市、西江部村名主篠田市左衛門、東江部村年 寄山田庄左衛門		1090×1930・1鋪	247-1

(千曲川土堤・耕地絵図綴)		1綴・4鋪	247-2
(円徳耕地内郷水除堤絵図) 円徳耕地土堤組合式拾ヶ村之内当御支配所高井郡片塩村名主平右衛門、安源寺村年寄要左衛門、立ヶ花村名主宇兵衛、押切村名主与惣右衛門、北岡村名主貞助、矢嶋村名主八十八、新保村名主彦市、西江部村名主篠田市左衛門、東江部村年寄山田庄左衛門	慶応元乙丑年11月	570×810・1鋪	247-2-1
万延元申年有形絵図面 (御普請堤・内郷堤古跡) 裏貼紙「慶応元乙丑年十一月式拾ヶ村組合内郷堤絵図面高井郡円徳耕地村々」		385×810・1鋪	247-2-2
宝暦5明和迄損地絵図		580×810・1鋪	247-2-3
年暦不相沢古絵図		570×810・1鋪	247-2-4
(千曲川土堤・耕地絵図綴)		綴り・4鋪	410-1
(押切村損地・円徳耕地内郷水除堤絵図)	慶応元乙丑年11月	584×810・1鋪	410-1-1
万延元申年有形絵図面		390×810・1鋪	410-1-2
宝暦5明和迄損地絵図		560×810・1鋪	410-1-3
年暦不相沢古絵図		580×810・1鋪	410-1-4
(絵図下書類一括)		4枚	410-2
(堤普請関係村々絵図) 千曲川山王嶋村辺に貼紙		450×540・1鋪	408
(延徳耕地水害村々分地絵図)		690×1520・1鋪	409

千曲川瀬直し

出願

「水災除新川堀割願 四通式枚」	(万延元～文久2)	袋入・3通・1鋪	246-2
乍恐以書附奉願上候 (水難場所見分の上公辺へ仰上願) 増田安兵衛御代官所信濃国高井郡東江部村・西江部村・片塩村・安源寺村・栗林村・新保村・矢嶋村・押切村・北岡村、真田信濃守御預所同国同郡小沼村・桜沢村・小布施村・山王嶋村、堀出雲守領分同国同郡草間村・北大熊村・清水村・六川村・羽場村、真田信濃守領分小沼村、右村々惣代桜沢村名主清作、北大熊村名主藤兵衛、安源寺村名主慎平、西江部村名主市左衛門、東江部村名主山田庄左衛門→荒地取下場御見分御奉行所様	文久2戊辰年9月	縦継紙・1通	246-2-1
規定一札之事 (新川堀割願に際する水難村々議定) 信州高井郡羽場村名主孝左衛門、ほか61名 (羽場・押切・桜沢・小沼・北大熊・北岡・片塩・安源寺・草間・栗林・清水・矢嶋・六川・東江部・西江部・新保・小布施・六川出作・山王嶋・赤沼・赤沼河原新田・中尾の各村々役人)	万延元申年10月	縦継紙・1通	246-2-2
乍恐以歎書奉願上候 (新川堀割許可願、案) 高井郡何拾ヶ村惣代一、一、水内郡何ヶ村惣代→飯山御役所	文久元酉年3月	縦継紙・1通	246-2-3
信州筑摩川犀川落口ヨリ越巻渡舟場迄曲流絵図		645×280・1鋪	246-2-4
乍恐以書付御歎願奉申上候 (今井村地内千曲川曲流瀬直しにつき飯山藩へ掛合願) 堀右京亮領分高井郡六川村名主治兵衛、同同清水村名主六右衛門、同同羽場村名主甚右衛門、同同北大熊村名主藤兵衛、同同草間村名	慶応4辰年5月	縦継紙・2通	246-1

主忠七、真田信濃守領分同小沼村名主太平次、同同南大熊村名主孫作、同御預り所同桜沢村名主定之助、同同小沼村名主市兵衛、同同山王嶋村名主作右衛門、御料信濃国高井郡北岡村名主作右衛門、押切村名主又八、矢嶋村名主半右衛門、篠井村名主甚平、新保村名主治郎左衛門、立ヶ花村名主良八、片塩村名主政吉、安源寺村・同新田村名主慎平、年寄要左衛門、東江部村名主理兵衛、西江部村名主篠田市左衛門、東江部村年寄山田庄左衛門→御料尾州様御取締中野御役所			
上(今井村地内曲流瀬直しにつき水害凌方御治定願、下案) 高井郡押切村文右衛門、北岡村名主作右衛門、矢嶋村名主八十八、篠井村名主彦五郎、新保村名主治郎左衛門、立ヶ花村名主良八、片塩村名主政吉、同安源寺村名主慎平代要左衛門、東江部村名主理兵衛、西江部村名主市左衛門→中野御役所	明治2巳年9月(16日)	半・1冊	84
(千曲川瀬直し一件願出の小前惣代頼一札、写) 市左衛門、外村役人除一同→伊兵衛殿、啓蔵殿、吉左衛門殿、九兵衛殿	明治2巳年10月	縦紙・1通(2枚)	414-1
今井村曲流御願立ニ付東京出府諸入用附立帳 出頭人小沼村清吉	明治2年	横長美・1冊	297
(土木司の早期派遣につき書状・願書写) 東京より小日向儀左衛門、外二人→今井村会計方御詰合衆中様、尊下	10月17日	包紙入・2通	464-41
(書状、今井村一件示談、土木司早期派遣の交渉状況) 儀左衛門、定之助、久兵衛→御惣代中様	10月17日	縦紙・1通	464-41-1
乍恐以書付奉願上候(村々連印届の提出以前に土木司派遣・工事開始の願) 伊那県中野御局附御支配所信州高井水内両郡三拾八ヶ村惣代、水内郡津野村名主茂左衛門、赤沼河原新田庄兵衛、高井郡大嶋村名主代久兵衛、同桜沢村名主定之助、同新保村組頭治助→伊那御県東京御役所	明治3午年10月17日	縦紙・1通	464-41-2
(書状、議定書・久兵衛病氣願の審理延期の旨返答) 東京ニ而赤沼河原新田名主代庄兵衛→堀割一件会計方御掛り中様 包紙共	(明治3) 午11月14日	横切継紙・1通	464-17
(書状、川普請世話役赦免願) (六川) 寺嶋善兵衛、佐野藤兵衛→(安源寺村) 丸山勇(要) 左衛門様	3月7日	横切継紙・1通	464-13
(書状、惣代不足につき加わるかの旨) (東京ニ而) 庫吉→平吉叔父様、いせ松叔父様(安源寺村大黒屋伊勢松)	9月16日	横切継紙・1通	464-14
(書状、今井村工事の相論による怪我へ見舞、商社事件の惣代も篠田を残し一時帰村) (從東京浅草、篠田) 市左衛門→(丸山) 要左衛門様 封筒共	10月2日	切継紙・1通	464-20
(書状、東京表・土木司の様子不明につき至急飛脚差立願) (六川寺嶋) 善兵衛→(栗林会計所) 山田庄左衛門様、清水藤兵衛様、外御惣代衆中様	10月21日	横切紙・1通	464-38
(書状、取り急ぎ書面を認め、中野県・六川・松代・飯山藩の奥書調印獲得に惣代中尽力願) 寺嶋善兵衛→山田庄左衛門様、同熊太郎様、外御詰合御惣代衆中様	10月28日	横切継紙・1通	464-37
(書状、川普請をめぐる江戸での交渉過程の報告) 久兵衛、甚兵衛(東京馬喰町式丁目武蔵屋二兵衛方ニ而田中甚兵衛)→国元御惣代衆中様(東江部村山田庄左衛門様、赤沼村成田兵左衛門様、外御惣代中様) 包紙共	10月29日	縦継紙・1通	464-16
(書状、飛脚の伝える民部省での様子、跡惣代至急着府すべき旨) 津野村小日向儀左衛門→赤沼組合より栗林村御出張御会計方衆中様、貴下	閏10月13日	切継紙・1通	464-21

(民部省へ出頭につき武蔵屋へ惣代入来願) 東京馬 二武二ニ而赤沼河原新田庄兵衛→高井水内堀川一件御惣 代衆中様	午閏10月17日	縦紙・1通	464-39
(書状、民部省への歎願、松原様へ挨拶、など江戸で の経過報告) (東京馬喰町、新保村) 治助→江部山田 旦那様 包紙共	午11月14日	仮綴・1通	464-34
(書状、東京よりの別紙を差上、栗林村会計方へも回 覧のこと) 赤沼村兵左衛門→東江部村山田庄左衛門様、 急用	11月22日	切継紙・1通	464-26
(千曲川瀬直し一件願出の小前惣代頼一札、下書)		縦紙・1通 (2枚)	414-2
(包紙入文書、上書「安源寺忠右衛門・民三郎□□書 出」) 糊付のため開封せず		包紙入・1包	464-40

会計所御用

(廻状、土木司帰京前に出来栄帳調印のため名主出張 願) 安源寺村出張会計所→草間村、立花村、押切村、 北岡村、山王嶋村、六川村、羽場村、清水村、矢嶋村、 右村々御役人中 包紙共・貼付	未正月27日	横切継紙・1通	464-35
(書状、腰痛のところ名代出向の礼、茶呈上) 長沼 奥右衛門→会計所御詰合中様	7月28日	横切継紙・1通	464-33
覚 (中野県御用状を船にて差送) 奥右衛門→栗林村会 計所御詰合衆中様	10月15日	切継紙・1通	464-28
(廻状、本省へ済口本書差上につき村方三役人・重立一 人の名前書提出願) 栗林村会計所→安源寺村、片塩 村、篠井村、南大熊村、桜沢村、矢嶋村、押切村、北岡 村、山王嶋村、右村々御役人衆中	午10月27日	横切継紙・1通	464-36
口上 (火急要用につき金50両借用願) 内坂為治→栗 林村御出張水内郡高井郡御惣代様	閏10月24日	横切紙・1通	464-32
(書状、拙宅の東京行荷物が会計所にあるか取調願) 大嶋村根岸久兵衛→栗林村会計方御惣代御詰合中様、貴 下	11月6日	横切紙・1通	464-31
(書状包紙) 長沼奥右衛門→栗林村会計所御詰合衆中様			464-30

人足・諸入用

山王島村川除普請手伝人足賃米渡方帳 世話方	(明治2) 巳10月28日ヨ リ	横半半・1冊	300
覚 (役人宿泊諸費用書上) 松代御預り大熊村、小沼村	(明治2) 巳12月	切紙・1通	464-4
覚 (飯代書上) 芝屋仁兵衛→東江部村御名主様	(明治2) 巳12月10日改	横切継紙・1通	464-11
覚 (酒肴・飯代書上) 芝屋仁兵衛→東江部村上 464- 11に疊込	(明治2) 巳12月20日改	横切紙・1通	464-11-1
覚 (重詰代書上) 和泉屋元兵衛→土手御掛り御惣代中 様	(明治2) 巳12月15日	切継紙・1通	464-9
おほへ (川除普請入用金受取) 山王嶋村組頭多三郎、 同善右衛門→東江部村御惣代山田理兵衛様	(明治2) 巳12月25日	切紙・1通	464-10
覚 (飛脚代立替) ほていや平九郎→土手一件御惣代衆 中様	(明治2) 巳12月	横切紙・1通	464-2

覚（差引勘定残金受取） 小沼村九之助→御惣代衆中様	（明治2）巳ノ12月25日	切紙・1通	464-7
御普請諸掛り取調帳（民部省役人の川々御普請見分先 触写共） 山王嶋村名主作右衛門	明治2巳年	横長美・1冊	86
御普請諸勘定取調帳 押切村名主文右衛門、組頭利惣治、 同文八、百姓代重右衛門→堤御惣代衆中様	明治2巳年	横長半・1冊	298
土堤御組様賄入用帳 芝屋仁兵衛	明治2巳年	横長美・1冊	299
賄方人員并雇人覚	明治3午年6月25日	横半半・1冊	87
日々米穀控帳 両郡賄方	明治3午年6月25日ヨリ	横半半・1冊	219
湯水掛人足番帳	明治3年庚巳（ママ）6 月	横半半・1冊	88
出人足之内渡舟湯水掛人足控帳（高井郡村々人足取調 惣代）	明治3午歳庚6月ヨリ	横半半・1冊（合冊）	89
判取（代金受取帳）	明治3午歳6月吉日	横長半・1冊	215
現金穀通帳 中村屋市郎右衛門→御本陣会計所	明治3年庚午6月吉日	横長半・1冊	217
土堤御組合御惣代衆中様入用帳 芝屋仁兵衛→御惣代様 （東江部山田様） 袋共	（明治3）午7月14日	横長半・1冊	90
野帳（出人足書上） 福島・長沼・富竹・小布施四組合 折 目上	（明治3）午7月19日ヨ リ	横半半・1冊	210-1
坪割付野帳 水内蟹沢・高井高梨両組	（明治3）庚午7月19日	横半半・1冊	212
日々土坪割附帳 円徳耕地組合 折目上	（明治3）午7月19日	横半半・1冊	213
髪結星留通 両郡会計方	明治3午年7月20日	横半半・1冊	221-1
（髪結利用者名書上）		切紙・1通	221-2
諸道具貸渡帳 八郎右衛門、甚兵衛、市兵衛、文六→多助 殿	明治3午年7月23日	横長半・1冊	292
御本陣星留控帳（髪結通帳） 髪結栄吉	明治3午年7月	横長半・1冊	220
出人足日々調帳 円徳耕地	（明治3）午8月16日ヨ リ	横半半・1冊	209-7
御普請所御杭木通 上今井村買入方掛惣代代兼牧山村源 兵衛 帳中に上條村三代吉宛土木司世話方の杭受取覚の 貼付	明治3午年8月24日	横長半・1冊	91
出人足日々調帳 円徳耕地	（明治3）午9月3日ヨリ	横半半・1冊	209-9
出人足日々調帳 飯山藩三ツ井長八、中野県市川芳三郎、 松代藩大島平助、稚谷藩北島隣二、民部省松原土木権少 佑、山川土木少令史、新川堀割掛り藩県出役并村々差配 惣代一同	明治3庚午年9月29日よ り	横半半・1冊	209-8
助郷人足覚 上今井村会計方	明治3庚午年9月日	横半半・1冊	51
杭乗賃金請取帳 引受人茂右衛門→御掛御役人中様	明治3庚午年9月	横長半折・1冊	92
出人足日々調帳 飯山藩、須坂藩	（明治3）庚午10月20日 ヨリ	横半半・1冊	209-5
出人足日々調帳 飯山藩、須坂藩	明治3庚午年神無月26 日	横半半・1冊	209-4
洪入材木請取通 堀川掛り会計方	明治3午年10月日	横長半折・1冊	93

出人足日々取調帳 飯山藩、須坂藩	明治3庚午年閏10月10日 ろ	横半半・1冊	209-6
俵縄触当并勘定帳 栗林村会計所	明治3午年閏10月17日 触当	横長美・1冊	95
出人足日々取調帳 須坂藩	明治3庚午年閏月23日	横半半・1冊	209-3
出人足日々取調帳 須坂藩 209は全て折目上	明治3庚午年閏月29日	横半半・1冊	209-1
縄俵請取通 高井郡東江部村	明治3午年閏10月	横半半折・1冊	94
御用石通帳 船 [] 久左衛門 裏表紙破れ	明治3年閏10月	横半半・1冊	294
雇土方人足帳（裁判方） 後に同月14日よりの「手控」 括付	明治3庚午年11月4日ヨリ	横半半折・1冊	290
出人足野帳 場所掛り	明治3午年11月27日ヨリ	横半半・1冊	210-5
諸材木巨細取調帳 会計山掛り	明治3午年11月	横長美・1冊	96
手びかへ（藤束など普請諸入用） 山田忠造	明治3午年11月	横半半折・1冊	97
出人足日々取調帳 藩県出役（御場所人足土方堀割懸り 椎谷藩北島隣二、右助瀧澤親造） 赤罫紙使用	明治3午年11月ヨリ	横半半・1冊	209-2
野帳（堀割費用勘定、各村出人覚） 藩県出役 折目 上	明治3午年12月朔日	横半半・1冊	214
出人足野帳 藩県出役	明治3午年12月6日	横半半・1冊	210-3
石乗代材木代舟乗代内渡控 堀割御普請掛会計所	明治3午年12月	横半半折・1冊	291
覚（金45両預り） 会計所惣代忠三→土方久左衛門殿 291-1～5は291に挟込	（明治4）未正月27日	切紙・1通	291-1
（源七渡分金額書上）		切継紙・1通	291-2
（赤沼村金平渡分金額書上）		切紙・1通	291-3
源兵衛・榎吉材木代内渡覚		切継紙・1通	291-4
（西寺尾定吉分金額書上）		切紙・1通	291-5
見舞請覚 両郡惣代中	明治3庚午年（7月～9月）	横半半折・1冊	223
水内郡上今井村地内新川堀割御普請丁場御割付二無之 分村々出人足差引帳	明治3庚午年	横長半・1冊	293
久左衛門勘定帳 水内郡赤沼村幸蔵手控	明治3庚午年	横半半・1冊	295
（会計所・掛役人宛諸代金受取書綴）	（明治3）	綴り・23通	464-12
御請書（今井村×切御普請石乗入用） 赤沼村請主金 平、同村請人要右衛門→会計方御役人衆中様 包紙共	明治3午年	堅紙・1通	464-15
堤一件見舞請覚	寅5月	横美半折・1冊	296
水防一件見舞請 296に挟込		折紙・1通	296-1
出人足日誌各手控	7月18日ヨリ	横半半・1冊	211
覚（養老2升代金精算書） 袋や店→上	9月21日	切紙・1通	464-23
所々見舞受覚（式度目） 両郡会計所	従前10月1日	横美半折・1冊	224
（安源寺村分明俵140俵受取書） 新保村惣左衛門	10月24日	小切紙・1通	464-18

(書状、杭木早速送付願) 会計所山田隅太郎→横山材 木屋梅吉様、要用	10月28日	切紙・1通	464-22
覚(土州半紙代受取) いつミや定吉(信州善光寺、カ ネ中)→上	閏10月18日	切継紙・1通	464-27
(瀬直工事関係の書付類一括)		こより一括・6通	464-29
覚(栗林村役元に置く米俵数書上) 江部台所より→ 栗林村出張先山田久摩太郎様	閏10月30日	横切紙・1通	464-29-1
覚(杵・定用人足書上)		横切紙・1通	464-29-2
(歎願の品を渡してほしい旨書付) 大嶋、拜→山田 賢君	27日	切継紙・1通	464-29-3
(村ごと持場書上)		横切紙・1通	464-29-4
おぼへ(金子書上) 福本→会計方様	閏10月25日	横切紙・1通	464-29-5
覚(355両余請求、諸村役人宿泊費力) 中むらや市 郎右衛門→山田熊太郎様		縦継紙・1通	464-29-6
覚(金10両受取) 清之丞→会計御連中様 24・25は同じ 巻紙から作成されたもので、両者の間が完全に切り離さ れていない	11月22日	切紙・1通	464-24
覚(金3両受取) 四ッ谷村幸右衛門→会計所御出張中様	午霜月22日	切紙・1通	464-25
覚(金銭書上) 会計所→御本陣旦那様 225と226の間に あったもの	12月7日	切継紙・1点	225-3
覚(水防一件出役の賄代書上) さくら沢定之助→御惣 代様	12月28日	切紙・1通	464-8
野帳(出人足書上) 場所掛り 折目上		横美半・1冊	210-2
野帳(出人足書上) 支配出役		横半半・1冊	210-4
会計方様炭御通 弥兵衛		横長半・1冊	218
覚(堤防工事人足賃勘定書) 225と226の間にあったも の		切紙・2通	225-2
覚(縄・俵・松木など代金書上) 押切村文右衛門→堤御 惣代東江部村山田庄左衛門様		横切継紙・1通	464-1
覚(杭・杵・合掌諸木代金書上帳)		横長半・1冊	464-3
覚(役人宿泊諸費用立替分書上) 山王嶋村、桜沢村、 小沼村		横切紙・1通	464-5
覚(里芋・にしん等代金書上) 新保村惣代		折紙・1通	464-6
(諸品人足供出関係書付一括)		括紐一括・16通	464-19

村 役 人

年代 内容年代 延宝2（1674）年～慶應2（1866）年

成立年代 宝永2（1705）年～慶應2（1866）年

数量 120点

歴史

山田庄左衛門家は東江部村役人としてはあまり多くの活動をしていない。表4の東江部村村役人表からは以下のことがうかがえる。すなわち、庄左衛門家は寛保・延享期と文久期には一時的に名主を勤めたがそれ以外の時期には勤めていないこと、そのかわり分家が名主をほぼ独占的に勤め組頭・百姓代についても同様に分家がその多くを占めていたこと、庄左衛門家は18世紀まではほとんど村役人として名前が出ないが19世紀以降百姓代をほぼ定席としたように見えること（ただし文化～天保期のデータが不足している）、である。一言で述べるならば、山田庄左衛門家は表向きは東江部村役人としての活動をあまりしていないが、実際には村政に対する大きな影響力を持っていたとすることができるだろう。表4には示すことができなかったが、山田庄左衛門が「東江部村年寄」という肩書を使っている例もあるので村方三役に名を連ねていない時でも村役人層の一員としての立場を保持していたと言えるかもしれない。

しかし、このような独占的立場を当初から山田家が村内において保持していた訳ではない。17世紀の東江部村村役人制について知りうる史料はほとんど見出せないが、天明から文化にかけての当主である庄左衛門顕孝（松齋）が「延宝二年寅御検地名寄帳」（写、5、188頁）の末尾に書き留めた延宝期以後の名主順覚（表5）によると、延宝期の名主は当初は彦兵衛・平六（宮崎家）によって勤められ、やがて理右衛門・文右衛門という山田家分家へと交替していった様子がうかがえる。また、かなり時代が下るが明治43（1910）年の水帳紛失理由書（延宝2年検地帳の表に綴付、氏子総代3名連名、東江部区共有文書）には以下の通りに記されている。

【史料4】

抑々往古不明ナルモ中古東江部名主由来ハ山田縫左衛門方へ（山田九藏先祖ナリ）上方ヨリ元和年間十七・八才之山伏参り縫左衛門方へ奉公致シ、両三年モ相勤メ居其氣質信用アリ、読書算筆達者ナル故コレヲ彦兵衛方へ遣ス（宮崎茂兵衛家ノ事）、而シテ代理名主ニ使用セリ、夫レヨリ前々ハ名主之趣ハ一向不明ナリ、其后彦兵衛ト理右衛門ハ名主ニ付争ヲ起セリ、理右衛門勝利ヲ得タリ、然レトモ理右衛門ハ其役ヲナサズシテ平助ニ譲ル（宮崎本家ナリ、平助ハ平六ノ誤ナラン）、同人ハ不幸ニシテ自分熟職中死亡セリ、然ル処平助死后ハ彦市成リテ（宮崎平助ト綱島彦市ハ親戚ノ関係上平助ノ妻ハ彦市ノ嫁ナリト云フ）壺時之財産整理者ト思フ、依テ平助死后ハ戸主女ナル故代理者兼跡役金左衛門方ニテ致セル者ト思フ、然ルニ此時ヨリ口碑ニ伝フルニハ彦市失火ニ逢ヒ役用書類ヲ焼失セシト云シモ或ハ平助失火ニ逢タルモノカ何れ両家トモニ亡テ当時戸主ナシ、…（中略）…中古平助ヨリ其后名主之順席左ニ記載候也

表4 東江部村村役人表

年代	西曆	名 主	組 頭	百 姓 代	典 拠
宝永4	1707	利右衛門	弥兵衛		232-1
宝永7	1710	利右衛門、文六	弥兵衛		261-2
享保11	1726	武兵衛			8
享保15	1730	与兵衛	太郎左衛門、新兵衛		74
享保16	1731	伊左衛門			10-1
享保17	1732	文右衛門			11
元文3	1739	理兵衛	金右衛門、平八	長百姓・文右衛門、同伊左衛門、同権兵衛、同文七、同金左衛門	45
元文4	1739	理兵衛	太郎右衛門、喜兵衛	伊左衛門	理85
寛保2	1742	庄左衛門	文左衛門、理右衛門	喜兵衛	2、55
延享元	1744	庄左衛門			27-1
延享3	1746	利右衛門	茂右衛門、文左衛門	文右衛門	理52
寛延2	1749	理右衛門	文左衛門、茂右衛門	文右衛門、金左衛門	理86
寛延3	1750	理右衛門	文左衛門、茂右衛門	金左衛門、文右衛門、庄左衛門	理73
宝暦3	1753	理右衛門	文左衛門、茂右衛門	金左衛門、文右衛門、庄左衛門	理71
宝暦4	1754	理右衛門	文左衛門、茂右衛門	庄左衛門、文右衛門、金左衛門	理54
宝暦5	1755	利右衛門	文左衛門、茂右衛門	文右衛門	242-1、理104
宝暦6	1756	理右衛門	文左衛門、茂右衛門	文右衛門	理36-46
宝暦7	1757	利右衛門	文左衛門、茂右衛門	文右衛門	理36-42-1
宝暦8	1758	理右衛門	文左衛門、庄吉	文右衛門	理36-53
宝暦9	1759	理右衛門	文左衛門、庄吉	金左衛門、文右衛門、庄左衛門	理95
宝暦10	1760	理右衛門	文左衛門		理2
宝暦11	1761	理右衛門	文左衛門、庄吉	文右衛門	427
宝暦13	1763	理右衛門	文左衛門、庄吉	文右衛門	理36-50
明和2	1765	理右衛門	文左衛門、庄吉	文右衛門	理53
明和3	1766	理右衛門	文左衛門、庄吉	文右衛門	265-1
明和4	1767	理右衛門	文左衛門、庄吉	文右衛門	理8
明和5	1768	理右衛門	文左衛門、庄吉	文右衛門	理36-5、理27
明和7	1770	理右衛門	文左衛門、庄吉	文右衛門	265-3
明和8	1771	理右衛門	文左衛門、庄吉	文右衛門	265-9
明和9	1772	理右衛門	文左衛門、庄吉	文右衛門	理24
安永4	1775	利右衛門			理36-61-1
安永5	1776	理右衛門	文左衛門、庄助	文右衛門	理100
安永6	1777	理右衛門	文左衛門、庄助	文右衛門	理28
安永7	1778	理右衛門	文左衛門、庄助	文右衛門	理25
安永8	1779	理右衛門	文左衛門、庄助	文右衛門	理96
安永9	1780	理右衛門	文左衛門、庄助	文右衛門	理36-11
天明元	1781	理右衛門	文左衛門、庄助	文右衛門	理72
天明3	1783	理右衛門			理36-3
天明5	1785	理右衛門	庄助、利左衛門	文右衛門	理108
天明7	1787	理右衛門	庄助、利左衛門	文右衛門	理105
天明8	1788	理右衛門	庄助、利左衛門	文右衛門	理32
天明9	1789	理右衛門	庄助、理左衛門	文右衛門	417-1
寛政3	1791	吉太郎	利七、治助	文右衛門	267-8-2
寛政4	1792	吉太郎	利七、伊右衛門	文右衛門	419-1
寛政5	1793	文六	利七、伊右衛門	文右衛門	428
寛政7	1795	文六	彦五郎、伊右衛門	忠助	理12
寛政10	1798	文六	彦五郎、伊兵衛	庄左衛門	419-3
寛政11	1799	文六	彦五郎、伊兵衛	庄左衛門	417-4
寛政12	1800	文六	彦五郎、伊兵衛	庄左衛門	417-6
寛政13	1801	文六	彦五郎	庄左衛門	267-7-1

年代	西暦	名 主	組 頭	百 姓 代	典 拠
文化元	1804	文六	伊兵衛		422-1
享和4	1804	文六	伊兵衛		426-2
文化7	1810	文六			235-3-13
文化8	1811	文六	文蔵		235-4-1-18、26
文化9	1812	文六			235-5-2-9
文化10	1813	文六			235-6-20
文化11	1814	文六			235-7-1-8
文化12	1815	文六			235-7-1-43
文化13	1816	文六			235-9-2-8
文化14	1817	文六			235-9-1-10
文政元	1818	文六			235-10-1-12
文政2	1819	文六			235-10-2-12
文政3	1820	文六			235-11-14
文政4	1821	文六			235-11-43
文政6	1823	文右衛門	理右衛門、伊兵衛		理36-61-3
文政7	1824	文右衛門	理右衛門	庄左衛門	理36-44、理7
文政8	1825	文右衛門			235-12-1-54
文政11	1828	文右衛門			244-1
文政12	1829	文右衛門			245
天保2	1831	理右衛門	267-2によると名主文右衛門、組頭理右衛門		理36-27
天保4	1833	理右衛門			理36-13
天保5	1834	理右衛門			理36-19
天保6	1835	理右衛門			理36-32
天保7	1836	理右衛門			理36-23
天保9	1838	理右衛門			理36-34
天保11	1840	理右衛門	先組頭伊右衛門、跡組頭伊兵衛、市右衛門	庄左衛門	理36-16、理92
天保12	1841	理右衛門	市右衛門		理36-38
天保13	1842	理右衛門			理36-56
天保14	1843	理右衛門	伊兵衛、市右衛門	庄左衛門	理36-10、18
天保15	1844	理右衛門	伊兵衛、市右衛門	庄左衛門	理36-55、理78
弘化2	1845	理右衛門	伊兵衛、市右衛門	庄左衛門	理47
弘化3	1846	理右衛門	伊兵衛、市右衛門	庄左衛門	277-7-18、理59
弘化4	1847	理右衛門	伊兵衛、市右衛門	庄左衛門	理36-21
嘉永2	1849	理右衛門	伊兵衛、文六	庄左衛門	理36-17
嘉永3	1850	理右衛門	伊兵衛、文六	庄左衛門	理36-15、理82
嘉永4	1851	理右衛門	伊兵衛、文六	庄左衛門	理36-28
嘉永5	1852	理右衛門	伊兵衛、跡役栄左衛門	庄左衛門	理36-33、理91
嘉永6	1853	理右衛門			理36-31
文久2	1862	庄左衛門			246-2-1
文久3	1863	庄左衛門	理右衛門、市右衛門	文六	435-1
元治2	1865	理兵衛	市右衛門		435-2
慶應2	1866	理兵衛			82
明治元	1868	理兵衛			246-1
明治2	1869	理兵衛			山田顕善履歴
明治3	1870	文六			

典拠：理＝山田理右衛門家文書、番号のみ＝山田庄左衛門家文書

註：ゴチックは山田家の一族であることが確実なもの

網島彦市之子 網島金左衛門
 山田伊左衛門 山田仁助宅事
 山田文右衛門 山田浦次郎宅事
 山田理右衛門
 小沢伊右衛門 小沢国吉宅事
 山田莊左衛門

事実関係で表5と異なる点も多いが、宮崎家、網島家といった山田家以外の者が当初は名主を勤め、その後山田家分家と交替していくという大筋の理解は共通している。実際にも宝永元（1704）年から同4年にかけて村内組分・名主交替をめぐる村方騒動が発生していたことも確認できる（下記「相論」の項を参照）。

構造と内容

上記の通り山田庄左衛門家が名主を勤めたのはごくわずかな期間で、ほとんどは分家がそれを勤めていたため、村役人史料の基本的なもの（宗門人別改帳、村入用帳など）が同家文書中にはあまり揃っていないことが特徴的である。また、ここに収めた史料の中には庄左衛門がまったく村方三役を勤めていない時期のものもあるが、分家が名主を勤めているので背後から関与したこともあると思われること、しばしば年寄という肩書を名乗っていること、などからその場合でも村役人としての活動の延長線上で作成したものと思なしてここに収めることにした。このサブグループは次のシリーズから構成されている。すなわち「領主関係」、「年貢諸役」、「夫食拝借」、「貯穀」、「土地」、「村入用」、「相論」、「普請」、「その他」である。以下に必要なものに限りその概要を簡単に示しておく。

「領主関係」には、御用留・御用状受取帳のほか、御用状類を中野役所から江戸役所まで運ぶ際の駄賃帳など、領主御用に関わって作成された史料を収めた。「年貢諸役」は、村内での年貢諸役割付に関する諸帳簿が中心である。「夫食拝借」には、中野役所よりの夫食米拝借、小前百姓への割り渡し、などに関する史料を収めた。点数的には、“戌の満水”として有名な寛保2（1742）年8月の千曲川大洪水直後にあたる寛保期のものが多い。「貯穀」には、庄左衛門の中野役所囲穀への出穀に関する史料を収めた。この貯穀は必ずしも村役人の立場だけで行ったものではないと思うが、役所とは常に村役人と連名で対応していること、自らの出穀とあわせて村内小前の貯穀御免をも願っていること、など村・村役人との関係が深い行動だと考えられるので、ここに配列することとした。「土地」には東江部村の土地台帳類を収めた。ここには延宝2（1674）年幕領検地の検地帳・名寄帳写が数点見られる。この検地に先行して同村は慶長7（1602）年右近総検地

表5 「延宝年中より名主順覧」

	(宮崎) 彦兵衛
	(宮崎) 平六
	(宮崎) 平六・(山田) 理右衛門
	(山田) 理右衛門
	(山田) 文右衛門
	与兵衛
	武兵衛
元文元まで	権兵衛
元文2より	(山田) 理兵衛、後役(山田) 庄左衛門
延享2より	(山田) 理右衛門
天明8より	(山田) 吉太郎

典拠：「延宝二年寅御検地名寄帳」（5、山田顕孝写）の帳末の記載より作成

(森忠政)、元和7(1621)年福嶋正則検地を受けているが、その際の検地帳は現存していない(17世紀前半の諸変動により初期検地帳が永続的基準性を失ったという指摘がある〔古川65〕)。また享保期には田畑水帳写・地押改帳・高入引覚帳など関係帳簿が集中しているが、たとえば享保14(1729)年田畑水帳写(9、188頁)の場合、地種・地籍の下に延宝検地帳名請人名・現所持者名と考えられる名前を2段に分けて連記しており(下段の名前には貼紙が何枚も付されてその後の土地移動の結果も反映している)、土地移動状況を把握するために作成されたものと考えられる(この時期から山田家が質地地主として新たな土地集積を進めていくことは前述した。39頁)。「相論」に収めたのは全て宝永年間(1704-1711)の村内組分に関する史料である。ごく簡単な経緯は次の通りである。これまでの名主平六に対して不満を抱く人々が宝永元(1704)年以來2人名主制・村内組分を願い、代官がそれを却下しても、引き続き廻名主制や名主平六を通さない年貢上納などを願い出た。その結果、同4年の年貢勘定目録(232、185頁)は東・西両組で別々に作成されている(西組名主は利右衛門)。後に山田松斎が「名主順覚」(表5)で彦兵衛、平六の後に平六・理右衛門と兩人を併記したのは、この東西両組2人名主制によると考えられる。この相論を契機に山田一族が東江部村名主に進出することとなったが、両組制はおそらくこの時期に限定されるもので継続されなかったと考えられる。

関連史料

東江部村の村役人史料としては他に、山田庄左衛門家文書の現地分に含まれるものを除くと、現在の所以下の3件が確認されている。

①山田理右衛門家文書

同家は表4にも明らかなように、長期にわたって東江部村の名主を勤めた家であるが、明治初年に屋敷・家財・文書等売り払って千葉へ移住した。現地には蔵が一つ残されているだけだが、文書は長野県立歴史館と山田顕五氏宅に分かれて所蔵されている。前者については『長野県立歴史館収蔵文書目録Ⅰ』が発行されており、後者については主なものについて史料館がマイクロフィルムによる収集を行って閲覧に供している。

②東江部区共有文書

この文書は、江部神社境内にある郷蔵の2階で筆筒に入れて保管されている。主なものとして、安永6(1777)年から明治7(1874)年にいたる年貢割付状および年貢皆済目録、延宝検地帳の写、地租改正など明治期の史料がある。詳しくは『中野市古文書目録 平野村』(前述、11頁)の東江部村の項にリストがある。ただし、この目録は主要なものを採録する形を取っているため、掲載されていない史料もある点に注意を要する。

③宮崎茂登雄氏所蔵文書

現在も東江部在住の同家は表5の冒頭に見える彦兵衛、平六の末裔であり、近世初期の年貢関係史料を所蔵している。これは『中野市古文書目録』にも収載されていないので、確認できたものを一覧にしておく。

年貢割付状：寛永3、4、7、9、13、15、16、18、21、延宝6、正保2、明暦元、万治2、慶安2、3、承応2、の
各年分

年貢皆済目録：寛永19、寛文6、寛文12（年貢金請取）、宝永元、の各年分

延宝検地帳写 （田方、畑方）

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

村役人

領主関係

御用留書帳	元文4年末正月吉日	横長半・1冊	1
江戸御屋鋪・坂木御役所・平嘉（賀）御役所諸御用宿継 請取帳 東江部村名主元 5	（元文4カ）未3月～10月	横半半・1冊	3
御用状請取帳 東江部村名主庄左衛門	寛保2壬戌年	横美半・1冊	2
御朱印御証文写（勘定組頭勝の信越廻村の際の人馬触 など）	（寛政8）	横長美・1冊	62
御証文御勘定方石井源左衛門様御止宿覚帳（文化元子 九月六日御泊り、外御普請役元ノ格梶山与六様御泊）	（文化元年）	横長美・1冊	48
御口達書（勸農教諭令、中之条役所通達の写）	（文久元）西7月	美・1冊	238
○駄賃帳			
御用荷物駄賃帳（中野～江戸） 御代官大野佐左衛門内 江部理右衛門	明和5年子4月25日	横長美・1冊	58-2
御用武州江戸 5 信州中野迄駄賃帳 大野佐左衛門内江部 理右衛門	明和5子年8月6日	横長美・1冊	58-3
賃馬帳 高井郡東江部村庄吉	安永4年末12月	横長美・1冊	59
軽尻駄賃帳（中野～江戸市ケ谷） 江部文左衛門	安永5年申正月14日	横美半・1冊	58-1
大田播磨守様御用駄賃帳（東江部村～武州板橋宿） 権之丞		横長美・1冊	57
御定人馬賃銭書付（雛形） 表紙に賃銭書き出すべき旨 の書付貼付		美・仮1冊	60

年貢諸役

信州高井郡東江部村西組戌御年貢勘定目録 名主利右 衛門・組頭弥兵衛→御代官様 232-1・2は貼り合わせ	宝永4年亥10月	縦紙・1通	232-1
信州高井郡東江部村戌御年貢勘定目録 紙背にも「西 組戌御年貢勘定目録」の写あり	（宝永4）	縦紙・1通	232-2
御年貢上納金・午未両年分御国役金小以ノ帳	元文4年末11月	横長美・1冊	23
元文四未極月惣勘定長（帳）	元文4	横長美・1冊	24
申御年貢〔 〕（年貢名寄帳） 庄左衛門、文左衛門、 理右衛門、金左衛門、喜兵衛 表紙はか下半分欠	寛保元年西12月	横長美・1冊	137-5
西御年貢割付皆済目録帳 東江部村名主庄左衛門	寛保2年戌11月	横長美・1冊	26
村々高附覚帳（近隣村々の去亥割付免）	延享元年子6月	横半半・1冊	28
子御年貢金取立帳 高井郡東江部村名主庄左衛門 27-1・2 は麻紐で一括	延享元年10月吉日	横長美・1冊	27-1
午御年貢金取立帳 名主理兵衛 綴紐に書付結付	11月11日	横長美・1冊	27-2

辰 5 亥迄式拾ヶ年御割付写 信濃国高井郡東江部村	延享2年丑2月	美・1冊	29
延享二丑秋田方内見合附帳（雛形）	（延享2）9月	横長半・1冊	25
丑年国役金御上納取立帳	延享2年11月	横長美・1冊	30
子御年貢割付〔 〕 金左衛門、喜兵衛、利右衛門、 庄左衛門 表紙下半分欠落	延享2年丑閏極月	横長美・1冊	31
御廻米之儀ニ付御尋書上帳下書（江戸廻米御免願）	天保4巳年7月	美・1冊	44
申ノ御年貢金過不足帳	西ノ11月勘定	横長美・1冊	41
（年貢割付状写、延享2～宝暦10年）		半・1冊	32
高井郡水内郡申破免減米高帳（仮仕出 5 写出分）		半（仮綴）・1冊	43

夫食拝借

夫食拝借小前帳 高井郡東江部村名主理兵衛、ほか村役人 7名→鈴木平十郎様御役所	元文3年午8月	横長美・1冊	53-1
夫食御拝借小前帳 高井郡東江部村名主理兵衛、ほか村 役人12名→中野御役所 破損	元文3年午9月	横長美・1冊	53-2
当六月満水ニ付信州高井郡東江部村夫食拝借割賦証文 帳 東江部村名主庄左衛門、与頭文左衛門、同利右衛門、 百姓代喜兵衛 破損	寛保2年戌8月	美・1冊	55
飢夫食壹人別拝借証文 信州高井郡東江部村拝借人金左 衛門、ほか7名→野呂猪右衛門様御役所	寛保2年戌8月	美・1冊	56-1
飢夫食壹人別拝借証文 信州高井郡東江部村拝借人小右 衛門、ほか7名→野呂猪右衛門様御役所	寛保2年戌10月	美・1冊	56-2
戌八月十日 5 同十九日迄御拝借渡シ長（帳） 東江部 村	寛保2年	横長美・1冊	54
飢夫食壹人別拝借証文 高井郡東江部村拝借人金左衛門、 ほか8名→野呂猪右衛門様御役所	寛保3年亥正月	美・1冊	56-3
飢夫食壹人別拝借証文 信州高井郡東江部村拝借人太兵 衛、ほか8名→野呂猪右衛門様御役所	寛保3年亥3月	美・1冊	56-4
亥十二月夫食種初代取立帳 開披困難、表紙上書「是ハ 酉之年返上納仕西□御割付目録之通取立年〔 〕」	寛保3年12月	横長美・1冊	137-6
覚（役所廻封より拝借分の返納受取書） 中野村郡中 代彦二郎→東江部村庄左衛門殿	文化13子年2月	縦紙・1通	455-15
御請書（三度の洪水につき貯初割戻受取） →松本直 一郎様中野御役所	慶応2寅年8月	縦継紙・1通	258

貯穀

覚（貯夫食書上） 高井郡東江部村世話人預り主庄左衛 門、名主理右衛門、与頭庄助、同理左衛門、百姓代文右 衛門→風祭救馬様御役所 端裏書「天明八申年被仰出貯 夫食西正月初年書上控」	天明9年西正月	縦継紙・1通	417-1
貯穀員数書上帳 高井郡東江部村 中野役所へ提出したも の控	（寛政4）子9月	美・1冊	417-7

已年人別囲（稗の量と惣人数書上）		切継紙・1通	417-7-1
乍恐以書付奉願上候（小前貯穀御免願） 信州高井郡東江部村貯人庄左衛門印、同断名主吉太郎、与頭利七、同伊右衛門、百姓代文右衛門→河尻甚五郎様御役所 端裏書「村方備願書控、此訴状願下ケニ致申候」	寛政4年子10月12日	堅継紙・1通	419-1
乍恐以書付奉願上候（文六出穀願） 高井郡東江部村願人名主文六、与頭利七、百姓代文右衛門→河尻甚五郎様御役所	寛政5丑正月	堅継紙・1通	419-2
「貯夫食御褒美一件」	寛政5丑8月21日	包紙入・12通	420-2
（奇特出穀褒美書写、村方振舞献立書など）		切継紙・1通	420-2-1
（褒美受取人名前書）		切継紙・1通	420-2-2
（庄左衛門・武右衛門による中野陣屋出穀納置への褒美書）	8月	切継紙・1通	420-2-3
覚（10名と村役人で麻裵着用にて出頭すべき旨廻状、写） 飯沼忠作、岩間忠藏→中野村、東江部村、栗林村、新野村、間山村、右村々名主中	丑8月20日	切継紙・1通	420-2-4
（書状、拙宅への立寄願） 河尻甚五郎手代動向村上平兵衛→江部村庄左衛門殿	10月9日	切継紙・1通	420-2-5
（中野役所触・褒美書3点写、一同宛・11村宛・郡中代林右衛門宛）	8月	切継紙・1通	420-2-6
おほへ（稗（ひい）百俵代金受取） くり林村多右衛門→東江部村長左衛門殿	3月26日	切紙・1通	420-2-7
乍恐以書付御届奉申上候（役所着届） 高井郡東江部村庄左衛門、同村差添名主文六→河尻甚五郎様御役所	寛政5丑8月21日	切紙・1通	420-2-8
（人名書上、46人分）		切継紙・1通	420-2-9
（寛政5年庄左衛門・武右衛門貯穀褒美銀受取時の年齢尋書） 中野御役所→東江部村、栗林村、名主、与頭	未2月20日	切紙・1通	420-2-10
（14名の出穀高書上）		切紙・1通	420-2-11
（傳右衛門ほか中野村3名率先出穀につき褒美書）	8月	切継紙・1通	420-2-12
請取申初稗之事（初稗50石づつ、中野陣屋に納置） 河甚五郎→信州高井郡東江部村庄左衛門	寛政5丑年11月	堅紙・1通	421
覚（貯夫食の稗50石出穀、当面預書） 東江部村庄左衛門→中野御役所	寛政5丑年11月	堅継紙・1通	423
（貯穀改廻村につき廻状、写） 竹内平右衛門手付大坪直藏→中野・松川・一本木・若宮・金井・上笠原・下笠原・間長瀬・同新田・新井・吉田・岩船・東江部・西江部・西間・西条・新保・篠井・新野・間山・高遠・更科・小田中、右村々名主与頭中	（寛政9）已6月12日	切継紙・1通	425
覚（小前人別囲穀御免願、私共貯穀） 信州高井郡東江部村出穀人百姓代庄左衛門、出穀人文右衛門、同断理右衛門、名主文六、組頭彦五郎、同断伊兵衛→竹内平右衛門様中野御役所	寛政10午年11月	堅紙・1通	419-3
覚（庄左衛門・文右衛門・理右衛門の当年出穀稗俵数書上） 高井郡東江部村預り人百姓代庄左衛門、名主文六、与頭彦五郎、同伊兵衛→竹内平右衛門様中野御役所 端裏書「午も戌迄同文言、但申る上野四郎三郎様」	寛政11未11月	堅紙・1通	417-4

覚（貯穀書上） 東江部村名主文六、与頭彦五郎、同伊兵衛、百姓代庄左衛門→竹内平右衛門様御役所	寛政12年申9月	竖紙・1通	417-6
覚（貯穀書上）	寛政12申年書上	切継紙・1通	417-3
乍恐以書付奉願上候（粉20俵出穀願） 高井郡東江部村出穀人理右衛門→上野四郎三郎様御役所 村役人奥書あり、端裏書「戌正月十一日理右衛門出穀控写」	享和2戌年正月	竖紙・1通	419-4
覚（陣内粉50石詰替のため預証文） 東江部村出穀人庄左衛門、名主文六、与頭伊兵衛→中野御役所 端裏書「文化元子十月十四日相納済」	文化元子年8月	竖継紙・1通	422-1
覚（高井・水内郡村々凶作備百姓出穀粉の件につき勘定所へ中野代官申上書、写） 大原四郎右衛門	（文政9）戌11月	竖紙・1通（2枚）	418
覚（御見分につき貯穀書上） 高井郡東江部村名主文六、与頭伊右衛門、同彦五郎、百姓代庄左衛門、預り人庄左衛門、預り人文六→竹内平右衛門様御手附大坪直藏殿 端裏書「巳六月十五日書上控」	巳6月	竖継紙・1通	417-2
覚（御見分につき貯穀書上、雛形） 名主、与頭、百姓代、預り人→竹内平右衛門様御手附大坪直藏殿	巳6月	竖継紙・1通	417-5
（中野役所廻状写、庄左衛門含め10人呼出） 中野御役所印→中野村彦右衛門・林右衛門・久兵衛・市右衛門、間山村与惣右衛門、新野村五郎右衛門、東江部村庄左衛門、栗林村武右衛門	戌10月5日	切継紙・1通	420-1
覚（陣内粉50石詰替のため預証文） 東江部村出穀人庄左衛門、名主文六、与頭彦五郎→中野御役所	戌11月9日	竖継紙・1通	422-2
（小前一同出穀停止願につき代官尋書、写） 奥書「右御代官様御自筆之御尋書、御答一同差上申候二付写」		折紙・1通	424-1
（寛政5年貯穀差出時の役所元メ仰聞につき書付）		竖継紙・1通	424-2

土地

寅御縄打水帳写（延宝2年分、畑方のみ）	（宝永3年8月）	横長美・1冊	6
前々両畑成午之地押改帳 東江部村名主武兵衛	享保11年午2月改	横長美・1冊	8
田畑水帳写 高井郡東江部村	享保14歳酉正月写之	美大・1冊	9
田畑名寄帳 信州高井郡東江部邑	享保14年酉4月吉日	横長美・1冊	10
惣畑成亥改銘々割附帳 東江部村名主伊左衛門 10に綴込	享保16年亥12月	横長美・1冊	10-1
子年銘々高入引覚帳 東江部村名主文右衛門	享保17年正月	横長半・1冊	11
酉願畑成（1筆毎畑成田書上）	享保戌年	仮綴・1冊	237
高井郡北大熊村延宝二年寅十月御水帳（元禄年中書抜き、大名寄長（帳）写） 東江部邑持主山田庄左衛門顕元	明和7年寅4月3日写之	横長美・1冊	15
北大熊高辻当村ニ而持分高内談覚（写） 小沼村新屋敷 15の丁間挟込	明和7年寅3月晦日	横長半・1冊	15-1
延宝二年寅御検地名寄帳（仮帳） 山田庄左衛門顕孝	（寛政4年）	横長半・1冊	5
御除地上入初極証文之事 高井郡東江部村文右衛門、庄左衛門、平吉→東江部村御役人中 小前惣代6名、立会人	寛政5丑年5月	竖継紙・1通	239

4名の奥書			
御除地入上初極証文之事(除地入上初を名主元で積置、修復料とする旨) 高井郡東江部村文右衛門印、庄左衛門印、平吉印→東江部村御役人中 小前惣代・隣村役人の奥書、村役人より小前惣代宛の極証文受取書、小前惣代久蔵の同役3名宛本証文預り書あり	寛政5丑年5月	縦継紙・1通	442
覚(除地の扱いを寛政5年以前の方式に戻す議定) 東江部村文六、ほか58名	文化4年卯3月	縦継紙・1通	438
(岩船村除地届写綴、明神免・十王免) →井上十左衛門様中野御役所	天保3辰年11月	仮綴・1綴	439
延宝貳寅御検地水帳写 山田弥之助		半・1冊	4
(新保村新田検地帳写、明和2・安永9年分)		美・1冊	14
川辺通水損村々(千曲川・犀川・裾花川沿村々高書上)		横長美・1冊	73
○寺社領除地書上			
寺社領書上下書(越村分)	天保3辰年11月日	美・1冊	72-1
信濃国高井郡黒部村大日寺御除地高書上帳 信州高井郡黒部村名主平治郎、ほか2名→井上十左衛門様中野御役所 表題を墨消	天保3辰11月	美・1冊	72-2
社領除地書上帳(北岡村分) 高井郡北岡村名主又左衛門、ほか3名→井上十左衛門様中野御役所	天保3辰11月	美・1冊	72-5
社領書上帳(若宮村分) 京都吉田二位殿支配下八幡宮 神主右岩戸伊織之祐→井上十左衛門様中野御役所	天保4年巳正月	美・1冊	72-3
寺領書上帳(若宮村分) 京都知恩院末浄土宗正翁寺→井上十左衛門様中野御役所	天保4年巳正月	美・1冊	72-4

村入用

信州高井郡東江部村巳正月朔日 同十二月晦日迄村入用夫銭帳 東江部村名主理兵衛、ほか30名→中野御役所	元文3年午ノ3月	横長美・1冊	45
諸入用 [] 表紙下欠、受取書など仮綴を後に括付	寛保3年閏4月吉 []	横長半・1冊	108-2
村入用帳 庄左衛門、庄吉、治助、忠助、和助、理兵衛、茂右衛門、吉右衛門→御名主所	天明8年申正月	横長半・1冊	46
堀丈助様御逗留入用 表紙書「十一月五日中野御引渡、六日 御家内御引越、十二月廿五日御出立、廿七日中ノ条へ御引渡」	文化元年	横長半・1冊	47
秤改入用割合帳	文化5年辰12月	半・1冊	49

相論

村内組分相論

(東江部村東西両組組分願書綴)		仮綴・10通	412-1
(東江部村東西両組の名主別立・年貢別納願、下書)		縦継紙・1通	412-1-1
乍恐口上書を以御訴申上候御事(両組の名主別立・年貢別納願、亥正月坂本役所へ提出の写)	(宝永4カ)	縦紙・1通	412-1-2

乍恐指上ケ申口上書之事（代官検見の際に組分仰せ付けられたき願） 文六、太左衛門、市右衛門→御代官様 日付横の書込「此書付ハ納不申候」	宝永2年酉10月	縦紙・1通	412-1-3
（同上文書の下書、途中） 紙背に東江部村西組成年貢勘定目録の写		縦紙・1通	412-1-4
乍恐口上書指上申候御事（組分願却下につき名主取替・廻名主願）	宝永3戌7月	縦紙・1通	412-1-5
願申一札之事（西組加入を公儀へ訴出願） 五左衛門、長吉、長右衛門、弥五兵衛、八右衛門、彦右衛門、八兵衛、新右衛門、彦四郎、作右衛門、次郎左衛門、権之丞、六兵衛、九兵衛→東江部村西組惣仲ヶ間中	宝永4歳亥2月	縦紙・1通	412-1-6
乍恐口上書ヲ以奉願候御事（西組加入許可願） 五左衛門、ほか12名		縦紙・1通	412-1-7
乍恐口上書以奉願候御事（不勝手の小百姓西組加入願、写） 紙背に東江部村西組成年貢勘定目録の写	宝永4年亥9月	縦紙・1通	412-1-8
乍恐指上申口上書之事（代官検見の際に組分仰せ付けられたき願） 文六、太左衛門、市右衛門→御代官様 訂正の貼紙	宝永2年酉10月	縦紙・1通	412-1-9
乍恐口上書を以申上候御事（名主平六を通さず百姓年貢直上納願） 文六、文右衛門→御代官様 紙背に下書	宝永3年戌10月	縦紙・1通	412-1-10
（東江部村名主平六交替・組分願書一括）		仮綴・18通	412-2
乍恐書付を以御訴訟申上候御事（名主平六私欲我俣につき二人名主仰付願、控） 奥に名主平六・組頭中宛飯村藤兵衛の差紙写を貼継	宝永元年申11月13日御訴訟中野ニ而申上候	縦継紙・1通	412-2-1
（同上訴状の下書）		縦継紙・3通	412-2-2
乍恐口上書を以御訴申上候御事（新代官に対し廻名主取替仰付願） 文六、太左衛門、文右衛門、宇右衛門、市右衛門、勘之丞、新五右衛門、弥右衛門、七兵衛、助六、新助、清八、佐門、八左衛門、清左衛門、半太夫、弥兵衛、小兵衛、喜三郎→御代官様	宝永3年戌7月	縦継紙・1通	412-2-3
（組分訴状下書）		縦紙・13通	412-2-4

普請

（東江部村用水普請諸入用書上、下書） 名主与兵衛、組頭太郎左衛門、同新兵衛、文右衛門、武兵衛	（享保15戌4月22日）	半・仮1冊	74
信州高井郡東江部村地内往還板橋戌春御普請積帳（御役所控の写） 御普請役保田久兵衛、同佐久間順平、同下役大橋安左衛門→御勘定所 片桐半平・寺嶋専助宛村役人請書	寛保元年酉12月	半・1冊	75

その他

（書状、仰越により与五兵衛家引取申付） 西江部村五右衛門より東江部村利兵衛様 捻封	2月23日	堅切紙・1通	452-1-6
---	-------	--------	---------

近代の役職

年代 成立年代 慶応4（1868）年～明治37（1904）年

数量 237点

歴史

幕末期に郡中取締役を勤めた山田庄左衛門であったが、明治初年には北信商社、千曲川瀬直し工事などの仕事に忙殺されている。明治3（1870）年12月には、中野県庁舎を焼き討ちして県官を殺害した中野騒動勢が旧郡中取締役・北信商社員をも標的に据えたため、本分家ともども屋敷を焼き払われているが、この時庄左衛門自身は掛屋として県庁公金の避難に腐心していたようである。その後、明治期の地方制度をめぐる政策が展開していくと、今度は区戸長職を歴任することになる。以下では区制の変遷を追いながら、庄左衛門の活動を見ていきたい。

明治4（1871）年4月戸籍法制定をうけて各藩県ごとに戸籍区の編成が進められたが、廃藩置県後の府県統合によって同年11月に統一的な長野県が成立すると、当初は旧藩県の単位を残して旧区画を継承した区制（東江部村は第22区に）がとられていたものの、やがて矛盾を生ずることとなり、明治5年4月には管下6郡を旧単位にとらわれず72の区に再編成する区画改正が行われた（東江部村は第43区に、表6）。第22区戸長は山田庄左衛門（健蔵）が勤めたが、第43区戸長は明治5年正月以来西江部村篠田市左衛門が勤め、副戸長を分家の山田文六が勤めた。この間篠田に交替した事情は不明だが、健蔵は若くして当主になったばかりである上に、中野騒動による屋敷焼亡、商社事件と心労が続き、同年6月に急逝したと関係があったかと推測される。さらに同年11月には区の戸長副と村の名主・組頭の職務分掌のあり方が問題になり、「区戸長事務章程」が制定され従来の戸長副が区長副に、名主・組頭が戸長副に改称され、区長の職務は戸籍事務のほか戸長の監視などに拡大された。そして明治6年2月には篠田にかわって山田庄左衛門（顕善、分家から入った新当主）が第43区区長に就任し（副区長は引き続き山田文六）、明治7年3月からは第44区（表6）の区長をも兼務した。

政府は地方官からの申立をうけて明治5年10月には大区小区制（大蔵省達146号）を認めていたが、長野県では区画改正に時間を要したため、ようやく大区小区制が発足したのは明治7年7月のことである。この時第19大区では山田庄左衛門が副区長に就任（区長は任命されず）したが、正副区・戸長はいずれも官選で、給料は民費支出ではあるが官吏の等級制に応じた統一的給与体系が採用され、区長（副区長）は区会所に詰めて事務を扱った（表7）。

表6 第43区・第44区の構成村

第43区	西江部村、東江部村、岩舟村、片塩村、安源寺村、大俣村、吉田村、牛出村、立ヶ花村、草間村
第44区	間山村、更科村、新野村、高遠村、篠井村、新保村、北大熊村、南大熊村、小沼村

典拠：『中野市誌・歴史編後編』、『長野県市町村合併誌・総編』

表7 第19大区の構成

◎ = 大区会所、○ = 小区会所

第1小区	桜沢村、○三ツ和村、新保村
第2小区	立ヶ花村、牛出村、草間村、○安源寺村、栗林村、片塩村
第3小区	間山村、篠井村、○新野村、更科村
第4小区	小田中村、西条村、○岩舟村、◎江部村、吉田村
第5小区	○中野町

典拠：『中野市誌・歴史編後編』、『長野県市町村合併誌・総編』

以上の制度の下で地租改正、徴兵検査、町村合併などの諸事業が展開されたことは、下記の「構造と内容」の欄からも明瞭にうかがえるところである。しかし明治11年7月に郡区町村編制法が公布されると、翌年6月にいたって大区小区制は廃止され、大区はその機能を郡に引き渡すこととなった。その際山田庄左衛門は明治12年1月から3月にかけて郡書記を勤めるがすぐに退任している。

なお、山田庄左衛門はこれ以外にも、本書所収史料に関わるところでは、勸業集談会や下高井郡全部組合会にも関わっていたようである。勸業集談会は長野県・下高井郡役所の強い勸業政策のもとで展開した下高井郡立共進会（物産展）や下高井郡農事集談会を基礎に、明治22（1889）年秋から県の指導により下高井郡勸業集談会として発足したが、連合町村組合が経費を賄い、上からの農事改良事業を進める母胎となった組織であった。また下高井郡全部組合会についてはその実態を明らかにすることができないが、本書所収史料で見る限り、下高井郡高等学校々舎新築予算に関する審議を行っている。

構造と内容

ここでは幕末から明治期以降における、東江部村一村をこえた広い範囲での山田家の政治的諸活動を「近代の役職」として一括した。上記の活動歴からわかるように、このサブグループは主要には「幕末維新期の陣屋・県御用」、「第22区戸長」、「第43区区长」、「第19大区副区长」というサブサブグループによって構成される。また、それ以外にも点数はあまり多くないが「勸業集談会」、「下高井郡全部組合会」、「平野村村会議員」に関わって活動した際の史料が残されているので、これもサブサブグループとして立項した。なお、「江部村耕地図」については本来ならばどのような役職を勤めることでこの図面が作成・保管されたのかを明らかにすべきだが、確定できなかったのでここに配置した。江部村の全字を対象とした図面なので、地主としてではなく、何らかの役職上作成・保管したものであろうと考える。

(1) 幕末維新期の陣屋・県御用

この関係は今回整理した分の中には郡中取締役関係のものなどわずか3点しか見られなかったが、現地分の史料には掛屋を勤めた際のものなども確認でき、一定の活動を行ったことは間違いないのでここに立項した。北信商社に関する史料（1冊3通）は別置した（159頁）。

(2) 第22区戸長

第22区関連の史料はきわめて少なく、それも全てが送籍状など戸籍関係史料である。送籍状は戸長どうしてやりとりされるため、文書の作成・受取を表記しただけでは移動者の元村・行先村がわから

ないので、(→)としてどの村からどの村へ戸籍が送られたかを書き添えることにした（この点は以下も同じ）。なお、史料の上では第22区から第43区への移行が不明瞭で、明治5（1872）年3月の第22区戸長宛証文（282-1-4、194頁）が存在すると同時に、第43区吉田村への同年正月付け送籍状（282-1-1、195頁）も存在する。このような混乱が生じた理由については、区画改正の具体的な進められ方とあわせて今後検討していく必要がある。

(3) 第43区区長

この関係で残されている史料は、「地券改」（地租改正に先行する壬申地券調の際の帳簿1冊のみ）や「印鑑届」などはごくわずかで、大半が「送籍状」である。このことはこの時期の区長の仕事の中心が引き続き戸籍事務にあったことをうかがわせると言ってもよいだろう。「送籍状」については○就任以前分と、○就任以後分、に便宜的に区分した。山田の就任以前は西江部村篠田市左衛門が区長を勤めていたが、篠田宛の送籍状も山田に引き継がれたと考えられる。

(4) 第19大区副区長

明治7（1874）年7月に第19大区の副区長となった以後については、残される文書もバラエティーに富んだものとなり、副区長（区長は存在しない）の担う事務内容が以前よりも広がったことが確認できる。ここでは関係文書を、「布達、届・回章留」、「地租改正」、「徴兵検査」、「町村合併」、「治安取締」、「大区議員・区総代（民費節減）」、「大区会所経費」、「医者養成」、「郡役所へ引継」、「その他」のシリーズに分けて編成した。そのうち「医者養成」は、明治11（1878）年以降第19大区が区費から医学修業金を支出して区内の医者を長野県医員講習所や東京大学などに派遣した際の、約定証（勉学後区内勤務を約束するもの）や入学願書などである。「郡役所へ引継」は、明治12（1879）年1月から3月にかけて第19大区の会所器械・筆筒類・諸帳簿・会議日誌・焼印・布達類等を下高井郡役所へ引き継いだ際の受取、引渡目録などである。ここに記されている諸書類・諸帳簿とあわせることで山田庄左衛門が第19大区副区長として作成・授受した史料の全貌をうかがうことができるが、言い換えれば、山田家文書中に残されているこの関係の史料はこの時引き渡されなかったものであることも確認できる。

(5) 勸業集談会

明治22（1889）年と同24年の勸業集談会日誌が3冊残されている。

(6) 下高井郡全部組合会

明治23（1890）年の議事録1冊と同年の下高井郡高等小学校校舎新築の予算書類1綴があるのみである。

(7) 平野村村会議員

明治34（1901）年から同37年の予算関係の書類13点が残されている。

(8) 江部村耕地図

これは江部村の字ごとの耕地図23舗で、年代記載があるものはすべて明治21（1888）年5月付であるから、おそらくこの時点で村内一斉に作成されたものと考えられる。

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

近代の役職

幕末維新期の陣屋・県御用

鉄砲有無御届書之事（鉄砲所持者なし） 高井郡高石村名主嘉右衛門→御郡中御取締衆中	慶応4辰年正月	縦紙・1通	259
中野陣屋附郡中村々高反別免家数人数調帳 持主山田庄左衛門	慶応4年辰3月改	半・1冊	42
長野県御用御備初送通 東江部村山田庄左衛門→中野町御役人衆中	明治4辛未年11月	横美半折・1冊	226

第22区戸長

送籍状

送籍状之事（高井郡安源寺新田村→高井郡草間村） 右村名主高見沢忠右衛門→高井郡草間村御役人衆中 包紙共	明治4辛未年11月	縦紙・1通	278
記（縁組の送籍状受取） 長野県御管下飯山廳附第9区副戸長若林桂造→長野県御管下第22区戸長山田庄左衛門殿 包紙共	明治4年辛未12月11日	縦紙・1通	284-7
乍恐書付ヲ以奉願上候（送籍状願書、吉田村その七瀬村へ縁付につき） 右村名主原徳兵衛、組頭町田三左衛門→戸長御役所 包紙共	明治5申2月晦日	縦紙・1通	280-1
乍恐書付ヲ以御届奉申上候（死去届書） 右（吉田）村名主原徳兵衛、ほか1名→戸長御役所 包紙共	明治5申2月晦日	縦紙・1通	281-1
証（高井郡新井村4名の吉田村寄留に故障無き旨） 第24区副戸長中島市兵衛→第22区戸長山田庄左衛門殿 包紙共	明治5壬申年3月	縦紙・1通	282-1-4
以書付奉願上候（送籍状願書、吉田村はま越村へ縁付につき） 右村名主原徳兵衛→戸長御役所 包紙共	明治5申年4月	縦紙・1通	280-2
以書付御届奉申上候（死去届書） 吉田村名主原徳兵衛→戸長御役所 包紙共	明治5申年4月日	縦紙・1通	281-2
送籍之事（高井郡壁田村→高井郡栗林村） 第46区副戸長中嶋市兵衛→戸長山田庄左衛門殿 包紙共	明治5壬申年4月	縦紙・1通	282-1-6

第43区区長

地券改

田畑一筆限正間改地順帳（地券上帳下調） 東江部村 山田庄左衛門手許控	高井郡	明治6年癸酉春	横長美・1冊	20
---------------------------------------	-----	---------	--------	----

印鑑届

印鑑帳（区内村々人別持高書上）（第四十三区）区長	明治6年11月	1冊	357
--------------------------	---------	----	-----

役所 以書付御届申上候（西江部村氷見氏改印届） 右村 村吏春日太左衛門→第四拾三区区长御中 357の丁間扶 込	第4月22日	1通	357-1
--	--------	----	-------

送籍状

○就任以前分			
送り状之事（越後国頸城郡森田村→高井郡吉田村） 右兄江口勘左衛門、ほか組合・百姓代・庄屋3名→戸長副御 中 戸長副の奥書、包紙共	明治5壬申年正月	縦継紙・1通	282-1-1
送籍之事（高井郡岩船村→水内郡権堂村） 第43区副 戸長山田文六、同戸長篠田重左衛門 包紙共	明治5壬申2月2日	縦紙・1通	282-1-2
（権堂村徳武長作居住地、長野村区长名など書付） 282-1-2の包紙に同封		切紙・1通	282-1-2-1
送籍之事（高井郡岩井新田→高井郡吉田村） 第48区 戸長江口曾栄門→第43区戸長篠田市左衛門殿、副戸長山 田文六殿 包紙共	明治5壬申年3月5日	縦紙・1通	282-1-5
送籍之事（高井郡岩井新田→高井郡西江部村） 第48 区戸長江口曾栄門→第43区戸長篠田市左衛門 包紙共	明治5壬申年3月13日	縦紙・1通	282-1-3
書付ヲ以御届奉申上候（死去届書） 右（吉田）村名 主原徳兵衛→第43区戸長山田庄左衛門殿 包紙共	明治5壬申年4月晦日	縦紙・1通	281-3
送籍状（高井郡羽場村→其区内31番） 第42区副安達 軍、同佐々木漣、戸長堀久敬→第43区戸長副御中 包紙 共	（明治5） 壬申5月	縦紙・1通	282-1-7
以書附願上候（寄留送籍願書、西江部村宇吉上野国室 田宿へ出稼につき） 右村願人長嶋増之助、ほか親類・ 組頭2名→戸長副御役中 包紙共、包紙の中に280-3-1・2が 同封	明治5壬申年8月19日	縦紙・1通	280-3
送籍之事（雛形） 右区戸長御印、副戸長御印→群馬 県管轄上野国群馬郡第10区内7小区戸長副戸長中		縦紙・1通	280-3-1
（送籍状作成用の覚書）		小切紙・1通	280-3-2
証（西江部村百姓の其区内寄留故障無き旨） 右第43 区戸長篠田市左衛門、副戸長山田文六→群馬県御管轄上 野国群馬郡第10区区内7小区清水忠兵衛	明治5壬申年8月	大縦紙・1通	279-2
証（寄留送籍書受取） 群馬県管轄上野国群馬郡第10大 区小7区戸長清水忠作→長野県御管轄信濃国高井郡第43区 戸長篠田市左衛門殿 包紙共	明治5壬申年8月	縦切紙・1通	284-1
送籍之事（高井郡中野町→高井郡西江部村） 右区戸 長山岸精一郎、副戸長細野平作→第43区戸長篠田市左衛 門殿、副戸長山田文六殿 包紙共	明治5年壬申9月	縦紙・1通	282-1-8
送籍之事（高井郡北大熊村→高井郡立ヶ花村） 戸長 小林九之丞、副戸長中山実之助→第43区戸長篠田市左衛 門殿、副戸長山田文六殿 包紙共	明治5壬申年9月	縦紙・1通	282-1-9
記（送籍状受取） 第48区戸長江口曾栄門→右43区戸長 篠田市左衛門殿、副戸長山田文六殿 包紙共	明治5壬申年10月17日	縦紙・1通	284-2
送籍之事（高井郡七瀬村→高井郡栗林村） 第46区副 戸長中嶋市兵衛→第43区戸長篠田市左衛門殿、副戸長山 田文六殿 包紙共	明治5壬申10月	縦紙・1通	282-1-10

載籍之事（高井郡西江部村→松代寺町） 第29区松代住士族副戸長片岡半十郎、戸長恩田新六→第43区正副戸長衆中 包紙共	明治5壬申年10月	縦紙・1通	284-3
記（送籍状受取） 第46区副区長中島市兵衛→第43区副区長山田文六殿	明治5壬申11月朔日	縦紙・1通	284-5
送籍之事（高井郡田上村→高井郡吉田村） 第48区区長江口曾栄門→第43区区長篠田市左衛門殿、副区長山田文六殿 包紙共	明治5壬申年11月19日	縦紙・1通	282-1-11
送籍之事（高井郡吉田村→高井郡越村） 第43区副区長山田文六→第48区区長江口曾右衛門殿	明治5年壬申11月	大縦紙・1通	279-1
記（離縁返籍状受取） 第48区区長江口曾栄門→第43区副区長山田文六殿 包紙共	明治5壬申年11月	縦切紙・1通	284-4
送状之事（越後国頸城郡巻瀨村→高井郡江部村） 右村戸長深石七郎平、小区惣代古川九郎次→長野県管下信濃国高井郡江部村 包紙共	明治6癸酉年1月	野紙・1通	282-2-1
送籍之事（高井郡七瀬村→高井郡吉田村） 第46区副区長中島市兵衛→第43区区長篠田市左衛門殿、副区長山田文六殿 包紙共	明治6癸酉2月2日	縦紙・1通	282-2-2
送籍之事（水内郡上倉村→高井郡江部村） 第68区副区長浅山正蕃、区長足立誠→第43区区長篠田市左衛門殿 包紙共	明治6年癸酉2月28日	縦紙・1通	282-2-4
送籍之事（高井郡竹原村→高井郡草間村） 右副区長細野平作、区長山岸精一郎→第43区正副区長御中 袋入	明治6年2月	縦紙・1通	282-2-3
記（縁組の送籍状受取） 第42区副区長佐々木高治→第43区区長篠田佐賢殿、副区長山田文六殿	明治6年2月	縦紙・1通	284-6
○就任以後分			
送籍之事（水内郡飯山町→高井郡東江部村） 第68区副区長浅山正蕃、区長足立誠→第43区区長山田庄左衛門殿、副区長山田文六殿 包紙共	明治6年癸酉3月10日	縦紙・1通	282-2-5
送籍状之事（水内郡穴田村→高井郡安源寺村） 第67区副区長中嶋七郎治→第43区高井郡正副区長御中 包紙共	明治6年4月8日	縦紙・1通	282-2-16
寄留証（高井郡西江部村→水内郡長野村） 第43区副区長山田文六、区長山田庄左衛門→第54区々々長露木彦右衛門殿 端裏書「癸酉十一月十九日 寄留状戻り」	明治6年4月8日	縦切紙・1通	283
送籍之事（高井郡田麦村→高井郡西江部村） 第46区副区長中島市兵衛→第43区区長山田庄左衛門殿、副区長山田文六殿 包紙共	明治6年4月9日	縦紙・1通	282-2-10
送籍之事（高井郡壁田村→高井郡吉田村） 第46区副区長中嶋市兵衛→第43区区長御中 袋入	明治6年4月11日	縦紙・1通	282-2-11
記（送籍状受取） 第41区区長太田才右衛門→第43区正副区長御中 包紙共	明治6年4月12日	縦紙・1通	284-8
送籍之事（高井郡大俣村→高井郡矢島村） 第43区副区長山田文六、区長山田庄左衛門→第42区区長副区長御中 包紙共	明治6年4月16日	縦紙・1通	282-2-9
送籍之事（高井郡七瀬村→高井郡草間村） 第46区副区長中嶋市兵衛→第43区区長御中 袋入	明治6年4月22日	縦紙・1通	282-2-13
記（送籍状受取） 第46区副区長中島市兵衛→第43区副区長山田文六殿、区長山田庄左衛門殿 包紙共	明治6年4月22日	野紙・縦切・1通	284-10

送籍之事（高井郡深沢村→同郡大俣村） 第48区区長 江口曾栄門→第43区区長山田庄左衛門殿、山田文六殿 袋入	明治6年4月24日	竖紙・1通	282-2-8
記（送籍状受取） 第46区副区長中島市兵衛→第43区区 長山田庄左衛門殿、副区長山田文六殿 包紙共	明治6年4月29日	罫紙・堅切・1通	284-19
送籍証（水内郡上今井村→高井郡牛出村） 第67区副 区長中島七郎次、区長小林柳右衛門→第43区正副区長御 中 包紙共	明治6年癸酉4月	竖紙・1通	282-2-6
送籍之事（高井郡深沢村→同区内岩船村） 第48区区 長江口曾栄門→第43区区長山田庄左衛門殿、山田文六殿 袋入	明治6年第4月	竖紙・1通	282-2-7
送籍之事（高井郡佐野村→高井郡吉田村） 第47区副 区長市川和平、区長坂口年兵衛→第43区区長山田庄左衛 門殿、副区長山田文六殿 包紙共	明治6年第4月	竖紙・1通	282-2-12
復籍之事（高井郡赤岩村→高井郡大俣村） 第48区区 長江口曾栄門→第43区区長篠田市左衛門殿、副区長山田 文六殿 包紙共	明治6年4月	竖紙・1通	282-2-15
送籍章（水内郡新町村→高井郡東江部村） 第57区副 区長本堂源吉→高井郡第43区正副区長御中 包紙共	明治6年4月	竖紙・1通	282-2-17
記（縁組の送籍状受取） 第67区々長小林柳右衛門→第 43区正副区長御中 包紙共	明治6年癸酉4月	竖紙・1通	284-9
記（送籍状受取） 第39区副区長竹内文八、区長黒岩清 右衛門→第43区正副区長御中 包紙共	（明治6） 癸酉5月13日	罫紙・1通	284-11
記（縁組の送籍状請取） 第66区副区長中島佐五右衛門 →第43区高井郡区長山田庄左衛門殿 包紙共	明治6年5月14日	罫紙・1通	284-14
記（送籍状受取） 第42区副区長佐々木高治→第43区区 長山田庄左衛門殿 包紙共	明治6年5月28日	罫紙・1通	284-12
送籍之事（水内郡浅野村→高井郡立ヶ花村） 第62区 副区長村松治右衛門、同梅沢吉左衛門、区長藤沢幾三郎 →第43区区長山田庄左衛門殿、副区長山田文六殿 包紙 共	明治6酉年5月30日	竖紙・1通	282-2-21
送籍之事（高井郡松川村→高井郡岩舟村） 右副区長 細野平作、区長山岸精一郎→第43区正副区長御中 袋入	明治6年5月	竖紙・1通	282-2-14
送籍之事（高井郡西条村→高井郡吉田村） 右副区長 細野平作、区長山岸精一郎→第43区正副区長御中 袋入	明治6年5月	竖紙・1通	282-2-18
送籍章之事（高井郡湯田中邑→高井郡西江部邑） 第 47区正副区長→第43区正副区長衆中 包紙共	明治6年5月	竖紙・1通	282-2-19
記（送籍返章、高井郡岩船村→水内郡権堂村） 第54 区区長露木彦右衛門、同矢島五郎左衛門→第43区正副区 長御中 包紙共	明治6年5月	罫紙・1通	282-2-20
送籍之事（高井郡中島村→高井郡牛出村） 第39区副 区長竹内文八、黒岩清左衛門→第43区区長山田庄左衛門 殿、副区長山田文六殿 包紙共	明治6年5月	竖紙・1通	282-2-22
送籍之事（高井郡間山村→高井郡栗林村） 第44区副 区長中山実之助→第43区正副区長御中 包紙共	明治6年5月	竖紙・1通	282-2-23
記（離縁の送籍状受取） 44区副区長中島実之助→第43 区正副区長御中 包紙共	明治6年5月	堅切縦紙・1通	284-13
記（縁組の送籍状受取） 第67区区長小林柳右衛門→第 43区区長御中 包紙共、包紙上書「送籍受取章 第六拾 六区倉井邸渡」、16と包紙入違力	明治6年5月	罫紙・1通	284-15

記（送籍状受取） 第44区副区長中山実之助→第43区正副区長御中 284-16-1～2は包紙で一括	明治6年5月	縦紙・1通	284-16-1
（縁組の送籍状受取書） 第42区区長（堀久敬）→第43区正副区長御中	明治6西5月	縦紙・1通	284-16-2
記（送籍状受取） 第48区区長江口曾栄門→第43区区長山田庄左衛門殿、山田文六殿 包紙共	明治6年6月	縦切紙・1通	284-17
記（縁組の送籍状受取） 第42区副区長安達堯元→43区正副区長御中 包紙共	4月17日	縦紙・1通	284-18

第19大区副区長

布達、届・回章留

地所質入書入御規則 長野県庁（長野県御用版書林信州長野東横町松木喜右衛門） 明治7年増補分を裏表紙に貼付、朱書「甲戌八月十八日拝見」	明治6年1月	板・1冊	365
県庁出勤中雑誌 山田	明治7年10月ヨリ（明治8年1月まで）	1冊	374
諸伺御指令之控 山田	明治7年11月ヨリ（～8年4月）	仮綴・1冊	371
明治八年区長詰所報告 第拾九大区会所	（明治8）	1冊	378
（博覧会用品産品書上の通達） 長野県庁→県庁詰区長副中 378に挟込	明治8年1月	青罫紙切紙・1通	378-1
草稿（副区長作成の届・廻章など留帳） 第拾九大区表紙朱書「乙第三番」	明治8年第8月（～9年10月）	1冊	372-1
明治八年長野県布達乾	（明治8）	刊・1冊	373-1
明治八年長野県布達坤	（明治8）	刊・1冊	373-2
回章草稿（要旨記録） 北第拾九大区 表紙朱書「乙第4番」	明治9年9月ヨリ（～12年1月）	1冊	370
（会所へ出頭廻状写および小林宛書状控） 丁間挟込		切紙・1通	370-1
草稿（同上） 北第拾九大区 表紙朱書「甲第壹番」	明治9年9月ヨリ（～10年10月）	1冊	372-2
御布告部数取調 朱書「十年八月廿一日詰所へ書出候控」 丁間挟込	明治10年8月21日	朱罫紙・1通	372-2-1
草稿（同上） 北第拾九大区 表紙朱書「甲貳番」	明治10年10月ヨリ（～11年12月）	1冊	372-3
（戸籍帳作成に必要な罫紙の枚数勘定書） 丁間挟込	（明治）8年1月1日改	切罫紙・1通	372-3-1
明治十年長野県布達乾	（明治10）	刊・1冊	373-3
明治十年長野県布達坤	（明治10）	刊・1冊	373-4
明治何年信濃国何郡何村普通物産表（雛形） 丁間挟込		堅紙・1通	373-4-1
（長野県通達留綴、主に県庁詰副区長よりの通知）	（明治10年分）	1綴	379-1
			373-5

明治十一年長野県布達乾	(明治11)	刊・1冊	373-6 379-2 369
明治十一年長野県布達坤	(明治11)	刊・1冊	
(長野県通達留、主に県庁詰副区長よりの通知)	明治11年分	紙幣一括・1綴、6通	
回章受取記簿(各小区扱所の廻章受取) 北第拾九大区会所	(明治11年12月～12年1月)	横美半折・1冊	

地租改正

地租御改正ニ付各邨議定書 第十九大区	明治8年8月	美・1冊	338
地租改正ニ付各村田畑宅地等級見積、並八年十二月大区反当定請書之控、其他九年五月迄追々下調書類トモ 第拾九大区	明治9歳第5月	美・1冊	339
(第拾九大区田畑利子書上)	明治9年6月	1冊	364-1
地租改正各村明細表 北第拾九大区副区長山田莊左衛門→長野県地租改正掛御中	明治9年7月21日	美・1冊	344
地租改正新旧貢額精算牒 第拾九大区	明治9年8月	美・1冊	340
江部村字久保下畑山田、為八、林右衛門持地分間図面 441は史料館封筒一括	明治10酉年3月	275×385・1鋪	441-1
(耕地分間図面) うち1鋪は半切		275×385・8鋪	441-2
区内各村旧貢米取調牒 第拾九大区会所	明治7年10月	美・1冊	347
「官有地借地料調」		帯封一括・10通	341
(岩舟村分草野反別届) 右村調人小林千代松、代議人武田富右衛門、用掛武田林蔵、戸長山田文六 2通は同内容、以下も同	明治10年12月	赤罫紙・2通	341-1
(江部村分草野反別届) 右村調人篠田浜之助、代議人高木源左衛門、用掛春日太左衛門、戸長山田文六	明治10年12月18日	赤罫紙・2通	341-2
(佐野村分薪炭山反別届) 右村調人宮崎九郎兵衛、代議人小嶋小次郎、用掛中山文左衛門、副戸長小嶋瀧治郎、同春日与市	明治10年12月	赤罫紙・2通	341-3
(栗林村分草野反別届) 右村調人涌田茂右衛門、代議人石川松太郎、用掛有賀休作、戸長高見沢忠右衛門	明治10年12月19日	赤罫紙・2通	341-4
(片塩村分草野反別届) 右村調人田中新左衛門、代議人岩月伊蔵、用掛永峯清蔵、戸長高見沢忠右衛門	明治10年12月19日	赤罫紙・2通	341-5
(大区内各村山野収利見込帳)	明治11年6月21日	美・1冊	342
(大区内各村山林原野反別地価取調帳、控) 右区副区長山田莊左衛門→長野県地租改正掛御中	明治11年11月5日	美・1冊	343
(所有地反別地価等調書類一括) 他に白紙5枚		包紙入・1冊・3綴・6枚	337
(村別地価等書上及び新税上納請書) 何小区何村百姓惣代代議人、用掛、戸長→長官当		帳崩・3枚	364-2
(長野県郡別村々田畑階級表) 活字版		1綴(6枚)、2枚	375

徴兵検査

「徴兵検査書類入 年々可見合事」(第十九大区之控)	明治9年2月23日	袋入・	328
(徴兵検査書類雛形綴)		仮綴・2通	328-1
(徴兵検査書類綴、大区内11名分)	明治9年2月	仮綴・11通	328-2
徴兵御届書(本人入牢中の届) 右村用掛青木勝右衛門、戸長市川和平→長野県権令桙崎寛直殿	明治9年2月	朱罫紙・1通	328-3
以書付ヲ奉願上候(本人伊勢参宮につき検査猶予願) 右村願人石川栄蔵、用掛市村忠兵衛、戸長高見沢忠右衛門→長野県権令桙崎寛直殿	明治8年10月14日	朱罫紙・1通	328-4
御届書(本人商用・伊勢参宮につき不在届) 右茂作兄安藤角蔵、親類惣代桜井土佐市、組合惣代鈴木新七、用掛奈良武七、戸長近山勝右衛門→長野県権令桙崎寛直殿	明治9年2月7日	朱罫紙・1通	328-5
(14名検査出頭命令書) 長野県→第拾九大区副区長中	明治9年2月4日	1冊	328-6
奥村忠覚殿検査候控(故障・短寸・痾疾別人名書上)	明治8年10月14日	1冊	328-7
(7名分養子縁組書上)		罫紙・1通	328-8

町村合併

第廿壹大区三小区一村合併色分ケ見取図 右副区長笹岡弥惣治、同村越茂介 287-1・2は包紙入、包紙上書「北第廿壹大区三小区七村全図入 副戸長村越茂介」	明治8年6月	385×278・1鋪	287-1
(第21大区3小区一村合併地番図) 第21大区3小区副戸長村越茂介	明治9年3月	278×383・1鋪	287-2

治安取締

(袋、上書「南大熊邨若者共粗暴一件書類」) 285は史料館封筒で一括、285-1以下はこの袋入だったと思われる	明治8年2月	袋・1袋	285
以書付歎願仕候(南大熊村旧若者仲間弊習一件詫書)→副区長山田莊左衛門殿		薄青色罫紙・1通	285-1
以書付歎願仕候(南大熊村旧若者仲間弊習一件詫書) 右柴本安治郎、ほか若者2名、代議人柴本泰蔵、同酒井孫作、用掛久保田庄兵衛→副区長山田莊左衛門殿 副戸長の奥書	明治8年2月	美・2冊	285-2
(書状、大熊村若者一件への対処方につき相談)(上条村) 佐山忠輝→第19大区長山田莊左衛門殿 封筒入	(明治) 8年第2月3日	仮綴・1通 (3枚)	285-3
(若者嘆願につき聞き済まし願書) 山田→県庁詰区長副御中 1、2は285-3の封筒入	第2月24日	小赤罫紙・1通	285-3-1
(若者名前書付)		小切紙・1通	285-3-2
(捕亡吏の派出は見合になったので区長が教誨すべき旨申達) 県庁詰副区長(若林、尾崎、高井、柿崎)→第19大区副区長山田莊左衛門殿 封筒入	2月18日	小青罫紙・1通	285-4

上申書（若者一件につき召出吟味または出役願） 佐山忠輝→御本県御同僚御中 285-4の封筒入、ねだり 額などをまとめた別紙を結付	明治8年2月16日	青罫紙・1通	285-4-1
（書状、県庁での仰渡につき通知）（副戸長）小林 定之助→（副区長）山田莊左衛門様 封筒入	2月26日	仮綴・1通（2枚）	285-5

大区議員・区総代（民費節減）

「民費節省下調書類」 北第十九大区会処控	（明治10）	袋入・	345
（県令の民費節減指示・予算書雛形綴）	明治10年8月	仮綴・1綴	345-1
（民費節減のための諸費目概算・伺書等綴）	（明治10）	1綴	345-2
（民費予算書雛形）		仮綴・1綴	345-3
民費節減方法同課賦方法議按、附里道修繕着手ノ義ニ 就臨時問下、区画改正及吏員配置給料節減ノ下問 北第十九大区議員山田莊左衛門	明治11年3月県会	刊・1冊	380
長野県職員録	明治11年6月1日改	1冊	384
各区総代人番号表 北第十九大区総代人山田莊左衛門		1通	383

大区会所経費

諸事控帳（買物覚） 第19大区会所小使控	（明治）7年第8月（～ 明治11年）	横美半・1冊	311
（第十九大区会所経費書類一括）		袋入・	363
記（成議案・日誌印刷製本料受取） 活版所小林伝内 （長野県活版所会計証）→北第十九大区区会議長御中	明治11年5月8日	1通	363-1
（小区取扱所費用関係書類綴）		綴・	363-2
記（内山紙代書上） 指物屋弥兵衛→上	2月23日	切紙・1通	363-2-1
記（西ノ内・中奉書代書上） 飯沼弥兵衛→五小区取 扱所会議場分	2月27日	切紙・1通	363-2-2
記（障子張替費用書上） 経師屋（石出林助）→上	第2月24日	切紙・1通	363-2-3
覚（人数分費用書上、宿泊費力） 柳長→上	2月27日	切紙・1通	363-2-4
記（人足代書上） 青木善兵衛→上		切紙・1通	363-2-5
記（代金書上） 松木や梅吉→上	第2月27日	切紙・1通	363-2-6
覚（みくじ箱代書上） □や庄助→上	2月27日	切紙・1通	363-2-7
記（草履代書上） なら屋鉄五郎→区会議会所御中	2月27日	切紙・1通	363-2-8
記（土瓶代書上） 押鐘伊介→取扱所御中	2月27日	切紙・1通	363-2-9
覚（草履代書上） 平のや卯兵衛→上		切紙・1通	363-2-10
記（上生酒代書上） 井賀屋酒店→会議場中様	2月27日	切紙・1通	363-2-11
記（筆紙賄代など書上） 近山勝之輔→拾九大区御中	第2月27日	横長半・1冊	363-2-12
記（茶代書上） 松田屋店→取扱所御中	第2月28日	切紙・1通	363-2-13
（火鉢毛布など代金書上）		折紙・1通	363-2-14

近代の役職/第19大区副区長/大区会所経費

記（紙代書上） 指物屋弥兵衛→上	第2月27日	切紙・1通	363-2-15
記（奉書代書上） 菱屋儀兵衛→区会議場御中	2月28日	切紙・1通	363-2-16
会議経費明細簿（立替金受取） 五小区副戸長岩本五郎→北第拾九大区副区長山田莊左衛門殿	明治11年3月7日	1冊	363-3
（区会旅費・止宿料差額受取書） 学区取締加藤成雲→北十九大区会所御中 袋入	7月11日	1通	363-4
覚（県道修繕のため区戸長巡回の際の飲食代金受取） 遠山儀右衛門代印柳長→拾九大区会所御中	（明治10）6月28日	1通	363-5
記（県道修繕中回勤の歳の宿泊飲食代金受取） 遠山儀之輔、儀右衛門代印→上	明治10年7月4日	1通	363-6

医者養成

（袋、表書「区医小林景一郎東京大学エ入校五ヶ年間区費ヲ以出金可致約定書 外区医勇昌書類入」） 北第拾九大区会所 352-1～7は史料館封筒に一括されていたが、元はこの袋入であったと思われる			352-1
約定証（区費を受け医学勉強、帰郷後3年間区内医務従事、履歴書共、写） 本人小林景一郎、同県下北第拾九大区四小区高井郡吉田村八拾九番地保証人小林新之丞、本人父小林東景→北第拾九大区区戸長御中	明治11年7月20日	1冊	352-2
記（医学修業金15円受取） 吉田村第九拾壹番地小林東景→北第拾九大区会所御中	明治11年8月18日	縦紙・1通	352-3
記（医学修業金15円受取） 北第拾九大区四小区吉田村第九拾壹番地小林東景→北第拾九大区会所御中	明治12年1月10日	縦紙・1通	352-4
受取証（深尾勇昌医員講習所入学費18円受取） 右区戸長市川和平→副区長山田莊左衛門殿 352-5-1～5は仮綴	明治11年8月24日	赤罫紙・1通	352-5-1
（深尾勇昌医学歴） 右深尾勇昌	明治11年8月	1通	352-5-2
（深尾を区講習医として入学許可願） 右区副区長山田莊左衛門→長野県令榑崎寛直殿	明治11年8月	赤罫紙・1通	352-5-3
（医員講習所入学願） 北第十九大区七小区高井郡平穩村乙第二百八十二番地深尾勇昌、右区戸長市川和平→長野県令榑崎寛直殿	明治11年8月	赤罫紙・1通	352-5-4
（深尾履歴につき保証書） 右保証人同村第二百九十四番地馬場悦之進、右区戸長市川和平→長野県令榑崎寛直殿	明治11年8月	赤罫紙・1通	352-5-5
記（深尾氏区医講習費残額金18円受取） 右区副戸長吉田忠右衛門→北第十九大区副区長山田莊左衛門殿	明治12年1月20日	赤罫紙・1通	352-6
記（区医講習長野出張費残金受取） 高井郡中野町田中柳所→副区長山田莊左衛門殿	明治12年1月18日	赤罫紙・1通	352-7

郡役所へ引継

「会所事務器械其外引渡ニ付書類」		袋入・	353
二月一日引渡ノ控		赤罫紙・1通	353-1
二月一日引渡ノ控		赤罫紙・1通	353-2

一月廿七日引渡控		赤罫紙・1通 (2枚)	353-3
記 (小林九之丞へ引渡書類書上)		赤罫紙・1通	353-4
十二年二月七日引渡	(明治12)	赤罫紙・1通	353-5
記 (会所諸帳簿・会議日誌・焼印受取) 下高井郡郡役所→旧拾九大区会所	明治12年1月22日	赤罫紙・1通	353-6
記 (筆筭・五徳・名札掛等受取) 下高井郡郡役所→北第拾九大区会所御中	(明治) 12年1月17日	赤罫紙・1通	353-7
記 (旧拾九大区書類・筆筭受取) 下高井郡々役所→旧拾九大区会所中	明治12年1月27日	赤罫紙・1通	353-8
記 (諸願控・県仰達綴・郵便規則など受取) 下高井郡役所 (小林) →旧北第拾九大区会所中	(明治) 12年2月1日	赤罫紙・1通	353-9
記 (会所書類・長持・膳棒受取) 郡役所 (小林) →北第拾九大区会所御中	(明治) 12年2月1日	赤罫紙・1通	353-10
記 (会所器械受取) 小林九之丞→第十九大区会所御中	(明治) 12年卯1月14日	1通	353-11
記 (換印届綴ほか受取) 下高井郡々役所→旧拾九大区会所中	明治12年2月7日	赤罫紙・1通	353-12
記 (諸器械受取) 下高井郡々長大井泰→北第拾九大区会処御中	明治12年第1月15日	1通	353-13
一月廿二日引渡控		赤罫紙・1通	353-14
記 (諸布達類等受取) 下高井郡々役所詰片桐久右衛門→山田莊左衛門殿	明治12年3月13日	1冊	353-15

その他

北第拾九大区戸数人口表 (小区・村別)	明治10年9月	1冊	351
月給渡請取書 (各区正副戸長分) 北第拾九大区副区長 山田莊左衛門	明治11年9月	1冊	356

勸業集談会

第四回下高井郡勸業集談会日誌 長野県下高井郡役所 正誤表共	明治22年5月	刊・1冊	381-1
第五回下高井郡勸業集談会日誌・並附録農話会筆記 長野県下高井郡役所 正誤表共	明治22年12月	刊・1冊	381-2
(農事新報広告チラシ) 農事新報発行所有隣堂		1通	381-2-1
第七回下高井郡勸業集談会日誌 長野県下高井郡役所 正誤表共	明治24年9月28日	刊・1冊	381-3

下高井郡全部組合会

下高井郡全部組合会議事録 蒔菰版	明治23年1月28日	1冊	382
(下高井郡高等小学校々舎新築関係の追加予算書類) 下高井郡長箕輪鼎 蒔菰版	明治23年5月2日提出	仮綴・1冊	354

平野村村会議員

(村会開催通達) 村長欠員議長平野村助役網島林吉→山田荘左衛門殿	明治34年4月7日	1通	324-2
(明治三十四年度平野村予算表綴)	(明治34)	1綴	324-6
(諸税に関する平野村商店・職工・飲食店・理髪業等級表綴)	(明治34)	仮綴・1通	324-7
(明治三十五年度平野村予算表綴)	(明治35)	1綴	324-8
(諸税に関する平野村商店・職工・飲食店等級表綴)	(明治35)	仮綴・1通	324-9
長野県下高井郡平野村明治三十六年度歳入出予算表	明治36年3月	1冊	324-1
(諸税に関する平野村商店・職工・飲食店・理髪業等級表綴)	(明治36)	仮綴・1通	324-12
(明治三十七年度平野村予算表綴)	(明治37)	仮綴・1通	324-10
(諸税に関する平野村商店・職工・飲食店・理髪業等級表綴)	(明治37)	仮綴・1通	324-13
明治三十六年度県税並ニ村税戸数割賦課等級表 下高井郡平野村		610×274・1通	324-3
(県税並ニ村税戸数割賦課等級表)		882×275・1通	324-4
明治三十四年度戸別等級割 (県税・村税)		900×269・1通	324-5
村税地租割制限外賦課決議		赤罫紙・1通	324-11

江部村耕地図

(江部村耕地図一括)	明治21年5月	23鋪	456
江部村ノ内十七番字西間・十八番字芦畔全図 製図者中村熊太郎	明治21年5月調整	1鋪	456-5
江部村ノ内五番字家出シ全図 製図者中村熊太郎	明治21年5月調整	1鋪	456-8
江部村ノ内十一番字法性寺全図 製図者中村熊太郎	明治21年5月調整	1鋪	456-10
江部村ノ内三番字宮東全図 製図者中村熊太郎	明治21年5月調整	1鋪	456-11
江部村ノ内十四番字向権現木全図 製図者中村熊太郎	明治21年5月調整	1鋪	456-12
江部村ノ内十番字西土浮全図 製図者中村熊太郎	明治21年5月調整	1鋪	456-13
江部村ノ内二番字長井田全図 製図者中村熊太郎	明治21年5月調整	1鋪	456-14
江部村ノ内七番字瞰下全図 製図者中村熊太郎	明治21年5月調整	1鋪	456-15
江部村ノ内十六番字主瞰全図 製図者中村熊太郎	明治21年5月調整	1鋪	456-16
江部村ノ内壱番字北原全図 製図者中村熊太郎	明治21年5月調整	1鋪	456-17
江部村ノ内十五番字権現木全図 製図者中村熊太郎	明治21年5月調整	1鋪	456-18
江部村ノ内八番字砂山全図 製図者中村熊太郎	明治21年5月調整	1鋪	456-19
江部村ノ内六番字瞰上全図 製図者中村熊太郎 ほか断	明治21年5月調整	1鋪	456-20

片1枚			
江部村ノ内四番字南全図 製図者中村熊太郎 ほか断片・白紙3枚	明治21年5月調整	1鋪	456-21
江部村ノ内九番字下土浮全図 製図者中村熊太郎 ほか断片・白紙3枚	明治21年5月調整	1鋪	456-22
(江部村全図) 製図者乾宣義 ほか断片2枚	明治21年5月調整	1鋪	456-23
江部村ノ内十二番字殿橋全図 ほか断片・白紙など5枚	明治21年	1鋪	456-4
(三ツ和村境耕地図) 製図者中村熊太郎		1鋪	456-1
(新保村境耕地図)		1鋪	456-2
江部村ノ内十三番字入明全図 ほか白紙1枚		1鋪	456-3
(殿橋・都住村境耕地図)		1鋪	456-6
(耕地図)		1鋪	456-7
(耕地図) ほか白紙2枚		1鋪	456-9

史料館所蔵史料目録 第75集

信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書（その1）

印刷発行 平成14年3月31日

編集兼 国文学研究資料館
発行者 史料館

〒142-8585

東京都品川区豊町1丁目16番10号

電話 03-3785-7131(代)

印刷所 株式会社 三協社

〒164-0011

東京都中野区中央4丁目8番9号

(本文用紙は中性紙を使用)